

平成29年度
板橋区区民意識意向調査
報告書



目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の実施方法	3
3. 回収結果	3
4. 調査項目	3
5. 地域区分	4
6. 本報告書を読むにあたって	5
第2章 調査結果	7
1. 属性	9
(1) 性別	9
(2) 年代	9
(3) 居住地域	9
(4) 国籍	9
(5) 職業	9
(6) 世帯構成	10
(7) 同居家族	10
(8) 住居形態	10
(9) 居住年数	10
(10) 直前の居住地	10
2. 区での住み心地	11
(1) 住みやすさ	11
(2) 定住意向	19
(2-1) 住みやすさ(問2)と定住意向(問3)	28
(2-2) 区内に住み続けたい理由	29
(2-3) 区外に移り住むとしたら住みたい地域	37
(2-4) 区外に移り住みたい理由	45
(2-5) 住みたい地域(問3-2)と区外に移り住みたい理由(問3-3)	55
(3) 板橋区に対する愛着と誇り	56
(3-1) 板橋区に対する愛着と誇り(問4)と定住意向(問3)	68
(3-2) 愛着を感じる理由	69
(3-3) 誇りを感じる理由	77
3. 「子育て安心」について	85
(1) 地域における子育て支援策	85
(2) 地域における子育てを支える担い手	88
(3) 子どもの貧困対策	91

4. 「魅力ある学び支援」について	94
(1) 子どもたちのたくましく生きる力	94
(2) 学校教育を通じて身に付けてほしい力	97
(3) 生涯学習活動に取り組む環境づくり	99
5. 「安心の福祉・介護」について	101
(1) 介護状態となることに対する不安	101
(1-1) 介護状態となることに対する不安の理由	103
(2) 住み慣れた地域で住み続けるための支援策	104
6. 「豊かな健康長寿社会」について	106
(1) 「いたばし健康づくりプロジェクト」について	106
(1-1) 「いたばし健康づくりプロジェクト」をどのような方法で知ったか	108
(2) 健康のために普段から行っていること	109
7. 「心躍るスポーツ・文化」について	112
(1) 過去1年間に鑑賞・体験活動した文化芸術	112
(2) 過去1年間での外国人とのコミュニケーション	114
(3) 運動・スポーツの頻度	116
(4) 戦争体験の語り継ぎ	118
8. 「光輝く板橋ブランド・産業活力」について	120
(1) いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりに対する満足度	120
(2) 身近な商店街に対する印象	127
(3) 過去1年間に農業にふれた機会	130
9. 「緑と環境共生」について	131
(1) 自然環境・公園に対する満足度	131
(2) 資源としてごみと分別しているもの	136
(3) 環境のために取り組んでいること	137
10. 「万全な備えの安心・安全」について	139
(1) 災害情報を収集するための手段	139
(2) 災害に備えた家庭内での対策	141
(2-1) 飲料水・非常用食糧の備蓄日数	143
(3) お住まいの地域の治安	144
11. 「快適で魅力あるまち」について	146
(1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度	146
(1-1) 取り組みの進捗状況	148
(2) 電車やバスの利用しやすさ	151
(3) 建築物等とまちなみとの調和	154
12. 「未来創造戦略」について	157
(1) 未来創造戦略の重要度	157

13. 「シティプロモーション（区の魅力情報の発信）」について	162
(1) 区が発信する情報の伝達度	162
(2) 区に関する情報の入手方法	164
14. 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」について	166
(1) 区に期待すること	166
(2) 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の参加方法（関わり方）	168
(3) レガシー（遺産）として期待すること	170
15. 社会活動・地域活動等	172
(1) 社会活動・地域活動等への参加状況	172
(2) 町会・自治会、NPO団体への加入状況	175
(2-1) 町会・自治会、NPO団体への加入状況（問 38）と定住意向（問 3）	178
(2-2) 町内会・自治会、NPO団体に加入していない理由	179
(2-3) 町会・自治会、NPO 団体への加入状況（問 38）と加入していない理由	181
（問 38-1）	181
(3) 地域の活動を活発にするために必要なこと	182
(4) 過去 3 年間における地域センターの利用状況	184
(4-1) 地域センターの利用目的	187
(5) 地域センターに求めるサービス	188
16. 今後の行政サービスと負担のあり方	189
(1) 税金に見合った行政サービスの提供	189
(2) 将来的な行政サービスと住民負担のバランス	192
(3) 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野	195
17. 板橋区職員に期待する能力・資質	198
(1) 最近 1 年間での職員と接する機会の有無	198
(1-1) 職員の対応に対する満足度	198
(1-2) 職員の能力・資質の現状評価	199
(2) 職員に求める姿	200
18. その他	201
(1) 「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況	201
(1-1) 取得していない理由	203
第 3 章 分析	205
1. 前回調査との比較	207
2. 属性別にみた課題抽出	209
第 4 章 集計表	231
第 5 章 調査票	259

第1章



調査の概要

1. 調査の目的

区民の住みやすさや定住意向、区への愛着・誇りのほか、区の施策に対する意識・意向などを広く把握し、基本計画2025でめざしている「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちに向けての基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査地域 板橋区全域
- (2) 調査対象 板橋区に居住する満18歳以上の一般区民
- (3) 調査対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から層化二段無作為抽出（板橋、常盤台、志村、赤塚、高島平の5地域ごとの登録人口規模で3,000人を案分抽出）
- (5) 調査方法 郵送で調査票を配付し、郵送による返信またはインターネット上に設置した回答専用Webページの入力
- (6) 調査期間 平成29年9月13日（水）～9月27日（水）
- (7) 調査実施機関 株式会社都市計画21

3. 回収結果

配付数	有効回収数		有効回収率
	郵送		
3,000	郵送	1,139	38.0%
	インターネット	208	6.9%
	計	1,347	44.9%

※前回（平成27年4月）調査（郵送配布・郵送回収）有効回収率43.2%

4. 調査項目

- (1) 属性
- (2) 区での住み心地
- (3) 「子育て安心」について
- (4) 「魅力ある学び支援」について
- (5) 「安心の福祉・介護」について
- (6) 「豊かな健康長寿社会」について
- (7) 「心躍るスポーツ・文化」について
- (8) 「光輝く板橋ブランド・産業活力」について
- (9) 「緑と環境共生」について
- (10) 「万全な備えの安心・安全」について
- (11) 「快適で魅力あるまち」について
- (12) 「未来創造戦略」について

- (13) 「シティプロモーション（区の魅力情報の発信）」について
- (14) 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」について
- (15) 社会活動・地域活動等
- (16) 今後の行政サービスと負担のあり方
- (17) 板橋区職員に期待する能力・資質
- (18) その他

5. 地域区分

地域名	対象地域
①板橋地域	板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見地域センター管内
②常盤台地域	大谷口・常盤台・桜川地域センター管内
③志村地域	清水・志村坂上・中台・前野地域センター管内
④赤塚地域	下赤塚・成増・徳丸地域センター管内
⑤高島平地域	蓮根・舟渡・高島平地域センター管内



6. 本報告書を読むにあたって

- (1) 図表中のnとは、回答者総数（または該当質問での該当者数）のことです。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入してあります。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化しています。
- (5) 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめています。
- (6) 標本誤差

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを言います。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なりますが、その誤差を数学的に計算することが可能です。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

N = 母集団数（板橋区の18歳以上の人口）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 P = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は以下のようにになっています。

回答比率(P) n	10%又は 90%程度	20%又は 80%程度	30%又は 70%程度	40%又は 60%程度	50%程度
1,347	± 1.63	± 2.18	± 2.49	± 2.67	± 2.72
1,000	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
700	± 2.27	± 3.02	± 3.46	± 3.70	± 3.78
500	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
300	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.65	± 5.77

※この表の計算式の信頼度は95%です。

●この表の見方

問2の回答者数が1,347人で、板橋区は「住みやすい」と回答した割合が40%であった場合、「その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.67以内（37.33%～42.67%）である」とみることができます。ただし、この表の計算式の信頼度は95%なので、この推定は95%の確率で正しいこととなります。（5%の確率で、37.33%～42.67%の範囲を超える）

つまり、問2で板橋区は「住みやすい」と回答する割合は、100回同じ調査をした場合、95回の確率で「37.33%～42.67%（40%±2.67%）」内となると言えます。

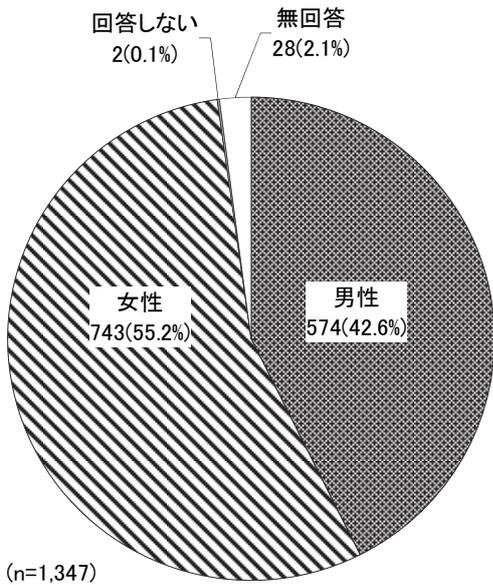
第2章



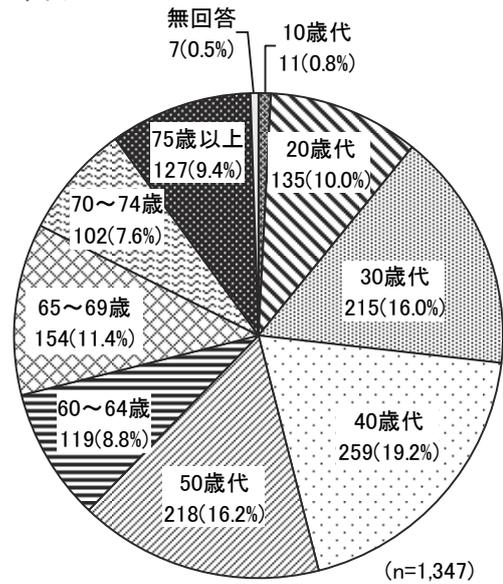
調査結果

1. 属性

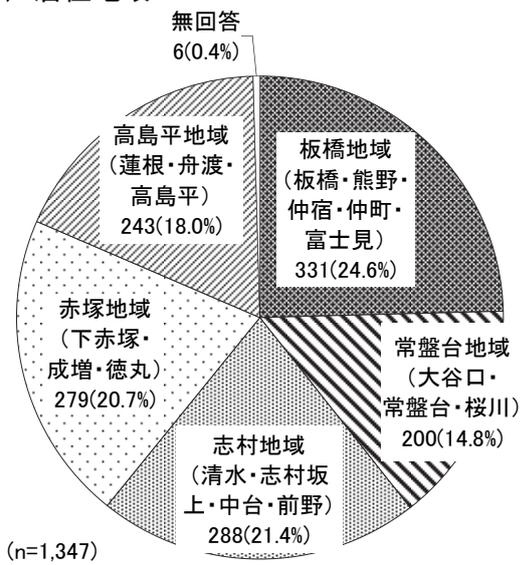
(1) 性別



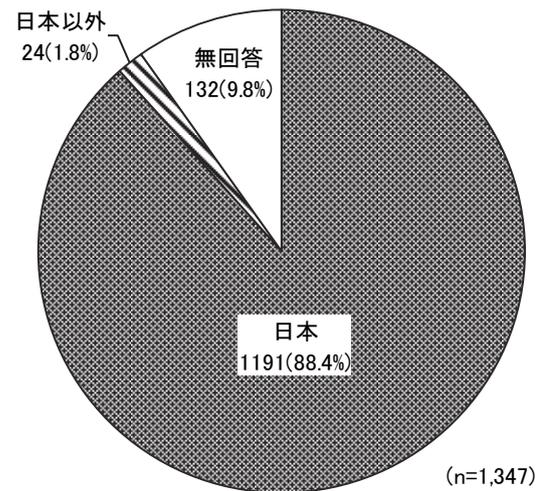
(2) 年代



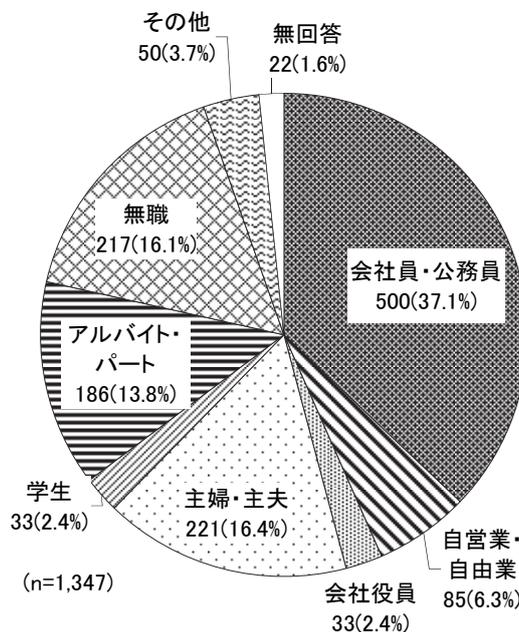
(3) 居住地域



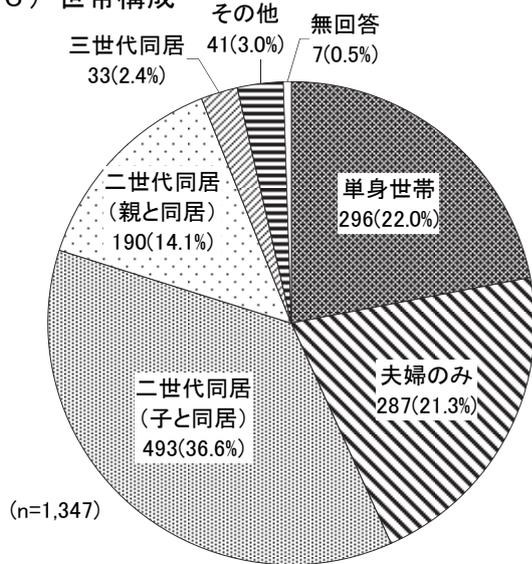
(4) 国籍



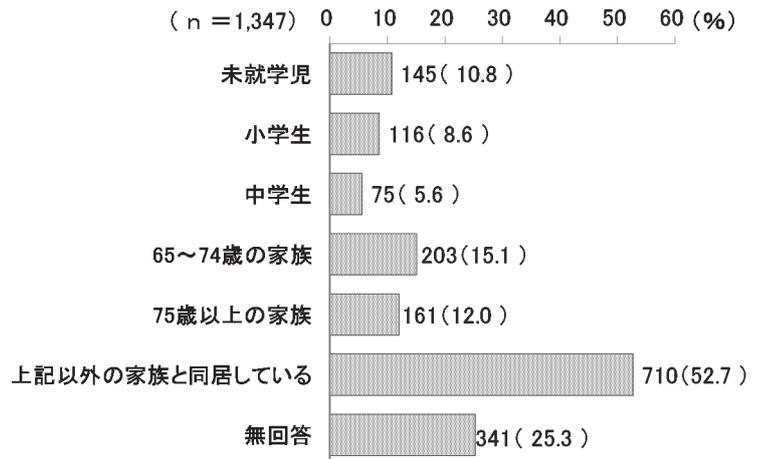
(5) 職業



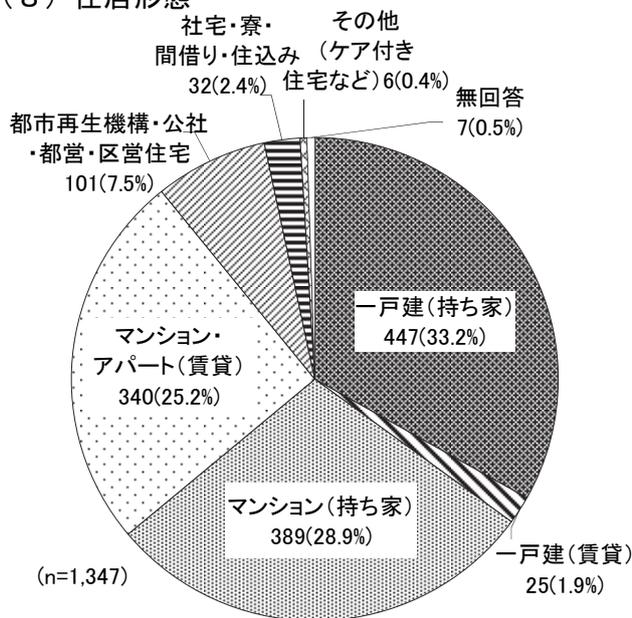
(6) 世帯構成



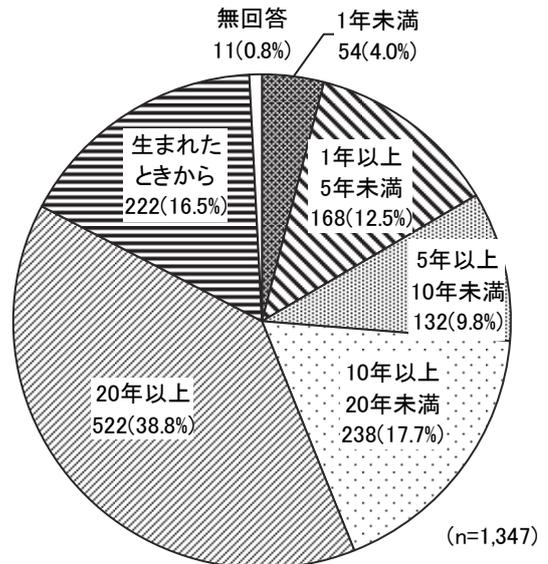
(7) 同居家族 (複数回答可)



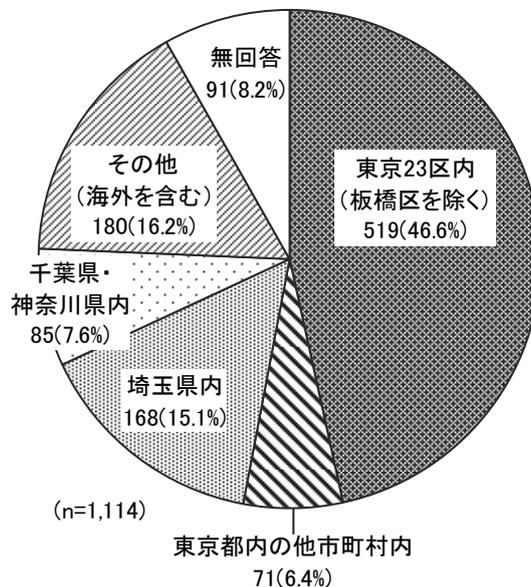
(8) 住居形態



(9) 居住年数



(10) 直前の居住地



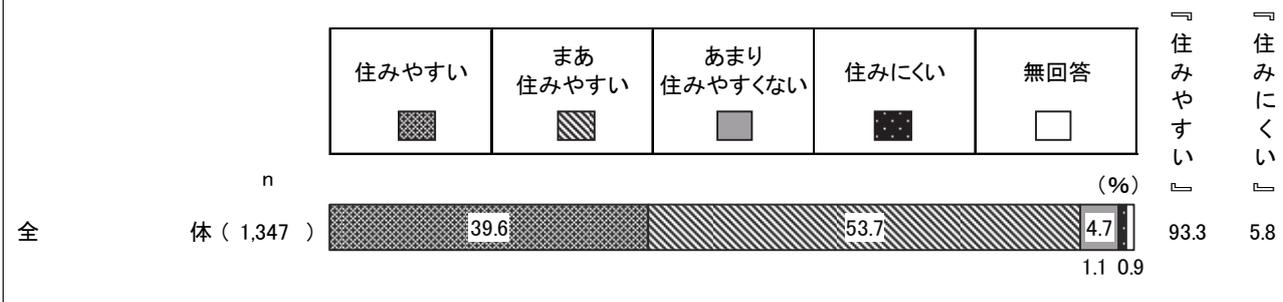
2. 区での住み心地

(1) 住みやすさ

◇『住みやすい』が9割を超える

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図2-1-1

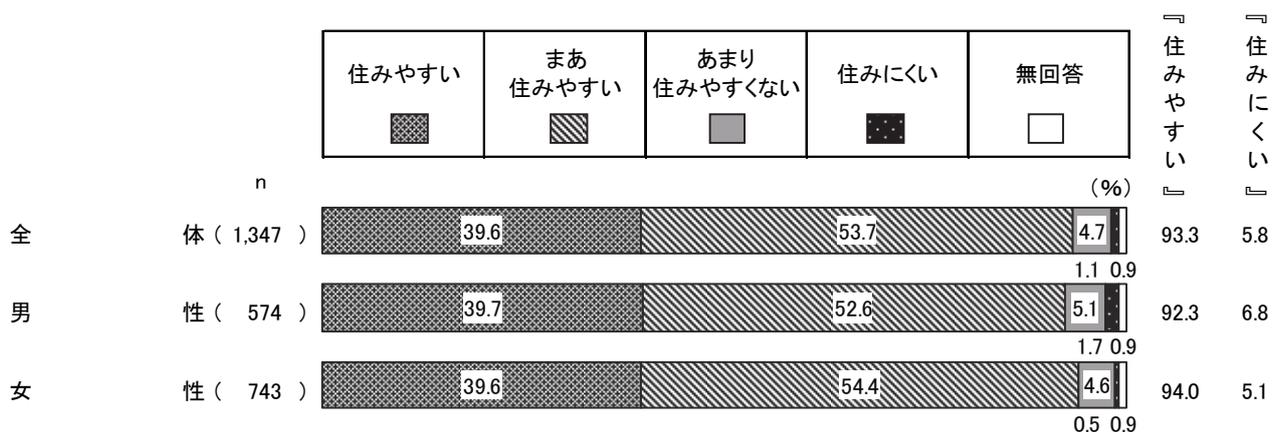


板橋区の住みやすさを聞いたところ、「住みやすい」(39.6%)が約4割となり、これに「まあ住みやすい」(53.7%)を合わせた『住みやすい』(93.3%)が9割を超えています。一方、「あまり住みやすくない」(4.7%)と「住みにくい」(1.1%)を合わせた『住みにくい』(5.8%)は1割未満となっています。(図2-1-1)

① 性別

性別でみると、大きな傾向の違いはみられません。(図2-1-2)

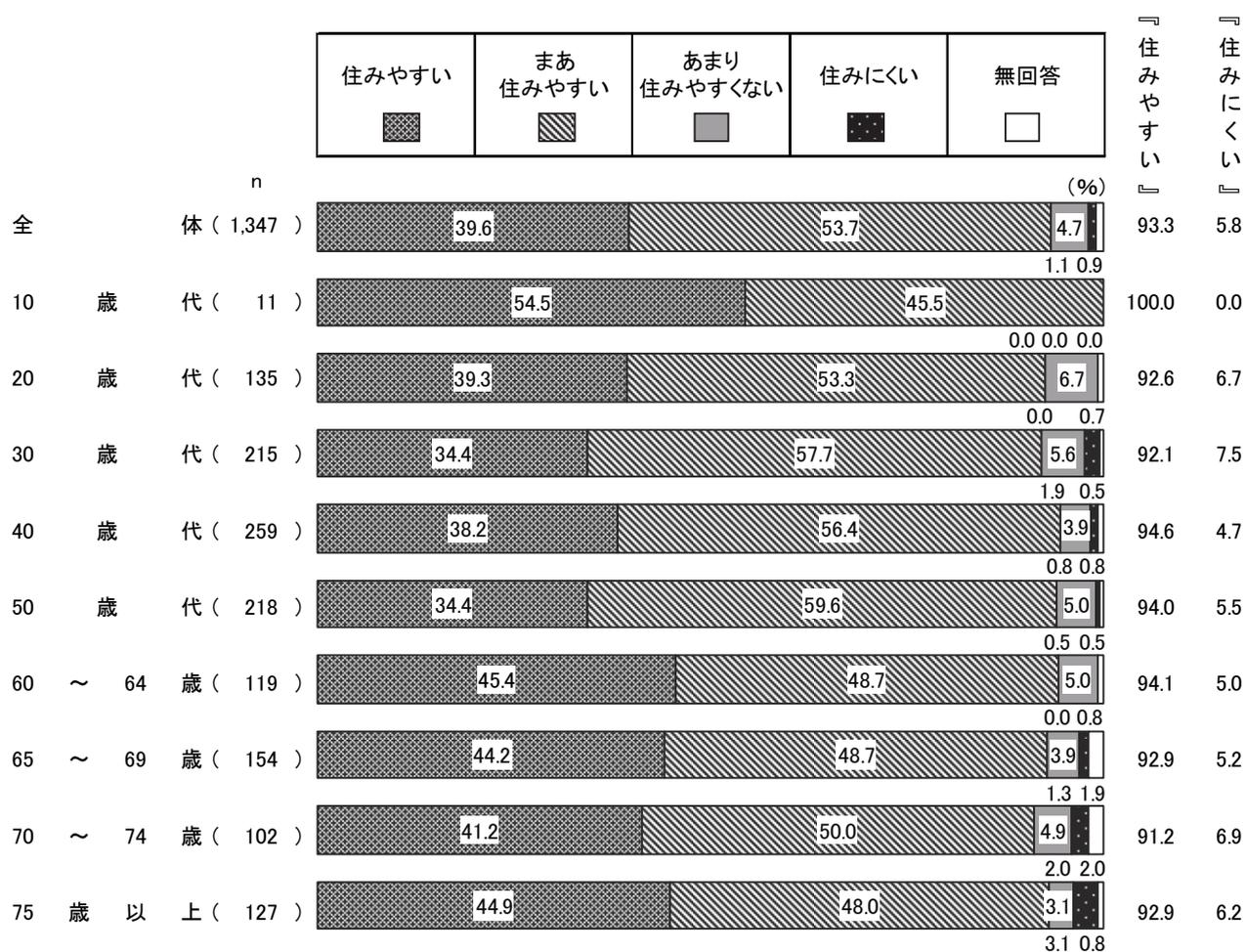
図2-1-2 住みやすさ(性別)



② 年代別

年代別でみると、「住みやすい」は10歳代（54.5%）で5割半ばとなっています。また、『住みやすい』はすべての年代で9割以上となっており、特に40歳代（94.6%）、60～64歳（94.1%）、50歳代（94.0%）では9割半ばとなっています。（図2-1-3）

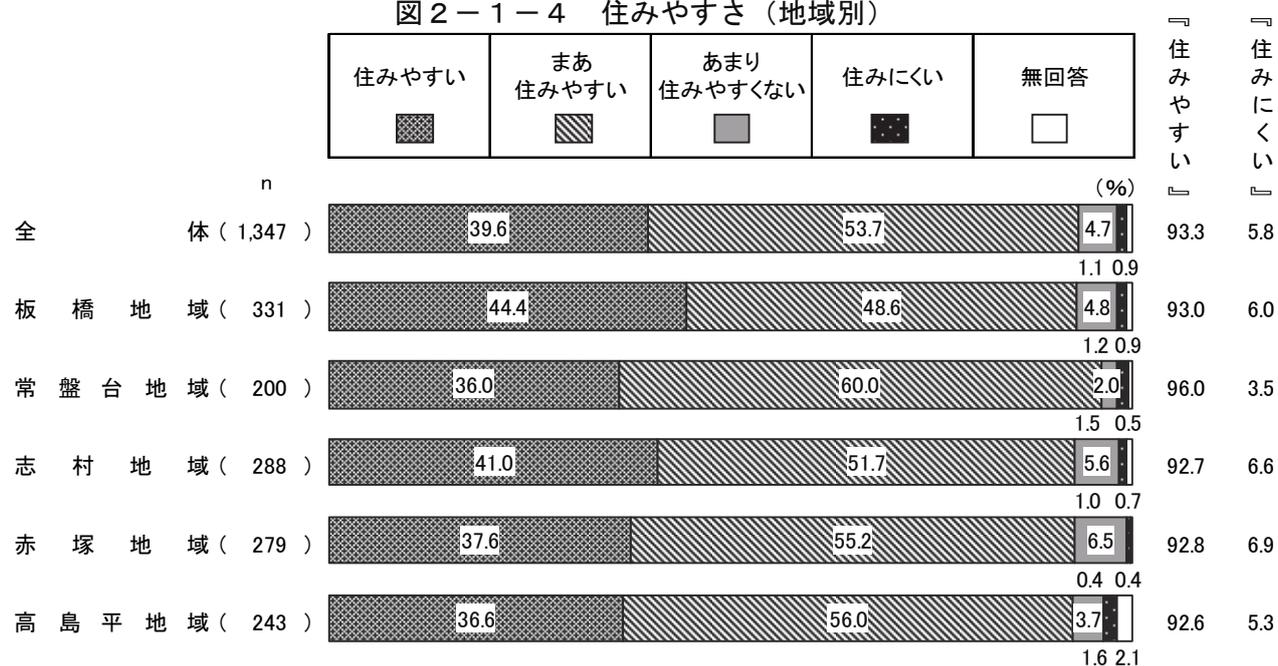
図2-1-3 住みやすさ（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「住みやすい」は板橋地域（44.4%）で4割半ばとなっています。また、『住みやすい』は常盤台地域（96.0%）で9割半ばとなっているほか、その他の地域もすべて9割台となっています。（図2-1-4）

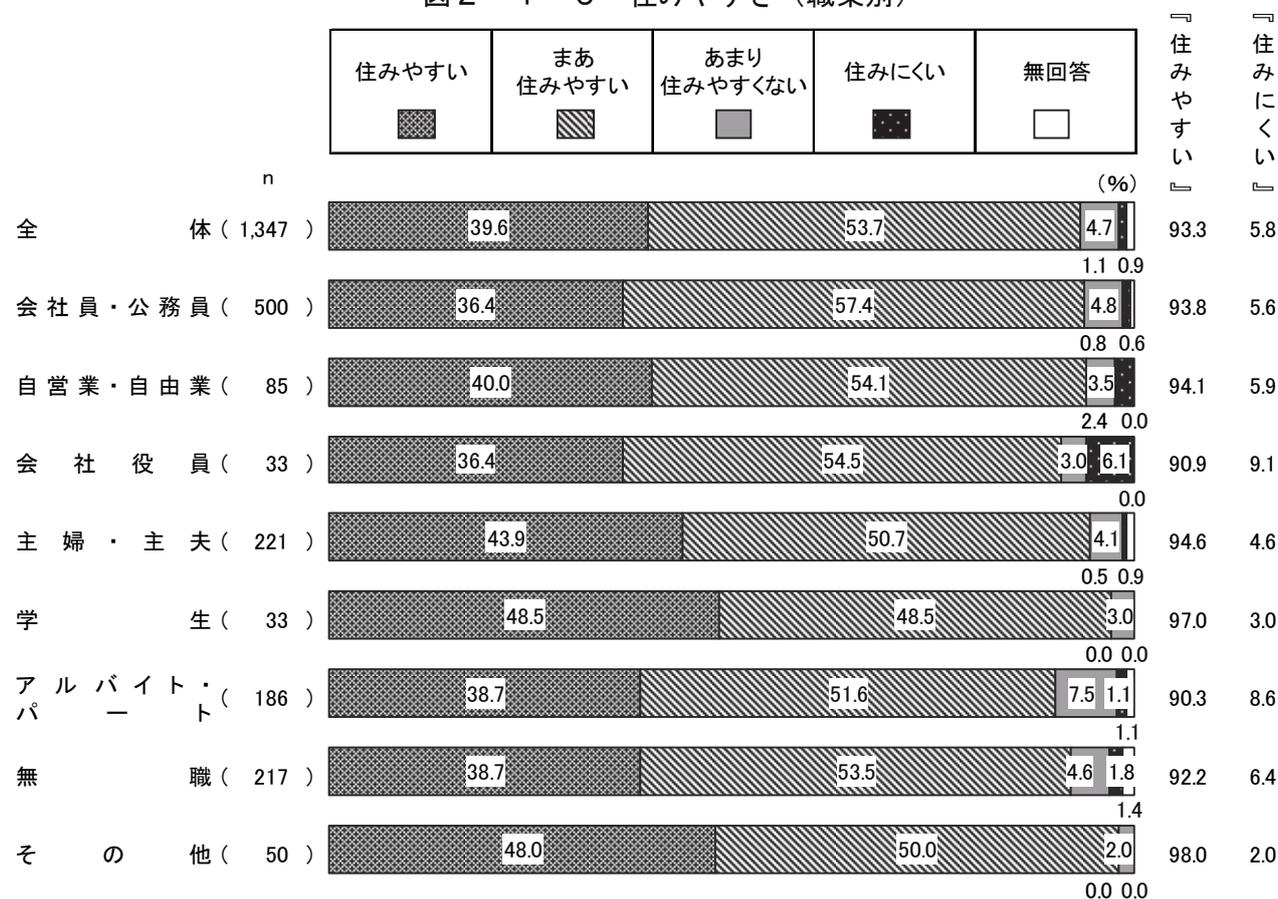
図2-1-4 住みやすさ（地域別）



④ 職業別

職業別でみると、「住みやすい」は学生（48.5%）で5割近くとなっています。『住みやすい』はすべての職業で9割台となっています。（図2-1-5）

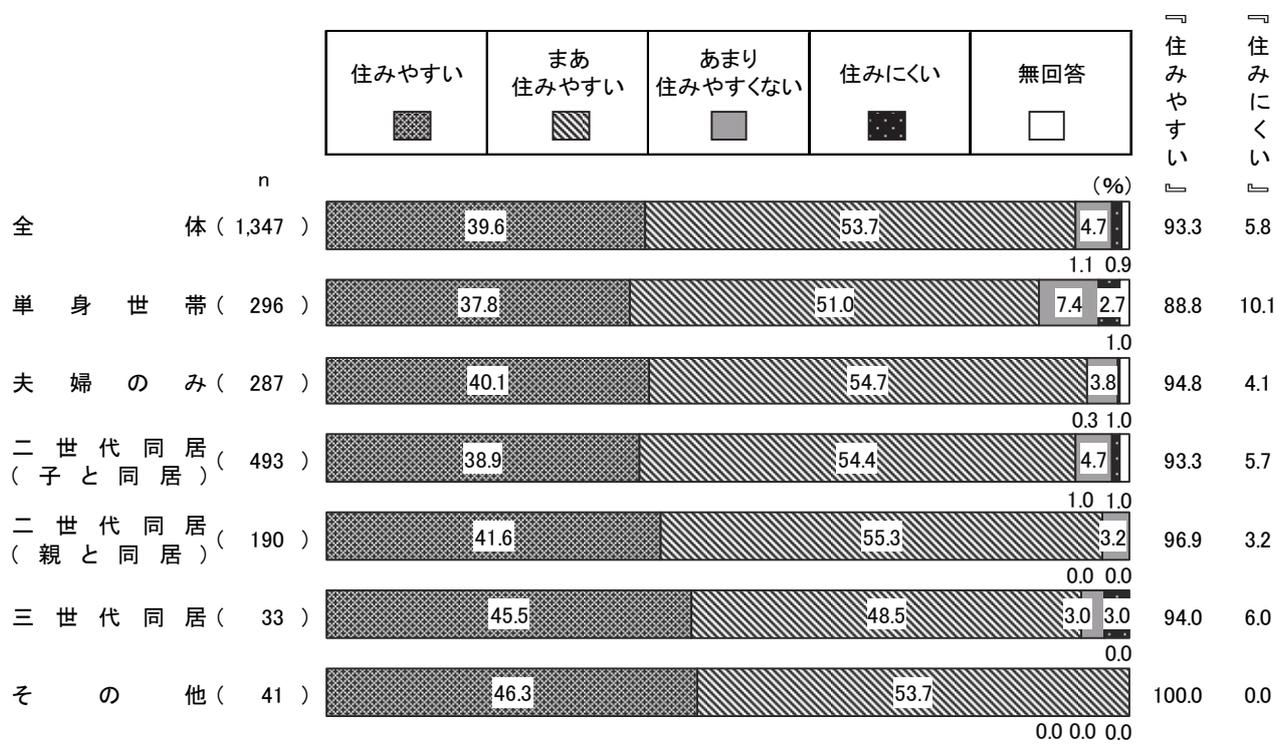
図2-1-5 住みやすさ（職業別）



⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、『住みやすい』は単身世帯を除く、すべての世帯で9割以上となっています。（図2-1-6）

図2-1-6 住みやすさ（世帯構成別）

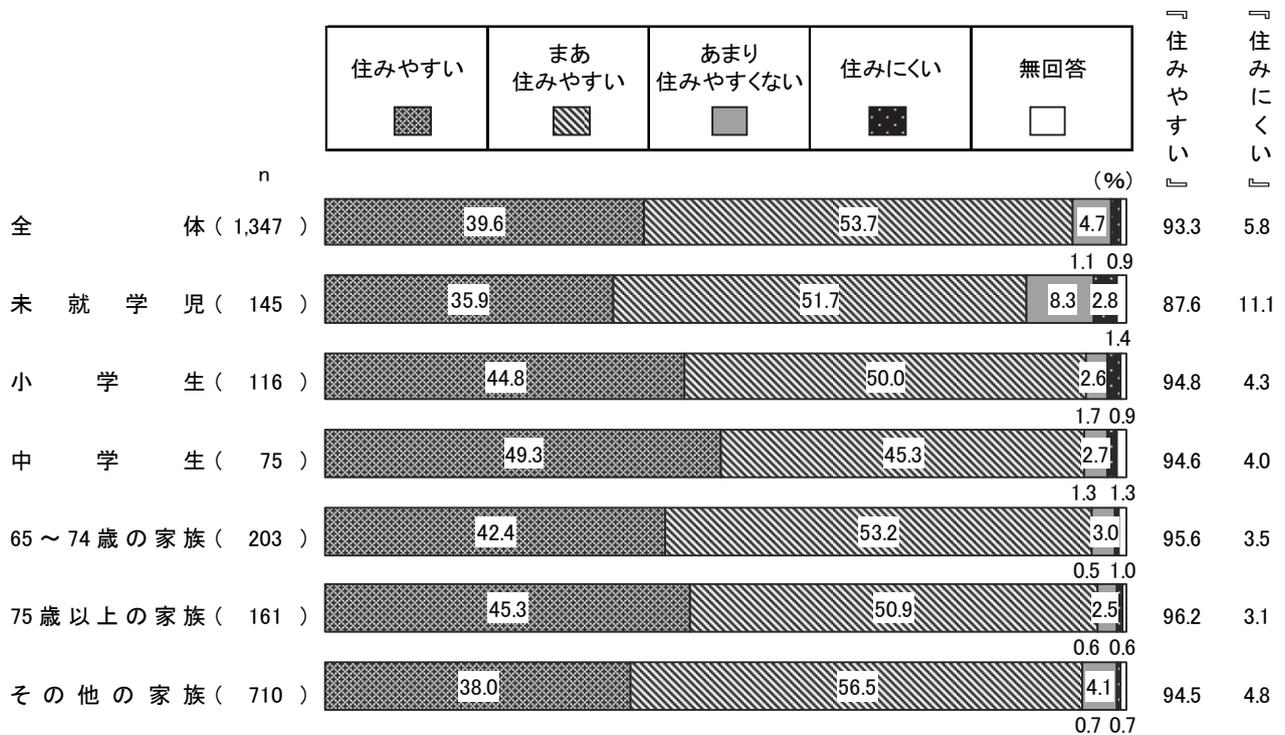


⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、『住みやすい』は未就学児を除く、すべての同居家族で9割半ばとなっています。一方、『住みにくい』は未就学児と同居している方（11.1%）で1割を超えています。

（図2-1-7）

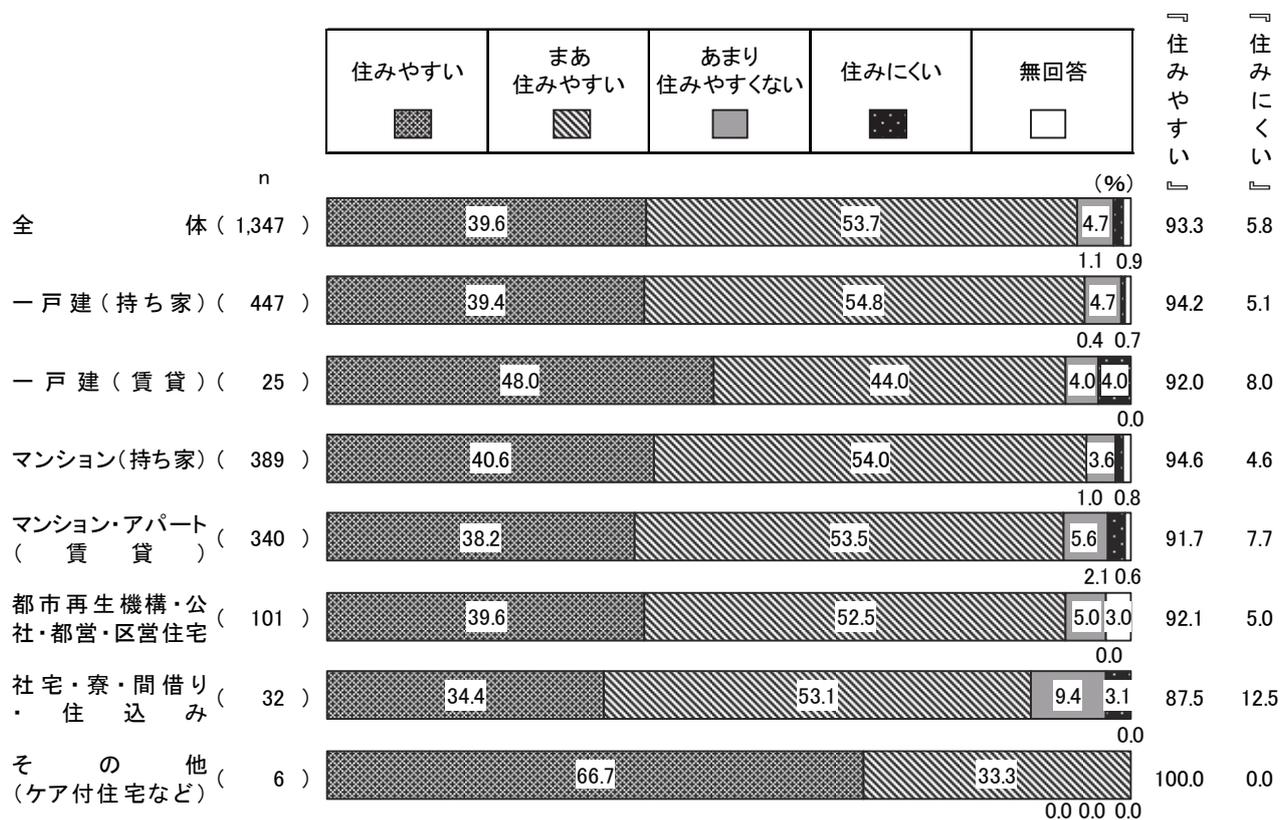
図2-1-7 住みやすさ（同居家族別）



⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、『住みやすい』は社宅・寮・間借り・住込みを除き、すべての住居形態で9割を超えています。一方、『住みにくい』は、社宅・寮・間借り、住込み（12.5%）で1割を超えています。（図2-1-8）

図2-1-8 住みやすさ（住居形態別）

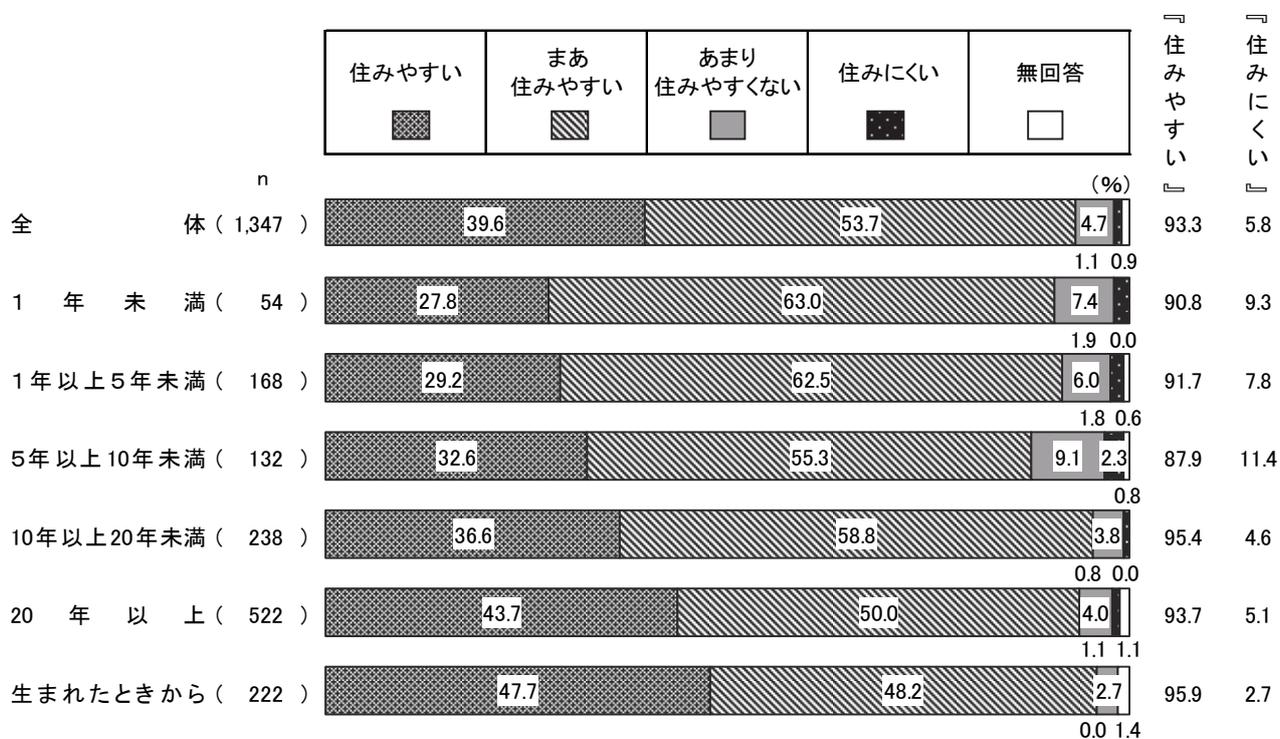


⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、『住みやすい』は5年以上10年未満を除き、すべての居住年数で9割を超えています。一方、『住みにくい』は5年以上10年未満（11.4%）で1割を超えています。

（図2-1-9）

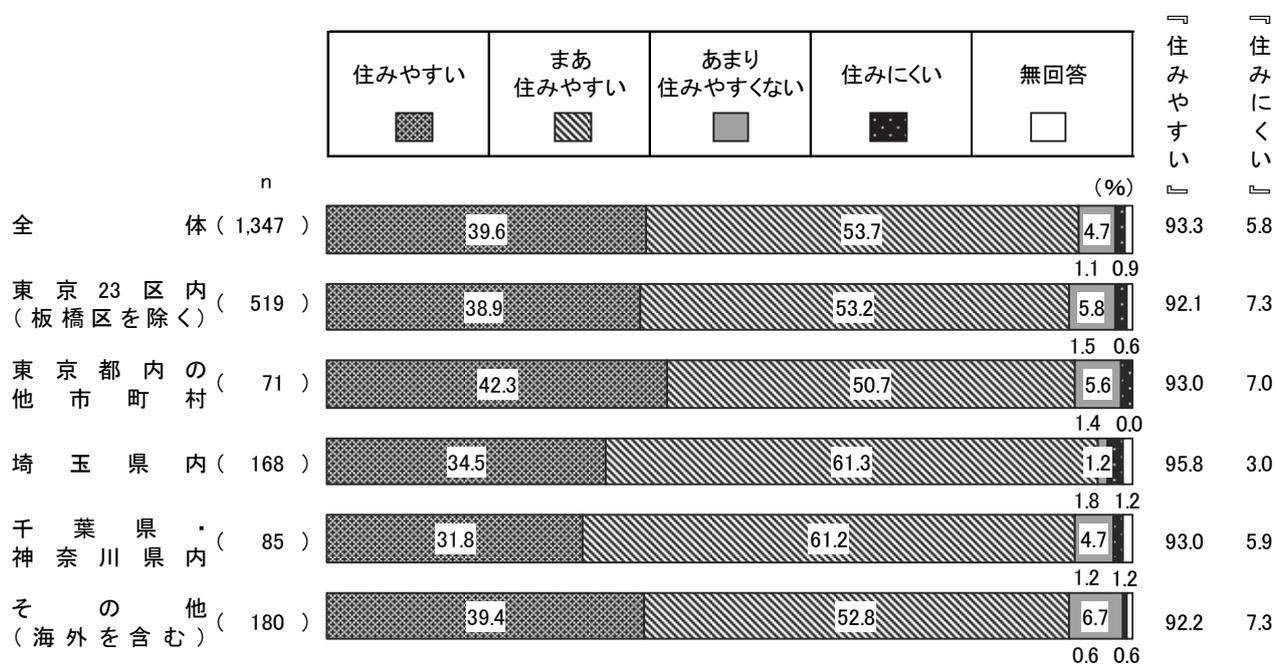
図2-1-9 住みやすさ（居住年数別）



⑨ 直前の居住地地域別

直前の居住地地域別で見ると、「住みやすい」は東京都内の他市町村（42.3%）で4割を超えています。（図2-1-10）

図2-1-10 住みやすさ（直前の居住地地域別）

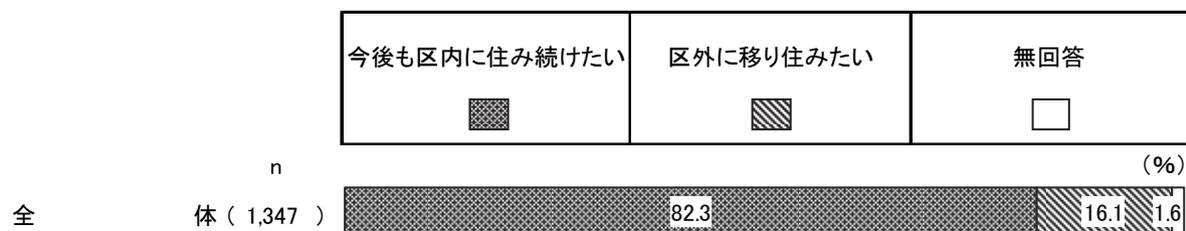


(2) 定住意向

◇「今後も区内に住み続けたい」が8割を超える

問3 あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図2-2-1

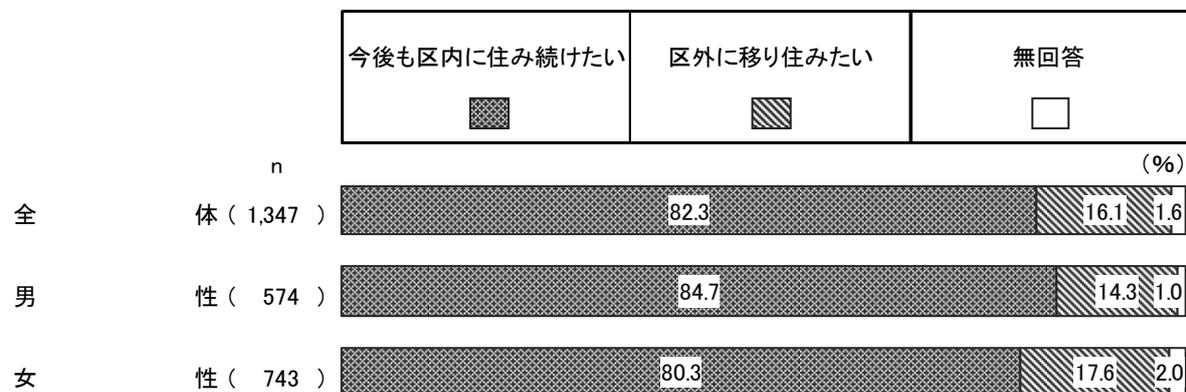


板橋区に住み続けたいか聞いたところ、「今後も区内に住み続けたい」(82.3%)が8割を超え、「区外に移り住みたい」(16.1%)が1割半ばとなっています。(図2-2-1)

① 性別

性別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は男性(84.7%)が女性(80.3%)より4.4ポイント高くなっています。(図2-2-2)

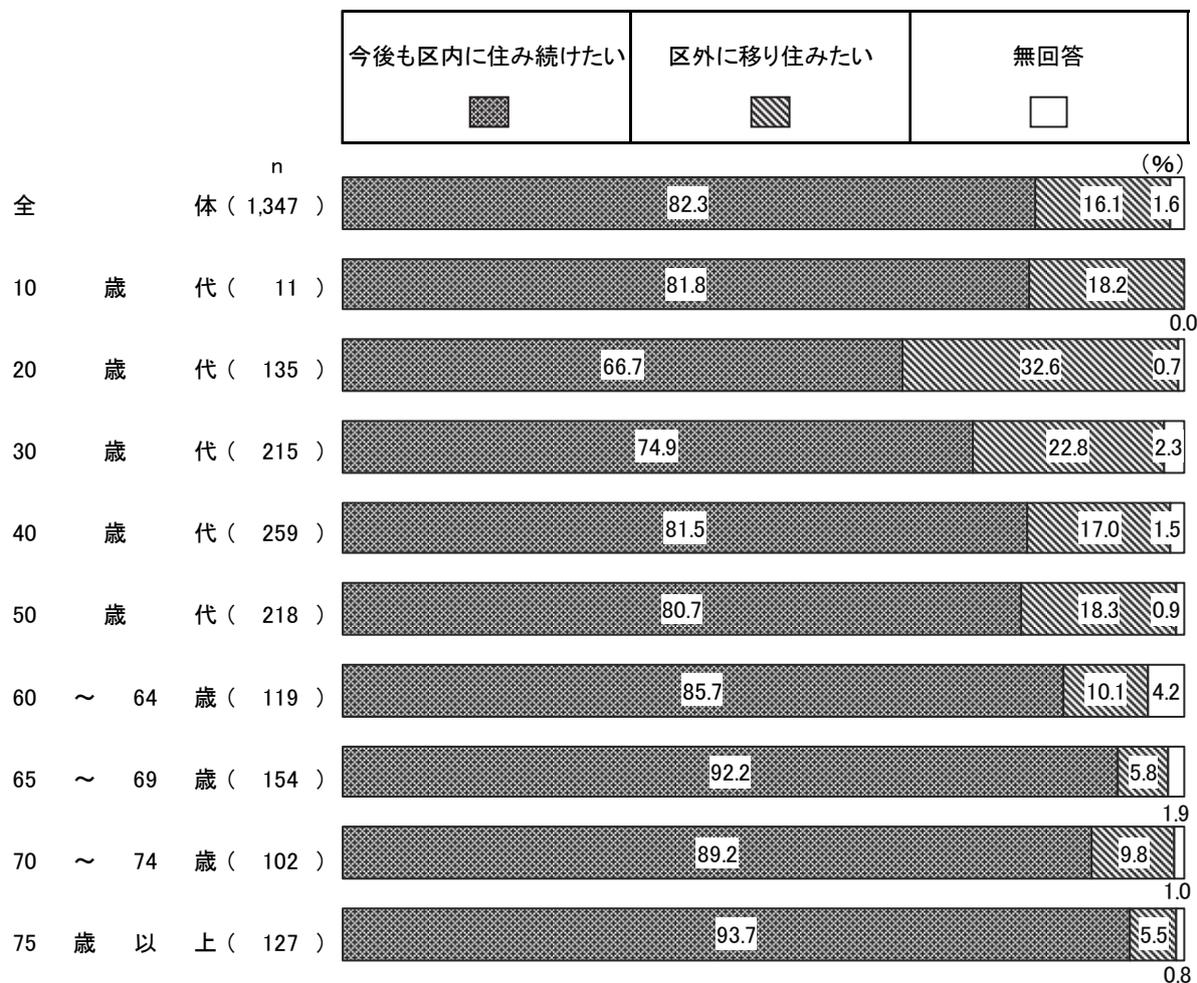
図2-2-2 定住意向(性別)



② 年代別

年代別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は65～69歳（92.2%）と75歳以上（93.7%）で9割を超えています。一方、「区外に移り住みたい」は20歳代（32.6%）で3割を超え、30歳代（22.8%）で2割を超えています。（図2-2-3）

図2-2-3 定住意向（年代別）

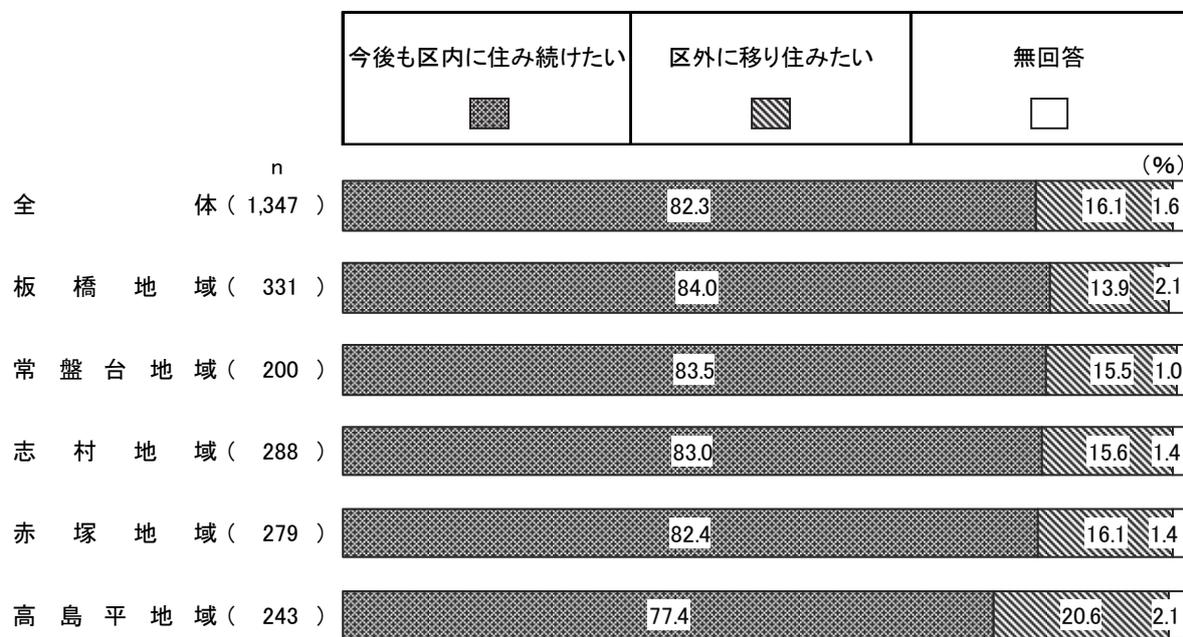


③ 地域別

地域別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は高島平地域以外の地域で8割台となっています。一方、「区外に移り住みたい」は高島平地域（20.6%）で約2割となっています。

（図2-2-4）

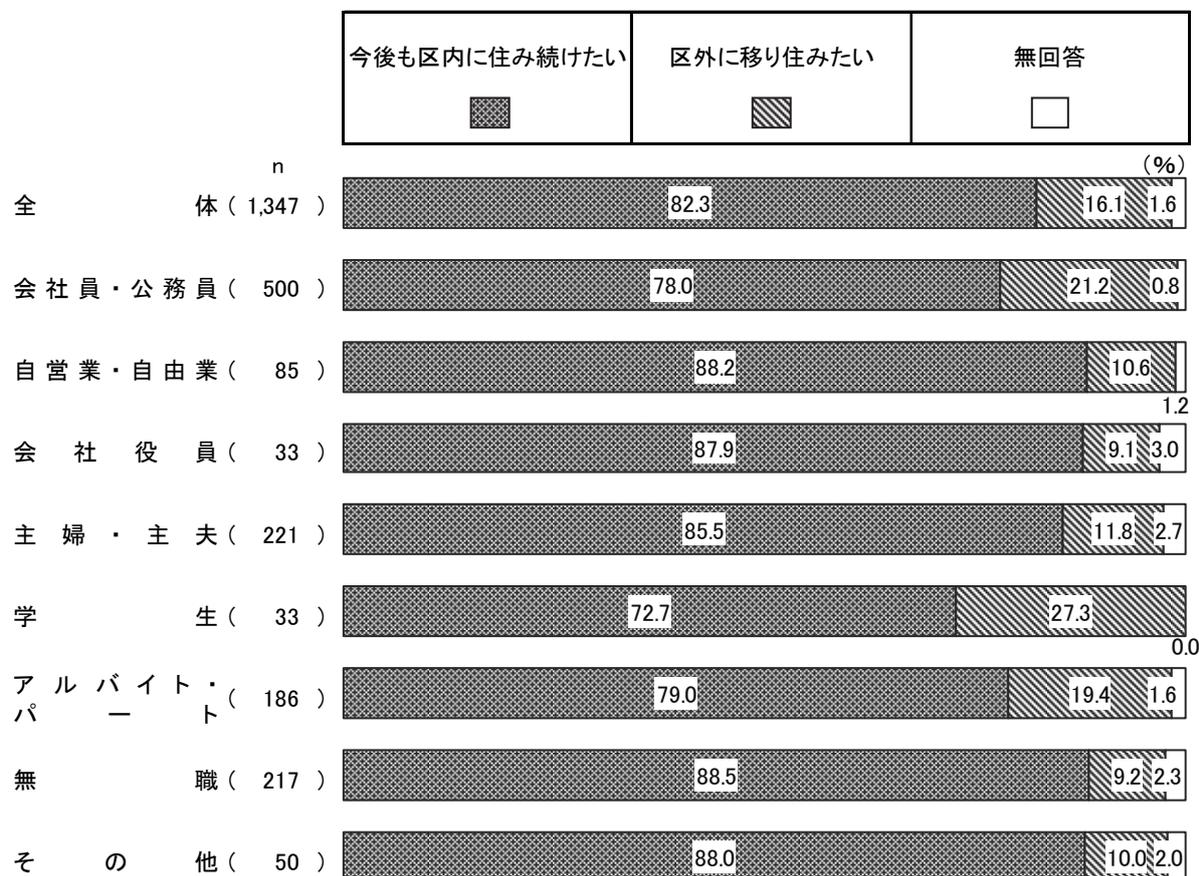
図2-2-4 定住意向（地域別）



④ 職業別

職業別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は無職（88.5%）、自営業・自由業（88.2%）、その他（88.0%）、会社役員（87.9%）で9割近くとなっています。一方、「区外に移り住みたい」は学生（27.3%）で3割近く、会社員・公務員（21.2%）で2割を超えています。（図2-2-5）

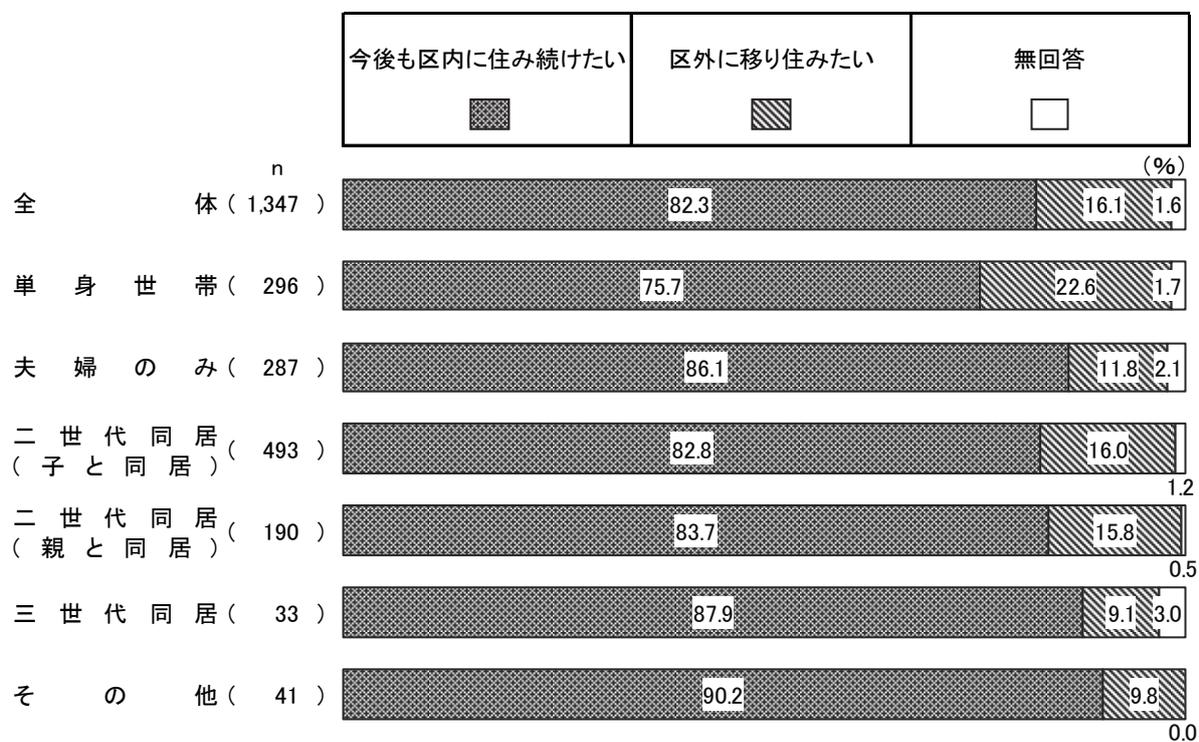
図2-2-5 定住意向（職業別）



⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「今後も区内に住み続けたい」はその他（90.2%）で9割、また、単身世帯を除くその他すべての世帯構成で8割台となっています。一方、「区外に移り住みたい」は単身世帯（22.6%）で2割を超えています。（図2-2-6）

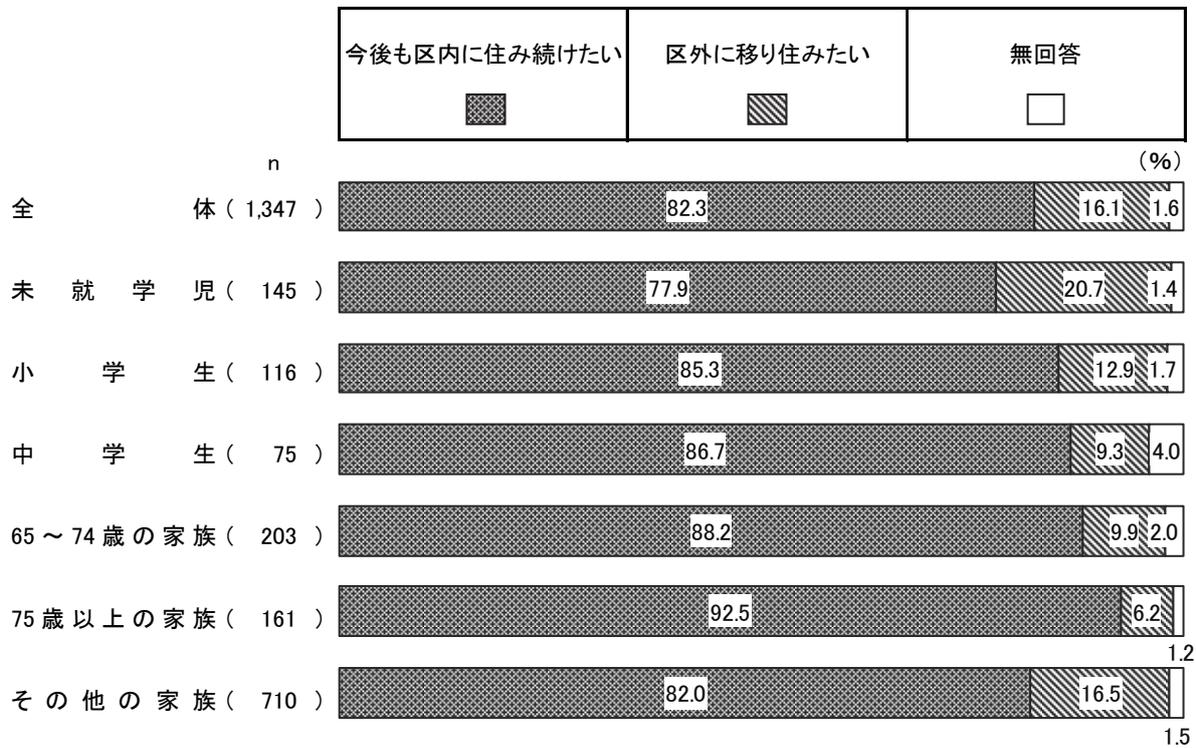
図2-2-6 定住意向（世帯構成別）



⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は75歳以上の家族と同居する方（92.5%）で9割を超えています。一方、「区外に移り住みたい」は未就学児と同居している方（20.7%）で約2割となっています。（図2-2-7）

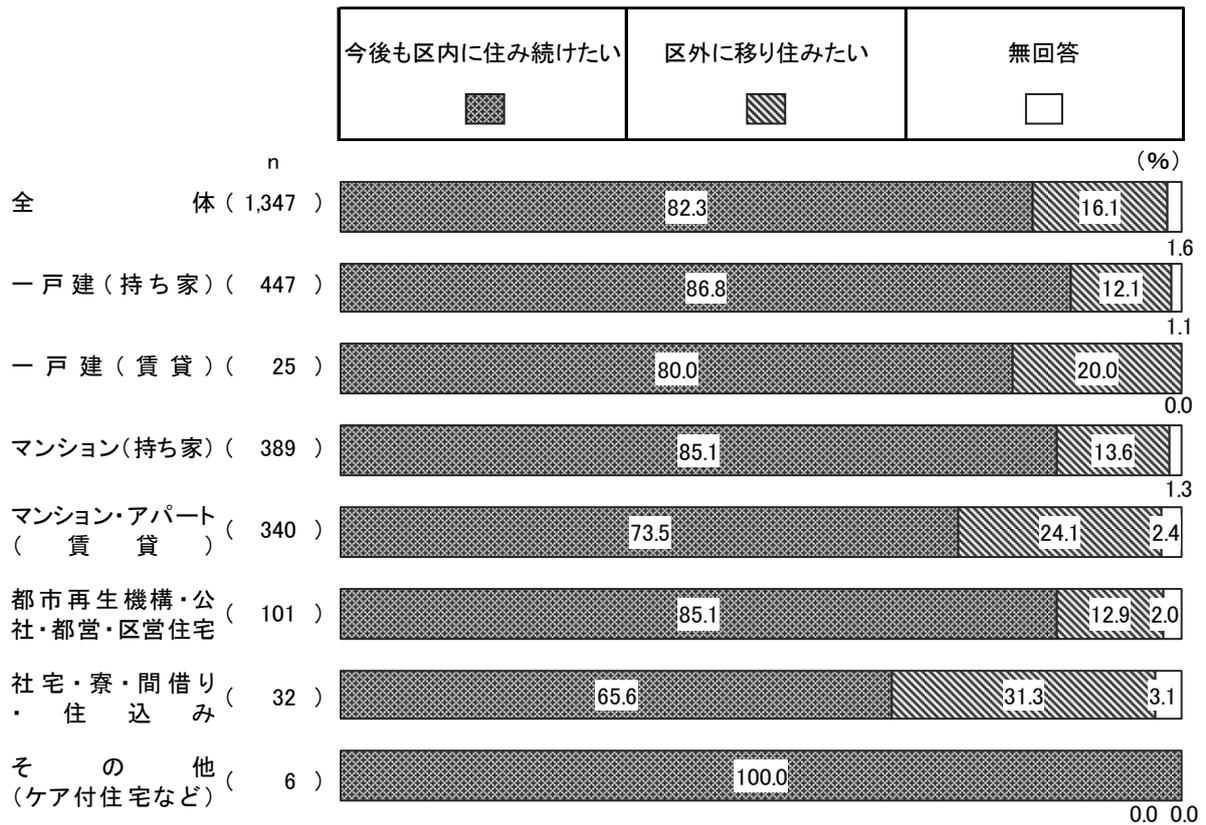
図2-2-7 定住意向（同居家族別）



⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、「今後も区内に住み続けたい」はその他（ケア付住宅など）（100.0%）がすべての方で、一戸建（持ち家）（86.8%）、マンション（持ち家）（85.1%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（85.1%）で8割半ばとなっています。一方、「区外に移り住みたい」は社宅・寮・間借り・住込み（31.3%）で3割を超え、マンション・アパート（賃貸）（24.1%）で2割半ばとなっています。（図2-2-8）

図2-2-8 定住意向（住居形態別）

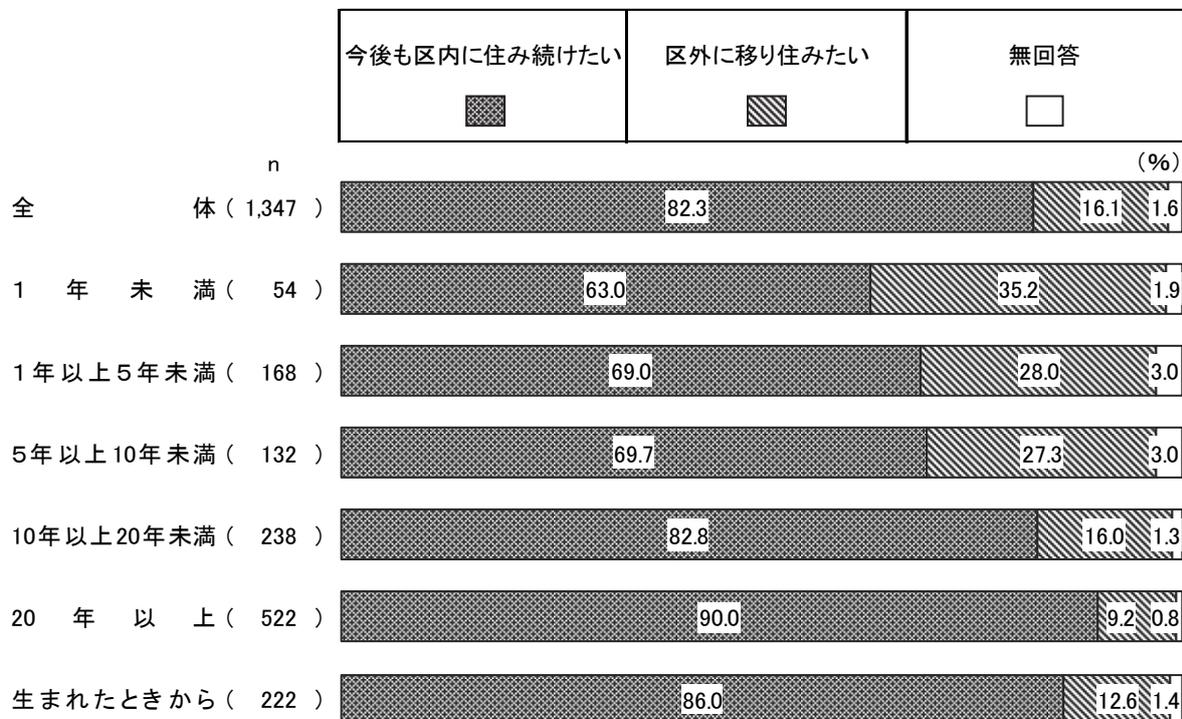


⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は20年以上（90.0%）で9割となっています。一方、「区外に移り住みたい」は1年未満（35.2%）で3割半ばとなっています。

（図2-2-9）

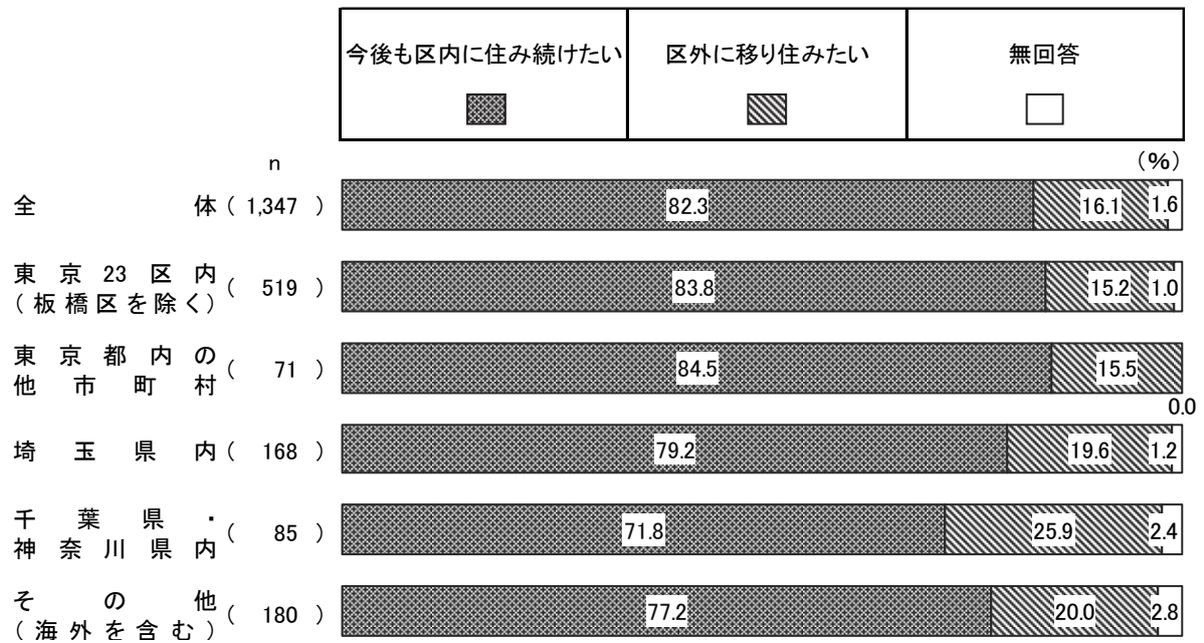
図2-2-9 定住意向（居住年数別）



⑨ 直前の居住地域別

直前の居住地域別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は東京23区内(板橋区を除く)(83.8%)、東京都内の他市町村(84.5%)で8割台となっています。一方、「区外に移り住みたい」は千葉県・神奈川県内(25.9%)で2割半ばとなっています。(図2-2-10)

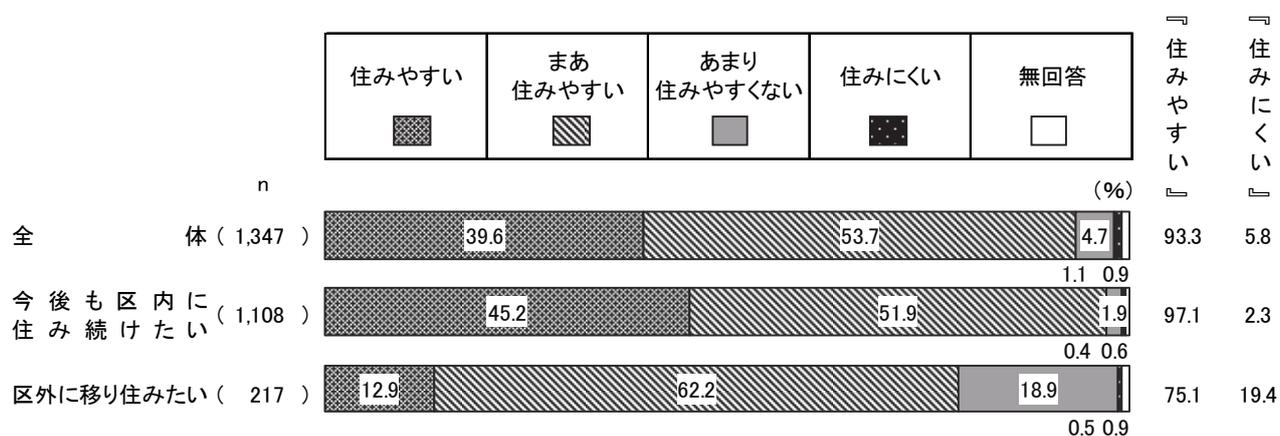
図2-2-10 定住意向(直前の居住地域別)



(2-1) 住みやすさ (問2) と定住意向 (問3)

定住意向と住みやすさとの関係を見ると、「住みやすい」と「まあ住みやすい」をあわせた『住みやすい』は今後も区内に住み続けたいと答えた方 (97.1%) で10割近く、区外に移り住みたいと答えた方 (75.1%) でも7割半ばとなっています。(図2-2-11)

図2-2-11 住みやすさと定住意向



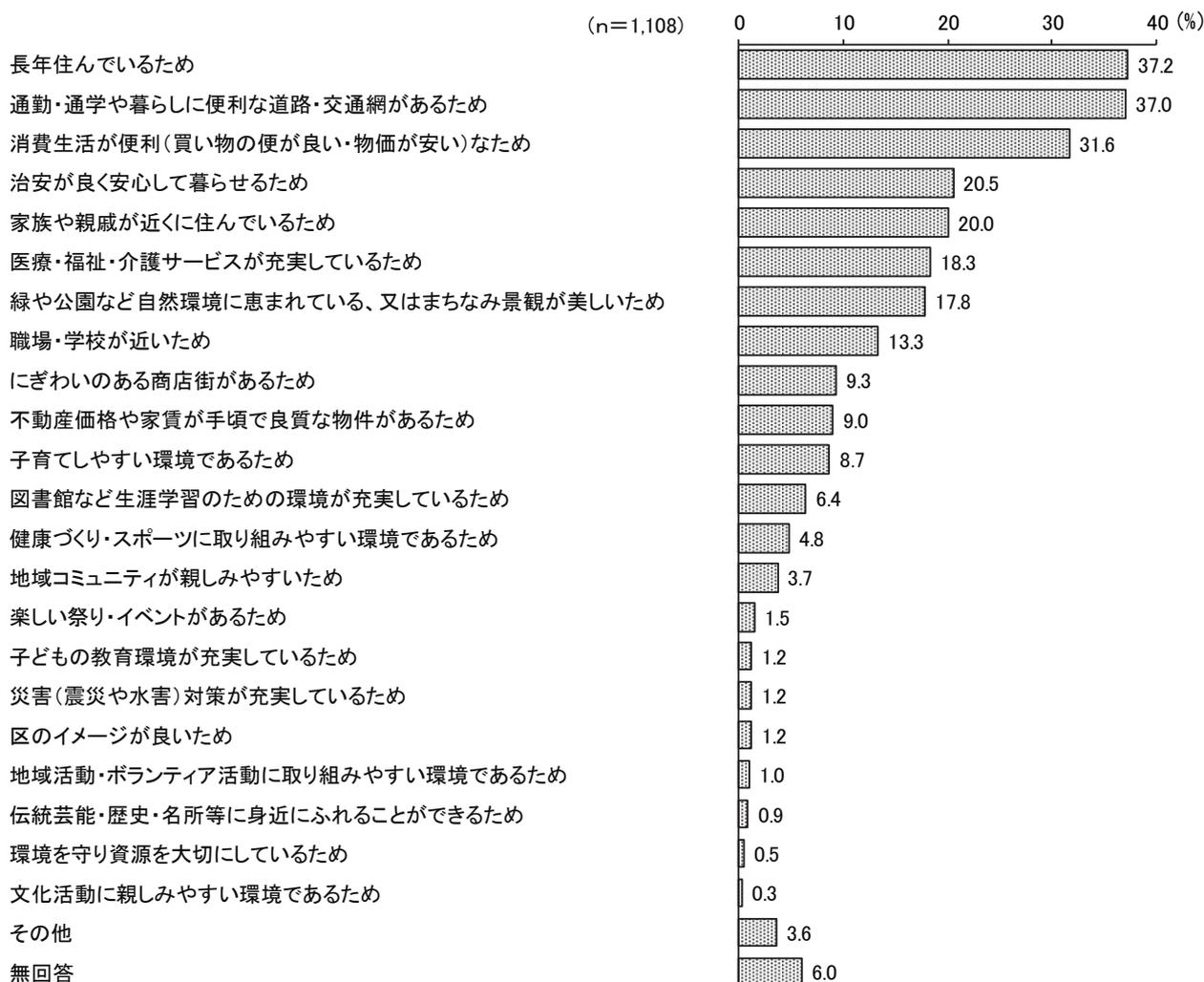
(2-2) 区内に住み続けたい理由

◇「長年住んでいるため」が4割近く

(問3で「今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ)

問3-1 そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図2-2-12



問3で、「今後も区内に住み続けたい」と答えた人(1,108人)にその理由を聞いたところ、「長年住んでいるため」(37.2%)が4割近くで最も高く、次いで「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(37.0%)、「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(31.6%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(20.5%)、「家族や親戚が近くに住んでいるため」(20.0%)などとなっています。(図2-2-12)

① 年代別

年代別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は40歳代（46.4%）、50歳代（44.3%）、30歳代（41.6%）、20歳代（36.7%）の年代で第1位となっており、それ以外の年代では、「長年住んでいるため」が、第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は60～64歳（42.2%）、65～69歳（35.9%）、40歳代（30.8%）、30歳代（28.0%）の年代で第2位となっています。また、「治安が良く安心して暮らせるため」は10歳代（44.4%）で同率の第2位となっています。その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は75歳以上（37.8%）で第2位、65～69歳（26.1%）で第3位、70～74歳（26.4%）、50歳代（20.5%）、60～64歳（18.6%）で第5位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は30歳代（23.6%）で第4位となっています。（表2-2-1）

表2-2-1 区内に住み続けたい理由（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,108	長年住んでいるため 37.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 31.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.0
年 代 別	10 歳 代	9	長年住んでいるため 55.6	治安が良く安心して暮らせるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.4	にぎわいのある商店街があるため 33.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/職場・学校が近い 22.2	
	20 歳 代	90	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.7	長年住んでいるため 35.6	治安が良く安心して暮らせるため 31.1	家族や親戚が近くに住んでいるため 24.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.1
	30 歳 代	161	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.0	長年住んでいるため 24.2	子育てしやすい環境であるため 23.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 22.4
	40 歳 代	211	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 46.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 30.8	長年住んでいるため 27.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 25.6	職場・学校が近い 20.4
	50 歳 代	176	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.3	長年住んでいるため 39.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 22.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 20.5
	60～64 歳	102	長年住んでいるため 47.1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 42.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.3	治安が良く安心して暮らせるため 20.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 18.6
	65～69 歳	142	長年住んでいるため 41.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 35.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.9	
	70～74 歳	91	長年住んでいるため 47.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 33.0	治安が良く安心して暮らせるため 29.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.4
	75 歳 以上	119	長年住んでいるため 47.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 37.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 32.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 20.2

② 地域別

地域別でみると、「長年住んでいるため」は板橋地域を除くすべての地域で第1位なっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は板橋地域(42.1%)で第1位、高島平地域(36.2%)で同率の第1位、常盤台地域(40.1%)、赤塚地域(34.3%)で第2位となっています。「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」は志村地域(36.0%)で同率の第1位となっています。その他の特徴として、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は高島平地域(26.6%)、赤塚地域(26.1%)で第4位となっています。また、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は板橋地域(21.6%)で第4位、高島平地域(23.4%)で第5位となっています。(表2-2-2)

表2-2-2 区内に住み続けたい理由(地域別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,108	長年住んでいるため 37.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 31.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.0
地 域 別	板橋地域	278	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.1	長年住んでいるため 34.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 33.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 21.6	にぎわいのある商店街があるため 21.2
	常盤台地域	167	長年住んでいるため 41.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.1	治安が良く安心して暮らせるため 22.8	家族や親戚が近くに住んでいるため 21.0
	志村地域	239	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/長年住んでいるため 36.0		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.2	治安が良く安心して暮らせるため 24.7	家族や親戚が近くに住んでいるため 23.0
	赤塚地域	230	長年住んでいるため 39.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 30.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	家族や親戚が近くに住んでいるため 23.0
	高島平地域	188	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 36.2		消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.4

③ 職業別

職業別でみると、「長年住んでいるため」は会社役員(58.6%)、無職(46.9%)、その他(45.5%)、自営業・自由業(42.7%)で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は学生(54.2%)、会社員・公務員(45.9%)、アルバイト・パート(40.8%)で第1位となっています。その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」がその他(31.8%)で第2位、無職(31.3%)で第3位、主婦・主夫(24.3%)で第4位、会社役員(24.1%)で第5位となっています。(表2-2-3)

表2-2-3 区内に住み続けたい理由(職業別)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,108	長年住んでいるため 37.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 31.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.0
職 業 別	会社員・公務員	390	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 45.9	長年住んでいるため 31.5	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 27.7	職場・学校が近い ため 22.1	家族や親戚が近くに住んでいるため 21.8
	自営業・自由業	75	長年住んでいるため 42.7	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 34.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3	治安が良く安心して暮らせるため 22.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.3
	会社役員	29	長年住んでいるため 58.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.4	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 37.9	治安が良く安心して暮らせるため 27.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.1
	主婦・主夫	189	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 36.0	長年住んでいるため 32.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.3	家族や親戚が近くに住んでいるため 23.3
	学 生	24	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 54.2	長年住んでいるため 41.7	家族や親戚が近くに住んでいるため 29.2	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 20.8	
	アルバイト・パート	147	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.8	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 34.7	長年住んでいるため 32.7	治安が良く安心して暮らせるため 22.4	職場・学校が近い ため/家族や親戚が近くに住んでいるため 17.7
	無 職	192	長年住んでいるため 46.9	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 35.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 31.3	治安が良く安心して暮らせるため 24.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/家族や親戚が近くに住んでいるため 21.4
	そ の 他	44	長年住んでいるため 45.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 31.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.5	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 22.7	治安が良く安心して暮らせるため 20.5

④ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は二世帯同居(子と同居) (38.5%)、夫婦のみ (37.7%)、単身世帯 (36.6%) で第1位となっています。「長年住んでいるため」は二世帯同居(親と同居) (50.9%)、三世帯同居 (48.3%)、その他 (40.5%) で第1位となっています。その他の特徴として、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は三世帯同居 (27.6%) で第3位、その他 (21.6%) で同率の第3位、夫婦のみ (21.9%) で第5位となっています。また、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」はその他 (21.6%) で同率の第3位、夫婦のみ (25.9%) で第4位、単身世帯 (18.3%) で第5位となっています。(表2-2-4)

表2-2-4 区内に住み続けたい理由 (世帯構成別)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,108	長年住んでいるため 37.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 31.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.0
世帯構成別	単身世帯	224	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.6	長年住んでいるため 35.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 29.9	治安が良く安心して暮らせるため 26.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 18.3
	夫婦のみ	247	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.7	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 37.2	長年住んでいるため 33.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.9
	二世帯同居(子と同居)	408	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.5	長年住んでいるため 34.1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 30.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 22.8	子育てしやすい環境であるため 18.4
	二世帯同居(親と同居)	159	長年住んでいるため 50.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.1	治安が良く安心して暮らせるため 27.7	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚が近くに住んでいるため 25.2	
	三世帯同居	29	長年住んでいるため 48.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 41.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/家族や親戚が近くに住んでいるため 24.1	
	その他	37	長年住んでいるため 40.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 37.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.6	治安が良く安心して暮らせるため 16.2	

⑤ 同居家族別

同居家族別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は小学生と同居している方(44.4%)、中学生と同居している方(38.5%)、その他の家族と同居している方(38.1%)で第1位となっています。「長年住んでいるため」は75歳以上の家族と同居している方(52.3%)、65～74歳の家族と同居している方(42.5%)で第1位となっています。その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は未就学児と同居している方(36.3%)で第1位、小学生と同居している方(37.4%)で第2位、中学生と同居している方(29.2%)で第4位となっています。

(表2-2-5)

表2-2-5 区内に住み続けたい理由(同居家族別)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,108	長年住んでいるため 37.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 31.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.0
同居家族別	未就学児	113	子育てしやすい環境であるため 36.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 32.7	長年住んでいるため 23.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 22.1
	小学生	99	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.4	子育てしやすい環境であるため 37.4	家族や親戚が近くに住んでいるため 34.3	職場・学校が近い ため 24.2	長年住んでいるため 18.2
	中学生	65	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 35.4	消費生活が便利(買い物 の便が良い・物価が安い)なため 32.3	子育てしやすい環境であるため 29.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.6
	65～74歳の家族	179	長年住んでいるため 42.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.8	消費生活が便利(買い物 の便が良い・物価が安い)なため 29.6	治安が良く安心して暮らせるため 27.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.6
	75歳以上の家族	149	長年住んでいるため 52.3	消費生活が便利(買い物 の便が良い・物価が安い)なため 38.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 28.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.8	治安が良く安心して暮らせるため 18.8
	その他の家族	37	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.1	長年住んでいるため 37.8	消費生活が便利(買い物 の便が良い・物価が安い)なため 32.1	家族や親戚が近くに住んでいるため 22.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.9

⑥ 住居形態別

住居形態別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は都市再生機構・公社・都営・区営住宅（39.5%）、マンション（持ち家）（39.3%）、マンション・アパート（賃貸）（37.2%）で第1位となっており、社宅・寮・間借り・住込み（42.9%）は同率の第1位となっています。「長年住んでいるため」は一戸建（持ち家）（50.8%）、その他（ケア付住宅など）（50.0%）で第1位となっています。また、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」はマンション（持ち家）（36.3%）、マンション・アパート（賃貸）（33.2%）で第2位となっています。その他の特徴として、「職場・学校が近いため」は社宅・寮・間借り・住込み（42.9%）、一戸建（賃貸）（30.0%）で同率の第1位、「その他（ケア付住宅など）」（16.7%）で同率の第2位、マンション・アパート（賃貸）（22.0%）で第4位となっています。（表2-2-6）

表2-2-6 区内に住み続けたい理由（住居形態別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,108	長年住んでいるため 37.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 31.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.0
住居形態別	一戸建（持ち家）	388	長年住んでいるため 50.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.1	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.9	治安が良く安心して暮らせるため 19.8
	一戸建（賃貸）	20	職場・学校が近いため/家族や親戚が近くに住んでいるため 30.0		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため/長年住んでいるため 25.0		
	マンション（持ち家）	331	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.3	長年住んでいるため 29.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 22.7	家族や親戚が近くに住んでいるため 21.1
	マンション・アパート（賃貸）	250	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.2	長年住んでいるため 28.4	職場・学校が近い ため 22.0	治安が良く安心して暮らせるため 21.2
	都市再生機構・公社・都営・区営住宅	86	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.5	長年住んでいるため 38.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.3
	社宅・寮・間借り・住込み	21	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/職場・学校が近い ため 42.9		消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 28.6	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.0	
	その他（ケア付住宅など）	6	長年住んでいるため 50.0	子育てしやすい環境であるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため/地域コミュニティが親しみやすいため/文化活動に親しみやすい環境であるため/職場・学校が近い ため 他※ 16.7			

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑦ 居住年数別

居住年数別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は20年未満のすべての居住年数で第1位となっており、「長年住んでいるため」は生まれたときから（66.5%）と20年以上（48.3%）で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は1年未満と生まれたときからを除くすべての居住年数で第2位となっています。また、「治安が良く安心して暮らせるため」は1年未満（29.4%）、5年以上10年未満（20.7%）で同率の第3位、10年以上20年未満（20.3%）、生まれたときから（18.3%）で第5位となっています。その他の特徴として、「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」は1年未満（38.2%）で同率の第1位、1年以上5年未満（21.6%）で第4位となっています。（表2-2-7）

表2-2-7 区内に住み続けたい理由（居住年数別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,108	長年住んでいるため 37.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 31.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.0
居住年数別	1年未満	34	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.2		にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため 29.4		職場・学校が近い ため 26.5
	1年以上5年未満	116	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 48.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.2	職場・学校が近い ため 23.3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.2
	5年以上10年未満	92	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.7	子育てしやすい環境であるため/治安が良く安心して暮らせるため 20.7		にぎわいのある商店街があるため/家族や親戚が近くに住んでいるため 16.3
	10年以上20年未満	197	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.0	家族や親戚が近くに住んでいるため/長年住んでいるため 23.4		治安が良く安心して暮らせるため 20.3
	20年以上	470	長年住んでいるため 48.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 35.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.0
	生まれたときから	191	長年住んでいるため 66.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 30.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 22.5	治安が良く安心して暮らせるため 18.3

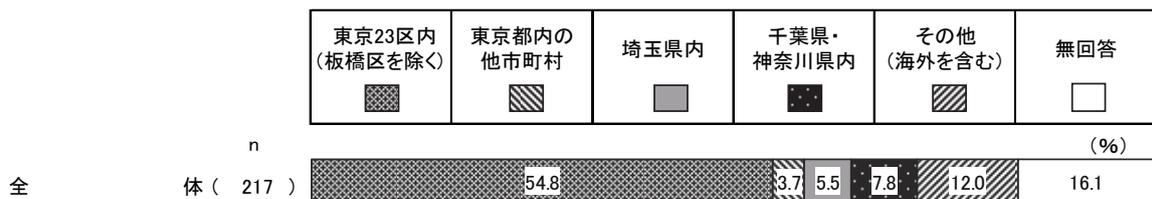
(2-3) 区外に移り住むとしたら住みたい地域

◇「東京23区内（板橋区を除く）」が5割半ば

(問3で「区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

問3-2 板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図2-2-13

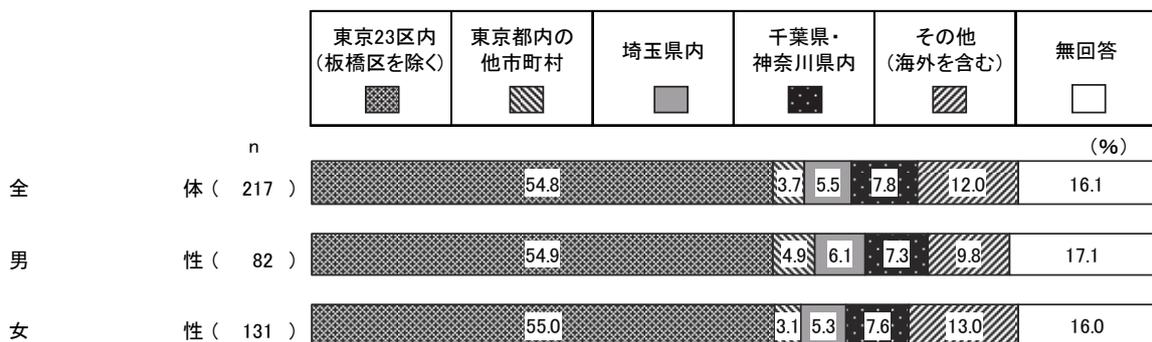


問3で、「区外に移り住みたい」と答えた人(217人)に、区外に移り住むとしたら住みたい地域を聞いたところ、「東京23区内(板橋区を除く)」(54.8%)が5割半ばで最も高くなっています。「千葉県・神奈川県内」(7.8%)、「埼玉県内」(5.5%)、「東京都内の他市町村」(3.7%)、はいずれも1割未満となっています。(図2-2-13)

① 性別

性別でみると、大きな傾向の違いはみられません。(図2-2-14)

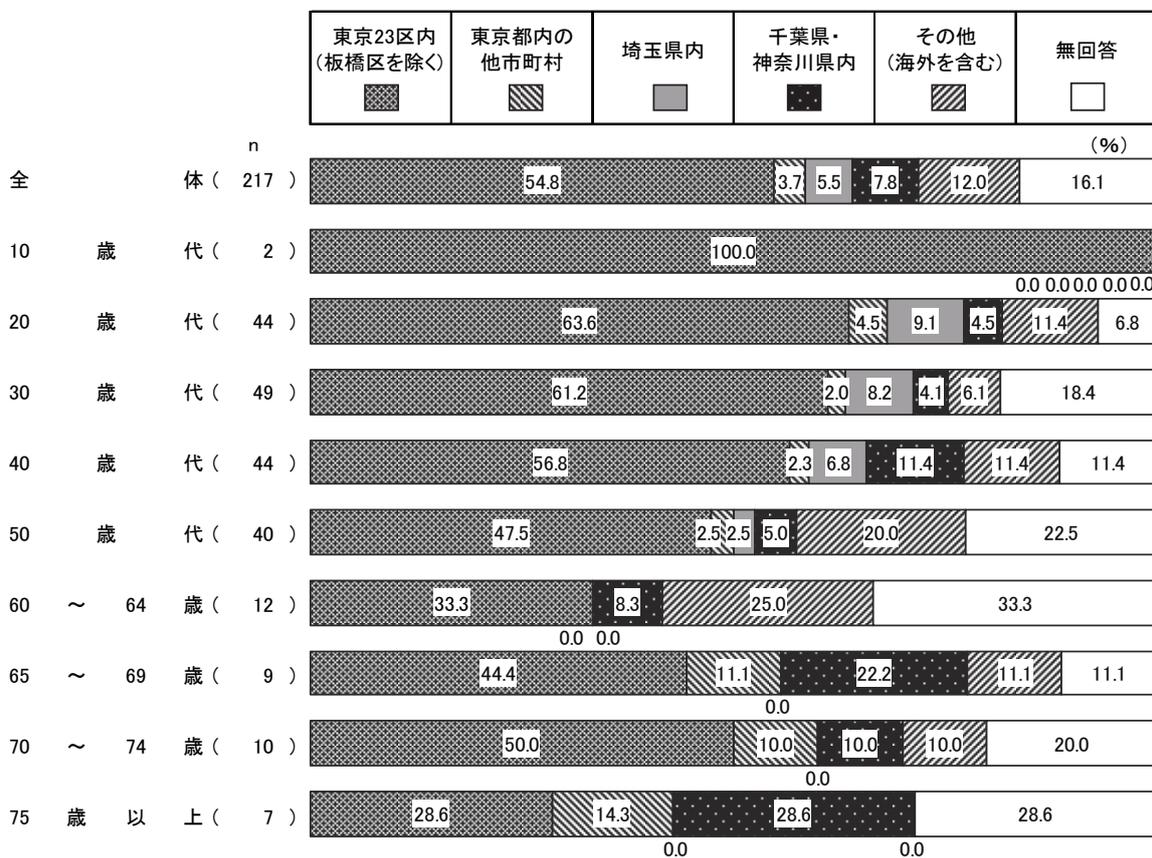
図2-2-14 区外に移り住むとしたら住みたい地域(性別)



② 年代別

年代別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は10歳代（100%）で10割となっており、20歳代（63.6%）、30歳代（61.2%）で6割を超えています。「千葉県・神奈川県内」は75歳以上（28.6%）で3割近くとなっています。（図2-2-15）

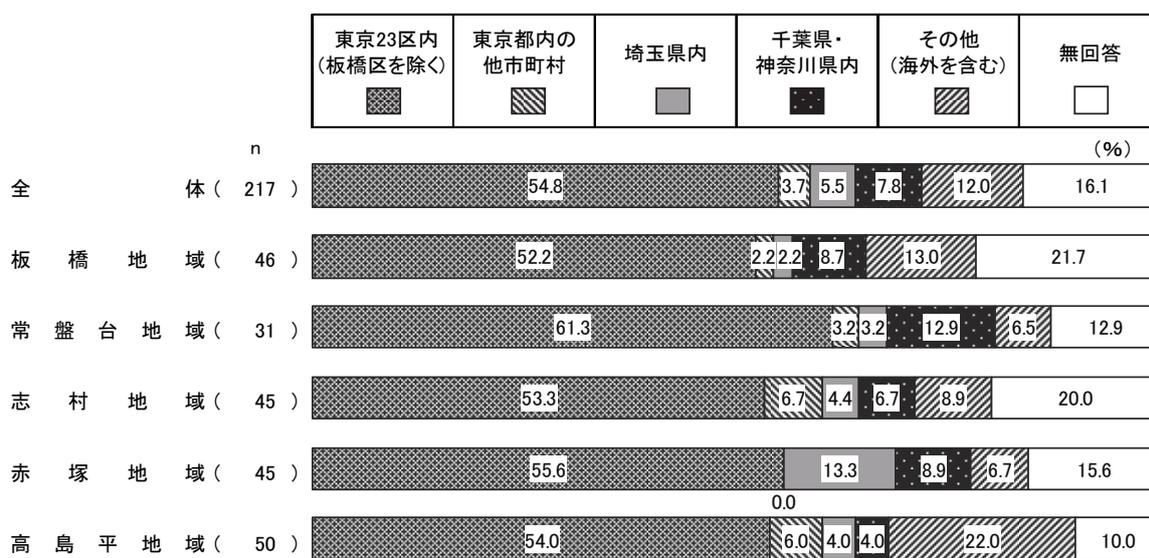
図2-2-15 区外に移り住むとしたら住みたい地域（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は常盤台地域（61.3%）で6割を超え、それ以外の地域では5割台となっています。「埼玉県内」は赤塚地域（13.3%）、「千葉県・神奈川県内」は常盤台地域（12.9%）でそれぞれ1割を超えています。また、「その他（海外を含む）」は高島平地域（22.0%）で2割を超えています。（図2-2-16）

図2-2-16 区外に移り住むとしたら住みたい地域（地域別）

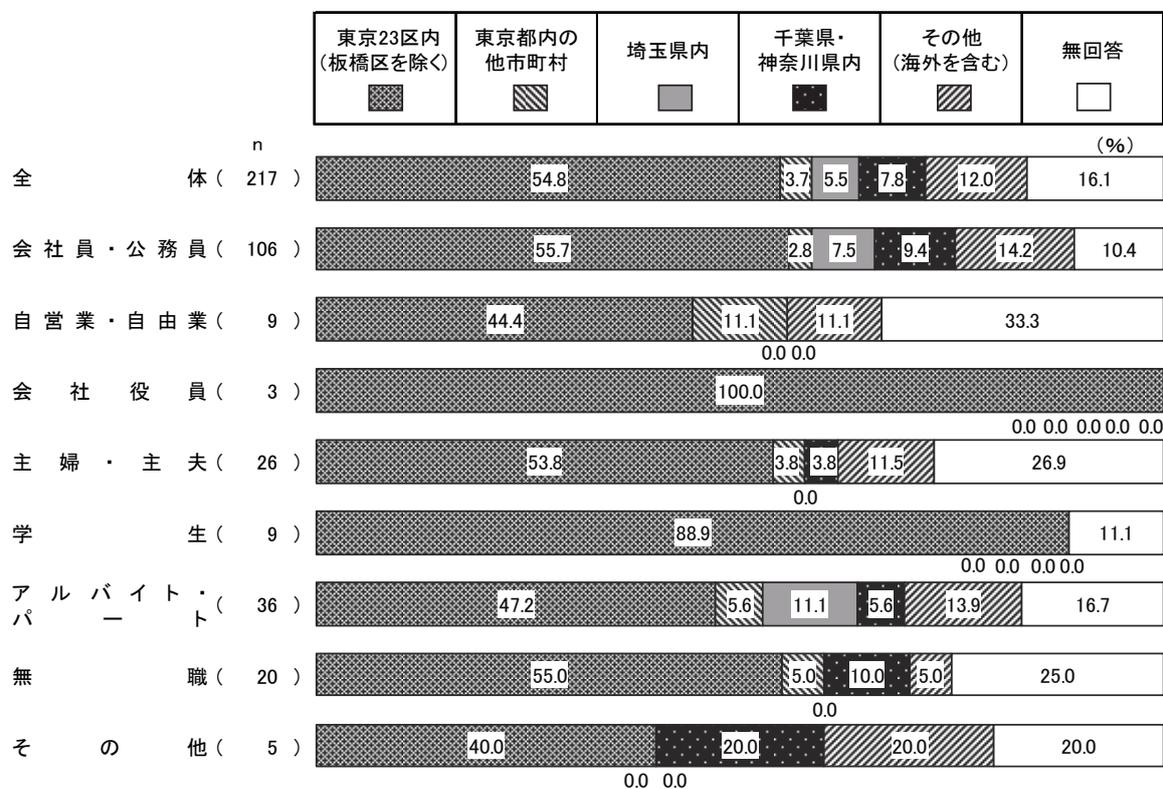


④ 職業別

職業別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は会社役員（100.0%）で10割となっています。

（図2-2-17）

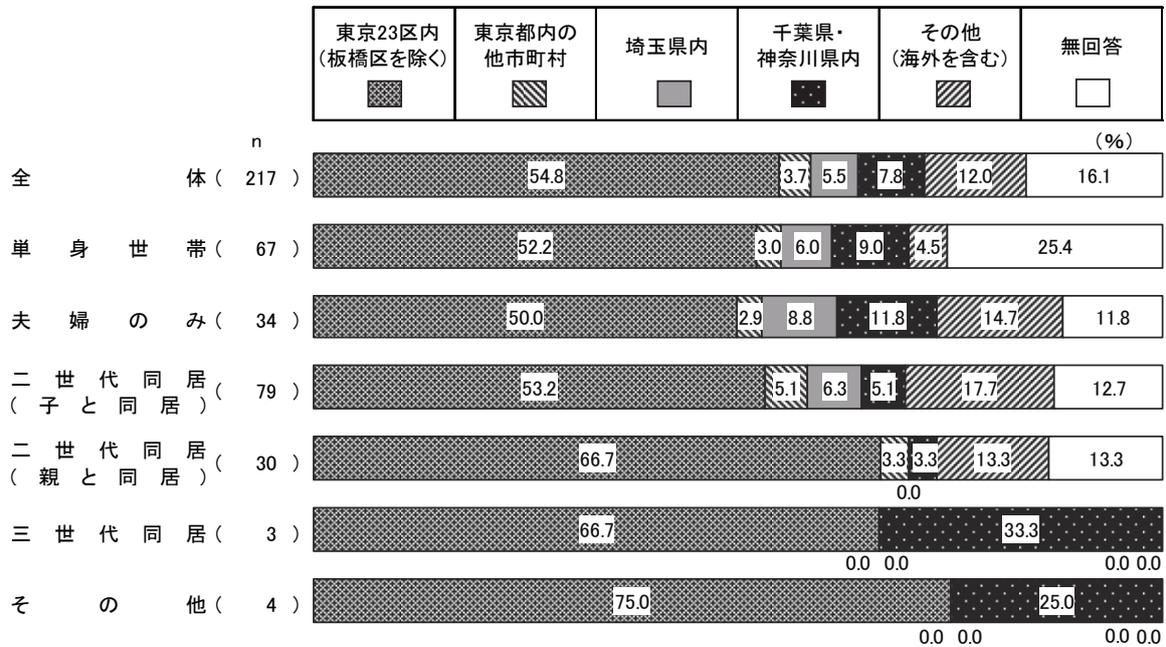
図2-2-17 区外に移り住むとしたら住みたい地域（職業別）



⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」はその他（75.0%）で7割半ば、二世帯同居（親と同居）（66.7%）と三世帯同居（66.7%）で6割半ばとなっています。「その他（海外を含む）」は二世帯同居（子と同居）（17.7%）で2割近くとなっています。（図2-2-18）

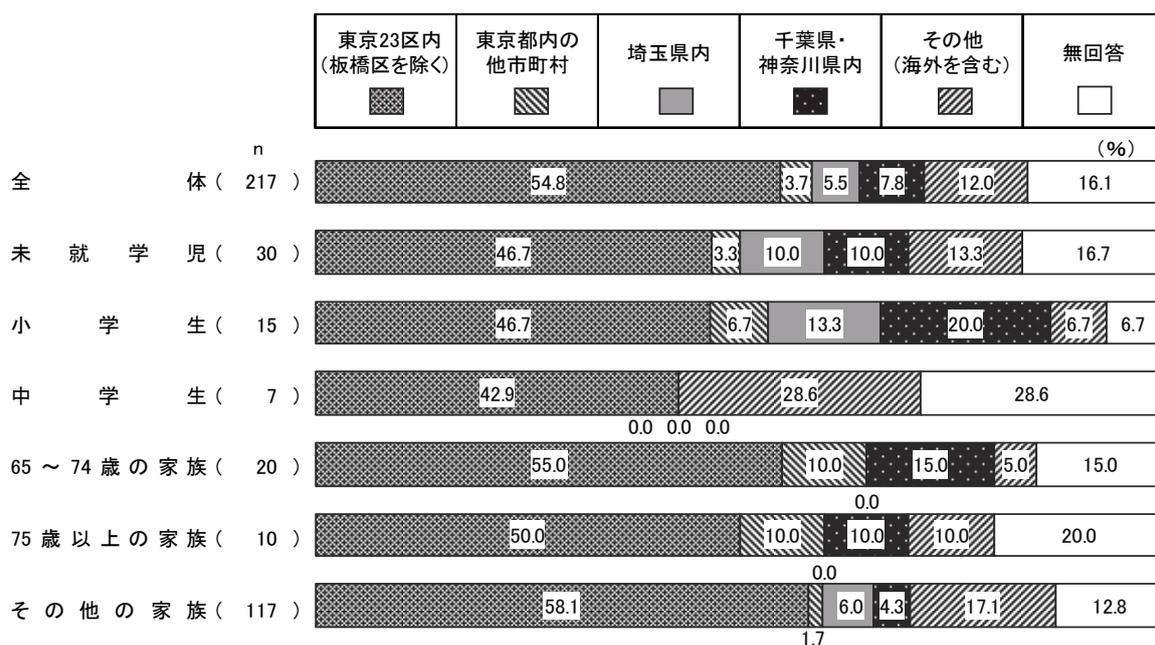
（図2-2-18） 区外に移り住むとしたら住みたい地域（世帯構成別）



⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、「東京23区内(板橋区を除く)」はその他の家族と同居している方(58.1%)で6割近くとなっている一方、未就学児と同居している方(46.7%)、小学生と同居している方(46.7%)、中学生と同居している方(42.9%)で4割台となっています。「その他(海外を含む)」は中学生と同居している方(28.6%)で3割近くとなっています。「千葉県・神奈川県内」は小学生と同居している方(20.0%)で2割となっています。「埼玉県内」は小学生と同居している方(13.3%)で1割を超えています。(図2-2-19)

図2-2-19 区外に移り住むとしたら住みたい地域(同居家族別)

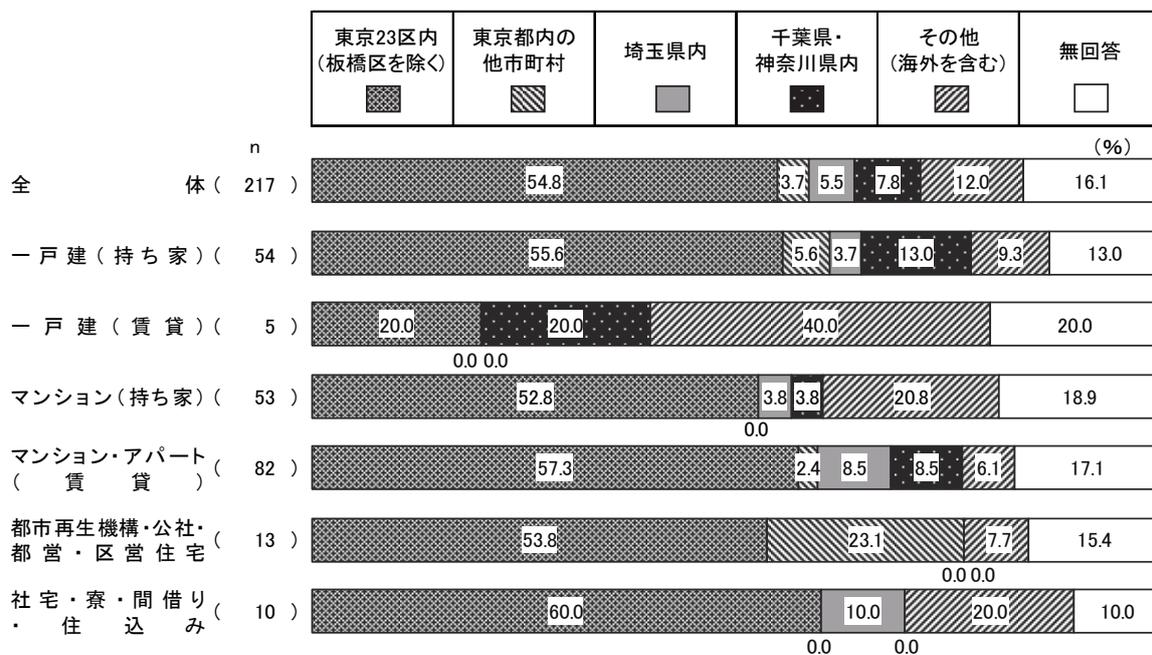


⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は社宅・寮・間借り・住込み（60.0%）で6割となっています。「その他（海外を含む）」は一戸建（賃貸）（40.0%）で4割、マンション（持ち家）（20.8%）、社宅・寮・間借り・住込み（20.0%）で2割となっています。

（図2-2-20）

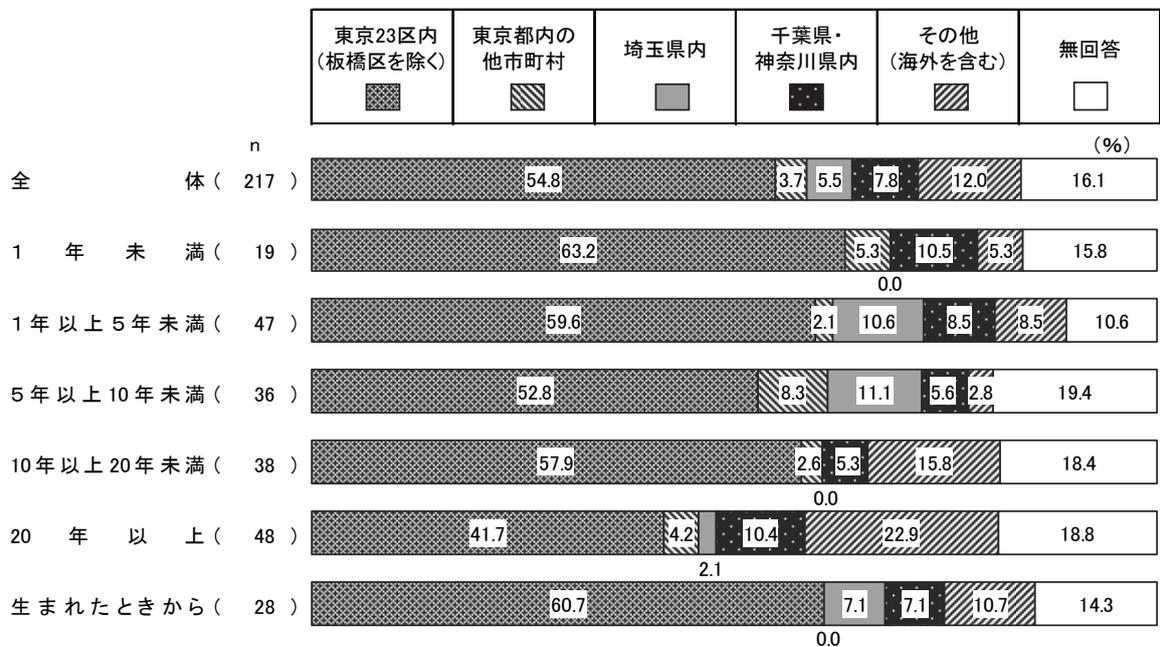
図2-2-20 区外に移り住むとしたら住みたい地域（住居形態別）



⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は1年未満（63.2%）、生まれたときから（60.7%）、1年以上5年未満（59.6%）で6割前後となっています。「その他（海外を含む）」は20年以上（22.9%）で2割を超えています。（図2-2-21）

図2-2-21 区外に移り住むとしたら住みたい地域（居住年数別）



(2-4) 区外に移り住みたい理由

◇板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」が約3割

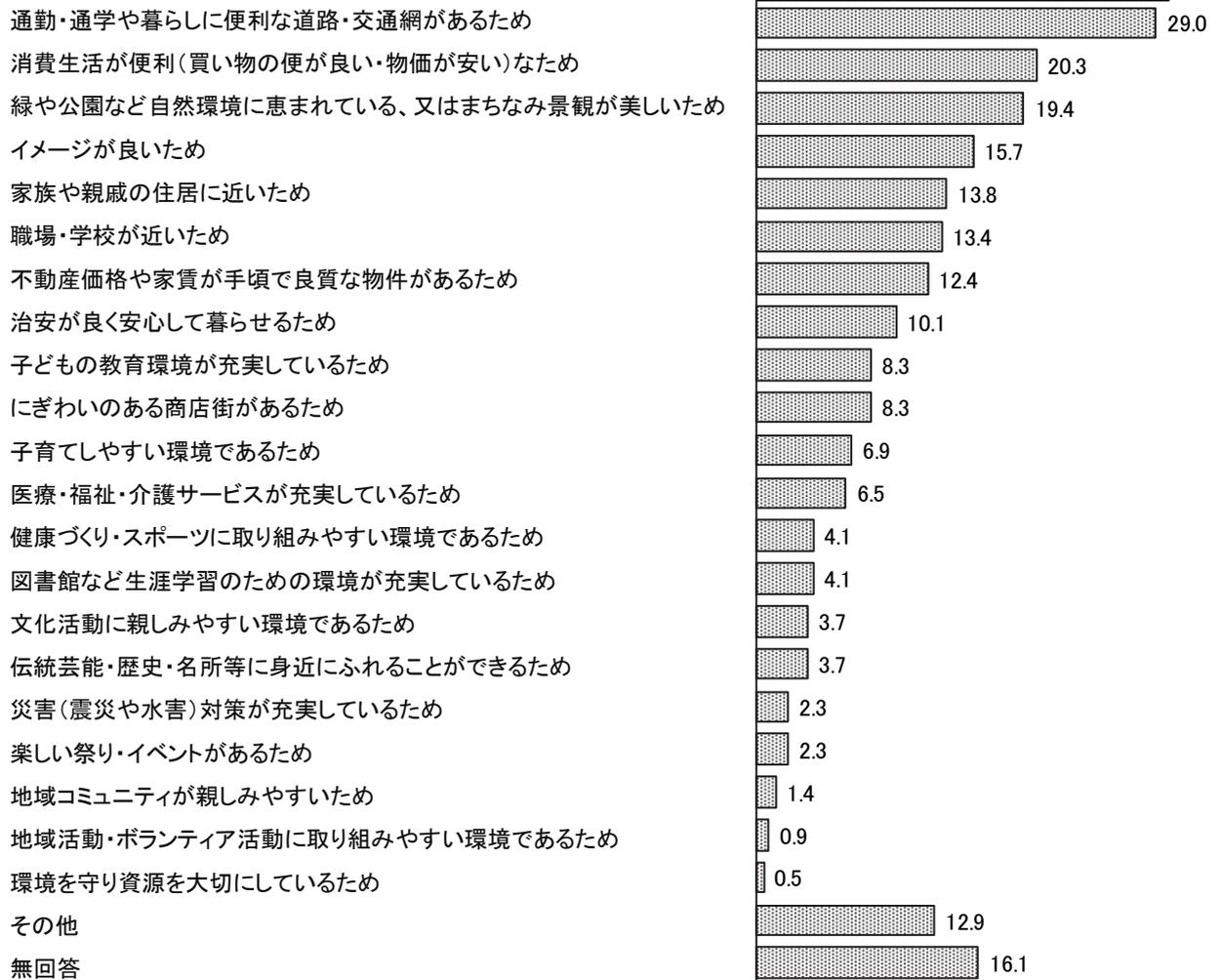
(問3で「区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

問3-3 そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図2-2-22

板橋区より区外の方が、

(n=217)



問3で、「区外に移り住みたい」と答えた人(217人)にその理由を聞いたところ、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(29.0%)が約3割で最も高く、次いで「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(20.3%)、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(19.4%)、「イメージが良いため」(15.7%)、「家族や親戚の住居に近い」(13.8%)などとなっています。

(図2-2-22)

① 性別

性別で見ると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は男性（29.3%）、女性（29.8%）で第1位となっています。その他の特徴として、板橋区よりも区外の方が、「職場・学校が近いため」は男性（15.9%）で第4位となっています。

（表2-2-8）

表2-2-8 区外に移り住みたい理由（性別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
性別	男性	82	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.3	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 22.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.1	職場・学校が近い 15.9	イメージが良い 14.6
	女性	131	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.8	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 19.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.1	イメージが良い 16.8	家族や親戚の住居に近い 16.0

② 年代別

年代別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は10歳代（100.0%）、20歳代（45.5%）、40歳代（40.9%）、30歳代（26.5%）で第1位となっており、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は65～69歳（33.3%）、70～74歳（30.0%）で同率の第1位となっています。板橋区よりも区外の方が、「家族や親戚の住居に近い」は60～64歳（25.0%）で第1位、75歳以上（28.6%）、50歳代（22.5%）で同率の第1位となっています。その他の特徴として、板橋区よりも区外の方が、「子どもの教育環境が充実しているため」は30歳代（18.4%）が同率の第2位、40歳代（18.2%）で第5位となっています。（表2-2-9）

表2-2-9 区外に移り住みたい理由（年代別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
年 代 別	10 歳 代	2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 100.0	職場・学校が近い ため 50.0			
	20 歳 代	44	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 45.5	職場・学校が近い ため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.3			
	30 歳 代	49	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.5	子どもの教育環境が充実しているため/職場・学校が近い ため/その他 18.4		子育てしやすい環境であるため 16.3	
	40 歳 代	44	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しい ため 27.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/イメージが良 いため 20.5	子どもの教育環境が充実しているた め 18.2	
	50 歳 代	40	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚 の住居に近い ため 22.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美 しい ため 20.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/イメージが良 いため/ その他 15.0		
	60～64 歳	12	家族や親戚の住居に近い ため 25.0	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/医療・福祉・介護サービスが充 実しているため/文化活動に親しみやすい環境であるため/緑や公園など自然環境に恵 まれている、又はまちなみ景観が美しい ため 他※ 16.7			
	65～69 歳	9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しい ため/イメージが良 いため/その他 33.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物 価が安い)なため 22.2	治安が良く安心して暮らせるため 他※ 11.1		
	70～74 歳	10	にぎわいのある商店街があるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しい ため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)な ため 30.0	治安が良く安心して暮らせるため/家族や親戚の住居に近い ため 20.0			
75 歳 以上	7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/伝統芸能・歴史・名所等に身 近にふれることができるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が 安い)なため/家族や親戚の住居に近い ため 28.6	地域コミュニティが親しみやすい ため 他※ 14.3				

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

③ 地域別

地域別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は、高島平地域（36.0%）、赤塚地域（31.1%）、板橋地域（28.3%）で第1位となっています。板橋区よりも区外の方が、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は常盤台地域（22.6%）で第1位となっており、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は志村地域（28.9%）で第1位となっています。その他の特徴として、板橋区よりも区外の方が、「職場・学校が近い」は高島平地域（16.0%）、志村地域（15.6%）で同率の第4位、常盤台地域（16.1%）で同率の第5位となっています。また、板橋区よりも区外の方が、「イメージが良い」は板橋地域（19.6%）で第2位、赤塚地域（20.0%）で第4位、常盤台地域（16.1%）で同率の第5位となっています。（表2-2-10）

表2-2-10 区外に移り住みたい理由（地域別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
地 域 別	板橋地域	46	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 28.3	イメージが良いため 19.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 10.9	子どもの教育環境が充実しているため 他※ 8.7
	常盤台地域	31	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚の住居に近い 19.4		職場・学校が近い 16.1	
	志村地域	45	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.4	職場・学校が近い 15.6	
	赤塚地域	45	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 31.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 22.2		イメージが良い 20.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 15.6
	高島平地域	50	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.0	家族や親戚の住居に近い 18.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/職場・学校が近い 16.0	

※他の理由:図書館など生涯学習のための環境が充実しているため
/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/治安が良く安心して暮らせるため

④ 職業別

職業別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は学生(66.7%)、会社員・公務員(35.8%)、主婦・主夫(26.9%)で第1位、無職(25.0%)で同率の第1位となっており、「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」はその他(60.0%)で第1位、会社役員(66.7%)、自営業・自由業(22.2%)で同率の第1位となっています。その他の特徴として、板橋区よりも区外の方が、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は無職(25.0%)で同率の第1位、その他(20.0%)で同率の第4位、学生(11.1%)で同率の第5位となっています。板橋区よりも区外の方が、「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」は会社役員(33.3%)、学生(22.2%)、アルバイト・パート(19.4%)、自営業・自由業(11.1%)で同率の第3位となっています。(表2-2-11)

表2-2-11 区外に移り住みたい理由(職業別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
職 業 別	会社員・公務員	106	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/イメージが良いため 17.9	職場・学校が近い 14.2	職場・学校が近い 14.2
	自営業・自由業	9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/その他 22.2		子育てしやすい環境であるため/子どもの教育環境が充実しているため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 他※ 11.1		
	会社役員	3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/イメージが良いため 66.7		不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 他※ 33.3		
	主婦・主夫	26	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/その他 19.2		子どもの教育環境が充実しているため 他※ 11.5	
	学 生	9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 66.7	職場・学校が近い 55.6	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 22.2		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 他※ 11.1
	アルバイト・パート	36	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/イメージが良いため/その他 22.2		不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚の住居に近い 19.4		
	無 職	20	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 20.0	にぎわいのある商店街があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚の住居に近い 15.0	
	そ の 他	5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 60.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/イメージが良い 40.0		子育てしやすい環境であるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 他※ 20.0	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は二世帯同居(親と同居) (33.3%)、単身世帯 (32.8%)、二世帯同居(子と同居) (26.6%) で第1位、夫婦のみ (26.5%) で同率の第1位となっています。板橋区よりも区外の方が、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は三世帯同居 (100.0%) で第1位、夫婦のみ (26.5%) で同率の第1位となっています。その他の特徴として、板橋区よりも区外の方が、「職場・学校が近いため」二世帯同居(親と同居) (26.7%) で第2位、単身世帯 (16.4%) で第3位、その他 (25.0%) で同率の第3位となっています。(表2-2-12)

表2-2-12 区外に移り住みたい理由(世帯構成別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
世帯構成別	単身世帯	67	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 19.4	職場・学校が近いため 16.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/その他 13.4	
	夫婦のみ	34	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.5		消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 23.5	家族や親戚の住居に近い 20.6	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 17.6
	二世帯同居(子と同居)	79	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/家族や親戚の住居に近い 21.5		消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.3	子どもの教育環境が充実しているため 17.7
	二世帯同居(親と同居)	30	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3	職場・学校が近いため 26.7	イメージが良い 20.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 他※ 13.3	
	三世帯同居	3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 100.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 66.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/文化活動に親しみやすい環境であるため/イメージが良い 33.3		
	その他	4	にぎわいのある商店街があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 50.0		医療・福祉・介護サービスが充実しているため/地域コミュニティが親しみやすいため/地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため 他※2 25.0		

※他の理由:治安が良く安心して暮らせるため

/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/その他

※2他の理由:通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/職場・学校が近いため/イメージが良いため/家族や親戚の住居に近い

⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、板橋区よりも区外の方が、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は小学生と同居している方（40.0%）、65～74歳の家族と同居している方（30.0%）で第1位、75歳以上の家族と同居している方（30.0%）、中学生と同居している方（28.6%）で同率の第1位となっています。板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はその他の家族と同居している方（29.9%）で第1位、中学生と同居している方（28.6%）で同率の第1位となっています。その他の特徴として、板橋区よりも区外の方が、「子どもの教育環境が充実しているため」は未就学児と同居している方（33.3%）で第1位、小学生と同居している方（20.0%）、中学生と同居している方（14.3%）で同率の第4位となっています。板橋区よりも区外の方が、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は75歳以上の家族と同居している方（30.0%）で同率の第1位、中学生と同居している方（14.3%）で同率の第4位となっています。（表2-2-13）

表2-2-13 区外に移り住みたい理由（同居家族別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全	体	217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物物の便が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
同居家族別	未就学児	30	子どもの教育環境が充実しているため 33.3	子育てしやすい環境であるため 30.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.7	家族や親戚の住居に近い 23.3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 他※ 20.0
	小学生	15	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 40.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/その他 26.7		子どもの教育環境が充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 他※ 20.0	
	中学生	7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/イメージが良いため 28.6			子どもの教育環境が充実しているため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 他※ 14.3	
	65～74歳の家族	20	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.0	消費生活が便利(買い物物の便が良い・物価が安い)なため 25.0	にぎわいのある商店街があるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 20.0		伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 他※ 15.0
	75歳以上の家族	10	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.0		消費生活が便利(買い物物の便が良い・物価が安い)なため/その他 20.0		図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 他※ 10.0
	その他の家族	117	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.9	消費生活が便利(買い物物の便が良い・物価が安い)なため 20.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 18.8	家族や親戚の住居に近い 17.9	イメージが良いため 15.4

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は社宅・寮・間借り・住込み（50.0%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（38.5%）、マンション・アパート（賃貸）（34.1%）で第1位となっています。板橋区よりも区外の方が、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は一戸建（賃貸）（40.0%）、一戸建（持ち家）（25.9%）とマンション（持ち家）（24.5%）で第1位となっています。

（表2-2-14）

表2-2-14 区外に移り住みたい理由（住居形態別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近いため 13.8
住居形態別	一戸建(持ち家)	54	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.9	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 24.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 22.2	イメージが良いため 14.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 他※ 13.0
	一戸建(賃貸)	5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 40.0	子育てしやすい環境であるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/にぎわいのある商店街があるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 20.0			
	マンション(持ち家)	53	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/イメージが良いため 22.6	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 18.9		その他 15.1
	マンション・アパート(賃貸)	82	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.1	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 22.0	職場・学校が近い ため 18.3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 15.9	家族や親戚の住居に近いため/その他 14.6
	都市再生機構・公社・都営・区営住宅	13	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.5	子どもの教育環境が充実しているため/家族や親戚の住居に近いため 23.1	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 他※ 15.4		
	社宅・寮・間借り・住込み	10	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 50.0	治安が良く安心して暮らせるため 40.0	子どもの教育環境が充実しているため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 20.0	子育てしやすい環境であるため 他※ 10.0	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は1年未満（47.4%）、1年以上5年未満（46.8%）、生まれたときから（35.7%）、10年以上20年未満（23.7%）で第1位となっています。板橋区よりも区外の方が、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は20年以上（33.3%）で第1位となっています。その他の特徴として、板橋区よりも区外の方が、「職場・学校が近いため」は1年未満（21.1%）で同率の第2位、1年以上5年未満（19.1%）、生まれたときから（17.9%）、5年以上10年未満（16.7%）で同率の第4位となっています。（表2-2-15）

表2-2-15 区外に移り住みたい理由（居住年数別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
居 住 年 数 別	1年未満	19	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 47.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/職場・学校が近いため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.1		子育てしやすい環境であるため/にぎわいのある商店街があるため 15.8	
	1年以上5年未満	47	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 46.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 25.5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 21.3	職場・学校が近いため/家族や親戚の住居に近い 19.1	
	5年以上10年未満	36	その他 27.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 19.4		子どもの教育環境が充実しているため/職場・学校が近いため/イメージが良い 16.7	
	10年以上20年未満	38	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.7	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/イメージが良いため/家族や親戚の住居に近い 15.8			
	20年以上	48	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 22.9	家族や親戚の住居に近い 20.8	イメージが良い 18.8	その他 14.6
	生まれたときから	28	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.7	イメージが良い 25.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.4	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/職場・学校が近いため 17.9	

⑨ 直前の居住地域別

直前の居住地域別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はその他（海外を含む）（38.9%）、東京23区内（板橋区を除く）（31.6%）で第1位となっています。板橋区よりも区外の方が、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は、千葉県・神奈川県内（40.9%）、埼玉県内（24.2%）で第1位となっています。また、板橋区よりも区外の方が、「イメージが良いため」は東京都内の他市町村（45.5%）で第1位となっています。（表2-2-16）

表2-2-16 区外に移り住みたい理由（直前の居住地域）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
直 前 の 居 住 地 域 別	東京23区内 (板橋区を除く)	79	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 31.6	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.0	子どもの教育環境が充実しているため 16.5	にぎわいのある商店街があるため 13.9
	東京都内の 他市町村	11	イメージが良い ため 45.5	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため/家族や親戚の住居に近い ため 27.3		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/職場・学校が近い ため 18.2	
	埼玉県内	33	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しい ため 24.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため/ その他 18.2			イメージが良い ため 15.2
	千葉県・ 神奈川県 内	22	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しい ため 40.9	職場・学校が近い ため 36.4	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 31.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 27.3	イメージが良い ため/家族や親戚の 住居に近い ため 22.7
	その他 (海外を含む)	36	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.9	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 19.4	消費生活が便利(買い物の方が良い・物価が安い)なため 16.7	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 他※ 13.9	

※他の理由:職場・学校が近い
ため/家族や親戚の住居に近い
ため

(2-5) 住みたい地域(問3-2)と区外に移り住みたい理由(問3-3)

問3で、「区外に移り住みたい」と答えた人(217人)の理由を、区外に移り住むとしたら住みたい地域別にみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は東京23区内(板橋区を除く)(47.1%)で、「家族や親戚の住居に近い」はその他(海外を含む)(42.3%)で第1位となっています。板橋区よりも区外の方が「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は千葉県・神奈川県内(41.2%)で第1位、東京都内の他市町村(37.5%)で同率の第1位となっています。その他の特徴として、板橋区よりも区外の方が、「不動産価値や家賃が手頃で良質な物件があるため」は、埼玉県内(75.0%)で第1位、千葉県(17.6%)で同率の第4位、その他(海外を含む)(15.4%)で第5位となっています。

(表2-2-17)

表2-2-17 区外に移り住みたい理由と住みたい地域

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		217	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4	イメージが良いため 15.7	家族や親戚の住居に近い 13.8
区外に移り住みたい地域	東京23区内(板橋区を除く)	119	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 47.1	職場・学校が近い 24.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/イメージが良いため 22.7		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.6
	東京都内の他市町村	8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚の住居に近い 37.5			治安が良く安心して暮らせるため/イメージが良いため 25.0	
	埼玉県内	12	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 75.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 33.3	子育てしやすい環境であるため/家族や親戚の住居に近い 25.0		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 他※ 16.7
	千葉県・神奈川県内	17	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 41.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 29.4	家族や親戚の住居に近い 23.5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/その他 17.6	
	その他(海外を含む)	26	家族や親戚の住居に近い 42.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.6	その他 26.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 19.2	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 15.4

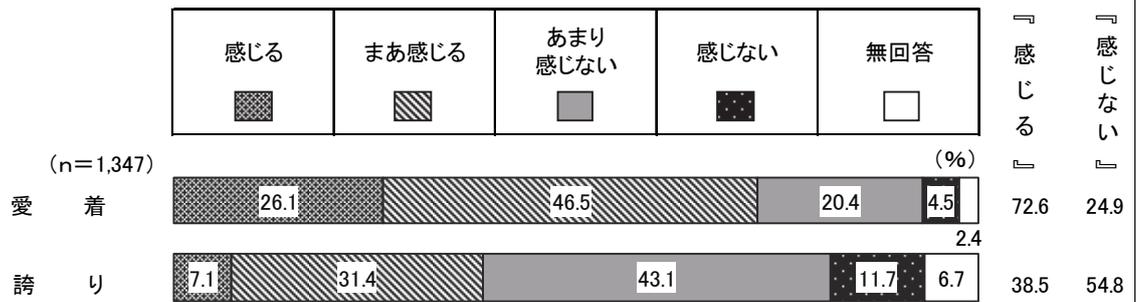
※他の理由:通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/イメージが良いため/その他

(3) 板橋区に対する愛着と誇り

◇板橋区に愛着を『感じる』が7割を超え、誇りを『感じる』が4割近く

問4 あなたは板橋区に「愛着」と「誇り」を感じますか。該当するものをそれぞれ1つ選び、番号に○印をつけてください。

図2-3-1



板橋区に「愛着」と「誇り」を感じるかを聞いたところ、愛着を「感じる」(26.1%)が2割半ばで、これに「まあ感じる」(46.5%)を合わせた『感じる』(72.6%)が7割を超えています。一方、「あまり感じない」(20.4%)と「感じない」(4.5%)を合わせた『感じない』(24.9%)が2割半ばとなっています。

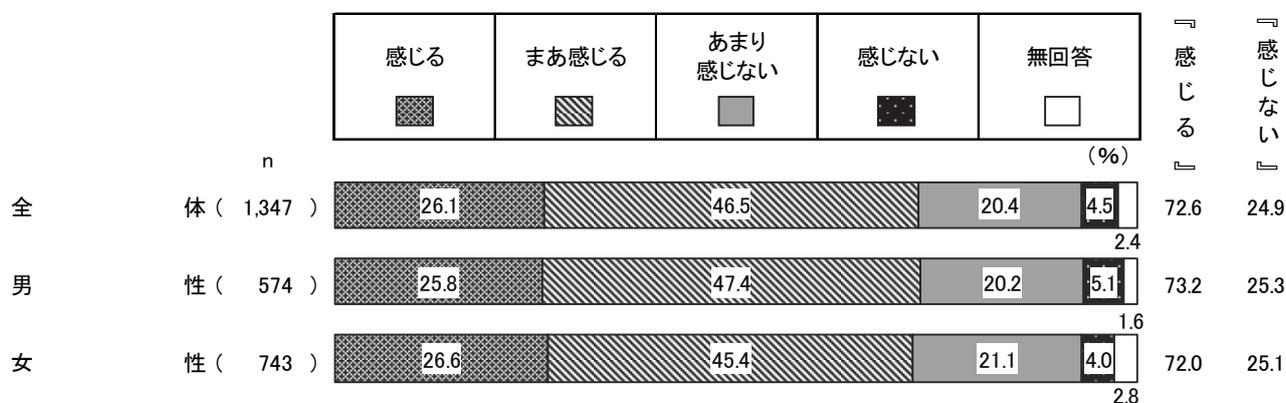
また、誇りを「感じる」(7.1%)は1割近くで、これに「まあ感じる」(31.4%)を合わせた『感じる』(38.5%)が4割近くとなっています。一方、「あまり感じない」(43.1%)と「感じない」(11.7%)を合わせた『感じない』(54.8%)が5割半ばとなっています。(図2-3-1)

① 性別

板橋区に対する愛着について性別でみると、大きな傾向の違いはみられません。

(図2-3-2)

図2-3-2 板橋区に対する愛着（性別）



板橋区に対する誇りについて性別でみると、男性では、「感じる」(8.2%)が1割近く、これに「まあ感じる」(33.1%)を合わせた『感じる』(41.3%)が4割を超え、女性の『感じる』(36.3%)より5ポイント高くなっています。(図2-3-3)

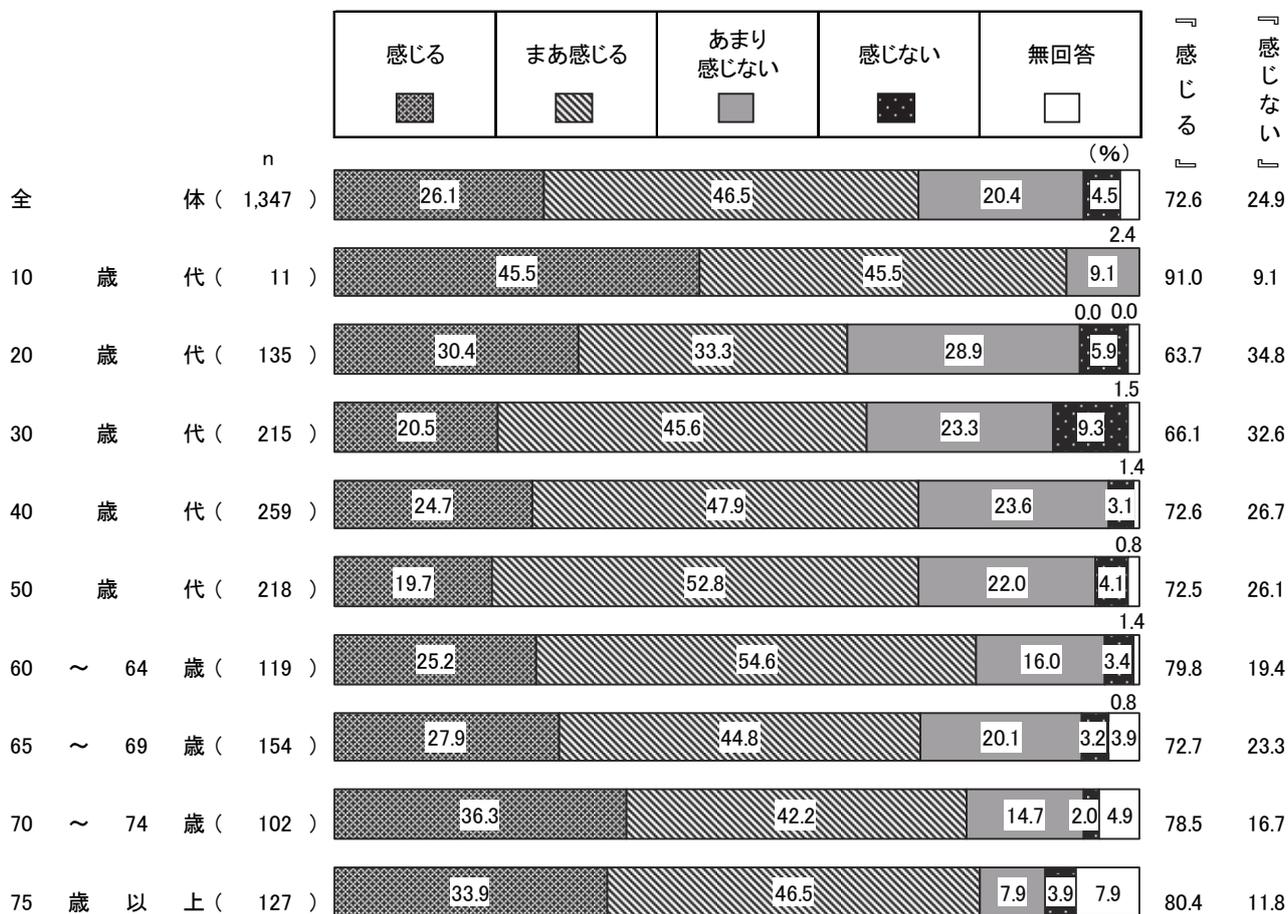
図2-3-3 板橋区に対する誇り（性別）



② 年代別

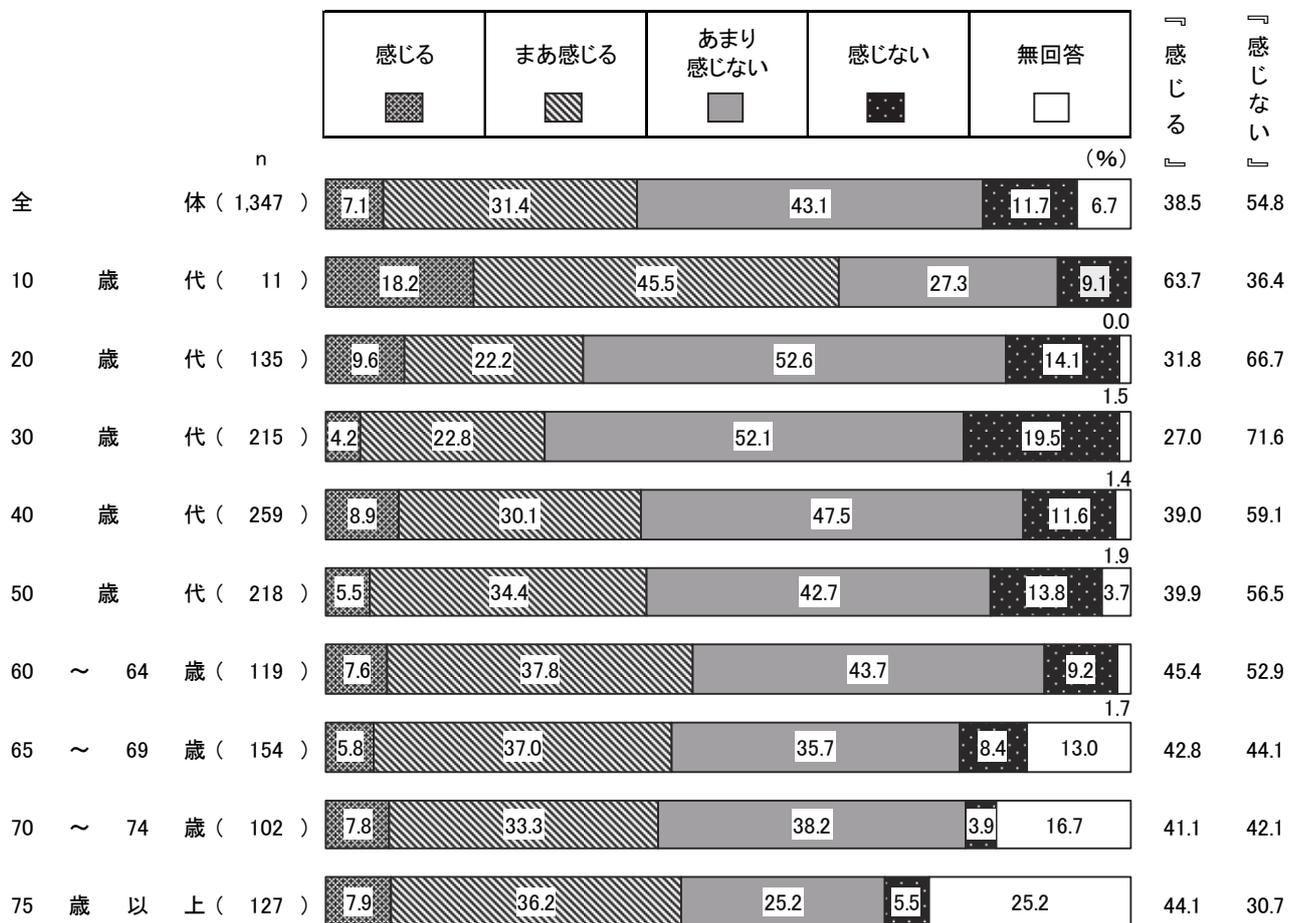
板橋区に対する愛着について年代別でみると、『感じる』は10歳代（91.0%）で9割を超え、75歳以上（80.4%）で8割となっています。一方、『感じない』は20歳代（34.8%）、30歳代（32.6%）で3割台となっています。（図2-3-4）

図2-3-4 板橋区に対する愛着（年代別）



板橋区に対する誇りについて年代別でみると、『感じる』は10歳代（63.7%）で6割を超え、60～64歳（45.4%）、75歳以上（44.1%）、65～69歳（42.8%）、70～74歳（41.1%）で4割台となっています。一方、『感じない』は30歳代（71.6%）で7割を超えています。（図2-3-5）

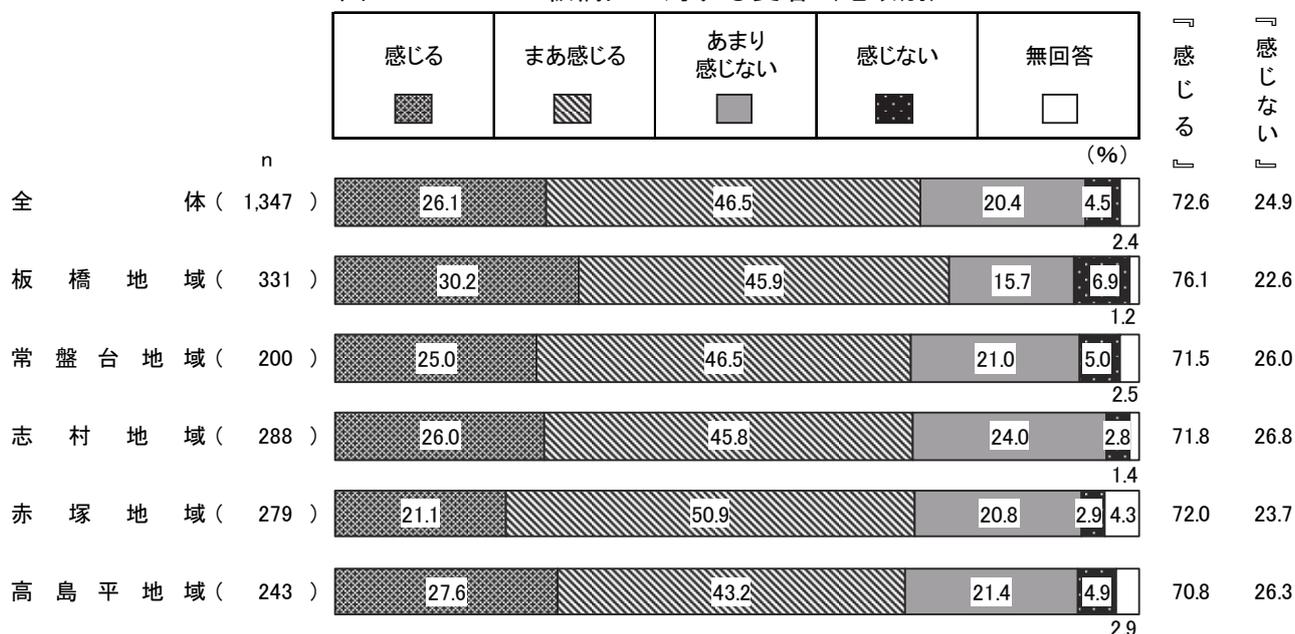
図2-3-5 板橋区に対する誇り（年代別）



③ 地域別

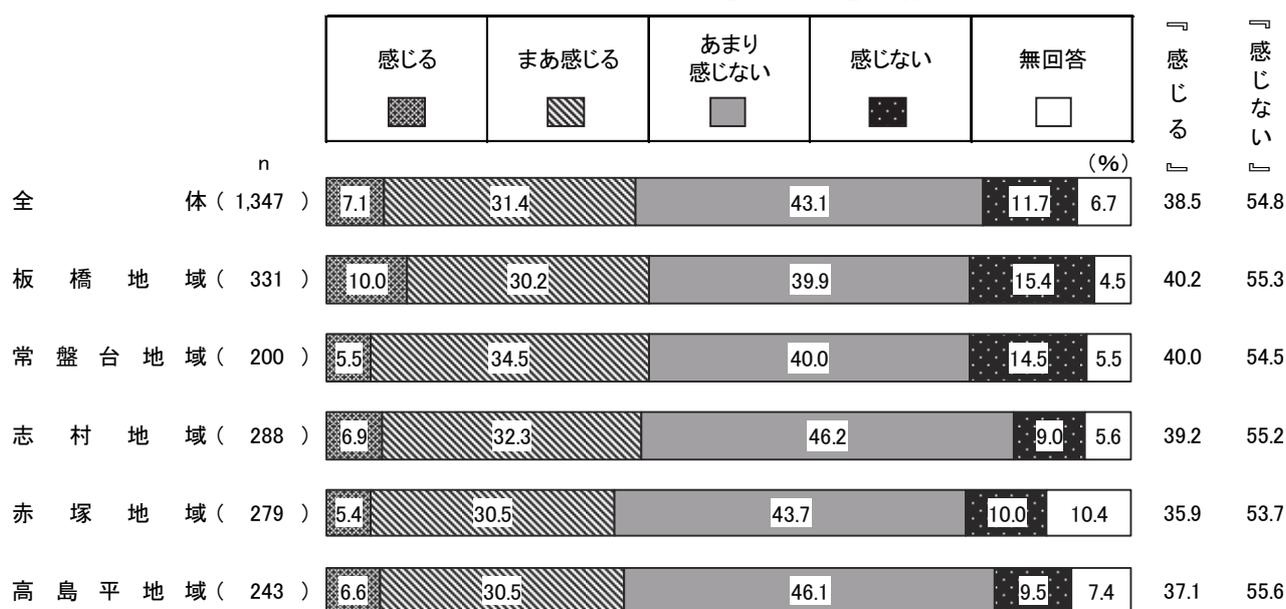
板橋区に対する愛着について地域別でみると、『感じる』はすべての地域で7割台となっており、大きな傾向の違いはみられません。（図2-3-6）

図2-3-6 板橋区に対する愛着（地域別）



板橋区に対する誇りについて地域別でみると、『感じる』は板橋地域（40.2%）と常盤台地域（40.0%）で4割となっています。一方、『感じない』はすべての地域で5割台となっており、大きな違いはみられません。（図2-3-7）

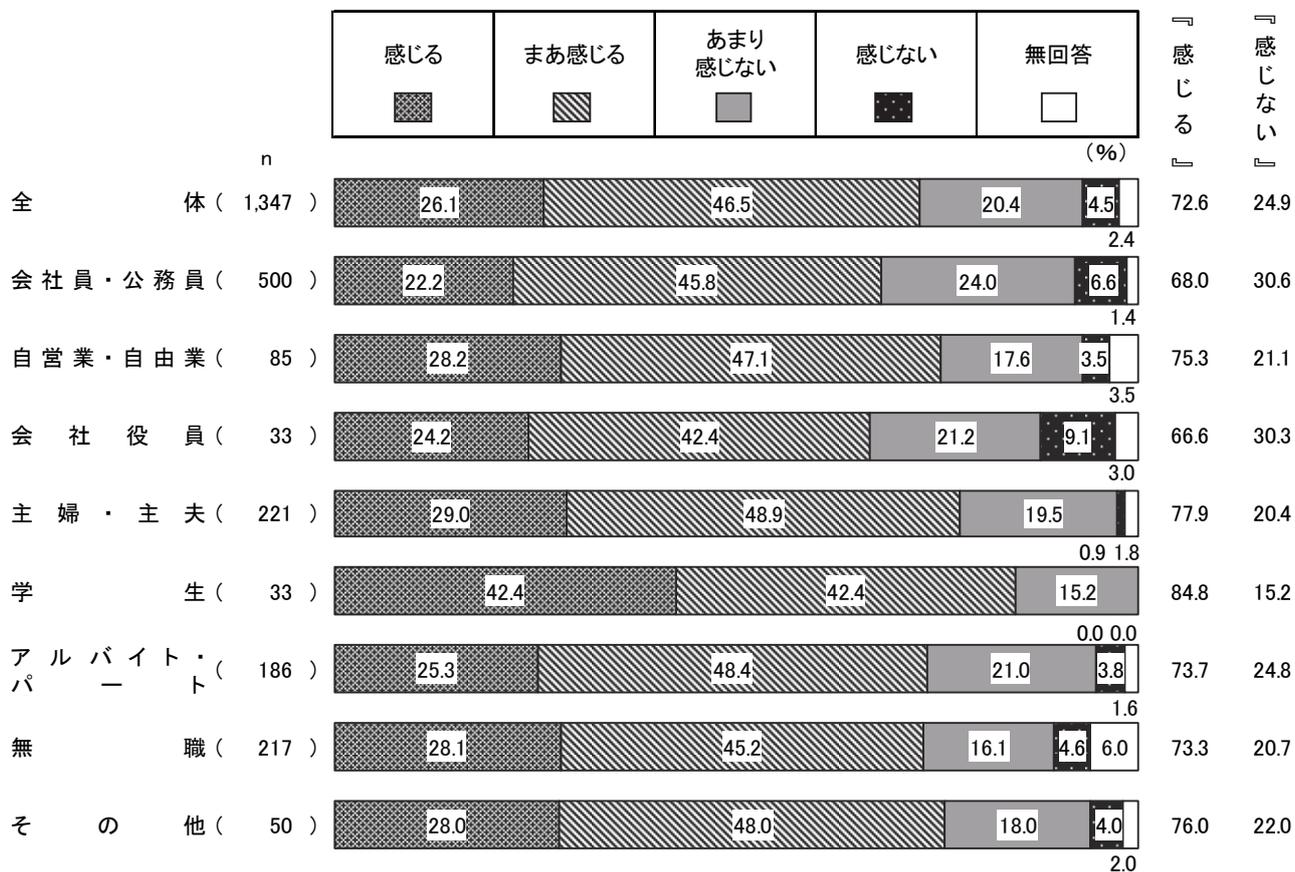
図2-3-7 板橋区に対する誇り（地域別）



④ 職業別

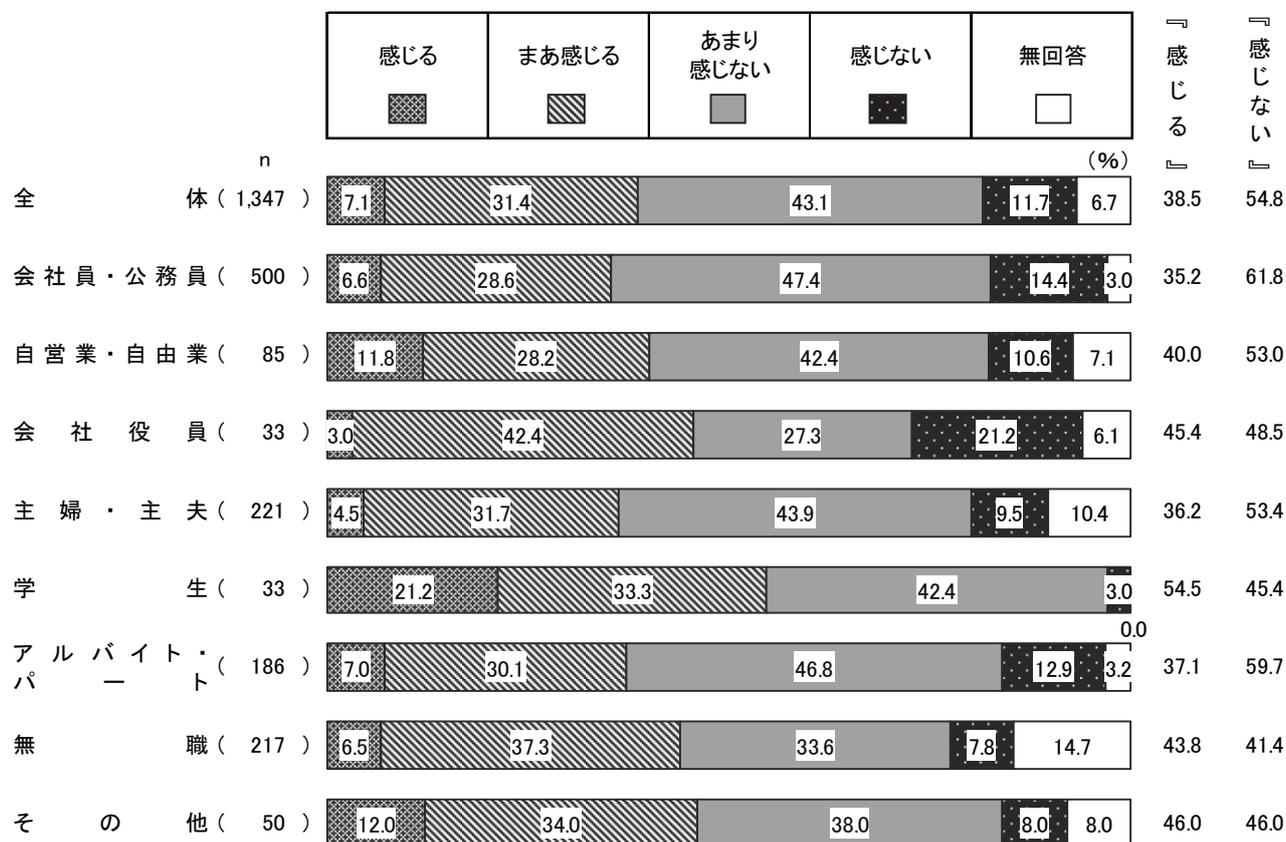
板橋区に対する愛着について職業別でみると、『感じる』は学生（84.8%）で8割半ば、主婦・主夫（77.9%）で8割近くとなっています。一方、『感じない』は会社員・公務員（30.6%）、会社役員（30.3%）で3割台となっています。（図2-3-8）

図2-3-8 板橋区に対する愛着（職業別）



板橋区に対する誇りについて職業別でみると、『感じる』は学生（54.5%）で5割半ば、会社役員（45.4%）で4割半ばとなっています。一方、『感じない』は会社員・公務員（61.8%）、アルバイト・パート（59.7%）で6割前後となっています。（図2-3-9）

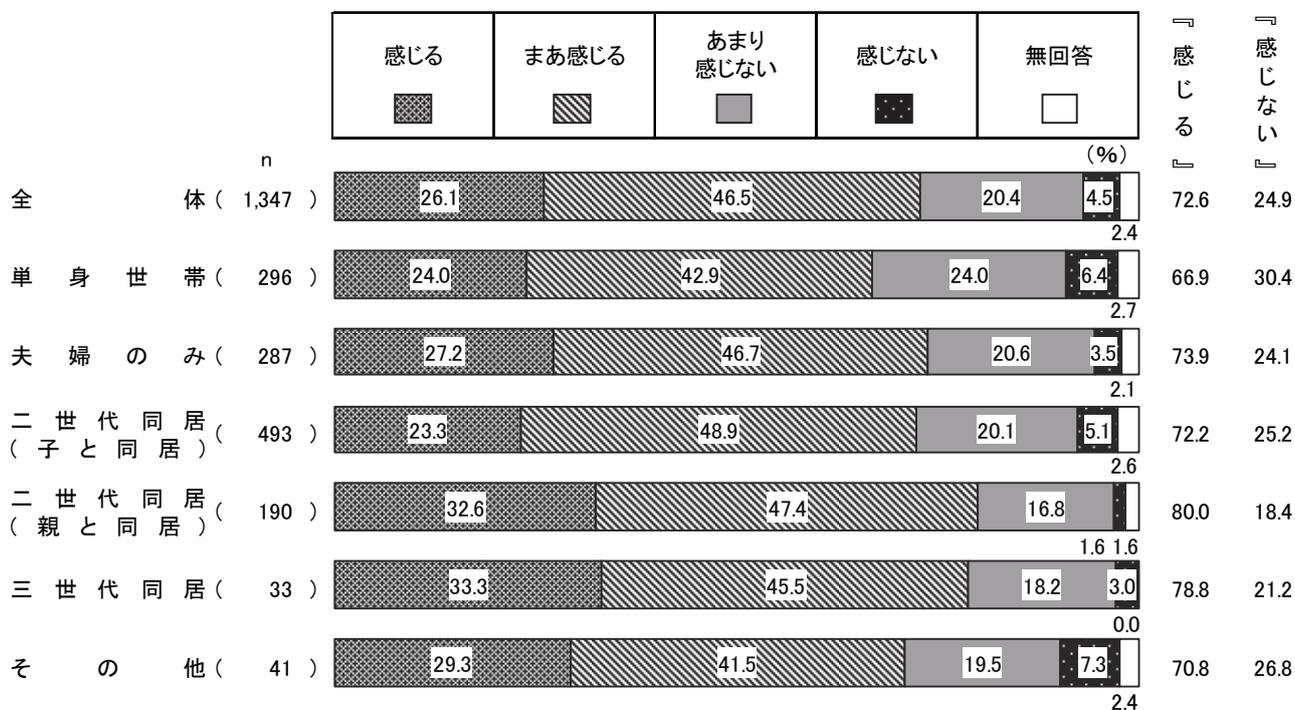
図2-3-9 板橋区に対する誇り（職業別）



⑤ 世帯構成別

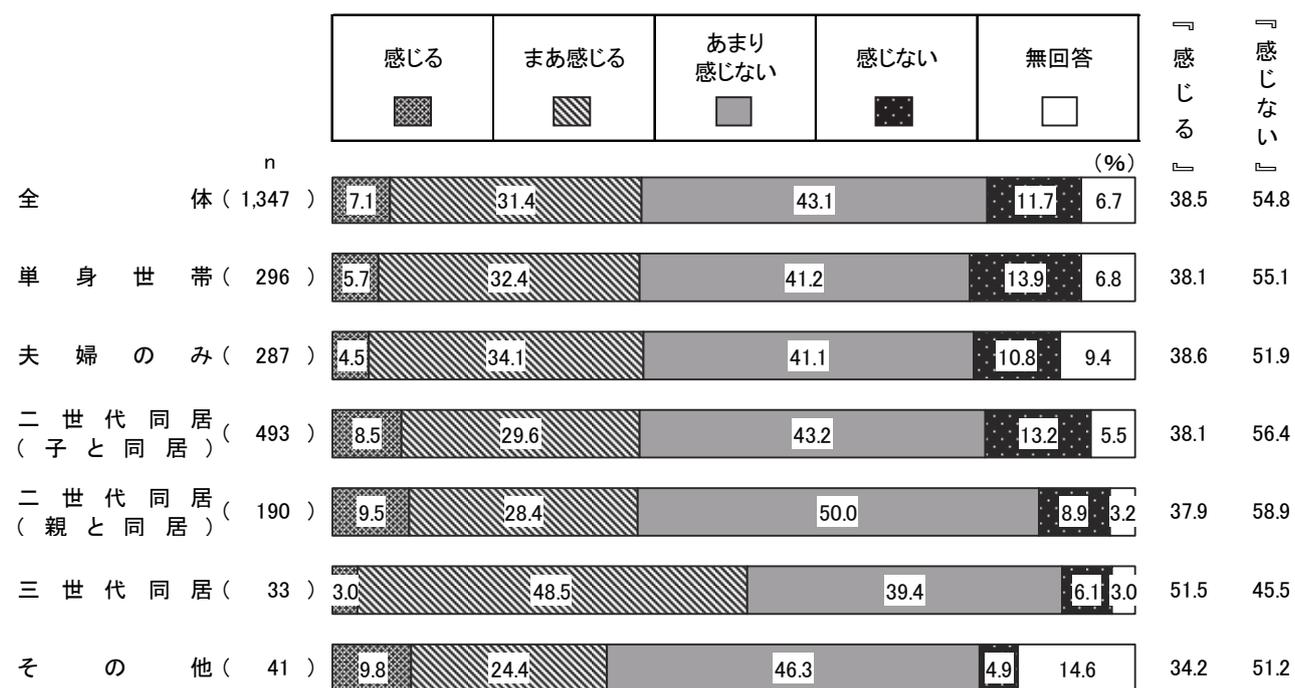
板橋区に対する愛着について世帯構成別でみると、『感じる』は二世帯同居(親と同居)(80.0%)、三世帯同居(78.8%)で8割前後となっています。一方、『感じない』は単身世帯(30.4%)で3割となっています。(図2-3-10)

図2-3-10 板橋区に対する愛着(世帯構成別)



板橋区に対する誇りについて世帯構成別でみると、『感じる』は三世帯同居(51.5%)で5割を超えています。(図2-3-11)

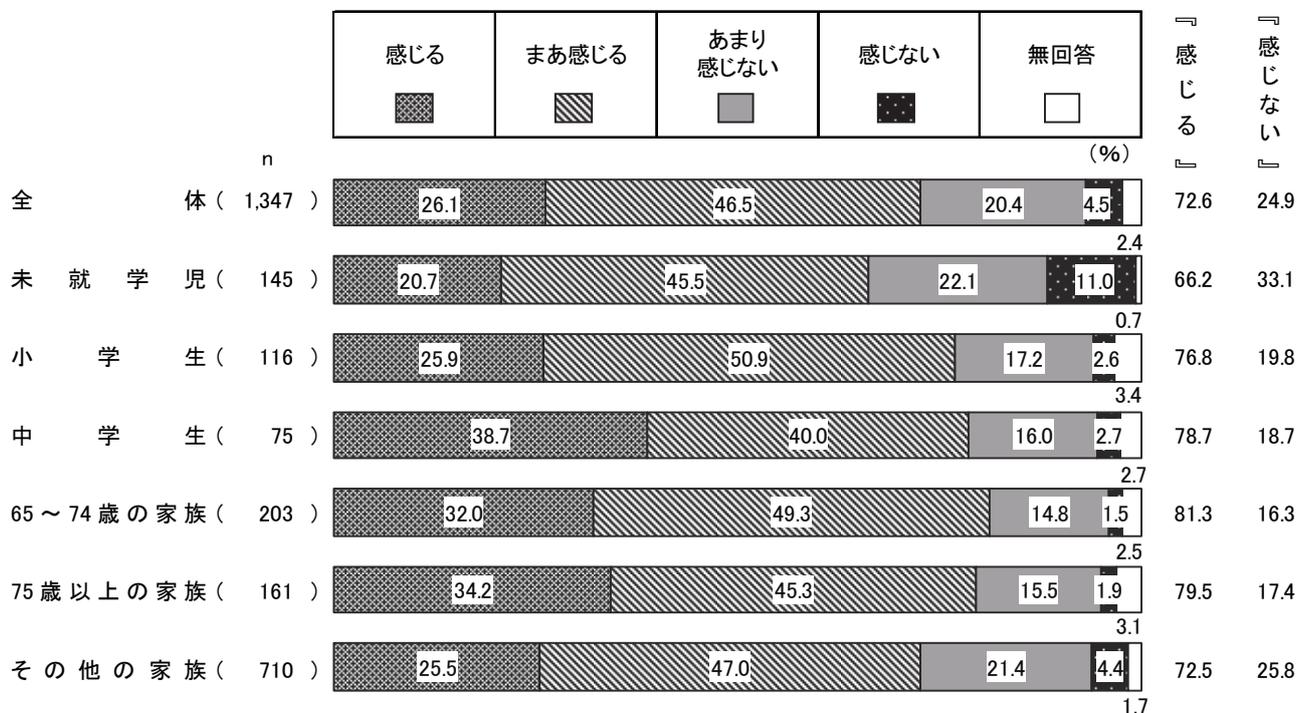
図2-3-11 板橋区に対する誇り(世帯構成別)



⑥ 同居家族別

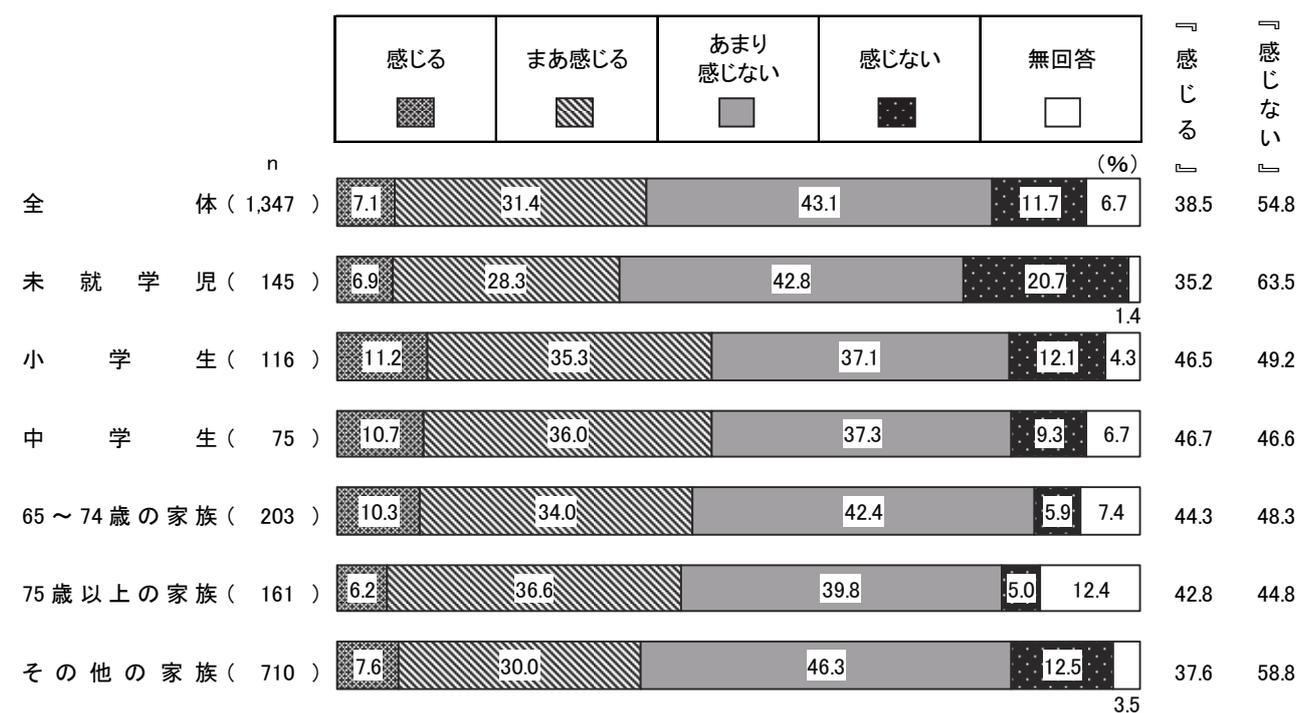
板橋区に対する愛着について同居家族別でみると、『感じる』は65～74歳の家族と同居している方（81.3%）で8割を超えています。一方、『感じない』は未就学児と同居している方（33.1%）で3割を超えています。（図2-3-12）

図2-3-12 板橋区に対する愛着（同居家族別）



板橋区に対する誇りについて同居家族別でみると、『感じる』は中学生の家族と同居している方（46.7%）、小学生の家族と同居している方（46.5%）で4割半ばとなっています。一方、『感じない』は未就学児と同居している方（63.5%）で6割を超えています。（図2-3-13）

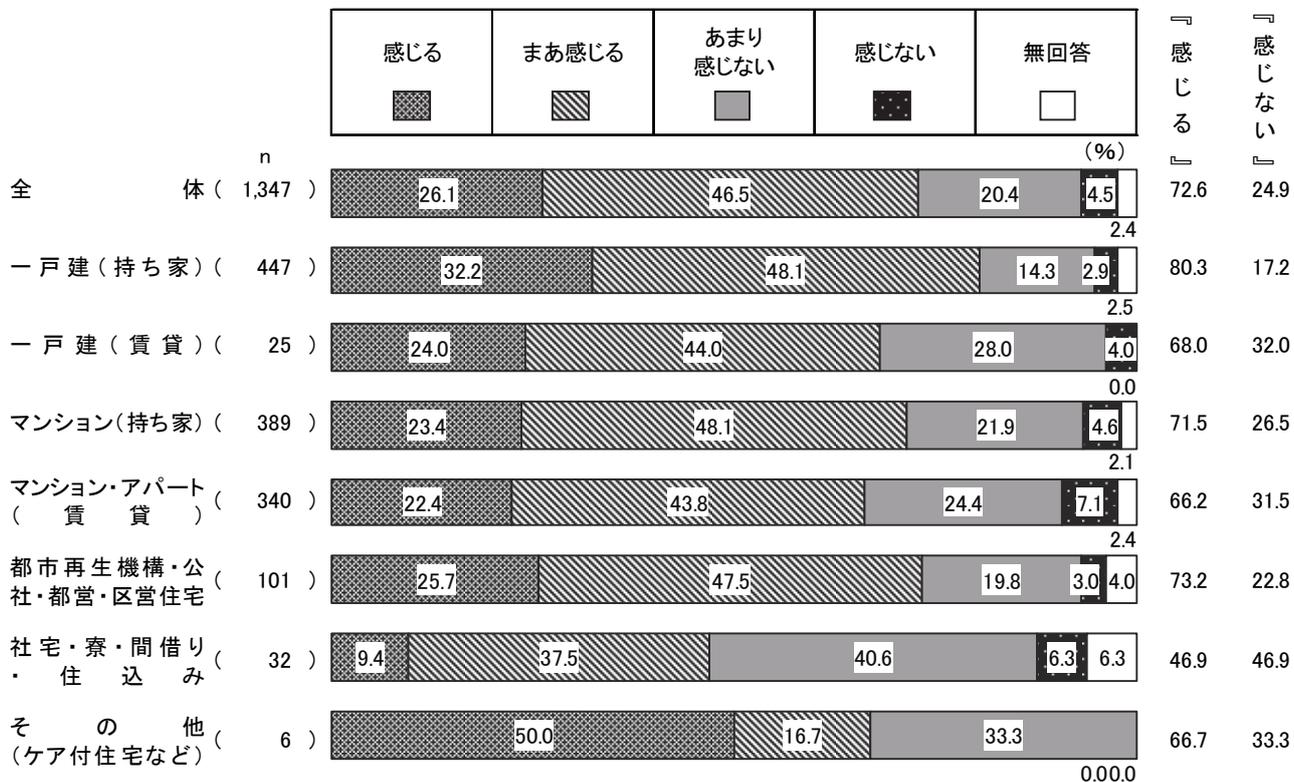
図2-3-13 板橋区に対する誇り（同居家族別）



⑦ 住居形態別

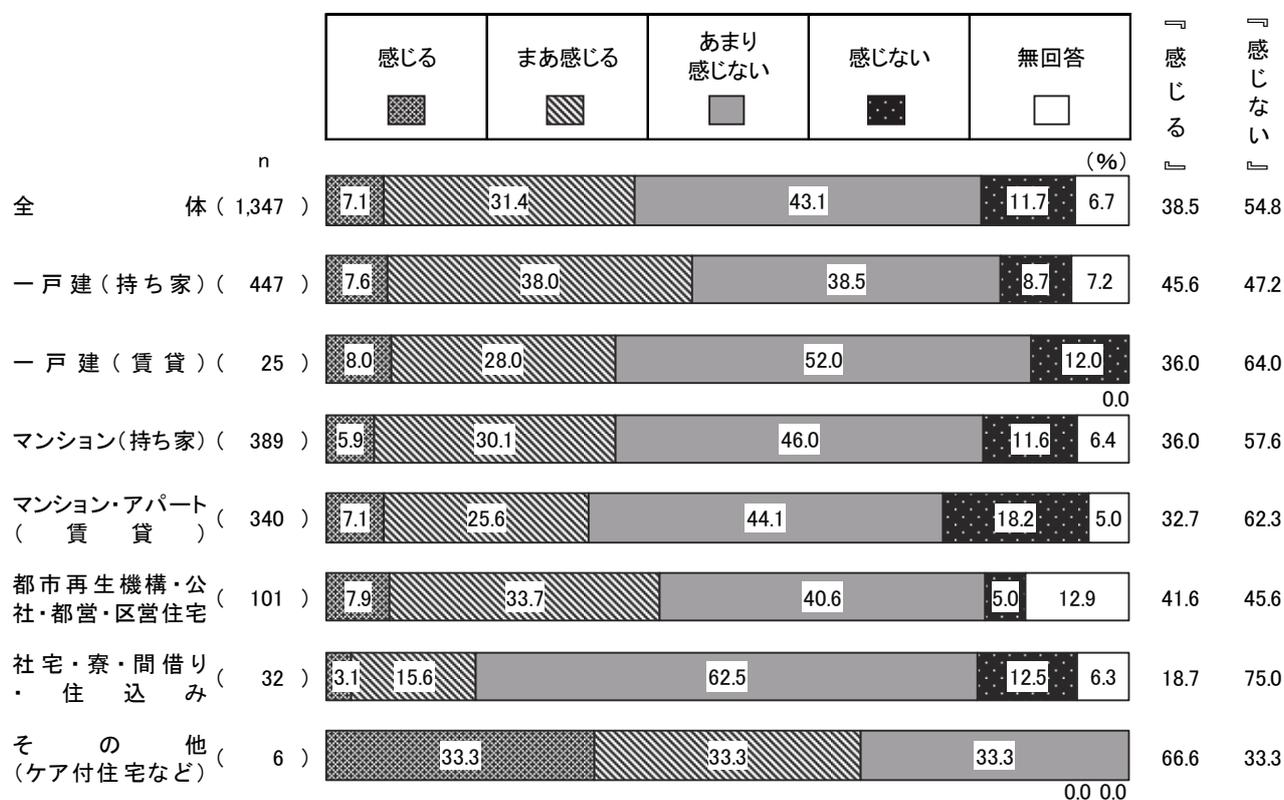
板橋区に対する愛着について住居形態別でみると、『感じる』は一戸建（持ち家）（80.3%）で8割となっています。一方、『感じない』は社宅・寮・間借り・住込み（46.9%）で4割半ばとなっています。（図2-3-14）

図2-3-14 板橋区に対する愛着（住居形態別）



板橋区に対する誇りについて住居形態別でみると、『感じる』はその他(ケア付住宅など)(66.6%)で6割半ばとなっています。一方、『感じない』は社宅・寮・間借り・住込み(75.0%)で7割半ば、一戸建(賃貸)(64.0%)で6割半ばとなっています。(図2-3-15)

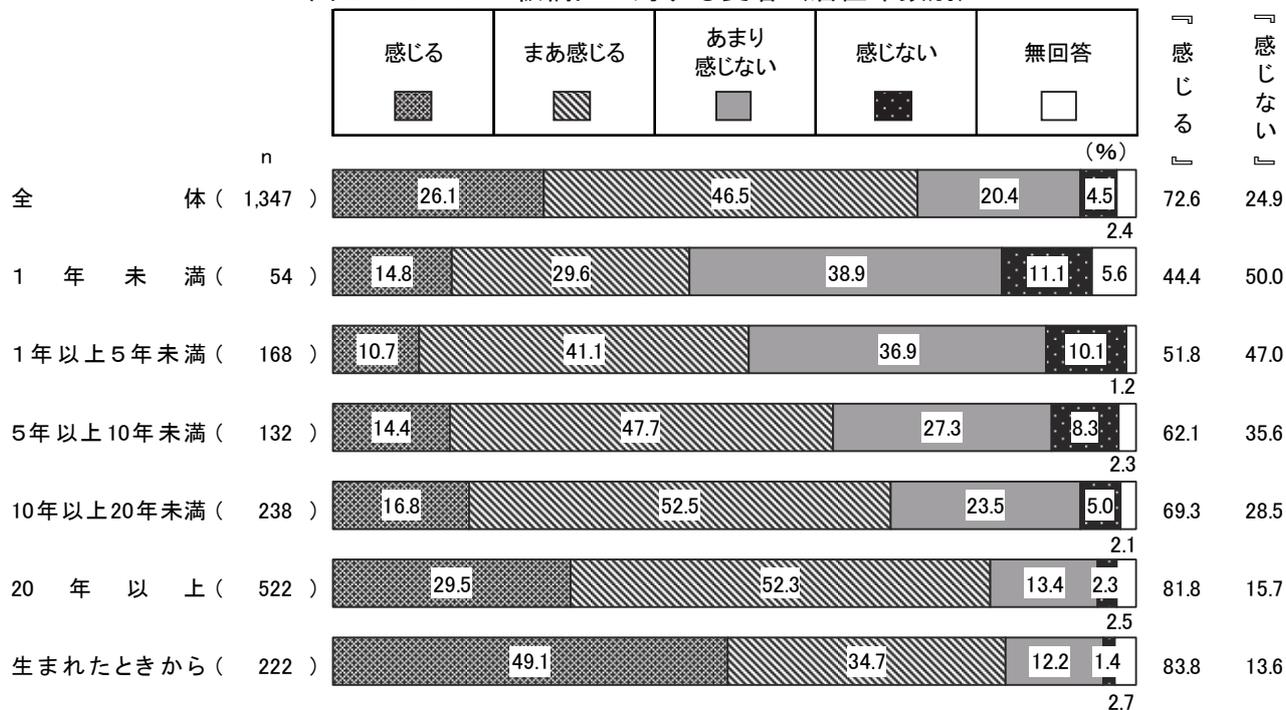
図2-3-15 板橋区に対する誇り(住居形態別)



⑧ 居住年数別

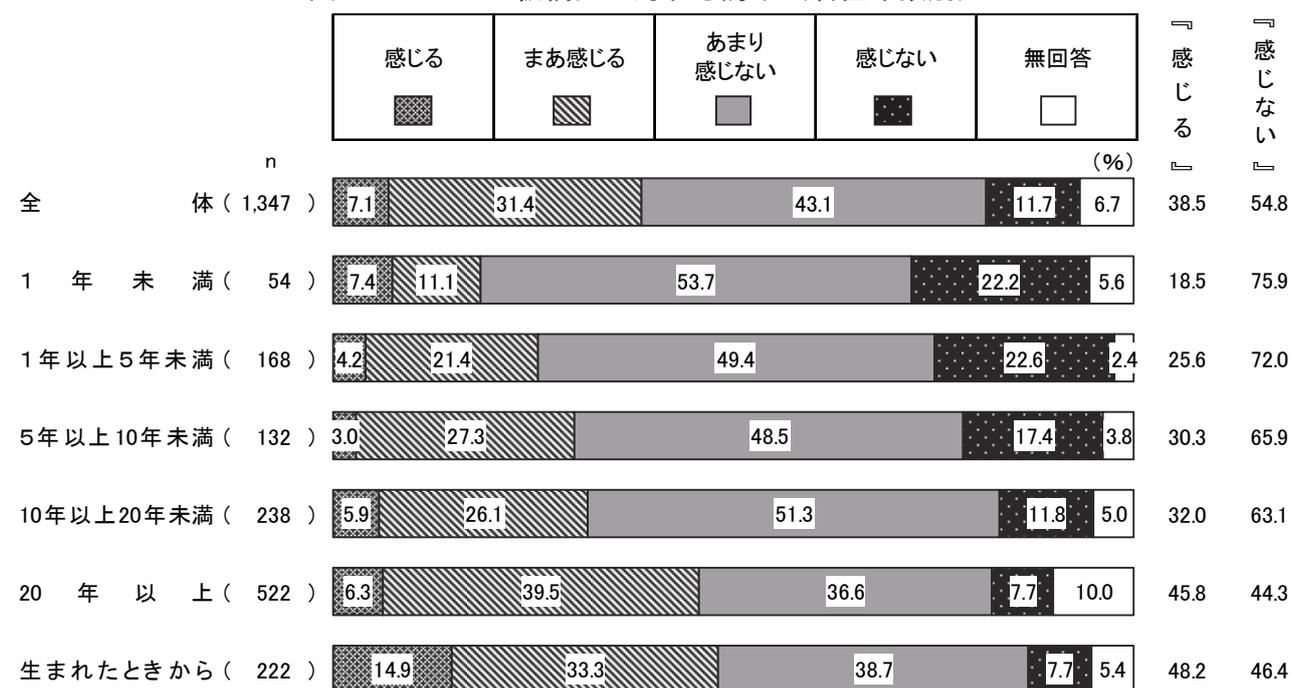
板橋区に対する愛着について居住年数別でみると、『感じる』は居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、生まれたときから（83.8%）、20年以上（81.8%）で8割を超えています。一方、『感じない』は1年未満（50.0%）で5割となっています。（図2-3-16）

図2-3-16 板橋区に対する愛着（居住年数別）



板橋区に対する誇りについて居住年数別でみると、『感じる』は居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、生まれたときから（48.2%）で5割近くとなっています。一方、『感じない』は1年未満（75.9%）で7割半ばとなっています。（図2-3-17）

図2-3-17 板橋区に対する誇り（居住年数別）

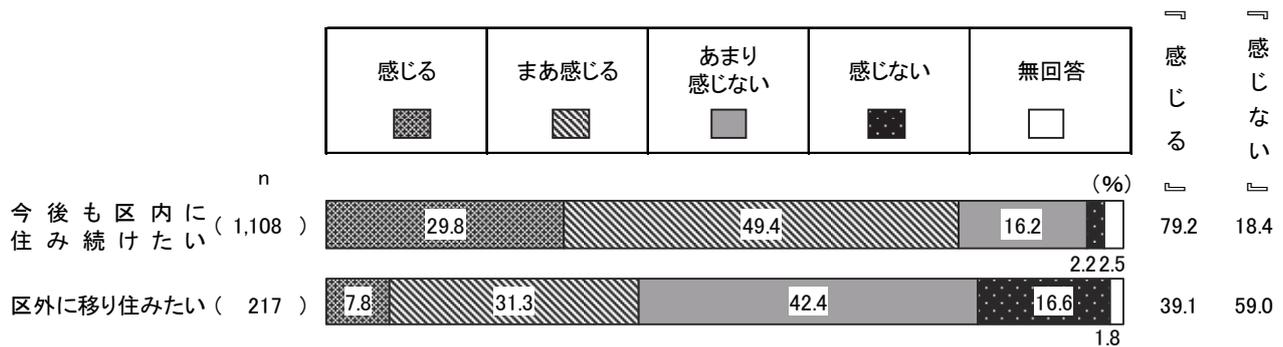


(3-1) 板橋区に対する愛着と誇り (問4) と定住意向 (問3)

【愛着】

板橋区に対する愛着と定住意向との関係を見ると、「感じる」と「まあ感じる」をあわせた『感じる』は、今後も区内に住み続けたいと答えた方(79.2%)で約8割となっています。一方、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた『感じない』は、区外に移り住みたいと答えた方(59.0%)で約6割となっています。(図2-3-18)

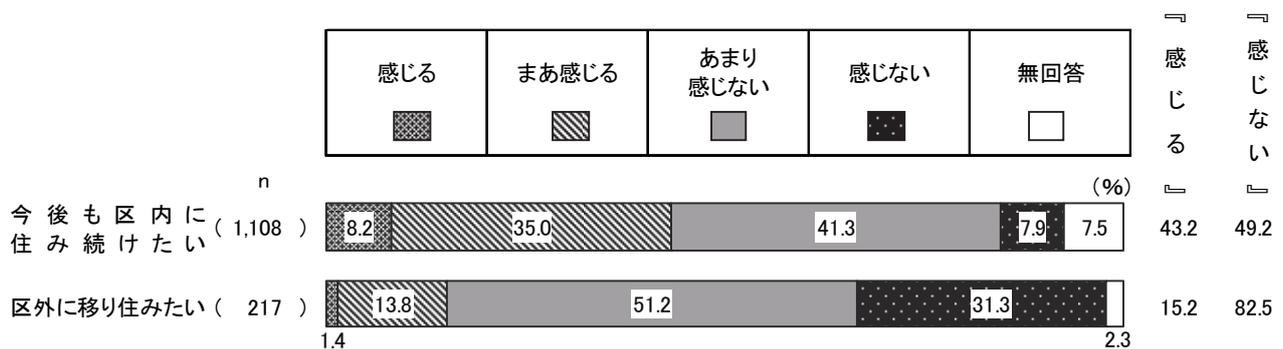
図2-3-18 板橋区に対する愛着と定住意向



【誇り】

板橋区に対する誇りと定住意向との関係を見ると、「感じる」と「まあ感じる」をあわせた『感じる』は、今後も区内に住み続けたいと答えた方(43.2%)で4割を超えています。一方、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた『感じない』は、区外に移り住みたいと答えた方(82.5%)で8割を超えています。(図2-3-19)

図2-3-19 板橋区に対する誇りと定住意向



(3-2) 愛着を感じる理由

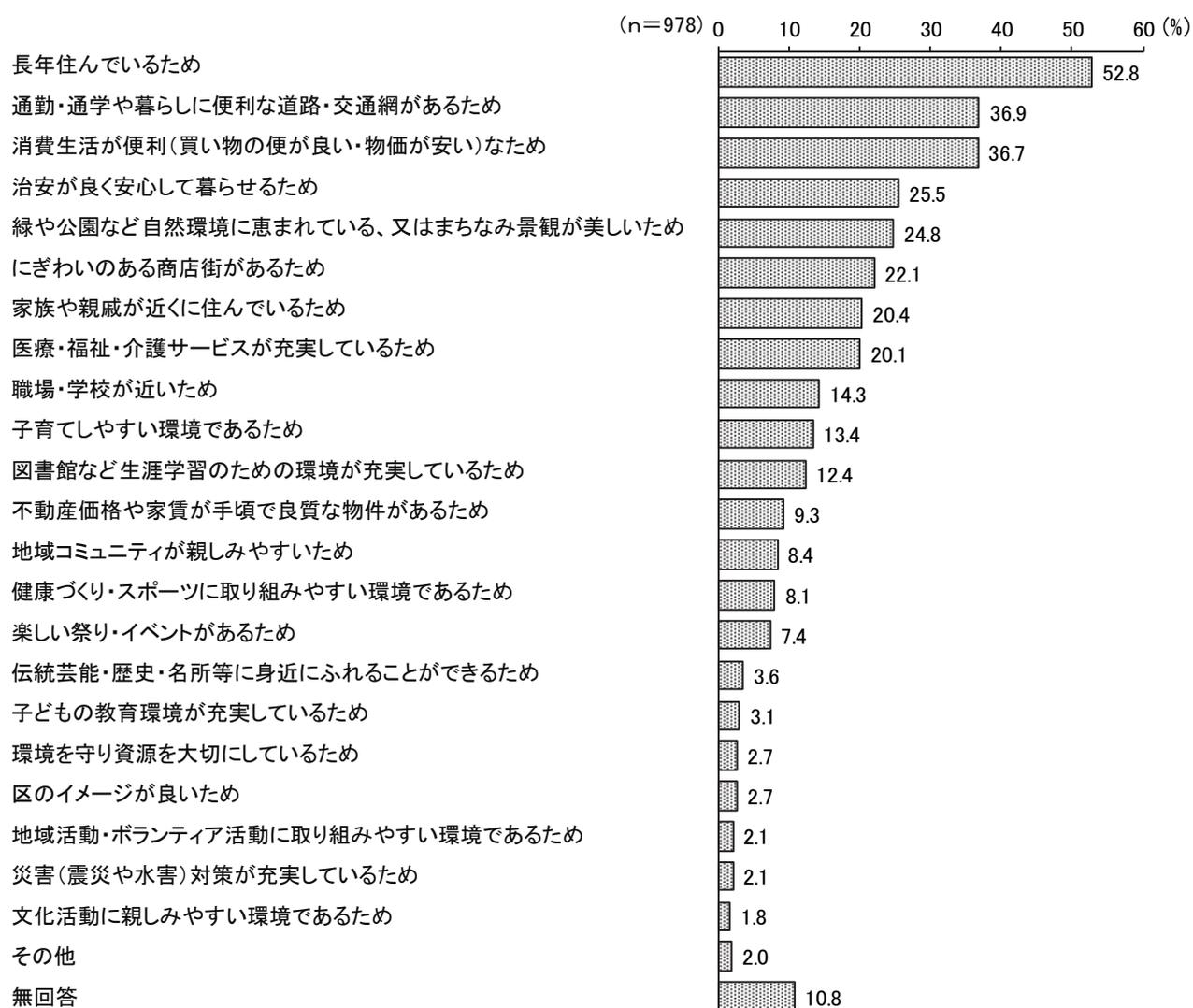
◇「長年住んでいるため」が5割を超える

(問4で、板橋区に愛着を「感じる」又は「まあ感じる」と回答した方のみ)

問4-1 「愛着を感じる」理由をそれぞれ5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

(順不同)

図2-3-20



問4で、板橋区に愛着を「感じる」又は「まあ感じる」と答えた人(978人)に、その理由を聞いたところ、「長年住んでいるため」(52.8%)が5割を超えています。次いで「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(36.9%)、「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(36.7%)が3割半ば、「治安が良く安心して暮らせるため」(25.5%)、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(24.8%)、が2割半ばなどとなっています。(図2-3-20)

① 年代別

年代別でみると、「長年住んでいるため」は、すべての年代で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は50歳代(45.6%)、40歳代(44.1%)、30歳代(40.1%)で第2位、10歳代(30.0%)で同率の第2位となっています。「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」は60歳以上のすべての年代で第2位となっています。その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は10歳代(30.0%)で同率の第2位、30歳代(27.5%)で同率の第4位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は75歳以上(32.4%)で第3位、60～64歳(26.3%)、70～74歳(26.3%)で第4位、65～69歳(25.0%)で第5位となっています。(表2-3-1)

表2-3-1 愛着を感じる理由(年代別)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		978	長年住んでいるため 52.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 25.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.8
年 代 別	10 歳 代	10	長年住んでいるため 70.0	にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.0			伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 20.0
	20 歳 代	86	長年住んでいるため 47.7	治安が良く安心して暮らせるため 36.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 32.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 27.9	家族や親戚が近くに住んでいるため 23.3
	30 歳 代	142	長年住んでいるため 43.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 33.1	にぎわいのある商店街があるため 27.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.8
	40 歳 代	188	長年住んでいるため 50.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 40.4	治安が良く安心して暮らせるため 27.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1
	50 歳 代	158	長年住んでいるため 58.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 45.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 38.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.5	治安が良く安心して暮らせるため 24.1
	60～64 歳	95	長年住んでいるため 60.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 42.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.2
	65～69 歳	112	長年住んでいるため 58.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 33.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.0
	70～74 歳	80	長年住んでいるため 56.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 37.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.0
	75 歳 以上	102	長年住んでいるため 49.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 38.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 27.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 22.5

② 地域別

地域別でみると、「長年住んでいるため」はすべての地域で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は板橋地域（40.1%）、赤塚地域（37.3%）、常盤台地域（35.7%）で第2位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は志村地域（41.5%）と高島平地域（34.3%）で第2位となっています。その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は板橋地域（38.1%）で第4位となっています。

（表2-3-2）

表2-3-2 愛着を感じる理由（地域別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		978	長年住んでいるため 52.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 25.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.8
地 域 別	板橋地域	252	長年住んでいるため 51.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.5	にぎわいのある商店街があるため 38.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.4
	常盤台地域	143	長年住んでいるため 59.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 34.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.7	治安が良く安心して暮らせるため 28.0
	志村地域	207	長年住んでいるため 52.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 41.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 31.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.1
	赤塚地域	201	長年住んでいるため 50.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	治安が良く安心して暮らせるため 24.9
	高島平地域	172	長年住んでいるため 52.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 34.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.7	治安が良く安心して暮らせるため 21.5

③ 職業別

職業別でみると、「長年住んでいるため」は、すべての職業で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」はアルバイト・パート（41.6%）、会社役員（40.9%）、主婦・主夫（38.4%）、無職（33.3%）で第2位、自営業・自由業（40.6%）では同率の第2位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は会社員・公務員（42.1%）で第2位、自営業・自由業（40.6%）、学生（25.0%）で同率の第2位となっています。その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は会社役員（36.4%）、その他（26.3%）で同率の第3位、無職（29.6%）で第4位となっています。（表2-3-3）

表2-3-3 愛着を感じる理由（職業別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		978	長年住んでいるため 52.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 25.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.8
職 業 別	会社員・公務員	340	長年住んでいるため 50.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	治安が良く安心して暮らせるため 25.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.4
	自営業・自由業	64	長年住んでいるため 62.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 40.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.7	にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため 25.0	
	会社役員	22	長年住んでいるため 81.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 40.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/家族や親戚が近くに住んでいるため 36.4		
	主婦・主夫	172	長年住んでいるため 51.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.7	治安が良く安心して暮らせるため 23.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.1
	学 生	28	長年住んでいるため 64.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	治安が良く安心して暮らせるため/家族や親戚が近くに住んでいるため 21.4		
	アルバイト・パート	137	長年住んでいるため 54.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 41.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.9	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.7	
	無 職	159	長年住んでいるため 50.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 31.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.6	治安が良く安心して暮らせるため 28.9
	そ の 他	38	長年住んでいるため 50.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため 26.3		

④ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「長年住んでいるため」は、すべての世帯構成で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は夫婦のみ（44.8%）、三世代同居（42.3%）、二世代同居（親と同居）（36.2%）で第2位、その他（31.0%）で同率の第2位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は単身世帯（41.4%）、二世代同居（子と同居）（38.8%）で第2位、その他（31.0%）で同率の第2位となっています。その他の特徴として、「家族や親族が近くに住んでいるため」は三世代同居（34.6%）で第3位、二世代同居（親と同居）（30.3%）で第5位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は二世代同居（子と同居）（27.0%）で第4位となっています。（表2-3-4）

表2-3-4 愛着を感じる理由（世帯構成別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		978	長年住んでいるため 52.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 25.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.8
世帯構成別	単身世帯	198	長年住んでいるため 44.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.8	にぎわいのある商店街があるため 30.8	治安が良く安心して暮らせるため 28.3
	夫婦のみ	212	長年住んでいるため 49.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 44.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.0
	二世代同居（子と同居）	356	長年住んでいるため 51.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 34.3	子育てしやすい環境であるため 27.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.7
	二世代同居（親と同居）	152	長年住んでいるため 69.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.2	治安が良く安心して暮らせるため 33.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.9	家族や親戚が近くに住んでいるため 30.3
	三世代同居	26	長年住んでいるため 61.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 42.3	家族や親戚が近くに住んでいるため 34.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.1
	その他	29	長年住んでいるため 44.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 31.0	にぎわいのある商店街があるため 24.1	治安が良く安心して暮らせるため 20.7	

⑤ 同居家族別

同居家族別でみると、「長年住んでいるため」は、すべての同居家族で第1位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は小学生と同居している方(43.8%)と未就学児と同居している方(38.5%)で第2位、中学生と同居している方(37.3%)で第3位となっています。「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」は75歳以上の家族と同居している方(44.5%)、65～74歳の家族と同居している方(40.0%)で第2位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はその他の家族と同居している方(39.2%)で、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は中学生と同居している方(42.4%)で第2位となっています。その他の特徴として、「家族や親戚が近くに住んでいるため」は小学生と同居している方(30.3%)で第4位、未就学児と同居している方(26.0%)で第5位となっています。(表2-3-5)

表2-3-5 愛着を感じる理由(同居家族別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		978	長年住んでいるため 52.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 25.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.8
同居家族別	未就学児	96	長年住んでいるため 41.7	子育てしやすい環境であるため 38.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 32.3	家族や親戚が近くに住んでいるため 26.0
	小学生	89	長年住んでいるため 44.9	子育てしやすい環境であるため 43.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.3	家族や親戚が近くに住んでいるため 30.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.1
	中学生	59	長年住んでいるため 47.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 42.4	子育てしやすい環境であるため 37.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 35.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.9
	65～74歳の家族	165	長年住んでいるため 60.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 40.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.5	治安が良く安心して暮らせるため 26.1
	75歳以上の家族	128	長年住んでいるため 62.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 44.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.5	治安が良く安心して暮らせるため 28.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.0
	その他の家族	515	長年住んでいるため 55.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 35.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.2	治安が良く安心して暮らせるため 24.5

⑥ 住居形態別

住居形態別でみると、「長年住んでいるため」は一戸建（持ち家）（60.7%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（59.5%）、マンション（持ち家）（51.4%）、マンション・アパート（賃貸）（43.1%）で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は一戸建（賃貸）（47.1%）で、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は社宅・寮・間借り・住込み（60.0%）で第1位となっています。その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は社宅・寮・間借り・住込み（46.7%）で第2位、一戸建（賃貸）（35.3%）で同率の第2位、マンション・アパート（賃貸）（28.9%）で第4位となっています。

（表2-3-6）

表2-3-6 愛着を感じる理由（住居形態別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		978	長年住んでいるため 52.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 25.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.8
住居形態別	一戸建（持ち家）	359	長年住んでいるため 60.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.6	治安が良く安心して暮らせるため 26.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.2
	一戸建（賃貸）	17	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 47.1	にぎわいのある商店街があるため/家族や親戚が近くに住んでいるため/長年住んでいるため 35.3		治安が良く安心して暮らせるため 29.4	
	マンション（持ち家）	278	長年住んでいるため 51.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 41.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.6	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.7	
	マンション・アパート（賃貸）	225	長年住んでいるため 43.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.4	にぎわいのある商店街があるため 28.9	治安が良く安心して暮らせるため 24.4
	都市再生機構・公社・都営・区営住宅	74	長年住んでいるため 59.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 39.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.7	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 20.3
	社宅・寮・間借り・住込み	15	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 60.0	にぎわいのある商店街があるため 46.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 40.0	職場・学校が近いため/長年住んでいるため 33.3	
	その他（ケア付住宅など）	4	長年住んでいるため 50.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/区のイメージが良いため 25.0			

⑦ 居住年数別

居住年数別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は1年未満(54.2%)、1年以上5年未満(44.8%)、5年以上10年未満(41.5%)で第1位となっています。「長年住んでいるため」は生まれたときから(78.0%)、20年以上(61.4%)、10年以上20年未満(44.2%)で第1位となっています。「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」は5年以上10年未満(40.2%)、20年以上(39.3%)で第2位、1年以上5年未満(36.8%)で同率の第2位となっています。その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は1年以上5年未満(36.8%)で同率の第2位、1年未満(45.8%)で第3位、5年以上10年未満(29.3%)で同率の第3位となっています。「家族や親戚が近くに住んでいるため」は生まれたときから(36.6%)で第2位となっています。(表2-3-7)

表2-3-7 愛着を感じる理由(居住年数別)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		978	長年住んでいるため 52.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 25.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.8
居 住 年 数 別	1年未満	24	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 54.2	治安が良く安心して暮らせるため 50.0	にぎわいのある商店街があるため 45.8	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 37.5	
	1年以上5年未満	87	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.8	にぎわいのある商店街があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 36.8		治安が良く安心して暮らせるため 25.3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 21.8
	5年以上10年未満	82	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 40.2	にぎわいのある商店街があるため/長年住んでいるため 29.3		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.8
	10年以上20年未満	165	長年住んでいるため 44.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 35.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.1	治安が良く安心して暮らせるため 26.7
	20年以上	427	長年住んでいるため 61.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 39.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.0
	生まれたときから	186	長年住んでいるため 78.0	家族や親戚が近くに住んでいるため 36.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 30.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.1	治安が良く安心して暮らせるため 25.8

(3-3) 誇りを感じる理由

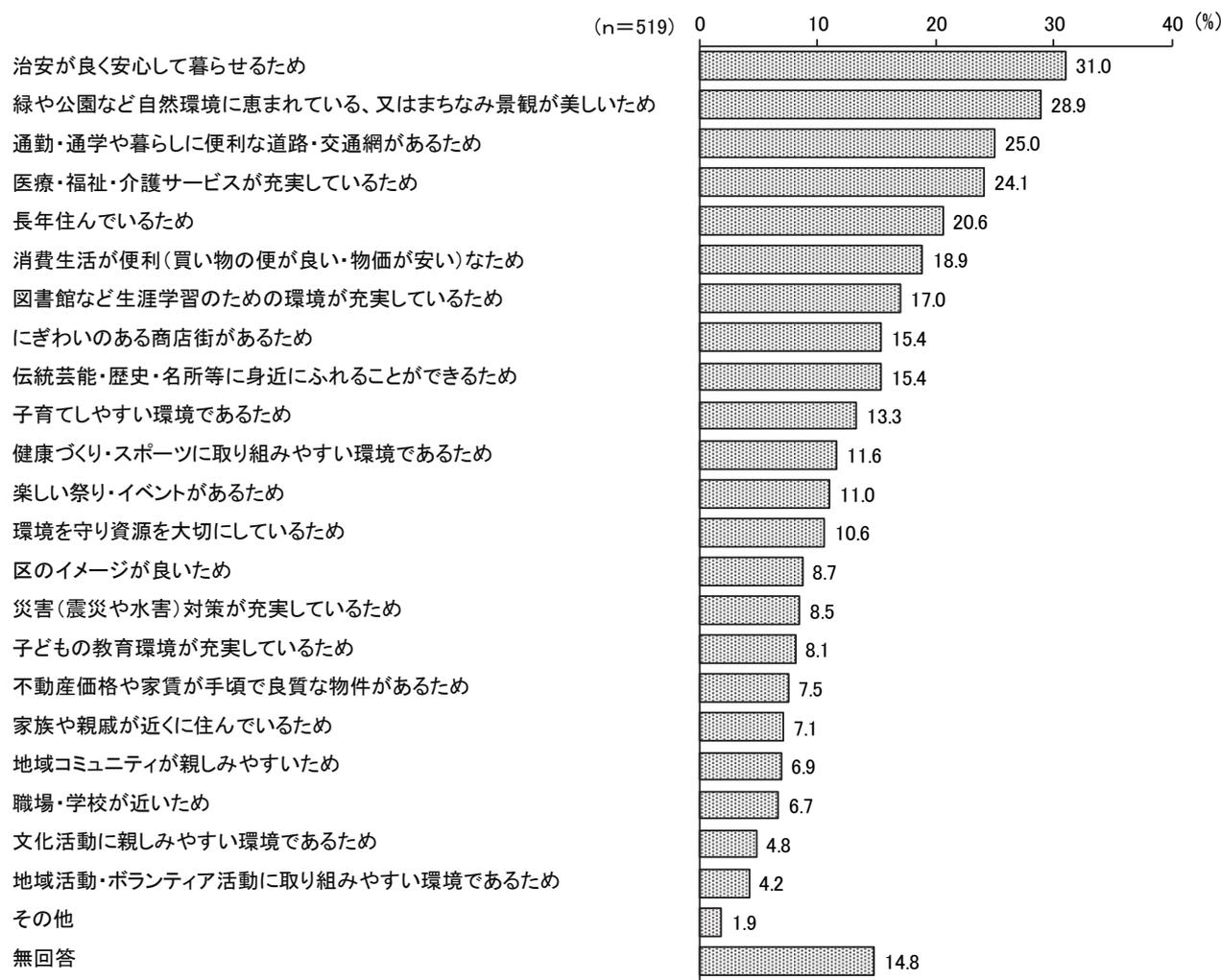
◇「治安が良く安心して暮らせるため」が3割を超える

(問4で、板橋区に誇りを「感じる」又は「まあ感じる」と回答した方のみ)

問4-1 「誇りを感じる」理由をそれぞれ5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

(順不同)

図2-3-21



問4で、板橋区に誇りを「感じる」又は「まあ感じる」と答えた人(519人)に、その理由を聞いたところ、「治安が良く安心して暮らせるため」(31.0%)が3割を超えており、次いで「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(28.9%)、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(25.0%)、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」(24.1%)、「長年住んでいるため」(20.6%)が2割台などとなっています。

(図2-3-21)

① 年代別

年代別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は40歳代（33.7%）、70～74歳（33.3%）で第1位、50歳代（34.5%）、65～69歳（28.8%）で同率の第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は75歳以上（37.5%）で第1位、50歳代（34.5%）、20歳代（30.2%）で同率の第1位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は60～64歳（37.0%）で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は30歳代（37.9%）で第1位、20歳代（30.2%）で同率の第1位となっています。「伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため」は65～69歳（28.8%）で同率の第1位となっています。（表2-3-8）

表2-3-8 誇りを感じる理由（年代別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		519	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.1	長年住んでいるため 20.6
年 代 別	10 歳 代	7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 57.1	治安が良く安心して暮らせるため 42.9	にぎわいのある商店街があるため/区 のイメージが良いため 28.6		子どもの教育環境が充実しているため 他※ 14.3
	20 歳 代	43	治安が良く安心して暮らせるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.9	長年住んでいるため 25.6	にぎわいのある商店街があるため 20.9	
	30 歳 代	58	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.9	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 29.3	にぎわいのある商店街があるため 27.6	子育てしやすい環境であるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.9
	40 歳 代	101	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.7	治安が良く安心して暮らせるため 30.7	長年住んでいるため 28.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 27.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 22.8
	50 歳 代	87	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 28.7	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 20.7	
	60 ～ 64 歳	54	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 37.0	治安が良く安心して暮らせるため 29.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.4
	65 ～ 69 歳	66	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.8	治安が良く安心して暮らせるため 25.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 21.2	環境を守り資源を大切にしているため/長年住んでいるため 19.7	
	70 ～ 74 歳	42	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.3	治安が良く安心して暮らせるため 28.6	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.2		災害(震災や水害)対策が充実しているため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 21.4
	75 歳 以上	56	治安が良く安心して暮らせるため 37.5	長年住んでいるため 23.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.4	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 17.9	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

② 地域別

地域別でみると、「治安が良く安心して暮らせるため」は常盤台地域(35.0%)、志村地域(31.9%)、板橋地域(29.3%)で第1位、高島平地域(31.1%)で同率の第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は赤塚地域(35.0%)で第1位、高島平地域(31.1%)で同率の第1位となっています。その他の特徴として、「伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため」は赤塚地域(31.0%)で第2位となっています。

(表2-3-9)

表2-3-9 誇りを感じる理由(地域別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		519	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.1	長年住んでいるため 20.6
地 域 別	板橋地域	133	治安が良く安心して暮らせるため 29.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 27.8	にぎわいのある商店街があるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 24.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 21.1	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 21.3
	常盤台地域	80	治安が良く安心して暮らせるため 35.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 32.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.0	長年住んでいるため 22.5	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 21.3
	志村地域	113	治安が良く安心して暮らせるため 31.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.5	長年住んでいるため 25.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.9
	赤塚地域	100	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 35.0	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 31.0	治安が良く安心して暮らせるため 29.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 28.0	長年住んでいるため 22.0
	高島平地域	90	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 20.0	子育てしやすい環境であるため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 17.8	

③ 職業別

職業別でみると、「治安が良く安心して暮らせるため」は会社役員（53.3%）と会社員・公務員（33.0%）、無職（29.5%）で第1位、主婦・主夫（26.3%）で同率の第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は自営業・自由業（41.2%）、アルバイト・パート（37.7%）で第1位、主婦・主夫（26.3%）で同率の第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は学生（50.0%）で、「にぎわいのある商店街があるため」はその他（26.1%）で第1位となっています。（表2-3-10）

表2-3-10 誇りを感じる理由（職業別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		519	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.1	長年住んでいるため 20.6
職 業 別	会社員・公務員	176	治安が良く安心して暮らせるため 33.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 22.7	長年住んでいるため 22.2
	自営業・自由業	34	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 41.2	治安が良く安心して暮らせるため 35.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 32.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 29.4	
	会社役員	15	治安が良く安心して暮らせるため 53.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 46.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3	災害(震災や水害)対策が充実しているため 他※ 26.7	
	主婦・主夫	80	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 18.8	子育てしやすい環境であるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 17.5
	学 生	18	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 50.0	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.3		長年住んでいるため 27.8	子どもの教育環境が充実しているため 他※ 22.2
	アルバイト・パート	69	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.7	治安が良く安心して暮らせるため 30.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.2	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.7	
	無 職	95	治安が良く安心して暮らせるため 29.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.1	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 20.0	
	そ の 他	23	にぎわいのある商店街があるため 26.1	治安が良く安心して暮らせるため/環境を守り資源を大切にしているため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.7		子育てしやすい環境であるため 他※ 17.4	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

④ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「治安が良く安心して暮らせるため」は夫婦のみ（34.2%）、二世帯同居（子と同居）（31.4%）と単身世帯（31.0%）で第1位、その他（28.6%）で同率の第1位となっています。「長年住んでいるため」は二世帯同居（親と同居）（33.3%）で第1位、その他（28.6%）で同率の第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は三世帯同居（35.3%）とその他（28.6%）で同率の第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は三世帯同居（35.3%）とその他（28.6%）で同率の第1位となっています。その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は二世帯同居（子と同居）（25.0%）で第3位となっています。（表2-3-11）

表2-3-11 誇りを感じる理由（世帯構成別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		519	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.1	長年住んでいるため 20.6
世帯構成別	単身世帯	113	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 22.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 22.1	長年住んでいるため 19.5
	夫婦のみ	111	治安が良く安心して暮らせるため 34.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 20.7	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため/長年住んでいるため 18.9
	二世帯同居（子と同居）	188	治安が良く安心して暮らせるため 31.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.7	子育てしやすい環境であるため 25.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 22.9
	二世帯同居（親と同居）	72	長年住んでいるため 33.3	治安が良く安心して暮らせるため 29.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.4
	三世帯同居	17	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため/長年住んでいるため 23.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため/長年住んでいるため 23.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため/長年住んでいるため 23.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため/長年住んでいるため 23.5
	その他	14	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 28.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 28.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 28.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 28.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 28.6

⑤ 同居家族別

同居家族別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は中学生と同居している方(45.7%)、その他の家族と同居している方(31.8%)で第1位、65～74歳の家族と同居している方(31.1%)で同率の第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は小学生と同居している方(35.2%)で第1位、65～74歳の家族と同居している方(31.1%)で同率の第1位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は未就学児と同居している方(35.3%)で、「長年住んでいるため」は75歳以上の家族と同居している方(33.3%)で第1位となっています。その他の特徴として、「図書館など生涯学習のための環境が充実しているため」は中学生と同居している方(28.6%)で第3位、65～74歳の家族と同居している方(22.2%)で同率の第4位となっています。(表2-3-12)

表2-3-12 誇りを感じる理由(同居家族別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		519	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.1	長年住んでいるため 20.6
同居家族別	未就学児	51	子育てしやすい環境であるため 35.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.4	治安が良く安心して暮らせるため 27.5	にぎわいのある商店街があるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.5	
	小学生	54	治安が良く安心して暮らせるため 35.2	子育てしやすい環境であるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 31.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.8
	中学生	35	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 45.7	治安が良く安心して暮らせるため 34.3	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 28.6		子育てしやすい環境であるため 他※ 22.9
	65～74歳の家族	90	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 30.0		図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/長年住んでいるため 22.2	
	75歳以上の家族	69	長年住んでいるため 33.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 31.9	治安が良く安心して暮らせるため 24.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.7
	その他の家族	267	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.8	治安が良く安心して暮らせるため 31.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.5	長年住んでいるため 20.6

※他の理由:健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため
/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/長年住んでいるため

⑥ 住居形態別

住居形態別でみると、「治安が良く安心して暮らせるため」はマンション・アパート(賃貸)(33.3%)と一戸建(持ち家)(31.4%)で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は都市再生機構・公社・都営・区営住宅(33.3%)とマンション(持ち家)(32.1%)と第1位となっています。その他の特徴として、「区のイメージが良いため」は都市再生機構・公社・都営・区営住宅(19.0%)で第4位となっています。(表2-3-13)

表2-3-13 誇りを感じる理由(住居形態別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		519	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.1	長年住んでいるため 20.6
住居形態別	一戸建(持ち家)	204	治安が良く安心して暮らせるため 31.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 27.0	長年住んでいるため 24.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.0
	一戸建(賃貸)	9	にぎわいのある商店街があるため 55.6	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3			子育てしやすい環境であるため 他※ 22.2
	マンション(持ち家)	140	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 32.1	治安が良く安心して暮らせるため 31.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 30.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.4	
	マンション・アパート(賃貸)	111	治安が良く安心して暮らせるため 33.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.9	にぎわいのある商店街があるため 25.2	長年住んでいるため 18.9
	都市再生機構・公社・都営・区営住宅	42	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.3	治安が良く安心して暮らせるため 23.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 21.4	区のイメージが良いため 19.0	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため ※2 16.7
	社宅・寮・間借り・住込み	6	にぎわいのある商店街があるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/長年住んでいるため 50.0			子育てしやすい環境であるため 他※3 33.3	
	その他(ケア付住宅など)	4	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため/災害(震災や水害)対策が充実しているため/区のイメージが良いため/長年住んでいるため 25.0				

※他の理由: 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため/伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため

※2他の理由: 伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため

※3他の理由: 健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため

⑦ 居住年数別

居住年数別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は10年以上20年未満（34.2%）と20年以上（31.8%）で第1位となっています。「環境を守り資源を大切にしているため」は1年未満（50.0%）で「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は1年以上5年未満（37.2%）で、「長年住んでいるため」は生まれたときから（34.6%）で第1位となっています。また、「治安が良く安心して暮らせるため」は5年以上10年未満（32.5%）で同率の第1位となっています。その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は1年以上5年未満（34.9%）で同率の第2位となっています。（表2-3-14）

表2-3-14 誇りを感じる理由（居住年数別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		519	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.1	長年住んでいるため 20.6
居 住 年 数 別	1 年 未 満	10	環境を守り資源を大切にしているため 50.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.0	治安が良く安心して暮らせるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.0		子どもの教育環境が充実しているため 他※ 20.0
	1 年 以 上 5 年 未 満	43	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	にぎわいのある商店街があるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.9	治安が良く安心して暮らせるため 30.2		子育てしやすい環境であるため 23.3
	5 年 以 上 10 年 未 満	40	治安が良く安心して暮らせるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 32.5		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 22.5	子育てしやすい環境であるため 20.0
	10 年 以 上 20 年 未 満	76	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.2	治安が良く安心して暮らせるため 28.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 22.4
	20 年 以 上	239	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.8	治安が良く安心して暮らせるため 30.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 21.3	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 20.1
	生まれたときから	107	長年住んでいるため 34.6	治安が良く安心して暮らせるため 31.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 28.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 16.8

※他の理由: 不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため/地域コミュニティが親しみやすいため/にぎわいのある商店街があるため/伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため/職場・学校が近い

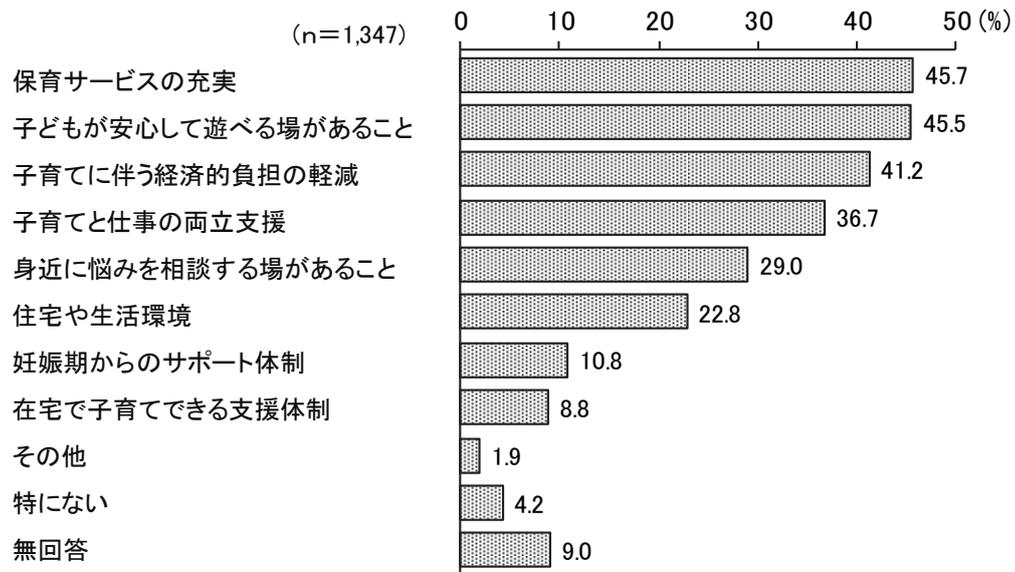
3. 「子育て安心」について

(1) 地域における子育て支援策

◇「保育サービスの充実」が4割半ば

問5 子育て世帯の方々が、地域において安心して子育てができるために、あなたが重要だと思うものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図3-1-1



地域において安心して子育てができるために重要だと思うものを聞いたところ、「保育サービスの充実」(45.7%)、「子どもが安心して遊べる場があること」(45.5%)が4割半ばとなり、「子育てに伴う経済的負担の軽減」(41.2%)が4割を超えています。また、「子育てと仕事の両立支援」(36.7%)は3割半ば、「身近に悩みを相談する場があること」(29.0%)は約3割となっています。(図3-1-1)

① 年代別

年代別でみると、「子どもが安心して遊べる場があること」は40歳代(57.5%)、50歳代(55.0%)、10歳代(54.5%)、65～69歳(45.5%)、75歳以上(29.9%)で第1位、70～74歳(33.3%)で同率の第1位となっています。「子育てに伴う経済的な負担の軽減」は30歳代(58.1%)、20歳代(57.8%)で第1位となっています。また、「保育サービスの充実」は60～64歳(49.6%)で第1位となっており、「身近に悩みを相談できる場があること」は70歳～74歳(33.3%)で同率の第1位となっています。(表3-1-1)

表3-1-1 地域における子育て支援策(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	保育サービスの充実 45.7	子どもが安心して遊べる場があること 45.5	子育てに伴う経済的負担の軽減 41.2	子育てと仕事の両立支援 36.7	身近に悩みを相談する場があること 29.0
年 代 別	10 歳 代	11	子どもが安心して遊べる場があること 54.5	保育サービスの充実/子育てに伴う経済的負担の軽減 45.5		住宅や生活環境/子育てと仕事の両立支援 27.3	
	20 歳 代	135	子育てに伴う経済的負担の軽減 57.8	保育サービスの充実 51.1	子育てと仕事の両立支援 45.2	子どもが安心して遊べる場があること 34.8	身近に悩みを相談する場があること 27.4
	30 歳 代	215	子育てに伴う経済的負担の軽減 58.1	保育サービスの充実 57.7	子育てと仕事の両立支援 47.9	子どもが安心して遊べる場があること 44.7	身近に悩みを相談する場があること 23.7
	40 歳 代	259	子どもが安心して遊べる場があること 57.5	保育サービスの充実 49.0	子育てに伴う経済的負担の軽減 47.5	子育てと仕事の両立支援 37.8	身近に悩みを相談する場があること 28.2
	50 歳 代	218	子どもが安心して遊べる場があること 55.0	保育サービスの充実 47.7	子育てに伴う経済的負担の軽減 40.4	子育てと仕事の両立支援 35.8	身近に悩みを相談する場があること 33.5
	60～64歳	119	保育サービスの充実 49.6	子どもが安心して遊べる場があること 43.7	子育てと仕事の両立支援 35.3	身近に悩みを相談する場があること 33.6	子育てに伴う経済的負担の軽減 26.9
	65～69歳	154	子どもが安心して遊べる場があること 45.5	保育サービスの充実 40.3	身近に悩みを相談する場があること 34.4	子育てと仕事の両立支援 33.1	子育てに伴う経済的負担の軽減 31.8
	70～74歳	102	身近に悩みを相談する場があること/ 子どもが安心して遊べる場があること 33.3		保育サービスの充実 31.4	子育てと仕事の両立支援 28.4	子育てに伴う経済的負担の軽減 23.5
	75歳以上	127	子どもが安心して遊べる場があること 29.9	保育サービスの充実 23.6	子育てに伴う経済的負担の軽減 22.8	子育てと仕事の両立支援 22.0	身近に悩みを相談する場があること 20.5

② 同居家族別

同居家族別でみると、「子どもが安心して遊べる場があること」は小学生と同居している方（72.4%）、中学生と同居している方（68.0%）、その他の家族と同居している方（50.4%）、75歳以上の家族と同居している方（43.5%）で第1位となっています。「子育てに伴う経済的負担の軽減」は未就学児と同居している方（60.7%）で第1位となっています。「保育サービスの充実」は65～74歳の家族と同居している方（43.8%）で第1位となっています。その他の特徴として、「住宅や生活環境」は中学生と同居している方（37.3%）で第4位、未就学児と同居している方（26.2%）、小学生と同居している方（25.9%）で第5位となっています。（表3-1-2）

表3-1-2 地域における子育て支援策（同居家族別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	保育サービスの充実 45.7	子どもが安心して遊べる場があること 45.5	子育てに伴う経済的負担の軽減 41.2	子育てと仕事の両立支援 36.7	身近に悩みを相談する場があること 29.0
同居家族別	未就学児	145	子育てに伴う経済的負担の軽減 60.7	子どもが安心して遊べる場があること 57.9	保育サービスの充実 57.2	子育てと仕事の両立支援 41.4	住宅や生活環境 26.2
	小学生	116	子どもが安心して遊べる場があること 72.4	子育てに伴う経済的負担の軽減 50.0	保育サービスの充実 48.3	子育てと仕事の両立支援 34.5	住宅や生活環境 25.9
	中学生	75	子どもが安心して遊べる場があること 68.0	子育てに伴う経済的負担の軽減 54.7	保育サービスの充実 42.7	住宅や生活環境 37.3	子育てと仕事の両立支援 25.3
	65～74歳の家族	203	保育サービスの充実 43.8	子どもが安心して遊べる場があること 40.9	子育てと仕事の両立支援 36.0	子育てに伴う経済的負担の軽減 35.0	身近に悩みを相談する場があること 33.0
	75歳以上の家	161	子どもが安心して遊べる場があること 43.5	保育サービスの充実 36.0	子育てに伴う経済的負担の軽減 32.3	身近に悩みを相談する場があること/ 子育てと仕事の両立支援 27.3	
	その他の家族	710	子どもが安心して遊べる場があること 50.4	保育サービスの充実 49.7	子育てに伴う経済的負担の軽減 45.6	子育てと仕事の両立支援 40.8	身近に悩みを相談する場があること 28.6

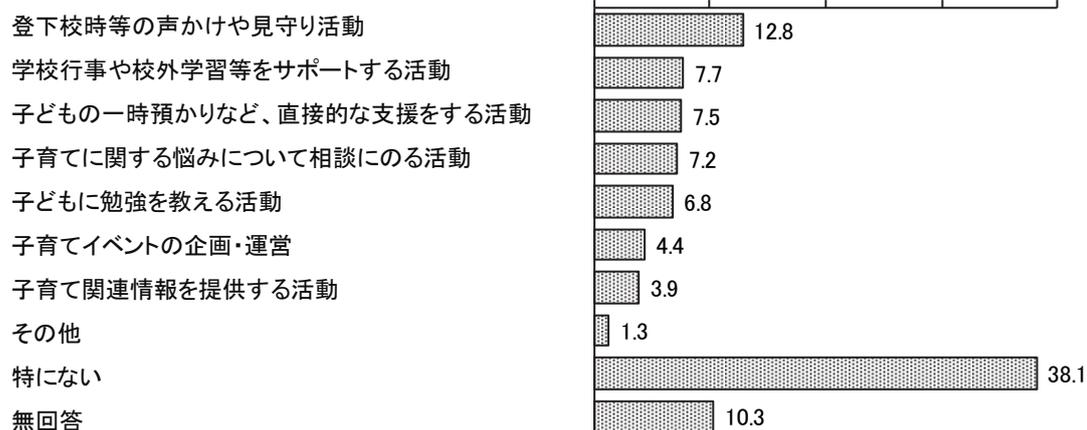
(2) 地域における子育てを支える担い手

◇「特にない」が4割近く

問6 地域における子育てを支える担い手として、あなたが参加してみたいと思うものはありますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図3-2-1

(n=1,347) 0 10 20 30 40 (%)



地域における子育てを支える担い手として、参加してみたいと思うものを聞いたところ、「特にない」(38.1%)が4割近く、「登下校時等の声かけや見守り活動」(12.8%)が1割を超えています。また、「学校行事や校外学習等をサポートする活動」(7.7%)、「子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動」(7.5%)、「子育てに関する悩みについて相談にのる活動」(7.2%)が1割近くとなっています。(図3-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「特にない」は10歳代を除くすべての年代で第1位となっており、「子どもに勉強を教える活動」は10歳代（54.5%）で第1位となっています。「登下校時等の声かけや見守り活動」は70～74歳（22.5%）、65～69歳（18.2%）、60～64歳（16.0%）、75歳以上（15.7%）、40歳代（13.1%）、50歳代（12.4%）で第2位となっています。その他の特徴として、「子供に勉強を教える活動」は20歳（11.9%）で第2位、30歳代（10.2%）で第3位となっています。

（表3-2-1）

表3-2-1 子育てを支える担い手（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	特にない 38.1	登下校時等の声かけや見守り活動 12.8	学校行事や校外学習等をサポートする活動 7.7	子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 7.5	子育てに関する悩みについて相談にのる活動 7.2
年 代 別	10 歳 代	11	子どもに勉強を教える活動 54.5	子育てイベントの企画・運営/特にない 18.2		子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 9.1	
	20 歳 代	135	特にない 36.3	子どもに勉強を教える活動 11.9	子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 11.1	子育てイベントの企画・運営/学校行事や校外学習等をサポートする活動 9.6	
	30 歳 代	215	特にない 38.1	子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 13.0	子どもに勉強を教える活動 10.2	子育てイベントの企画・運営 8.8	子育て関連情報を提供する活動 7.4
	40 歳 代	259	特にない 28.2	登下校時等の声かけや見守り活動 13.1	学校行事や校外学習等をサポートする活動 12.0	子育てに関する悩みについて相談にのる活動 10.8	子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 8.5
	50 歳 代	218	特にない 45.0	登下校時等の声かけや見守り活動 12.4	子育てに関する悩みについて相談にのる活動/学校行事や校外学習等をサポートする活動 10.1		子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 6.4
	60 ～ 64 歳	119	特にない 39.5	登下校時等の声かけや見守り活動 16.0	学校行事や校外学習等をサポートする活動/子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 7.6	子育て関連情報を提供する活動 6.7	
	65 ～ 69 歳	154	特にない 42.9	登下校時等の声かけや見守り活動 18.2	子育てに関する悩みについて相談にのる活動/子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 7.1		学校行事や校外学習等をサポートする活動 5.2
	70 ～ 74 歳	102	特にない 35.3	登下校時等の声かけや見守り活動 22.5	子育てに関する悩みについて相談にのる活動 7.8	子育て関連情報を提供する活動 3.9	子どもに勉強を教える活動/学校行事や校外学習等をサポートする活動 2.0
75 歳 以上	127	特にない 43.3	登下校時等の声かけや見守り活動 15.7	学校行事や校外学習等をサポートする活動 4.7	子どもに勉強を教える活動/その他 2.4		

② 同居家族別

同居家族別でみると、「特にない」は小学生と同居している方を除くすべての同居家族で第1位となっています。「学校行事や校外学習等をサポートする活動」は小学生と同居している方（19.0%）で第1位となっています。その他の特徴として、「子育てイベントの企画・運営」は未就学児と同居している方（13.8%）で第2位、「子育て関連情報を提供する活動」は未就学児と同居している方（11.7%）、小学生と同居している方（11.2%）で第4位となっています。（表3-2-2）

表3-2-2 子育てを支える担い手（同居家族別）

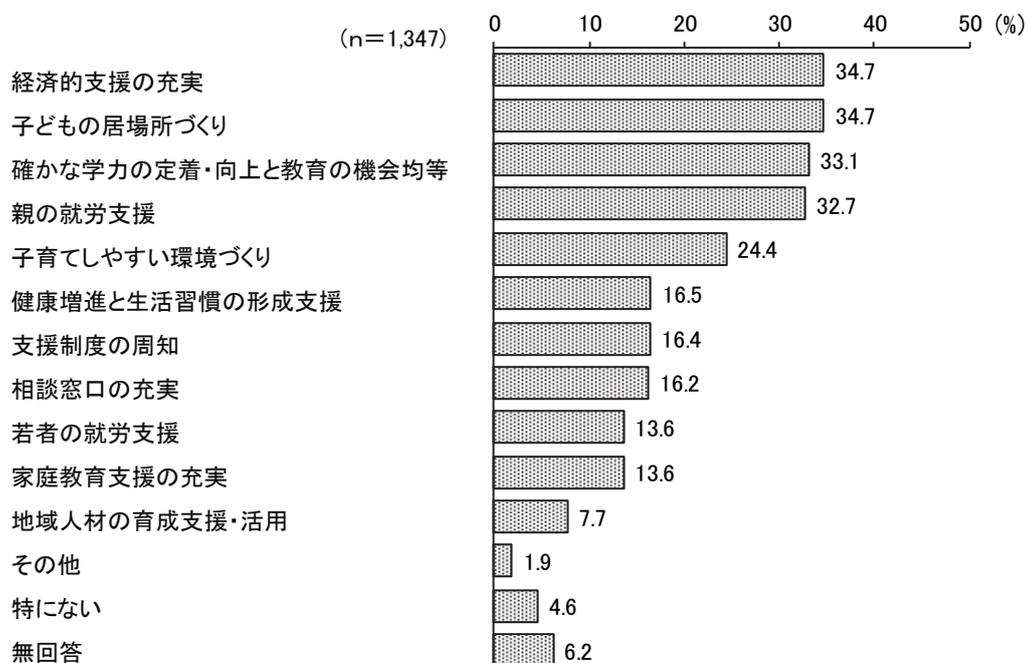
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	特にない 38.1	登下校時等の声 かけや見守り活動 12.8	学校行事や校外 学習等をサポート する活動 7.7	子どもの一時預か りなど、直接的な 支援をする活動 7.5	子育てに関する悩 みについて相談 にのる活動 7.2
同 居 家 族 別	未 就 学 児	145	特にない 22.8	子育てイベントの 企画・運営 13.8	登下校時等の声 かけや見守り活動 13.1	子育て関連情報 を提供する活動 11.7	子どもの一時預か りなど、直接的な 支援をする活動 9.0
	小 学 生	116	学校行事や校外 学習等をサポート する活動 19.0	特にない 18.1	登下校時等の声 かけや見守り活動 14.7	子育て関連情報 を提供する活動 11.2	子どもに勉強を教 える活動 11.2
	中 学 生	75	特にない 21.3	子育てに関する悩 みについて相談 にのる活動 17.3	学校行事や校外 学習等をサポート する活動 16.0	登下校時等の声 かけや見守り活動 13.3	子どもに勉強を教 える活動 9.3
	65～74歳 の 家 族	203	特にない 40.9	登下校時等の声 かけや見守り活動 13.8	子育てに関する悩 みについて相談 にのる活動 7.4	学校行事や校外 学習等をサポート する活動 6.4	子どもの一時預か りなど、直接的な 支援をする活動 5.4
	75歳以上 の 家 族	161	特にない 45.3	登下校時等の声 かけや見守り活動 10.6	子どもに勉強を教 える活動/学校行事 や校外学習等をサ ポートする活動 6.8	6.8	子どもの一時預か りなど、直接的な 支援をする活動 6.2
	そ の 他 の 家 族	710	特にない 36.6	登下校時等の声 かけや見守り活動 15.4	学校行事や校外 学習等をサポート する活動 8.2	子育てに関する悩 みについて相談 にのる活動 7.7	子どもに勉強を教 える活動 7.6

(3) 子どもの貧困対策

◇「経済的支援の充実」と「子どもの居場所づくり」が3割半ば

問7 子どもの貧困対策として、重要だと思うものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図3-3-1



子どもの貧困対策として、重要だと思うものを聞いたところ、「経済的支援の充実」(34.7%)と「子どもの居場所づくり」(34.7%)が同率で3割半ばとなっています。次いで、「確かな学力の定着・向上と教育の機会均等」(33.1%)と「親の就労支援」(32.7%)が3割を超えています。また、「子育てしやすい環境づくり」(24.4%)は2割半ばとなっています。(図3-3-1)

① 年代別

年代別でみると、「経済的支援の充実」は10歳代（72.7%）、20歳代（49.6%）、30歳代（40.0%）、75歳以上（26.8%）で第1位に、70～74歳（29.4%）で同率の第1位となっています。「子どもの居場所づくり」は65～69歳（31.8%）で第1位になっています。「親の就労支援」は50歳代（43.1%）、60～64歳（39.5%）で第1位になっています。また、「確かな学力の定着・向上と教育の機会均等」は40歳代（41.7%）で第1位に、さらに、「子育てしやすい環境づくり」は70～74歳（29.4%）で同率の第1位となっています。その他の特徴として、「健康増進と生活習慣の形成支援」は75歳以上（24.4%）で第3位、「相談窓口の充実」は65～69歳（25.3%）、50歳代（19.7%）で、「若者の就労支援」は20歳代（27.4%）で、それぞれ第5位となっています。（表3-3-1）

表3-3-1 子どもの貧困対策（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	経済的支援の充実 34.7	子どもの居場所づくり 34.7	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 33.1	親の就労支援 32.7	子育てしやすい環境づくり 24.4
年 代 別	10 歳 代	11	経済的支援の充実 72.7	子育てしやすい環境づくり 54.5	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 36.4	親の就労支援/子どもの居場所づくり 27.3	
	20 歳 代	135	経済的支援の充実 49.6	子どもの居場所づくり 36.3	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 32.6	親の就労支援 31.9	若者の就労支援 27.4
	30 歳 代	215	経済的支援の充実 40.0	子どもの居場所づくり 37.2	親の就労支援 35.8	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 34.9	子育てしやすい環境づくり 29.3
	40 歳 代	259	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 41.7	子どもの居場所づくり 39.4	経済的支援の充実 36.7	親の就労支援 34.4	子育てしやすい環境づくり 23.2
	50 歳 代	218	親の就労支援 43.1	子どもの居場所づくり 38.1	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 35.8	経済的支援の充実 30.3	相談窓口の充実 19.7
	60 ～ 64 歳	119	親の就労支援 39.5	子どもの居場所づくり 31.1	経済的支援の充実 30.3	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 29.4	子育てしやすい環境づくり 26.1
	65 ～ 69 歳	154	子どもの居場所づくり 31.8	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 29.9	親の就労支援 29.2	経済的支援の充実 27.9	相談窓口の充実 25.3
	70 ～ 74 歳	102	子育てしやすい環境づくり/経済的支援の充実 29.4		子どもの居場所づくり 27.5	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 25.5	親の就労支援 22.5
	75 歳 以上	127	経済的支援の充実 26.8	子どもの居場所づくり 26.0	健康増進と生活習慣の形成支援 24.4	子育てしやすい環境づくり 23.6	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 22.8

② 同居家族別

同居家族別でみると、「子どもの居場所づくり」は未就学児と同居している方（45.5%）、65～74歳の家族と同居している方（36.0%）、75歳以上の家族と同居している方（31.1%）で第1位となっています。「確かな学力の定着・向上と教育の機会均等」は中学生と同居している方（49.3%）、小学生と同居している方（48.3%）で第1位となっています。また、「親の就労支援」はその他の家族と同居している方（37.2%）で第1位となっています。その他の特徴として、「家庭教育支援の充実」は中学生と同居している方（32.0%）で第4位、「相談窓口の充実」は65～74歳の家族と同居している方（21.7%）で第5位となっています。（表3-3-2）

表3-3-2 子どもの貧困対策（同居家族別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	経済的支援の充実 34.7	子どもの居場所づくり 34.7	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 33.1	親の就労支援 32.7	子育てしやすい環境づくり 24.4
同居家族別	未就学児	145	子どもの居場所づくり 45.5	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 42.8	親の就労支援 40.0	経済的支援の充実 38.6	子育てしやすい環境づくり 30.3
	小学生	116	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 48.3	子どもの居場所づくり 43.1	経済的支援の充実 31.9	親の就労支援 30.2	子育てしやすい環境づくり 29.3
	中学生	75	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 49.3	経済的支援の充実 45.3	子どもの居場所づくり 37.3	家庭教育支援の充実 32.0	親の就労支援 25.3
	65～74歳の家族	203	子どもの居場所づくり 36.0	経済的支援の充実 32.5	親の就労支援 31.5	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 30.5	相談窓口の充実 21.7
	75歳以上の家族	161	子どもの居場所づくり 31.1	親の就労支援 29.2	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 28.6	経済的支援の充実 27.3	子育てしやすい環境づくり 24.8
	その他の家族	710	親の就労支援 37.2	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 36.1	子どもの居場所づくり 35.6	経済的支援の充実 35.2	子育てしやすい環境づくり 24.1

4. 「魅力ある学び支援」について

(1) 子どもたちのたくましく生きる力

◇「感じる」「まあ感じる」を合わせた『感じる』が約3割

問8 子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図4-1-1

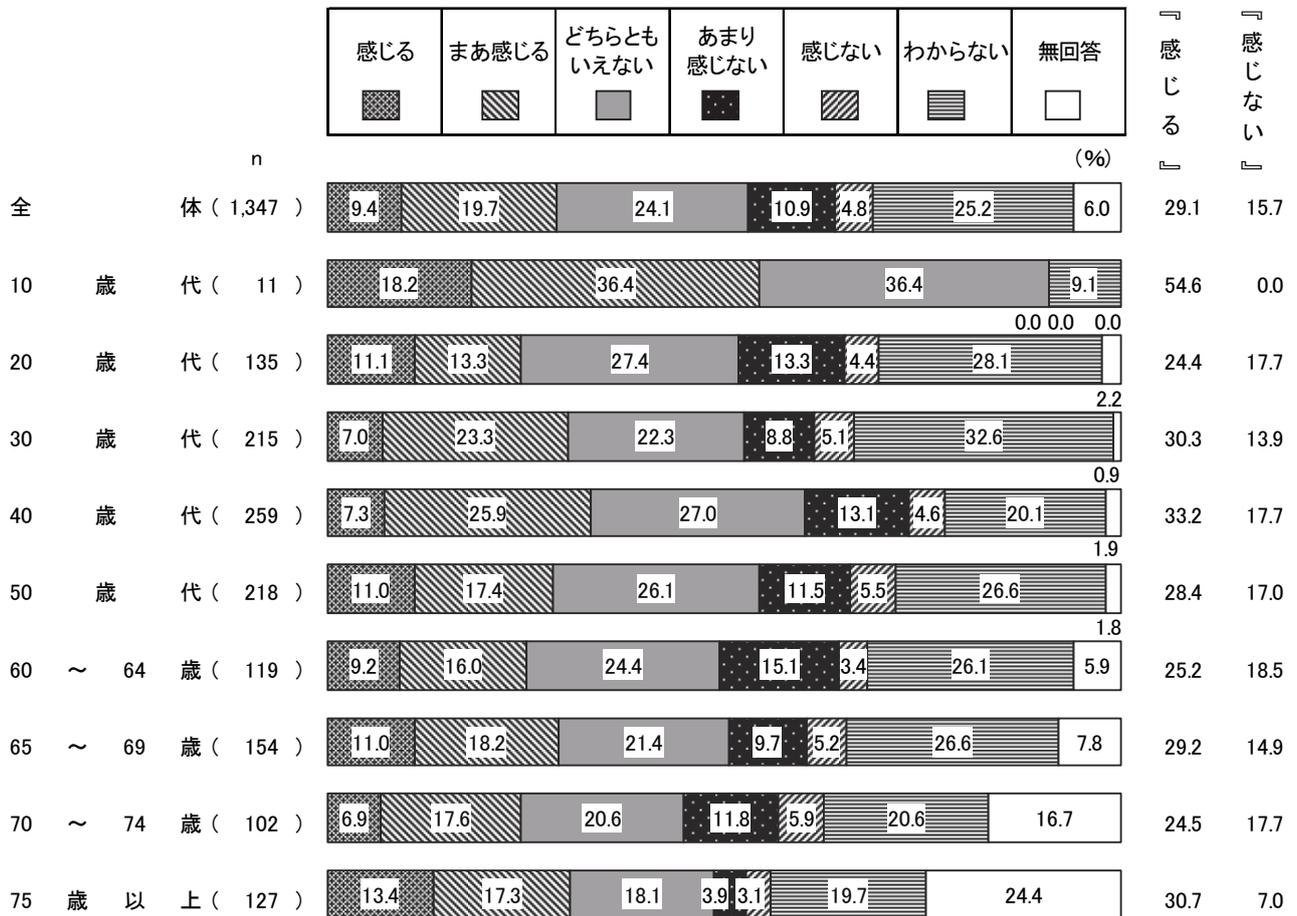


子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じるかを聞いたところ、「感じる」（9.4%）が約1割となり、これに「まあ感じる」（19.7%）を合わせた『感じる』（29.1%）が約3割となっています。一方、「あまり感じない」（10.9%）と「感じない」（4.8%）を合わせた『感じない』（15.7%）は1割半ばとなっています。また、「どちらともいえない」（24.1%）と「わからない」（25.2%）がそれぞれ2割半ばとなっています。（図4-1-1）

① 年代別

年代別でみると、『感じる』は10歳代（54.6%）で5割半ばとなっています。また、『感じる』は40歳代（33.2%）で3割を超えています。一方、『感じない』は60～64歳（18.5%）で2割近くとなっています。（図4-1-2）

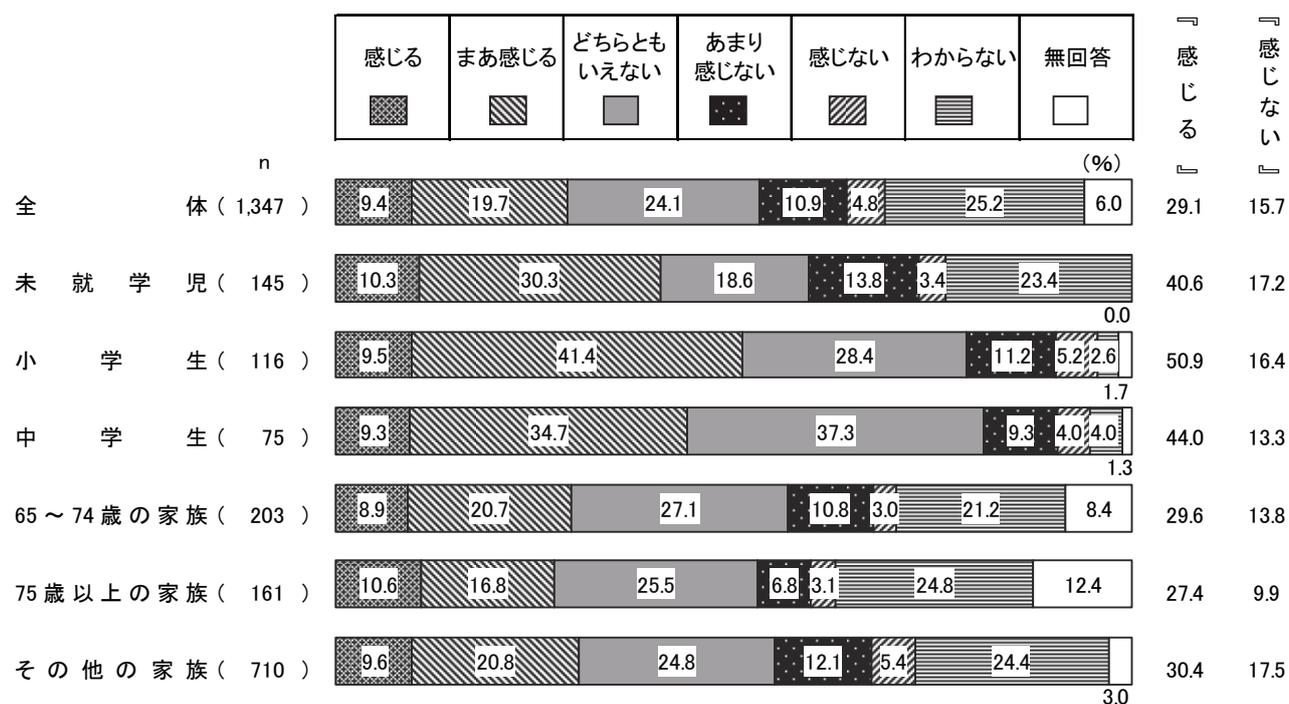
図4-1-2 子どもたちのたくましく生きる力（年代別）



② 同居家族別

同居家族別でみると、『感じる』は小学生と同居している方（50.9%）で約5割となっており、次いで、中学生と同居している方（44.0%）、未就学児と同居している方（40.6%）が4割台となっています。一方、『感じない』は75歳以上の家族と同居している方（9.9%）を除くすべての同居家族で1割台となっています。（図4-1-3）

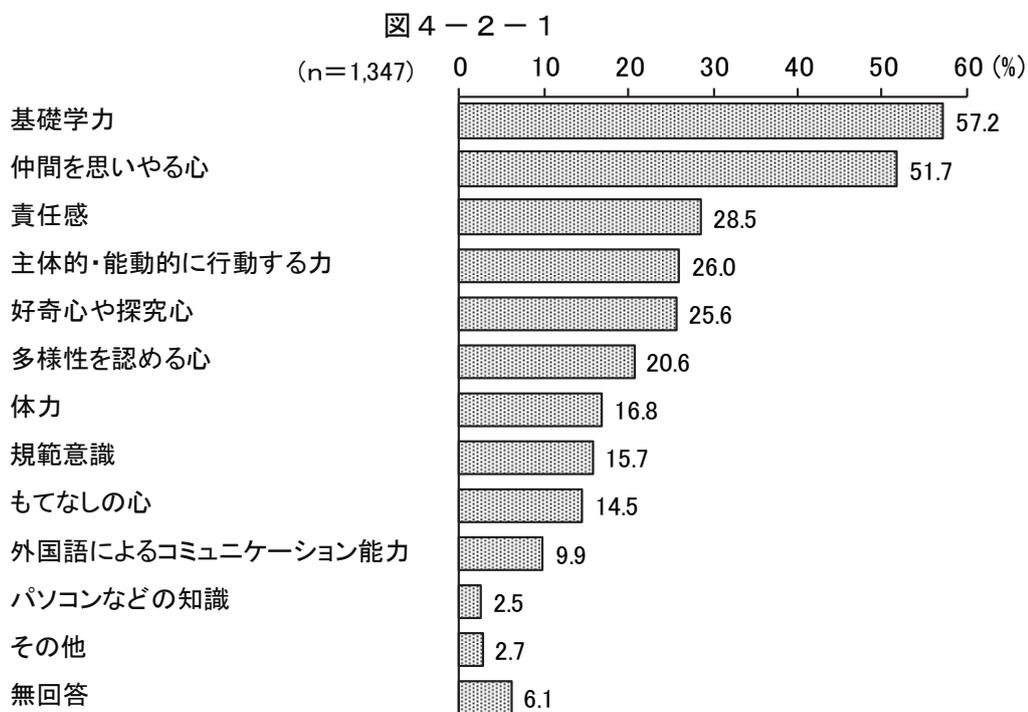
図4-1-3 子どもたちのたくましく生きる力（同居家族別）



(2) 学校教育を通じて身に付けてほしい力

◇「基礎学力」が6割近く

問9 あなたが学校教育を通じて、子どもたちに身に付けてほしいと思う力は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。



学校教育を通じて、子どもたちに身に付けてほしいと思う力を聞いたところ、「基礎学力」(57.2%)が6割近く、次いで「仲間を思いやる心」(51.7%)が5割を超え、「責任感」(28.5%)、「主体的・能動的に行動する力」(26.0%)、「好奇心や探究心」(25.6%)が2割半ば以上などとなっています。(図4-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「基礎学力」は10歳代と65～69歳を除いたすべての年代で第1位となっています。「仲間を思いやる心」は65～69歳（51.9%）で第1位、「外国語によるコミュニケーション能力」が10歳代（45.5%）で第1位となっています。その他の特徴として、「体力」は75歳以上（25.2%）で第4位、70～74歳（17.6%）で同率の第4位、65～69歳（24.0%）で第5位となっています。また、「多様性を認める心」は10歳代（27.3%）で同率の第4位、30歳代（26.5%）、20歳代（25.9%）で第5位となっています。（表4-2-1）

表4-2-1 学校教育を通じて身に付けてほしい力（年代別）

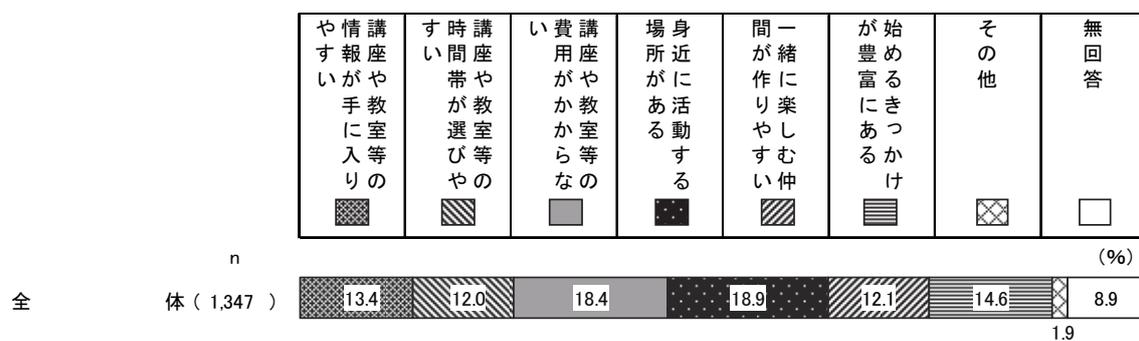
		(%)					
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	基礎学力 57.2	仲間を思いやる心 51.7	責任感 28.5	主体的・能動的に 行動する力 26.0	好奇心や探究心 25.6
年 代 別	10 歳 代	11	外国語によるコ ミュニケーション能 力 45.5	主体的・能動的に行動する力/仲間を 思いやる心 36.4		規範意識/責任感/多様性を認める心 27.3	
	20 歳 代	135	基礎学力 53.3	仲間を思いやる心 45.2	好奇心や探究心 35.6	主体的・能動的に 行動する力 28.1	多様性を認める心 25.9
	30 歳 代	215	基礎学力 63.7	仲間を思いやる心 51.6	主体的・能動的に 行動する力 39.5	好奇心や探究心 27.0	多様性を認める心 26.5
	40 歳 代	259	基礎学力 57.9	仲間を思いやる心 55.2	主体的・能動的に 行動する力 32.8	好奇心や探究心 31.3	責任感 29.0
	50 歳 代	218	基礎学力 64.2	仲間を思いやる心 56.4	責任感 30.3	好奇心や探究心 23.9	主体的・能動的に 行動する力/規範 意識 22.5
	60～64 歳	119	基礎学力 60.5	仲間を思いやる心 58.0	責任感 26.1	好奇心や探究心 25.2	主体的・能動的に 行動する力/もて なしの心 17.6
	65～69 歳	154	仲間を思いやる心 51.9	基礎学力 50.0	責任感 29.2	好奇心や探究心 25.3	体力 24.0
	70～74 歳	102	基礎学力 54.9	仲間を思いやる心 49.0	責任感 42.2	主体的・能動的に行動する力/体力 17.6	
	75 歳 以上	127	基礎学力 48.8	仲間を思いやる心 40.9	責任感 37.0	体力 25.2	好奇心や探究心 14.2

(3) 生涯学習活動に取り組む環境づくり

◇「身近に活動する場所がある」が2割近く

問10 生涯学習活動に取り組むための環境づくりとして、あなたが重要だと思うことを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図4-3-1

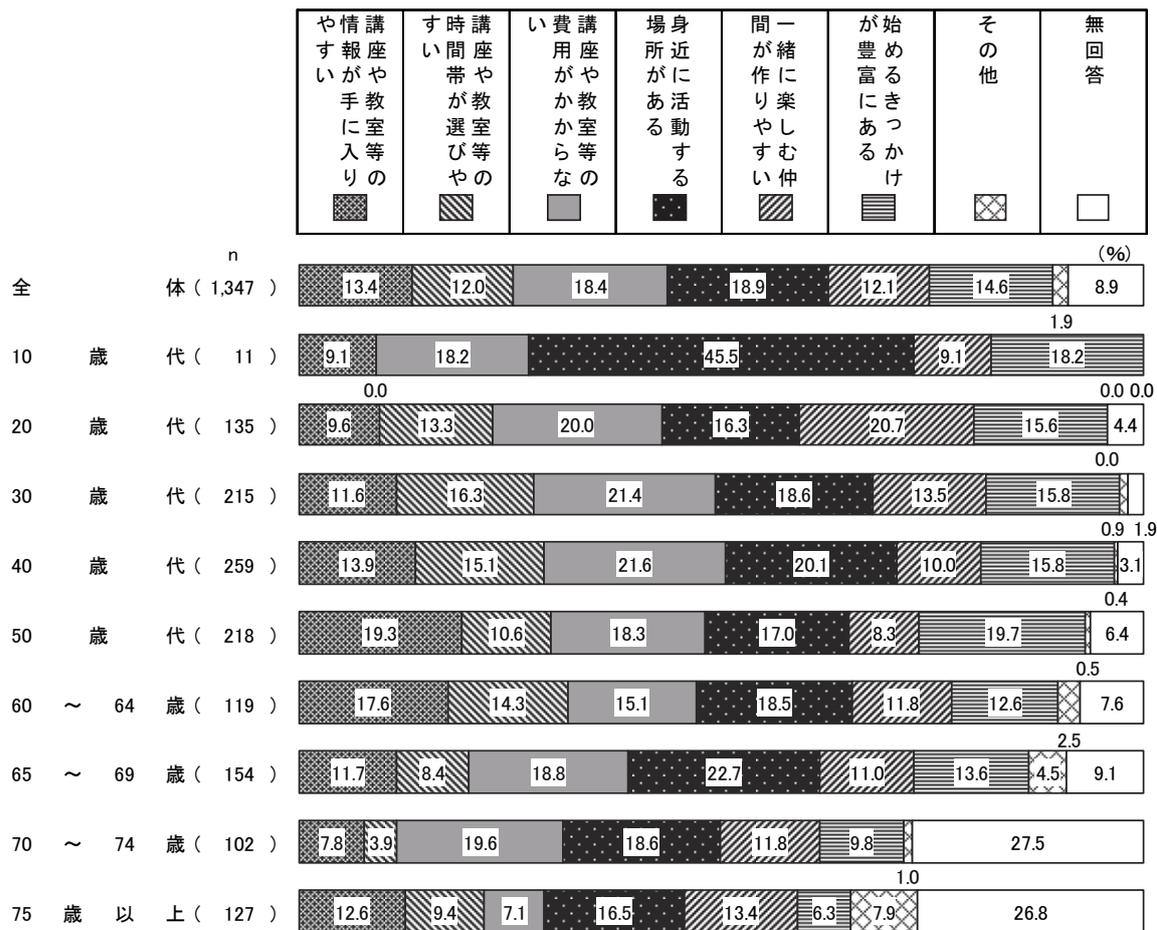


生涯学習活動に取り組むための環境づくりとして、重要だと思うことを聞いたところ、「身近に活動する場所がある」(18.9%)と「講座や教室等の費用がかからない」(18.4%)が2割近くとなっています。また、「始めるきっかけが豊富にある」(14.6%)が1割半ば、「講座や教室等の情報が手に入りやすい」(13.4%)と「一緒に楽しむ仲間が作りやすい」(12.1%)は1割を超えています。(図4-3-1)

① 年代別

年代別でみると、「身近に活動する場所がある」は10歳代(45.5%)で4割半ば、65～69歳(22.7%)、40歳代(20.1%)で2割台となっています。「講座や教室等の費用がかからない」は40歳代(21.6%)、30歳代(21.4%)、20歳代(20.0%)で2割台となっています。「始めるきっかけが豊富にある」は50歳代(19.7%)で約2割となっています。また、「一緒に楽しむ仲間が作りやすい」は20歳代(20.7%)で約2割となっています。(図4-3-2)

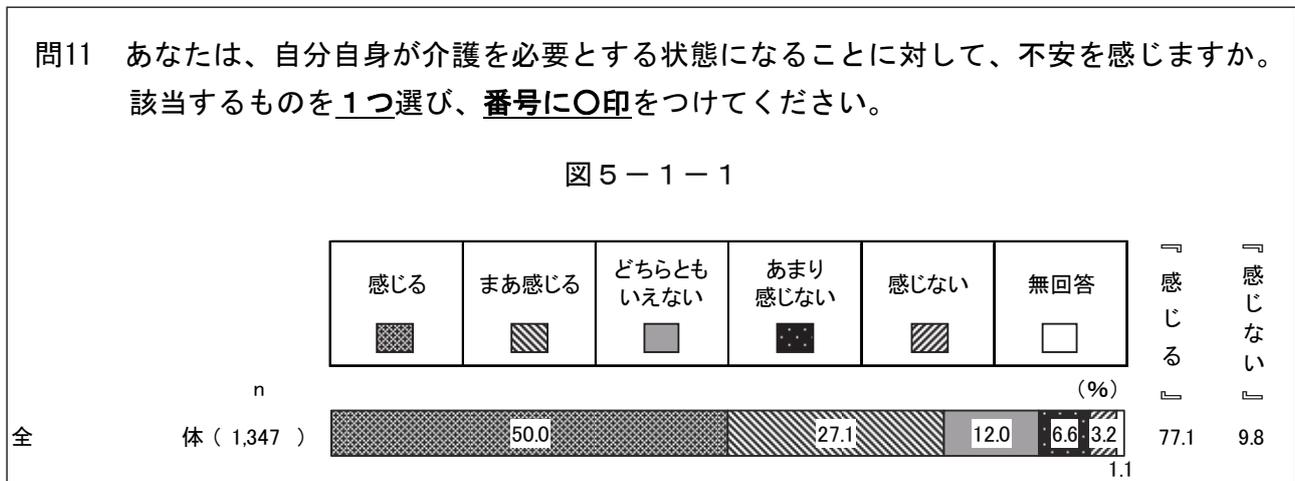
図4-3-2 生涯学習活動に取り組む環境づくり(年代別)



5. 「安心の福祉・介護」について

(1) 介護状態となることに対する不安

◇「感じる」「まあ感じる」を合わせた『感じる』が8割近く

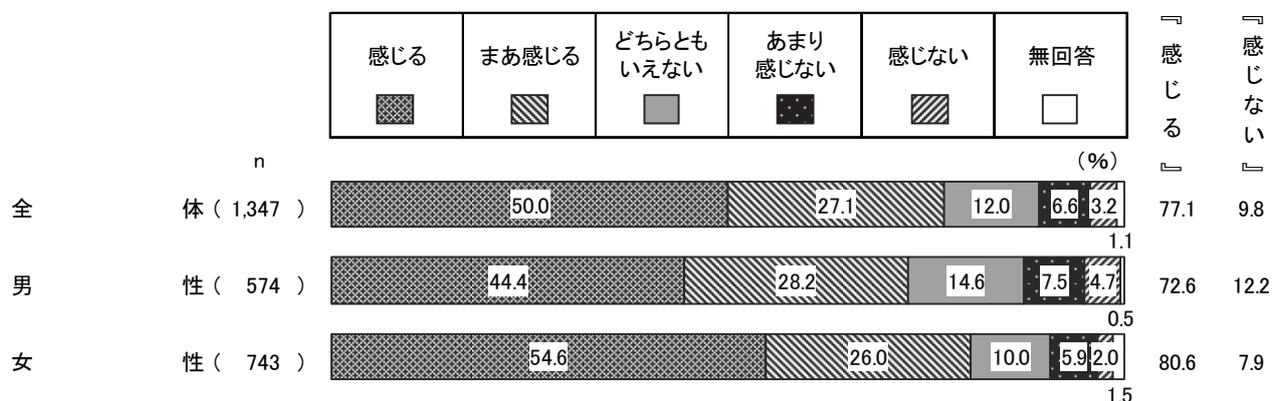


自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じるかを聞いたところ、「感じる」(50.0%)が5割であり、これに「まあ感じる」(27.1%)を合わせた『感じる』(77.1%)が8割近くとなっています。一方、「あまり感じない」(6.6%)と「感じない」(3.2%)を合わせた『感じない』(9.8%)は約1割となっています。また、「どちらともいえない」(12.0%)は1割を超えています。(図5-1-1)

① 性別

性別でみると、『感じる』は女性(80.6%)が男性(72.6%)より8ポイント高くなっています。(図5-1-2)

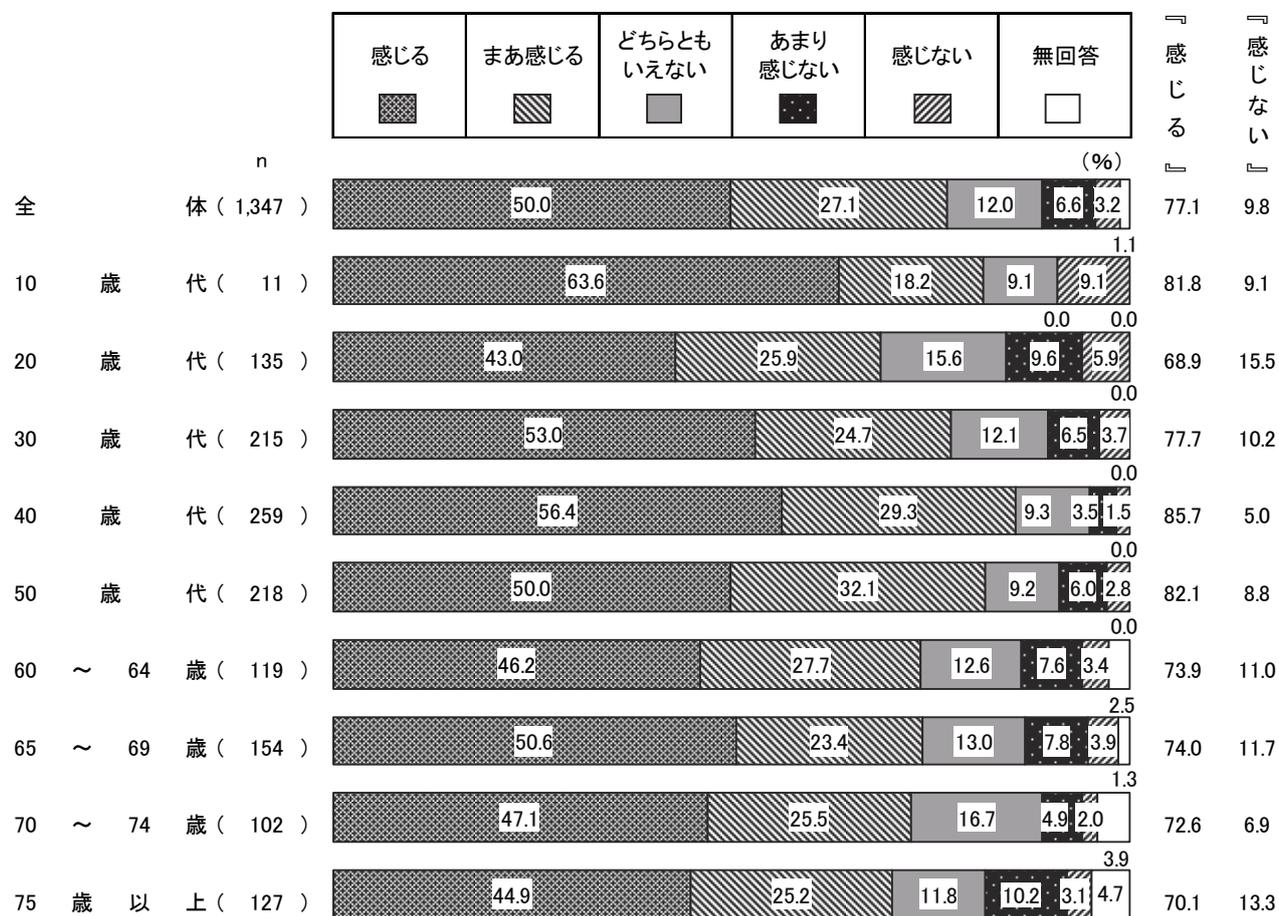
図5-1-2 介護状態となることに対する不安(性別)



② 年代別

年代別でみると、『感じる』は40歳代（85.7%）で8割半ばとなっています。一方、『感じない』は20歳代（15.5%）で1割半ばとなっています。（図5-1-3）

図5-1-3 介護状態となることに対する不安（年代別）



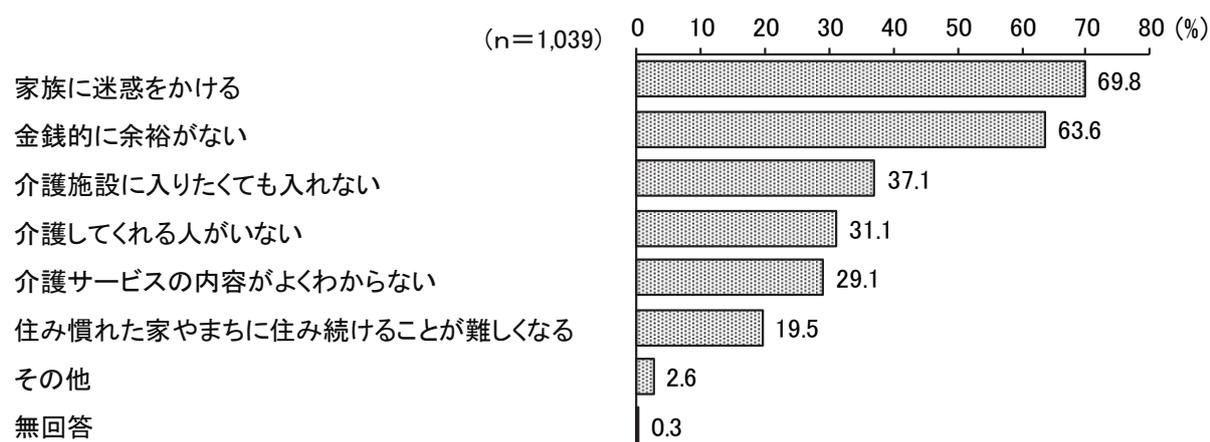
(1-1) 介護状態となることに対する不安の理由

◇「家族に迷惑をかける」が約7割

(問11で「1 感じる」「2 まあ感じる」と回答した方のみ)

問11-1 その理由として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図5-1-4



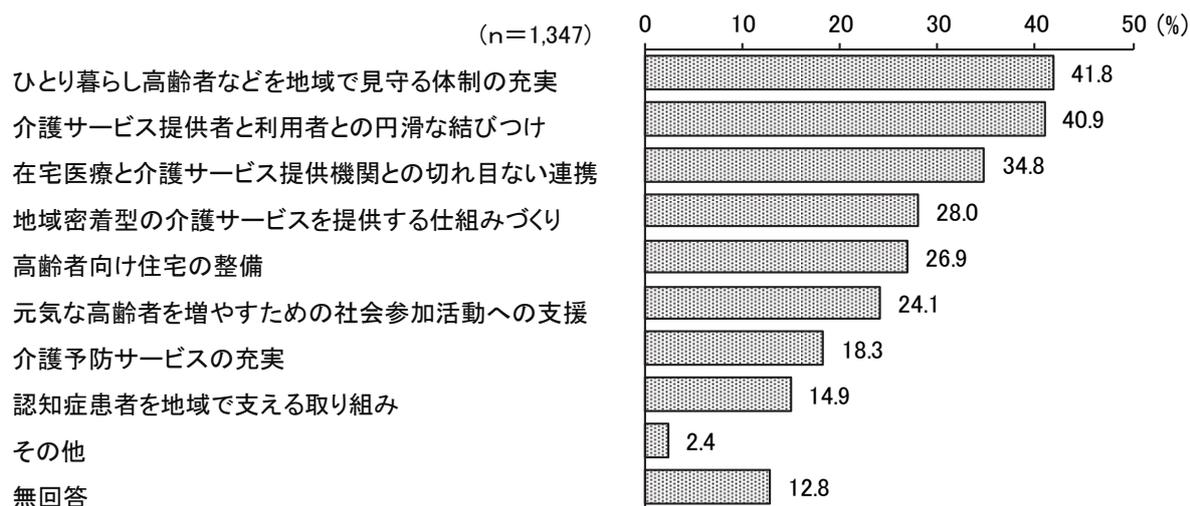
介護状態となることに対する不安の理由を聞いたところ、「家族に迷惑をかける」(69.8%)が約7割となっています。次いで「金銭的に余裕がない」(63.6%)が6割を超え、「介護施設に入りたくても入れない」(37.1%)、「介護してくれる人がいない」(31.1%)が3割台、「介護サービスの内容がよくわからない」(29.1%)が約3割などとなっています。(図5-1-4)

(2) 住み慣れた地域で住み続けるための支援策

◇「ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実」が4割を超える

問12 介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で住み続けるために、あなたが重要だと思う取り組みを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図5-2-1



介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で住み続けるために、重要だと思うことを聞いたところ、「ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実」(41.8%)が4割を超えています。次いで、「介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ」(40.9%)が約4割、「在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携」(34.8%)が3割半ば、「地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり」(28.0%)、「高齢者向け住宅の整備」(26.9%)が2割台などとなっています。(図5-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実」は、65～69歳（48.7%）、70～74歳（48.0%）、75歳以上（44.9%）、50歳代（43.1%）、20歳代（41.5%）で第1位、10歳代（45.5%）で同率の第1位となっています。「介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ」は30歳代（42.3%）、40歳代（40.9%）、60～64歳（41.2%）で第1位となっています。その他の特徴として、「元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援」は75歳以上（33.1%）、20歳代（29.6%）で第4位、10歳代（18.2%）で同率の第4位、30歳代（27.0%）、65～69歳（24.0%）で第5位となっています。（表5-2-1）

表5-2-1 住み慣れた地域で住み続けるために重要だと思うこと（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 41.8	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 40.9	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 34.8	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 28.0	高齢者向け住宅の整備 26.9
年 代 別	10 歳 代	11	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携/ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 45.5	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 27.3	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 18.2	認知症患者を地域で支える取り組み/介護予防サービスの充実/高齢者向け住宅の整備/元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援	
	20 歳 代	135	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 41.5	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 40.7	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 34.1	元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援 29.6	高齢者向け住宅の整備 26.7
	30 歳 代	215	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 42.3	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 37.7	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 30.2	高齢者向け住宅の整備 29.8	元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援 27.0
	40 歳 代	259	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 40.9	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 37.8	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 37.1	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 29.7	高齢者向け住宅の整備 28.6
	50 歳 代	218	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 43.1	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 39.9	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 33.0	高齢者向け住宅の整備 29.8	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 29.4
	60～64 歳	119	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 41.2	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 39.5	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 36.1	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 33.6	高齢者向け住宅の整備 32.8
	65～69 歳	154	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 48.7	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 39.0	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 37.7	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 37.0	元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援 24.0
	70～74 歳	102	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 48.0	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 46.1	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 38.2	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 22.5	高齢者向け住宅の整備 21.6
	75 歳 以上	127	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 44.9	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 40.2	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 36.2	元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援 33.1	介護予防サービスの充実 22.8

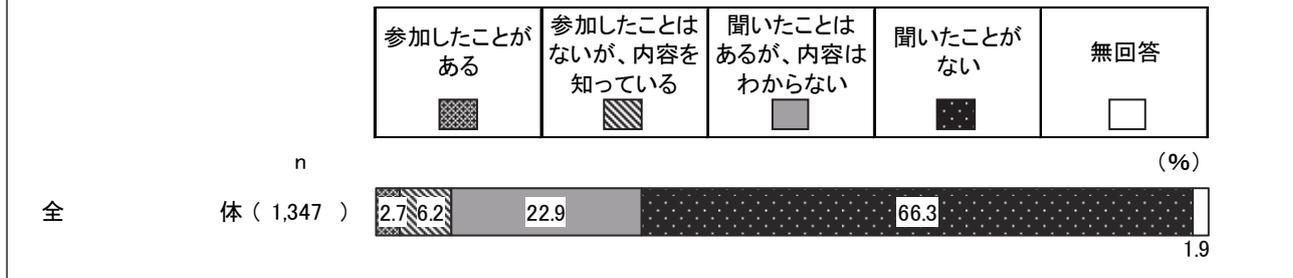
6. 「豊かな健康長寿社会」について

(1) 「いたばし健康づくりプロジェクト」について

◇ 「聞いたことがない」が6割半ば

問13 板橋区が実施している「いたばし健康づくりプロジェクト」について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図6-1-1

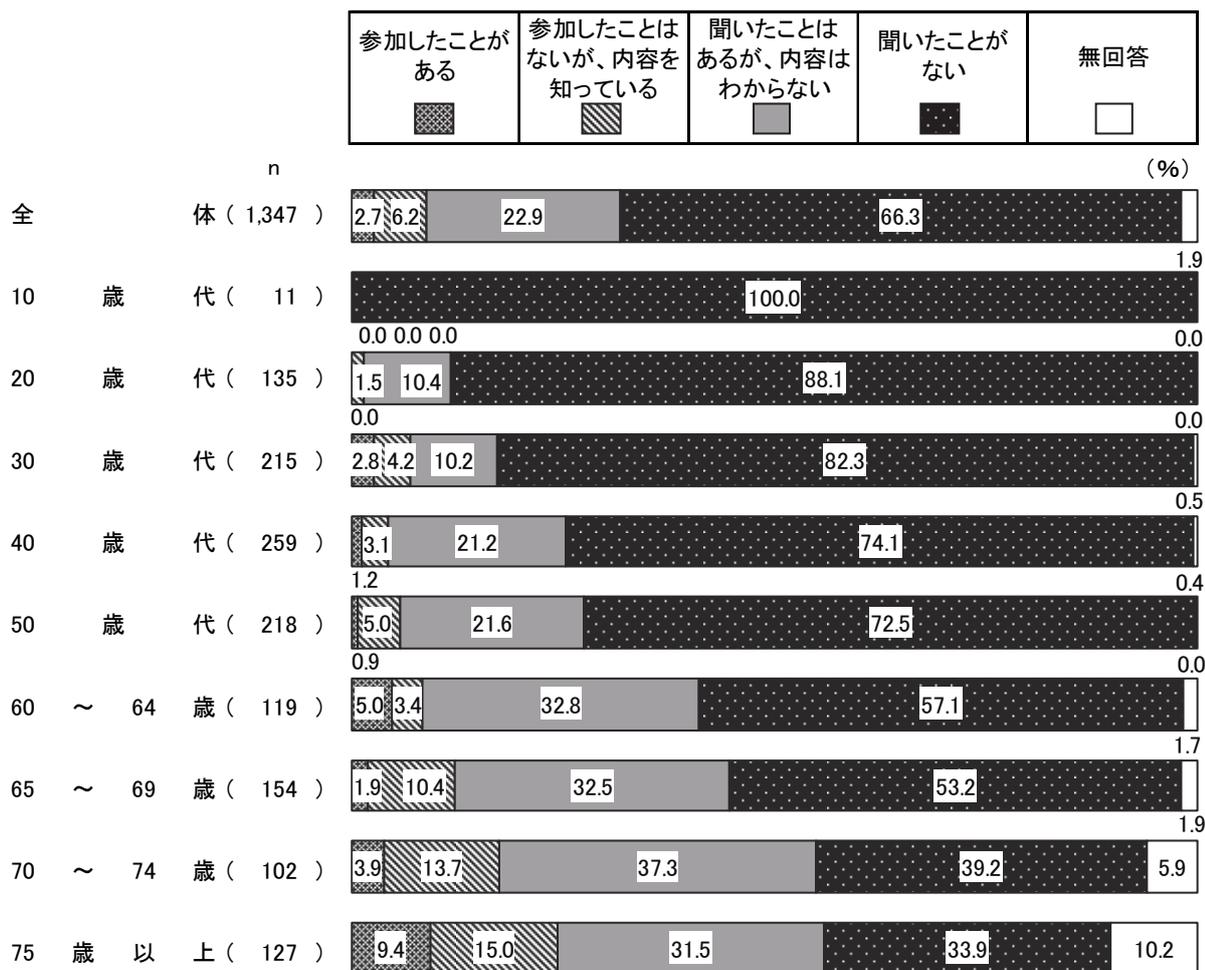


「いたばし健康づくりプロジェクト」について聞いたところ、「聞いたことがない」(66.3%)が6割半ばとなっています。一方、「参加したことがある」(2.7%)、「参加したことはないが、内容を知っている」(6.2%)、「聞いたことはあるが、内容はわからない」(22.9%)を合わせると31.8%で3割を超えています。(図6-1-1)

① 年代別

年代別でみると、「参加したことがある」は75歳以上（9.4%）で約1割となっています。「参加したことはないが、内容を知っている」は75歳以上（15.0%）、70～74歳（13.7%）、65～69歳（10.4%）で1割台で、年代が高くなるにしたがって、プロジェクトの内容が知られています。一方、「聞いたことがない」は20歳代（88.1%）、30歳代（82.3%）、40歳代（74.1%）50歳代（72.5%）で7割以上となっており、若い年代ほどあまり知られていない結果となっています。（図6-1-2）

図6-1-2 いたばし健康づくりプロジェクト（年代別）



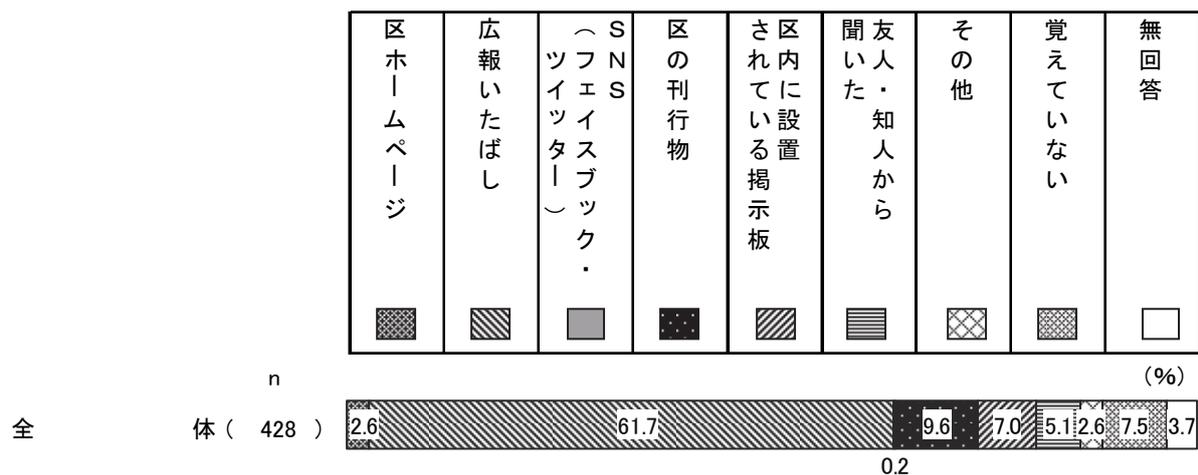
(1-1) 「いたばし健康づくりプロジェクト」をどのような方法で知ったか

◇「広報いたばし」が6割を超える

(問13で「1」～「3」と回答した方のみ)

問13-1 「いたばし健康づくりプロジェクト」を主にどのような方法で知りましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図6-1-3



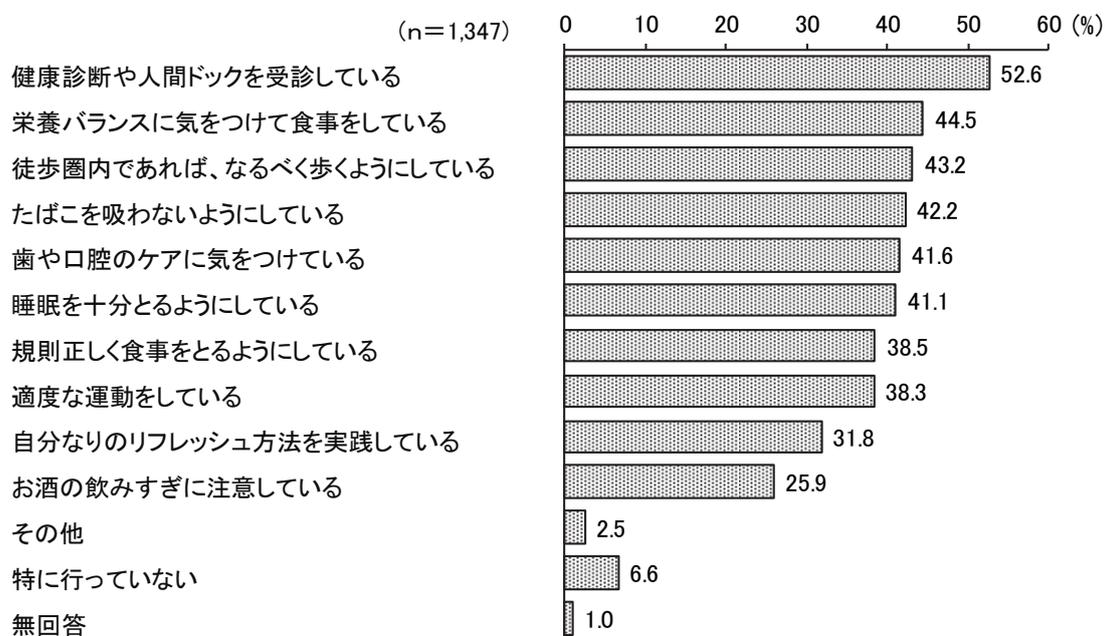
「いたばし健康づくりプロジェクト」をどのような方法で知ったか聞いたところ、「広報いたばし」(61.7%)が6割を超えています。「区の刊行物」(9.6%)、「区内に設置されている掲示板」(7.0%)、「友人・知人から聞いた」(5.1%)、「区ホームページ」(2.6%)は1割未満などとなっています。(図6-1-3)

(2) 健康のために普段から行っていること

◇「健康診断や人間ドックを受診している」が5割を超える

問14 あなたが健康のために普段から行っていることは何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図6-2-1



健康のために普段から行っていることを聞いたところ、「健康診断や人間ドックを受診している」(52.6%)が5割を超えています。次いで「栄養バランスに気をつけて食事をしている」(44.5%)、「徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている」(43.2%)、「たばこを吸わないようにしている」(42.2%)、「歯や口腔のケアに気をつけている」(41.6%)が4割台などとなっています。(図6-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「健康診断や人間ドックを受診している」は、30歳代から70～74歳までで第1位となっています。「栄養バランスに気をつけて食事をしている」は10歳代（63.6%）で「たばこを吸わないようにしている」は20歳代（48.9%）で、「睡眠を十分とるようにしている」は75歳以上（60.6%）でそれぞれ第1位となっています。その他の特徴として、「規則正しく食事をとるようにしている」は70～74歳（52.0%）で同率の第2位、60～64歳（46.2%）で第3位、75歳以上（54.3%）で同率の第4位、65～69歳（46.8%）で第5位となっています。「適度な運動をしている」は、10歳代（54.5%）で第2位、20歳代（37.8%）と65～69歳（51.9%）で第3位、60～64歳（39.5%）で同率の第5位となっています。（表6-2-1）

表6-2-1 健康のために普段から行っていること（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	健康診断や人間ドックを受診している 52.6	栄養バランスに気をつけて食事をしている 44.5	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 43.2	たばこを吸わないようにしている 42.2	歯や口腔のケアに気をつけている 41.6
年 代 別	10 歳 代	11	栄養バランスに気をつけて食事をしている 63.6	適度な運動をしている 54.5	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている/たばこを吸わないようにしている/睡眠を十分とるようにしている 36.4		
	20 歳 代	135	たばこを吸わないようにしている 48.9	睡眠を十分とるようにしている 38.5	適度な運動をしている 37.8	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 37.0	自分なりのリフレッシュ方法を実践している 36.3
	30 歳 代	215	健康診断や人間ドックを受診している 51.6	たばこを吸わないようにしている 45.6	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 42.3	栄養バランスに気をつけて食事をしている 37.2	歯や口腔のケアに気をつけている 32.1
	40 歳 代	259	健康診断や人間ドックを受診している 59.1	たばこを吸わないようにしている 52.5	栄養バランスに気をつけて食事をしている 42.1	睡眠を十分とるようにしている 40.2	歯や口腔のケアに気をつけている 39.8
	50 歳 代	218	健康診断や人間ドックを受診している 61.9	栄養バランスに気をつけて食事をしている 51.8	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 47.7	たばこを吸わないようにしている 45.0	歯や口腔のケアに気をつけている 42.7
	60～64 歳	119	健康診断や人間ドックを受診している 62.2	歯や口腔のケアに気をつけている 47.9	規則正しく食事をとるようにしている 46.2	栄養バランスに気をつけて食事をしている 40.3	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている/適度な運動をしている 39.5
	65～69 歳	154	健康診断や人間ドックを受診している 57.1	栄養バランスに気をつけて食事をしている 55.2	適度な運動をしている 51.9	歯や口腔のケアに気をつけている 50.0	規則正しく食事をとるようにしている 46.8
	70～74 歳	102	健康診断や人間ドックを受診している 52.9	規則正しく食事をとるようにしている/睡眠を十分とるようにしている 52.0		栄養バランスに気をつけて食事をしている 50.0	歯や口腔のケアに気をつけている 44.1
	75 歳 以上	127	睡眠を十分とるようにしている 60.6	栄養バランスに気をつけて食事をしている/歯や口腔のケアに気をつけている 55.1	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている/規則正しく食事をとるようにしている 54.3		

② 職業別

職業別でみると、「健康診断や人間ドックを受診している」は会社役員（60.6%）、会社員・公務員（59.4%）、その他（58.0%）、アルバイト・パート（48.9%）、自営業・自由業（45.9%）で第1位となっています。「栄養バランスに気をつけて食事をしている」は主婦・主夫（60.6%）で、「睡眠を十分にとるようにしている」は学生（45.5%）で、「歯や口腔のケアに気をつけている」は無職（52.1%）でそれぞれ第1位となっています。その他の特徴として、「適度な運動をしている」は学生（42.4%）で第2位、会社役員（48.5%）で同率の第3位、無職（45.6%）で第4位、自営業・自由業（36.5%）で同率の第4位、その他（42.0%）、会社員・公務員（34.6%）で第5位となっています。また、「規則正しく食事をするようにしている」は主婦・主夫（54.8%）で第3位に、学生（33.3%）で同率の第5位となっています。（表6-2-2）

表6-2-2 健康のために普段から行っていること（職業別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	健康診断や人間ドックを受診している 52.6	栄養バランスに気をつけて食事をしている 44.5	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 43.2	たばこを吸わないようにしている 42.2	歯や口腔のケアに気をつけている 41.6
職 業 別	会社員・公務員	500	健康診断や人間ドックを受診している 59.4	たばこを吸わないようにしている 46.2	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 41.6	栄養バランスに気をつけて食事をしている 36.6	適度な運動をしている 34.6
	自営業・自由業	85	健康診断や人間ドックを受診している 45.9	栄養バランスに気をつけて食事をしている 40.0	歯や口腔のケアに気をつけている 38.8	適度な運動をしている/睡眠を十分とるようにしている 36.5	
	会社役員	33	健康診断や人間ドックを受診している 60.6	栄養バランスに気をつけて食事をしている 51.5	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている/適度な運動をしている 48.5		歯や口腔のケアに気をつけている 45.5
	主婦・主夫	221	栄養バランスに気をつけて食事をしている 60.6	健康診断や人間ドックを受診している 57.9	規則正しく食事をするようにしている 54.8	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 51.1	歯や口腔のケアに気をつけている 50.2
	学 生	33	睡眠を十分とるようにしている 45.5	適度な運動をしている 42.4	栄養バランスに気をつけて食事をしている 39.4	自分なりのリフレッシュ方法を実践している 36.4	規則正しく食事をするようにしている他※ 33.3
	アルバイト・パート	186	健康診断や人間ドックを受診している 48.9	睡眠を十分とるようにしている 47.8	栄養バランスに気をつけて食事をしている 46.8	たばこを吸わないようにしている 45.2	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 40.9
	無 職	217	歯や口腔のケアに気をつけている 52.1	睡眠を十分とるようにしている 47.9	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 47.5	適度な運動をしている 45.6	栄養バランスに気をつけて食事をしている 45.2
	そ の 他	50	健康診断や人間ドックを受診している 58.0	睡眠を十分とるようにしている 50.0	歯や口腔のケアに気をつけている 46.0	栄養バランスに気をつけて食事をしている 44.0	適度な運動をしている 42.0

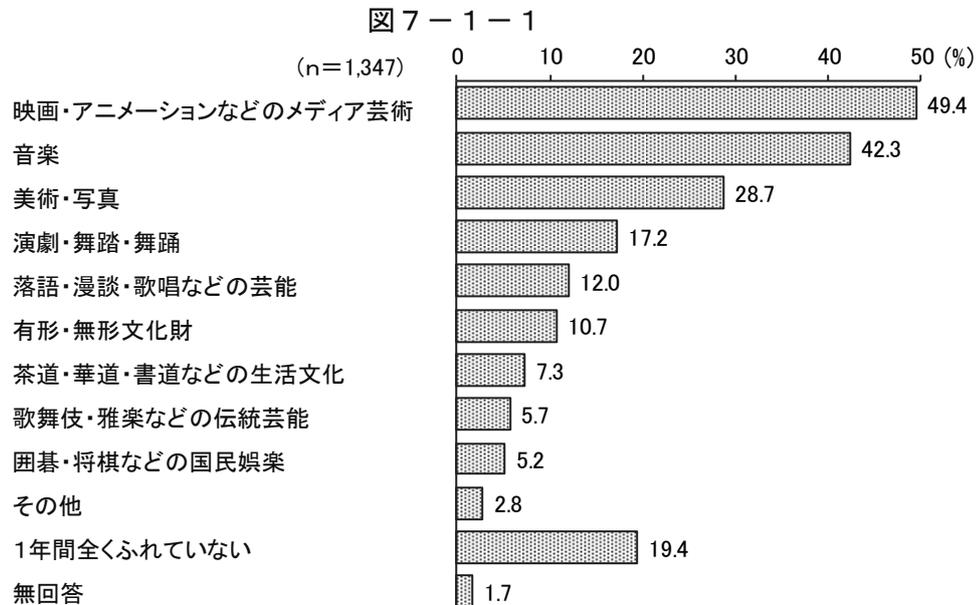
※他の理由：/たばこを吸わないようにしている/歯や口腔のケアに気をつけている

7. 「心躍るスポーツ・文化」について

(1) 過去1年間に鑑賞・体験活動した文化芸術

◇「映画・アニメーションなどのメディア芸術」が約5割

問15 あなたが過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。



過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術を聞いたところ、「映画・アニメーションなどのメディア芸術」(49.4%)が約5割となっています。次いで、「音楽」(42.3%)が4割を超え、「美術・写真」(28.7%)が3割近く、「演劇・舞踏・舞踊」(17.2%)、「落語・漫談・歌唱などの芸能」(12.0%)が1割台となっています。一方、「1年間全くふれていない」(19.4%)は約2割となっています。(図7-1-1)

① 年代別

年代別でみると、「映画・アニメーションなどのメディア芸術」は、20歳代から60～64歳で第1位、10歳代（90.9%）で同率の第1位となっており、特に10歳代は約9割、20歳代は7割半ばとなっています。「音楽」は、65歳以上の年代で第1位、10歳代（90.9%）で同率の第1位となっています。その他の特徴として、「落語・漫談・歌唱などの芸能」は75歳以上（21.3%）で第3位、10歳代（36.4%）、65～69歳（16.9%）、70～74歳（14.7%）で第5位となっています。

（表7-1-1）

表7-1-1 過去1年間に鑑賞・体験活動した文化芸術（年代別）

(%)

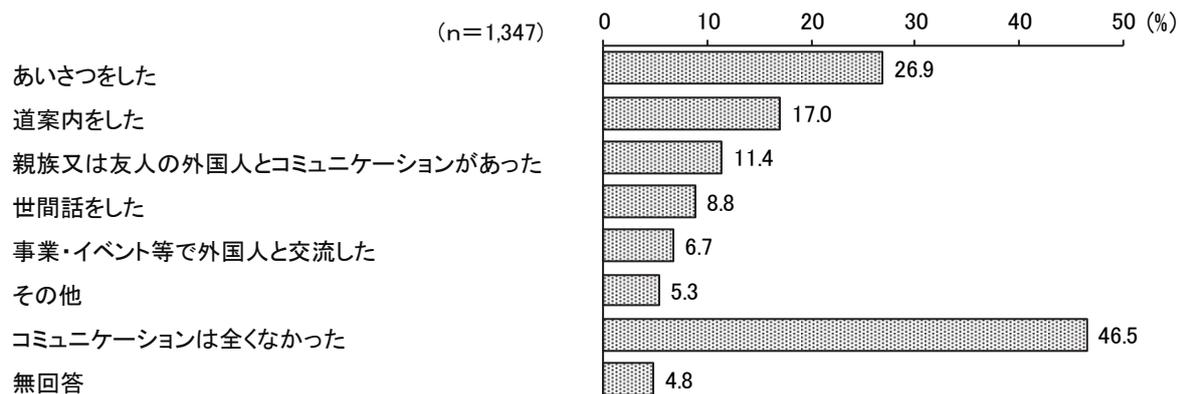
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	映画・アニメーションなどのメディア芸術 49.4	音楽 42.3	美術・写真 28.7	1年間全くふれていない 19.4	演劇・舞踏・舞踊 17.2
年 代 別	10 歳 代	11	音楽/映画・アニメーションなどのメディア芸術 90.9		美術・写真 63.6	演劇・舞踏・舞踊 54.5	落語・漫談・歌唱などの芸能 36.4
	20 歳 代	135	映画・アニメーションなどのメディア芸術 76.3	音楽 60.0	美術・写真 34.8	演劇・舞踏・舞踊 22.2	有形・無形文化財/1年間全くふれていない 10.4
	30 歳 代	215	映画・アニメーションなどのメディア芸術 62.8	音楽 46.5	美術・写真 34.0	演劇・舞踏・舞踊 18.6	1年間全くふれていない 15.3
	40 歳 代	259	映画・アニメーションなどのメディア芸術 62.5	音楽 44.8	美術・写真 29.3	演劇・舞踏・舞踊 19.7	有形・無形文化財 13.9
	50 歳 代	218	映画・アニメーションなどのメディア芸術 47.7	音楽 38.1	美術・写真 27.5	1年間全くふれていない 20.6	演劇・舞踏・舞踊 16.5
	60 ～ 64 歳	119	映画・アニメーションなどのメディア芸術 40.3	音楽 36.1	1年間全くふれていない 26.1	美術・写真 24.4	演劇・舞踏・舞踊 20.2
	65 ～ 69 歳	154	音楽 36.4	映画・アニメーションなどのメディア芸術 30.5	美術・写真 29.2	1年間全くふれていない 27.3	落語・漫談・歌唱などの芸能 16.9
	70 ～ 74 歳	102	音楽 35.3	映画・アニメーションなどのメディア芸術 30.4	1年間全くふれていない 27.5	美術・写真 24.5	落語・漫談・歌唱などの芸能 14.7
	75 歳 以上	127	音楽 35.4	1年間全くふれていない 22.8	落語・漫談・歌唱などの芸能 21.3	美術・写真 18.9	映画・アニメーションなどのメディア芸術 18.1

(2) 過去1年間での外国人とのコミュニケーション

◇「あいさつをした」が2割半ば

問16 過去1年間における、外国人とのコミュニケーション（あいさつや世間話、道案内等）について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください

図7-2-1



過去1年間における、外国人とのコミュニケーション（あいさつや世間話、道案内等）について聞いたところ、「あいさつをした」（26.9%）が2割半ばで、次いで「道案内をした」（17.0%）、「親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった」（11.4%）などとなっています。「コミュニケーションは全くなかった」（46.5%）は4割半ばとなっています。（図7-2-1）

① 年代別

年代別でみると、「コミュニケーションは全くなかった」は40歳代以上の年代ですべて第1位となっており、特に、75歳以上(60.6%)、60～64歳(58.0%)、70～74歳(57.8%)で6割前後と、年代が高くなるにつれて高くなっています。「あいさつをした」は10歳代(45.5%)、20歳代(42.2%)、30歳代(35.3%)で若い年代で第1位であり、また、その他の年代でも第2位となっています。その他の特徴として、「事業・イベント等で外国人と交流した」は10歳代(27.3%)で同率の第2位、70～74歳(5.9%)で同率の第4位となっています。(表7-2-1)

表7-2-1 過去1年間の外国人とのコミュニケーション(年代別)

(%)

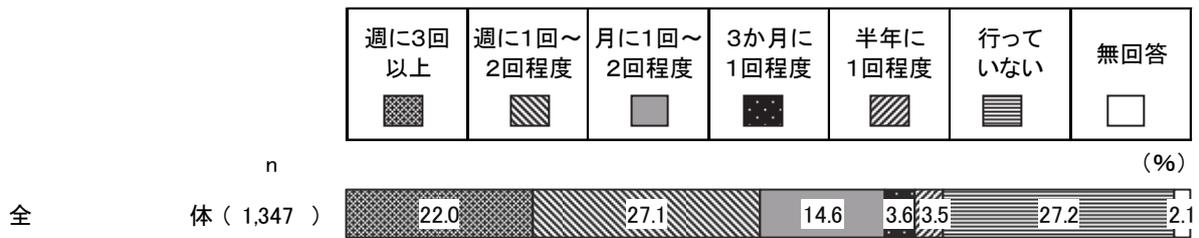
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	コミュニケーションは全くなかった 46.5	あいさつをした 26.9	道案内をした 17.0	親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 11.4	世間話をした 8.8
年 代 別	10 歳 代	11	あいさつをした 45.5	世間話をした/道案内をした/事業・イベント等で外国人と交流した/その他 27.3			
	20 歳 代	135	あいさつをした 42.2	道案内をした 35.6	コミュニケーションは全くなかった 27.4	世間話をした 13.3	親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 8.9
	30 歳 代	215	あいさつをした 35.3	コミュニケーションは全くなかった 34.9	道案内をした 27.4	世間話をした 12.6	親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 12.1
	40 歳 代	259	コミュニケーションは全くなかった 42.5	あいさつをした 34.0	道案内をした 17.0	親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 13.5	世間話をした 11.2
	50 歳 代	218	コミュニケーションは全くなかった 51.4	あいさつをした 21.6	道案内をした 15.1	親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 12.4	世間話をした 6.0
	60～64 歳	119	コミュニケーションは全くなかった 58.0	あいさつをした 19.3	道案内をした/親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 14.3		世間話をした 8.4
	65～69 歳	154	コミュニケーションは全くなかった 53.9	あいさつをした 22.7	親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 13.6	道案内をした 8.4	世間話をした 5.8
	70～74 歳	102	コミュニケーションは全くなかった 57.8	あいさつをした 18.6	道案内をした 9.8	事業・イベント等で外国人と交流した/親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 5.9	
	75 歳 以上	127	コミュニケーションは全くなかった 60.6	あいさつをした 8.7	親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった 6.3	世間話をした 4.7	その他 3.1

(3) 運動・スポーツの頻度

◇「行っていない」が3割近く

問17 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか（ハイキング・軽い体操・ウォーキングなども含む）。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図7-3-1



運動やスポーツを行う頻度を聞いたところ、「行っていない」（27.2%）が3割近くとなっています。週に1回以上運動やスポーツを行っている方は、「週に1回~2回程度」（27.1%）、「週に3回以上」（22.0%）をあわせて49.1%で、約5割となっています。（図7-3-1）

① 性別

性別でみると、「行っていない」は女性（30.6%）が男性（23.2%）より7.4ポイント高くなっています。「月に1~2回程度」は男性（17.2%）が女性（12.7%）より4.5ポイント高くなっています。（図7-3-2）

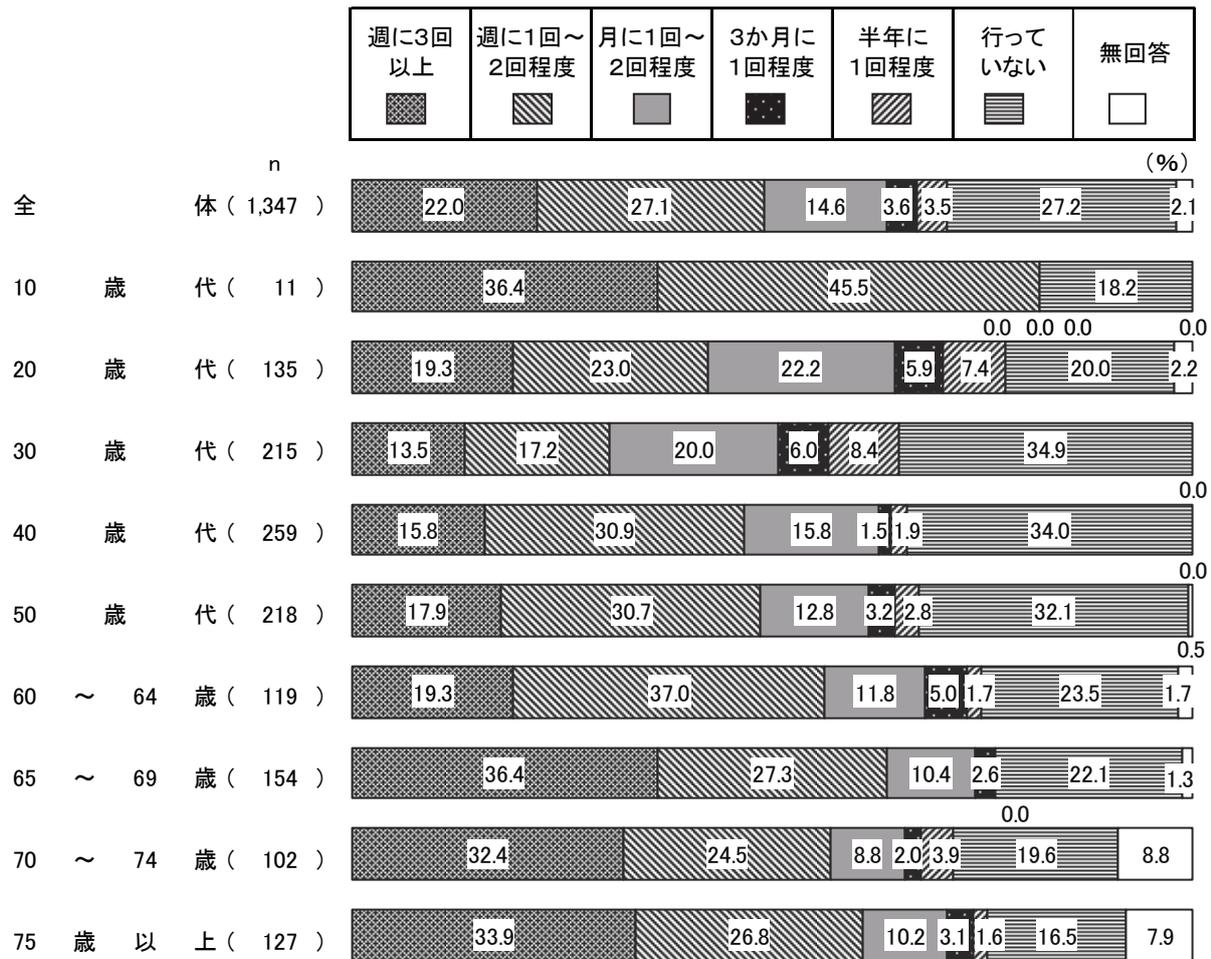
図7-3-2 運動・スポーツの頻度（性別）



② 年代別

年代別でみると、「週に1回～2回程度」は10歳代（45.5%）で4割半ばとなっており、60～64歳（37.0%）、40歳代（30.9%）、50歳代（30.7%）で3割台となっています。また、「週に3回以上」は65～69歳（36.4%）、75歳以上（33.9%）、70～74歳（32.4%）であり、65歳以上の高年齢層で3割台となっています。一方、「行っていない」は30歳代（34.9%）、40歳代（34.0%）、50歳代（32.1%）で3割台となっています。（図7-3-3）

図7-3-3 運動・スポーツの頻度（年代別）

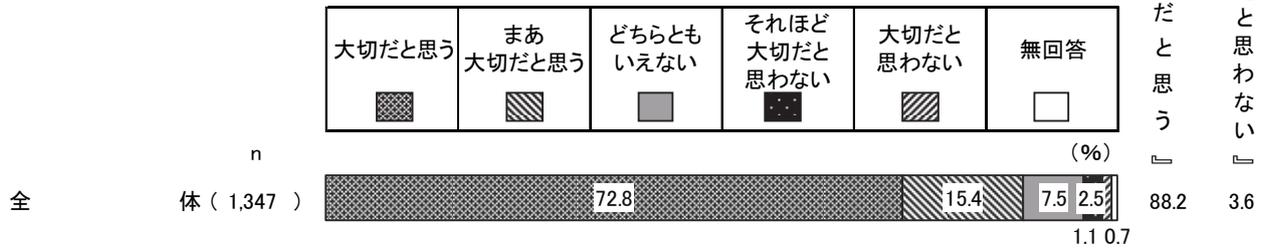


(4) 戦争体験の語り継ぎ

◇『大切だと思う』が9割近く

問18 戦後70年以上経過していますが、戦争体験を語り継ぐことについて、あなたはどう思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図7-4-1

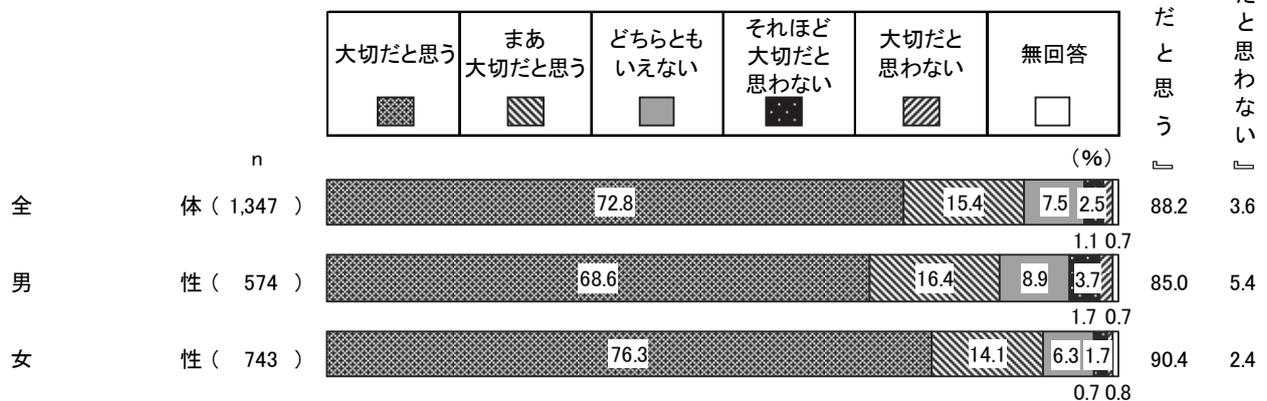


戦争体験を語り継ぐことについてどう思うかを聞いたところ、「大切だと思う」（72.8%）と「まあ大切だと思う」（15.4%）を合わせた『大切だと思う』（88.2%）が9割近くとなっています。一方、「それほど大切だと思わない」（2.5%）と「大切だと思わない」（1.1%）を合わせた『大切だと思わない』（3.6%）はわずかとなっています。（図7-4-1）

① 性別

性別でみると、女性は、「大切だと思う」（76.3%）が7割半ばで、これに「まあ大切だと思う」（14.1%）を合わせた『大切だと思う』（90.4%）が9割となり、男性の『大切だと思う』（85.0%）より5.4ポイント高くなっています。（図7-4-2）

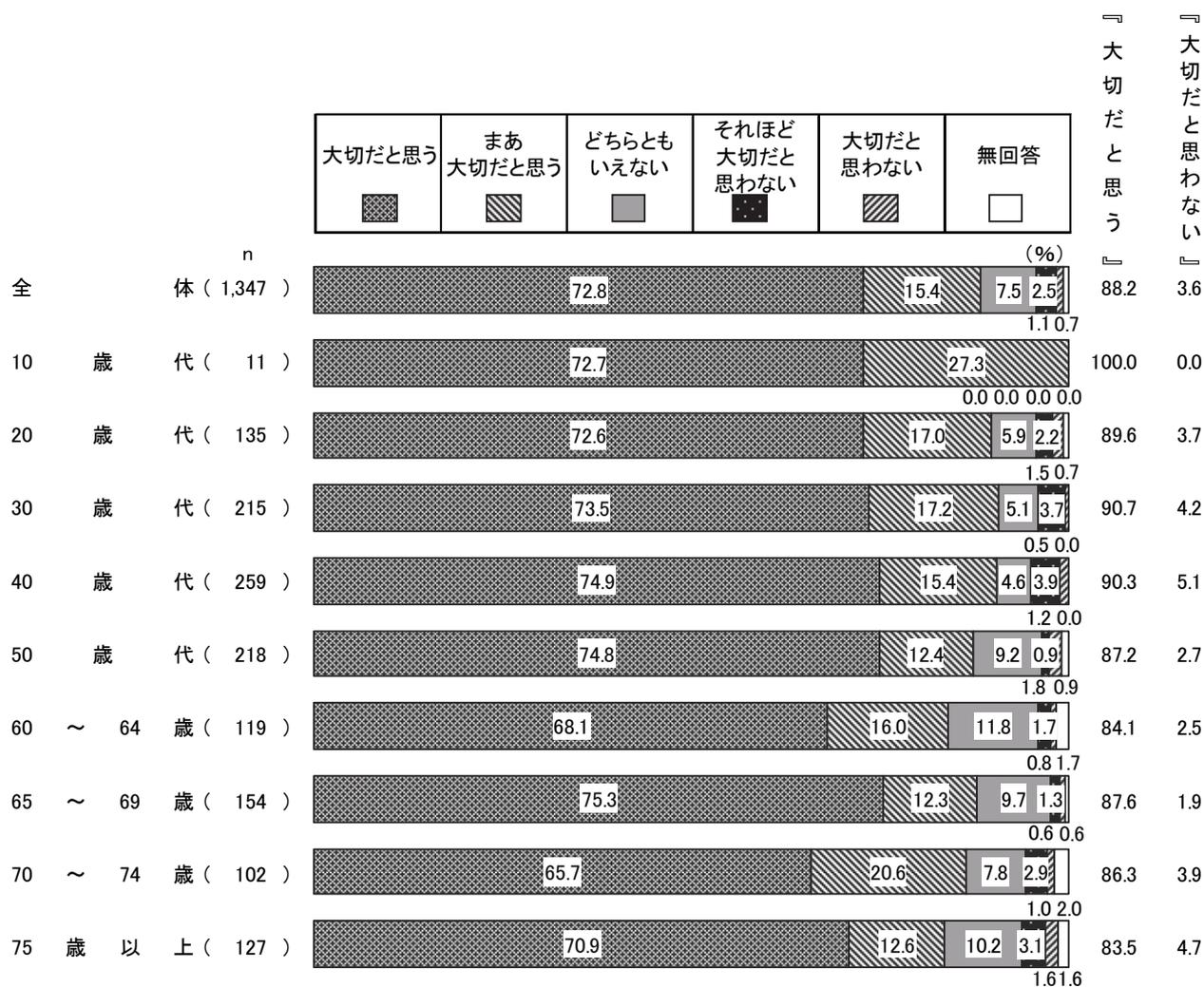
図7-4-2 戦争体験を語り継ぐことについて（性別）



② 年代別

年代別でみると、『大切だと思う』は10歳代（100%）、30歳代（90.7%）、40歳代（90.3%）で9割以上で、それ以外のすべての年代でも8割台となっています。一方、『大切だと思わない』は40歳代（5.1%）を除いたすべての年代でわずかとなっています。（図7-4-3）

図7-4-3 戦争体験を語り継ぐことについて（年代別）



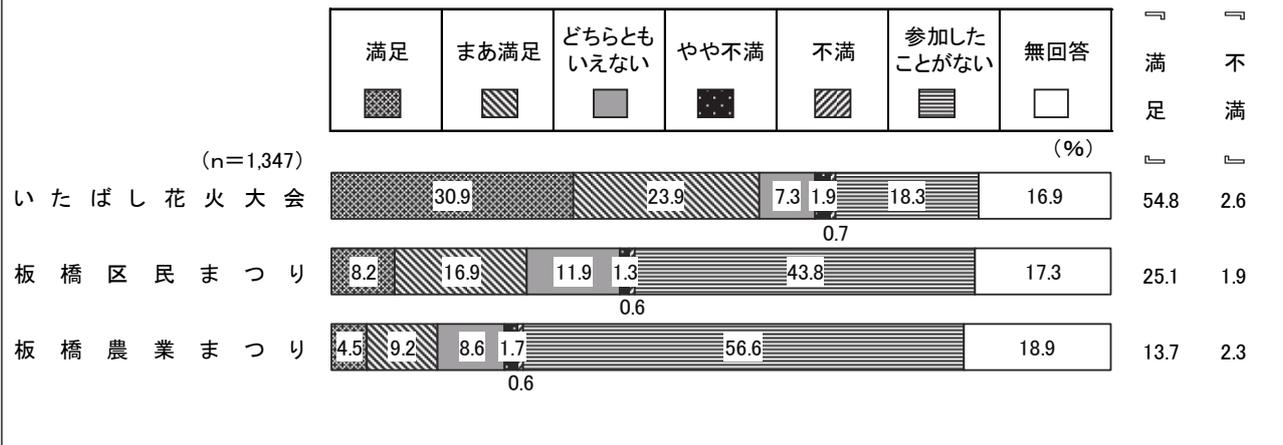
8. 「光輝く板橋ブランド・産業活力」について

(1) いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりに対する満足度

◇いたばし花火大会の満足度が5割半ば、区民まつりが2割半ば、農業まつりは1割を超える

問19 いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ1つ選び、下の表に番号を記入してください。

図8-1-1



いたばし花火大会の満足度を聞いたところ、「満足」(30.9%)は約3割で、これに「まあ満足」(23.9%)を合わせた『満足』(54.8%)が5割半ばとなっています。一方、「やや不満」(1.9%)と「不満」(0.7%)を合わせた『不満』(2.6%)はわずかとなっています。また、参加したことがない(18.3%)は2割近くとなっています。

板橋区民まつりの満足度については、「満足」(8.2%)は1割未満で、これに「まあ満足」(16.9%)を合わせた『満足』(25.1%)が2割半ばとなっています。一方、「やや不満」(1.3%)と「不満」(0.6%)を合わせた『不満』(1.9%)はわずかとなっています。また、参加したことがない(43.8%)は4割を超えています。

板橋農業まつりでは、「満足」(4.5%)は1割未満で、これに「まあ満足」(9.2%)を合わせた『満足』(13.7%)が1割を超えています。一方、「やや不満」(1.7%)と「不満」(0.6%)を合わせた『不満』(2.3%)はわずかとなっています。また、参加したことがない(56.6%)は5割半ばとなっています。(図8-1-1)

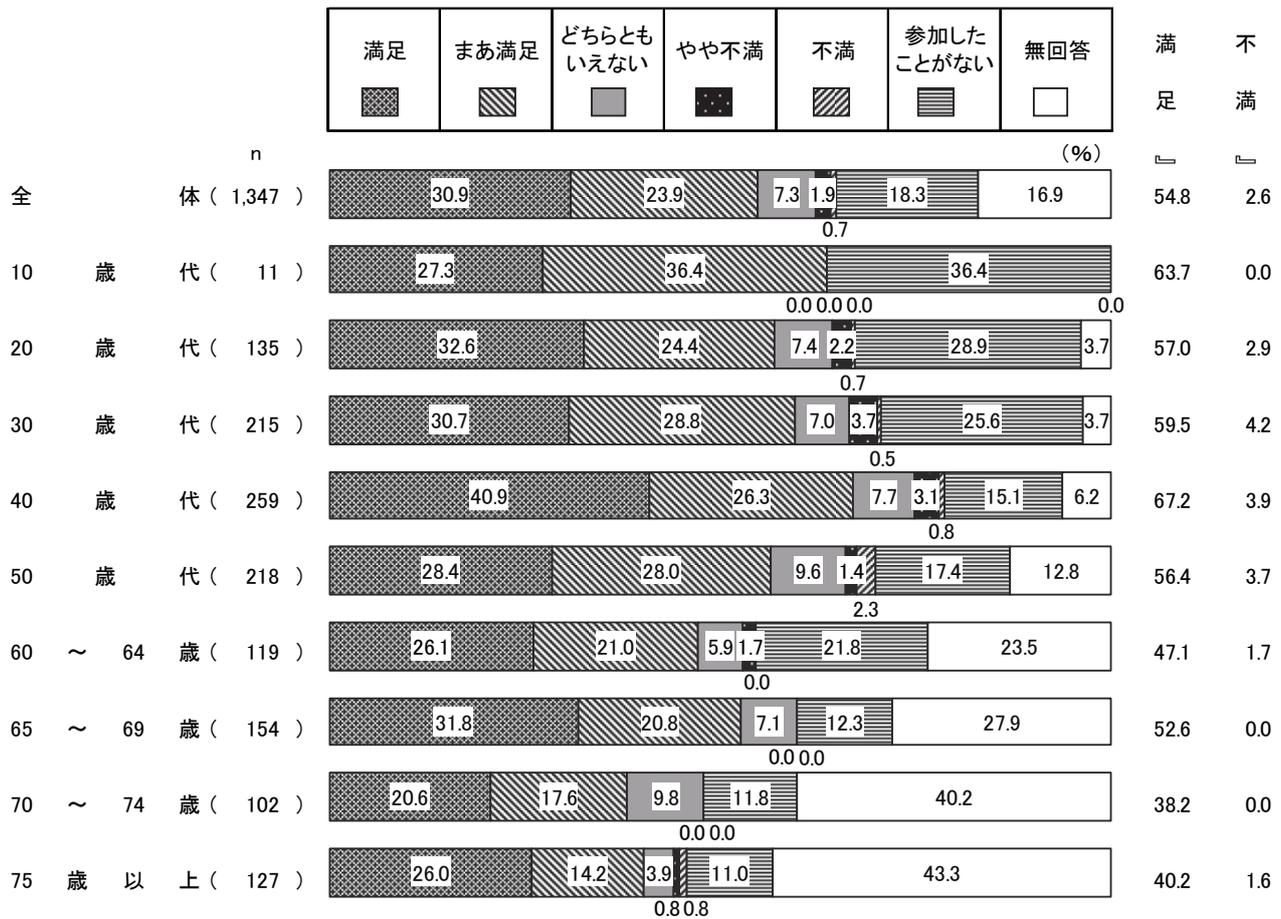
【いたばし花火大会の満足度】

① 年代別

いたばし花火大会の満足度について年代別で見ると、『満足』は40歳代（67.2%）で7割近くとなっています。一方、『不満』はすべての年代でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は10歳代（36.4%）で3割半ば、20歳代（28.9%）で3割近くとなっています。

（図8-1-2）

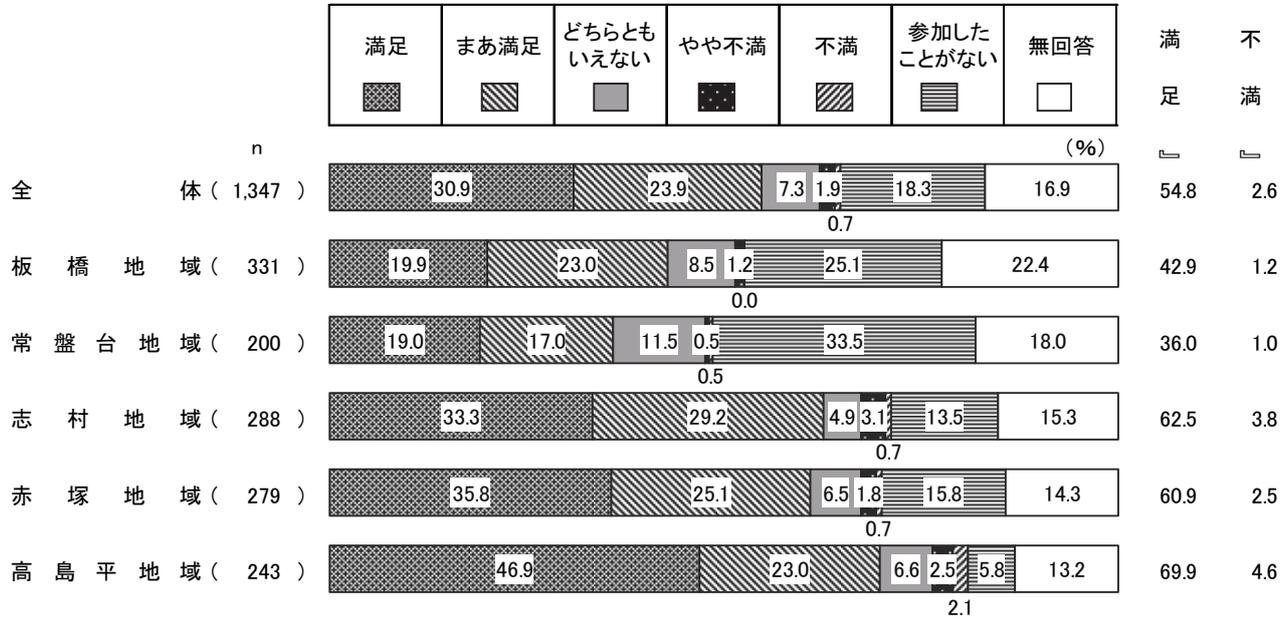
図8-1-2 いたばし花火大会の満足度（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域（69.9%）、志村地域（62.5%）、赤塚地域（60.9%）で6割台となっています。一方、『不満』はすべての地域でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は常盤台地域（33.5%）で3割を超えています。（図8-1-3）

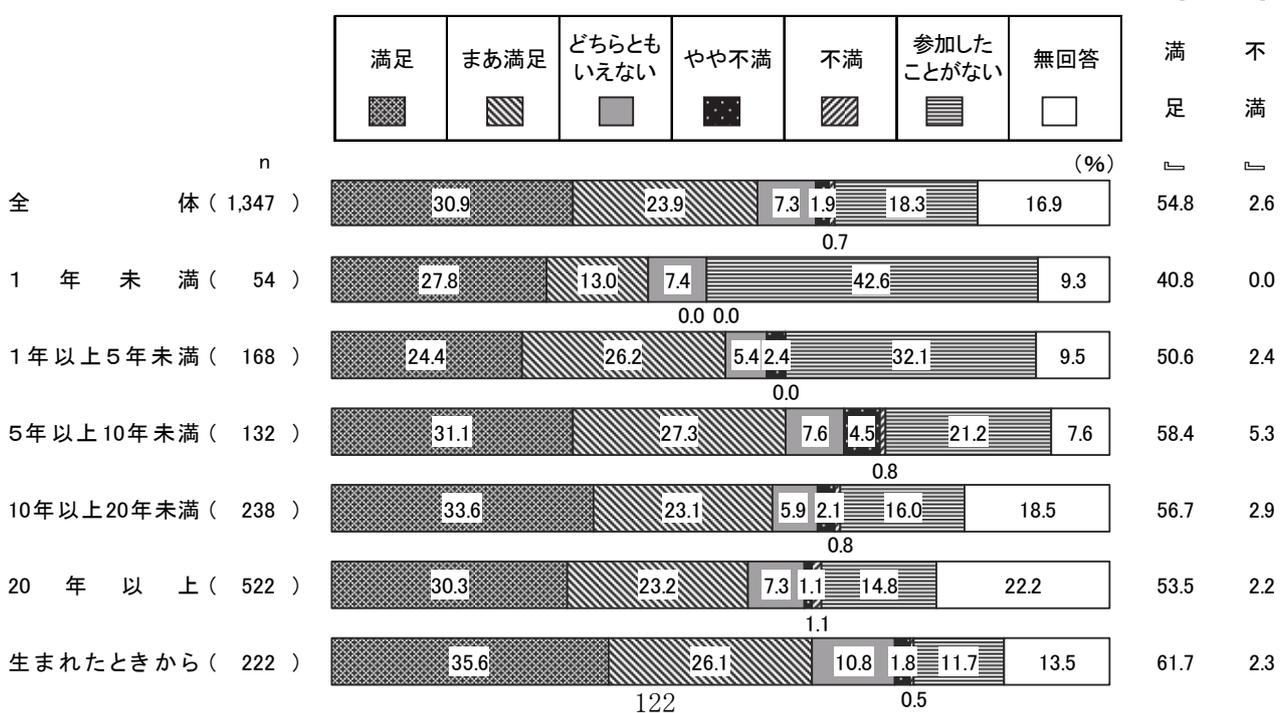
図8-1-3 いたばし花火大会の満足度（地域別）



③ 居住年数別

いたばし花火大会について居住年数別でみると、『満足』は生まれたときから（61.7%）で6割を超えています。1年未満（40.8%）は約4割となっています。また、「参加したことがない」は1年未満（42.6%）で4割を超えています。生まれたときからか10年以上居住している方は、1割台となっています。（図8-1-4）

図8-1-4 いたばし花火大会（居住年数別）

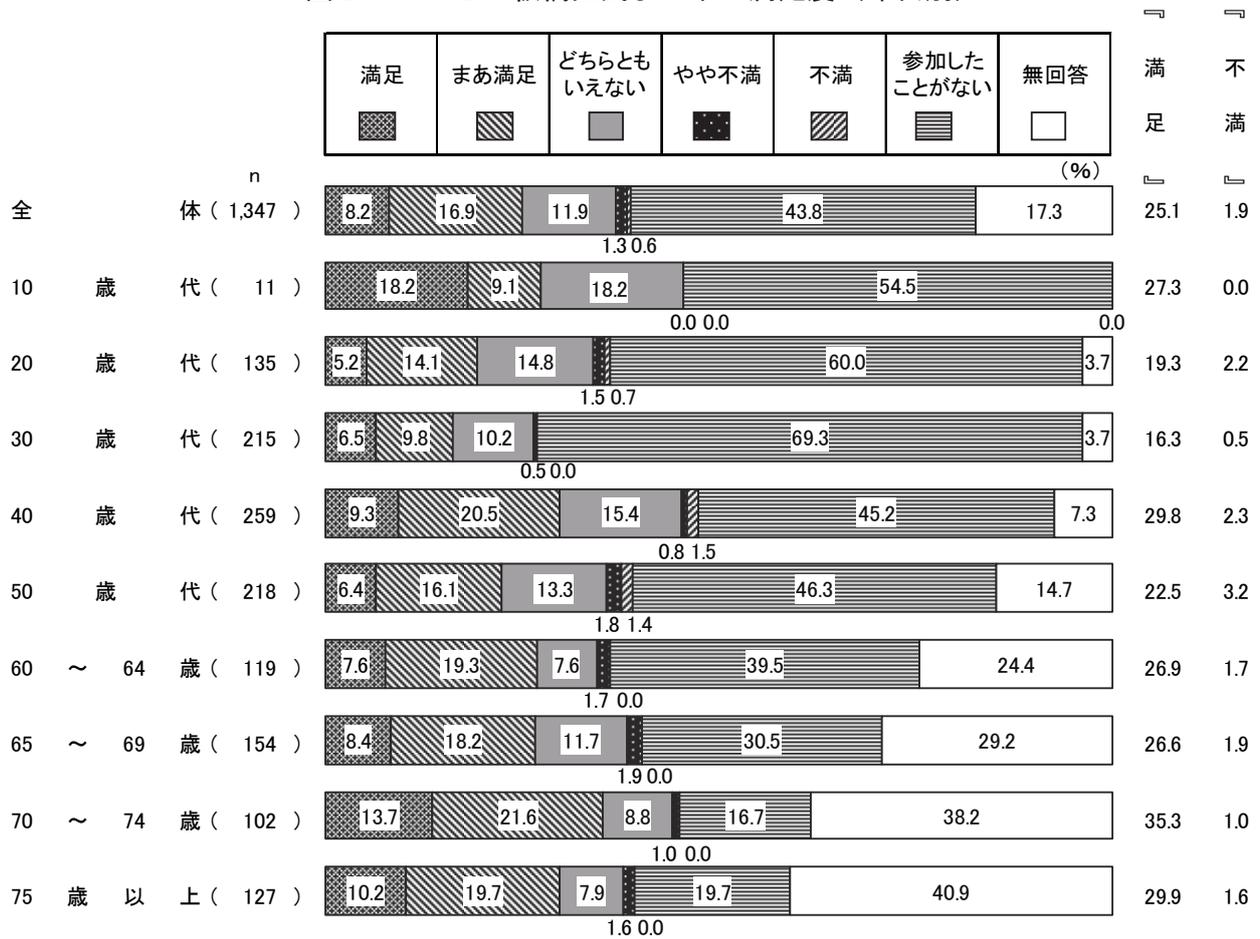


【板橋区民まつりの満足度】

① 年代別

板橋区民まつりの満足度について年代別でみると、『満足』は70～74歳（35.3%）で3割半ばとなっています。一方、『不満』はすべての年代でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は30歳代（69.3%）で約7割となっています。（図8-1-5）

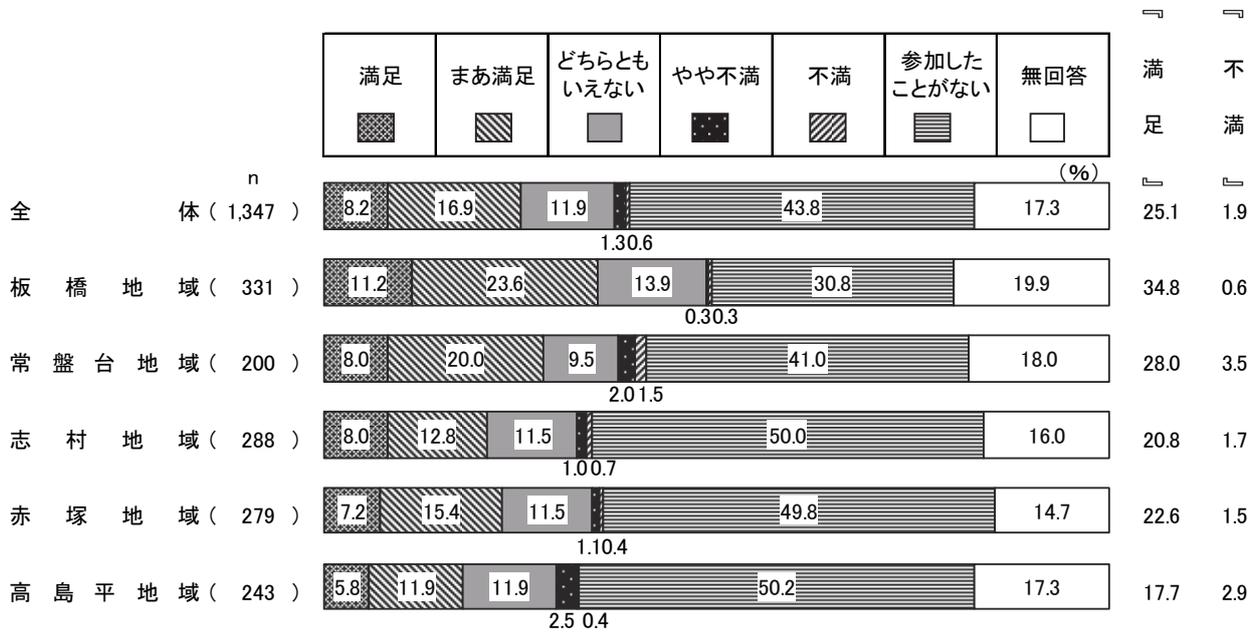
図8-1-5 板橋区民まつりの満足度（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『満足』は板橋地域（34.8%）で3割半ばとなっています。一方、『不満』はすべての地域でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は高島平地域（50.2%）、志村地域（50.0%）で5割となっています。（図8-1-6）

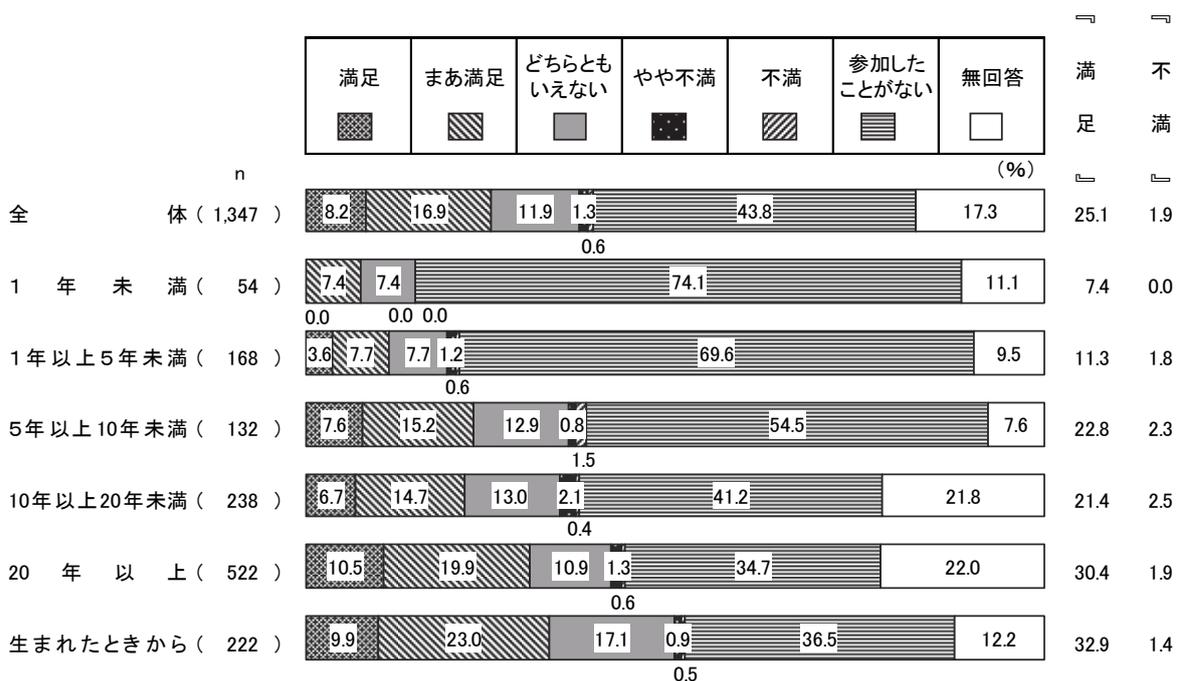
図8-1-6 板橋区民まつりの満足度（地域別）



③ 居住年数別

居住年数別でみると、『満足』は生まれたときから（32.9%）、20年以上（30.4%）で3割台となっています。また、「参加したことがない」は1年未満（74.1%）で7割半ばとなっていますが、生まれたときから（36.5%）、20年以上（34.7%）は3割台となっています。（図8-1-7）

図8-1-7 板橋区民まつりの満足度（居住年数別）



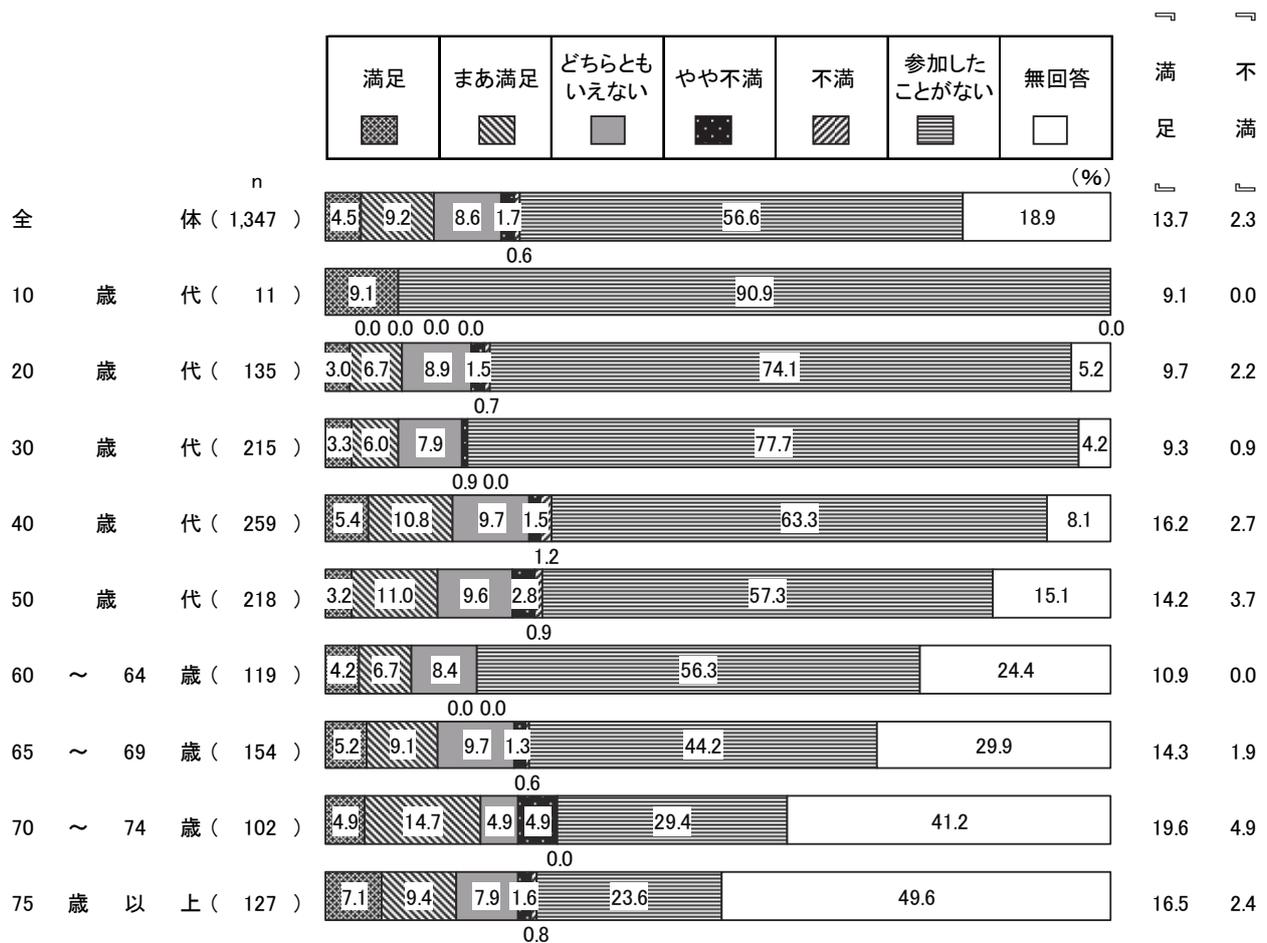
【板橋農業まつりの満足度】

① 年代別

板橋農業まつりの満足度について年代別でみると、『満足』は70～74歳（19.6%）で約2割となっています。一方、『不満』はすべての年代でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は10歳代（90.9%）で約9割、30歳代（77.7%）、20歳代（74.1%）で7割台となっています。

（図8-1-8）

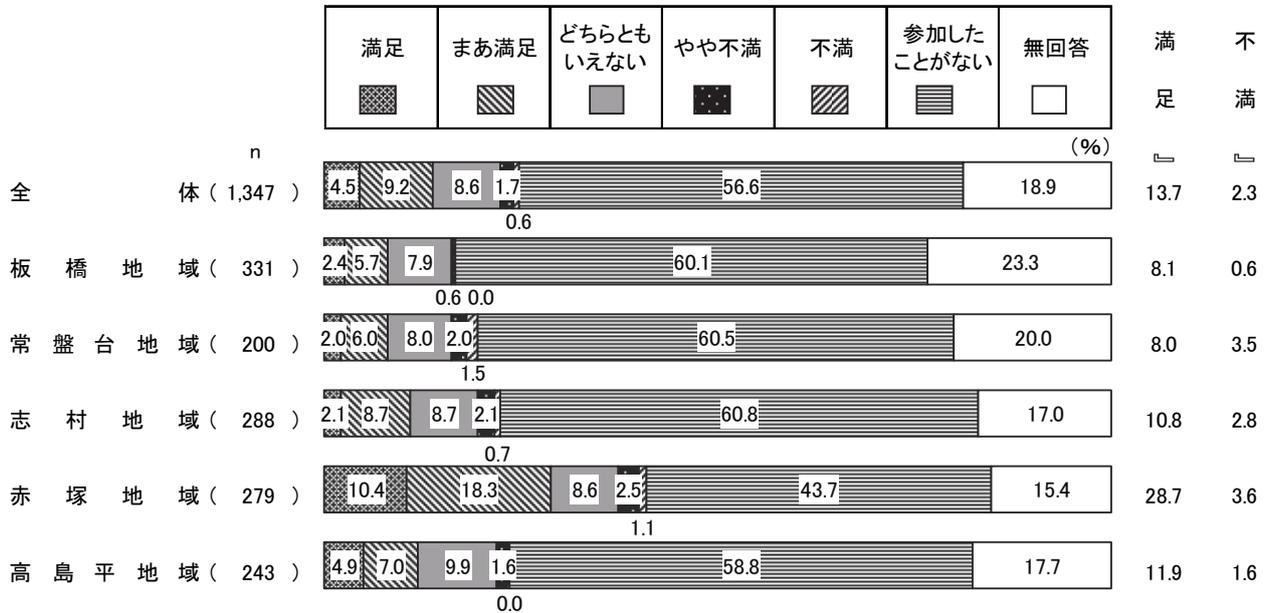
図8-1-8 板橋農業まつりの満足度（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『満足』は赤塚地域（28.7%）で3割近くとなっています。一方、『不満』はすべての地域でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は志村地域（60.8%）、常盤台地域（60.5%）、板橋地域（60.1%）で6割台となっています。（図8-1-9）

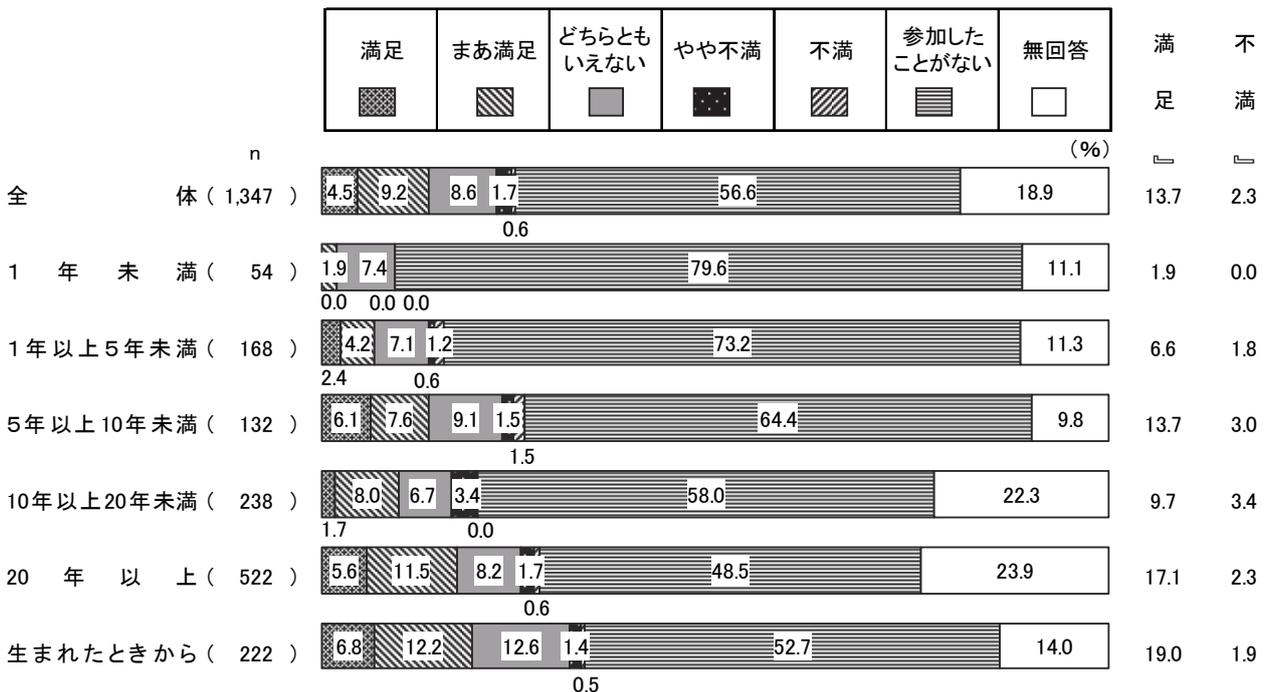
図8-1-9 板橋農業まつりの満足度（地域別）



③ 居住年数別

居住年数別でみると、『満足』は生まれたときから（19.0%）で約2割、20年以上（17.1%）で2割近くとなっています。また、「参加したことがない」は1年未満（79.6%）で約8割となっています。（図8-1-10）

図8-1-10 板橋農業まつりの満足度（居住年数別）



(2) 身近な商店街に対する印象

◇「身近で便利である」が4割

問20 あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図8-2-1

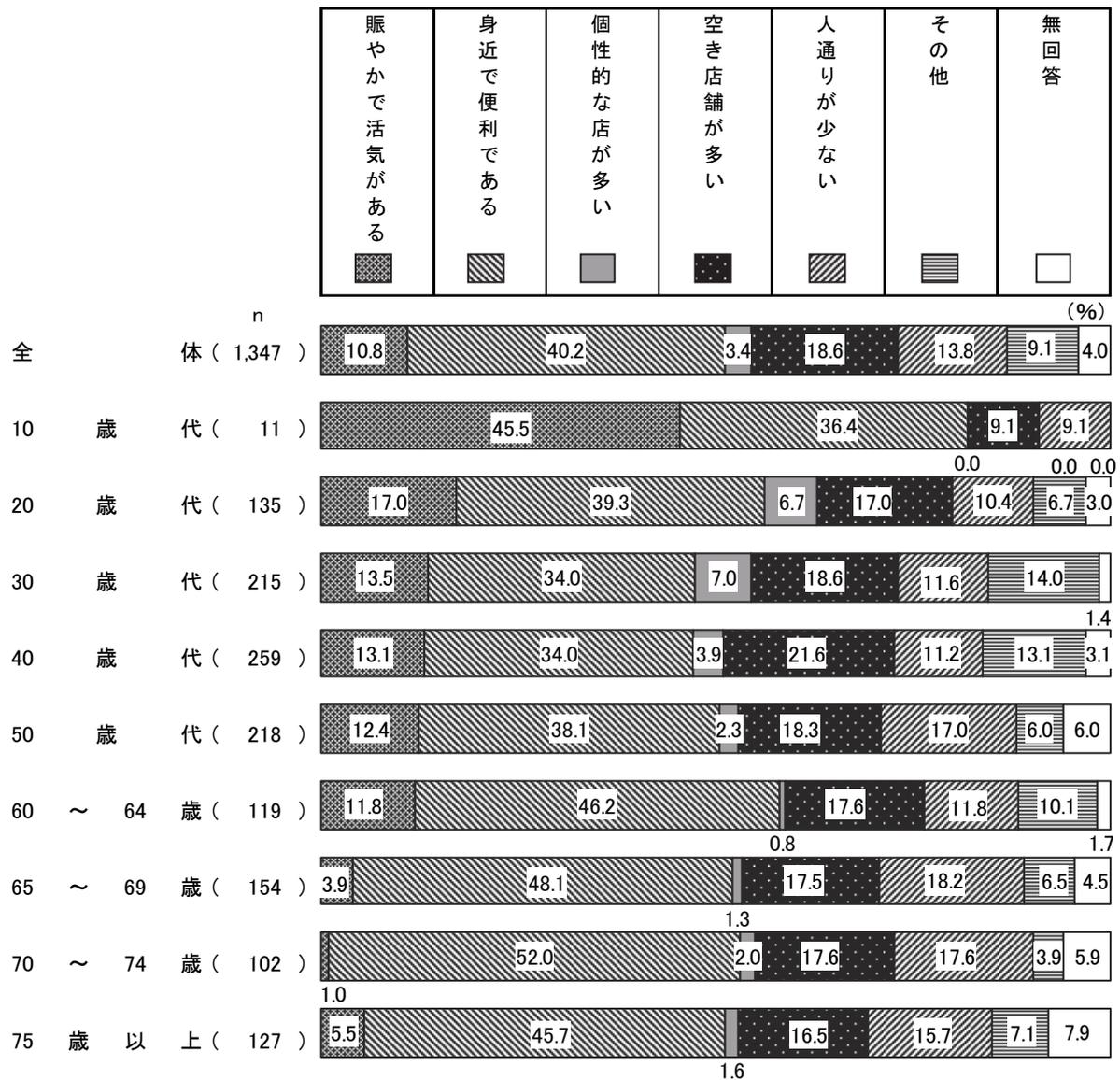


区内の身近な商店街に対する印象を聞いたところ、「身近で便利である」(40.2%)が4割となっています。「空き店舗が多い」(18.6%)、「人通りが少ない」(13.8%)、「賑やかで活気がある」(10.8%)はいずれも1割台となっています。(図8-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「身近で便利である」は70～74歳（52.0%）で5割を超えています。「賑やかで活気がある」は10歳代（45.5%）で5割半ば、20歳代（17.0%）で2割近くとなっています。一方、「空き店舗が多い」は40歳代（21.6%）で2割を超えており、「人通りが少ない」は65～69歳（18.2%）で2割近くとなっています。（図8-2-2）

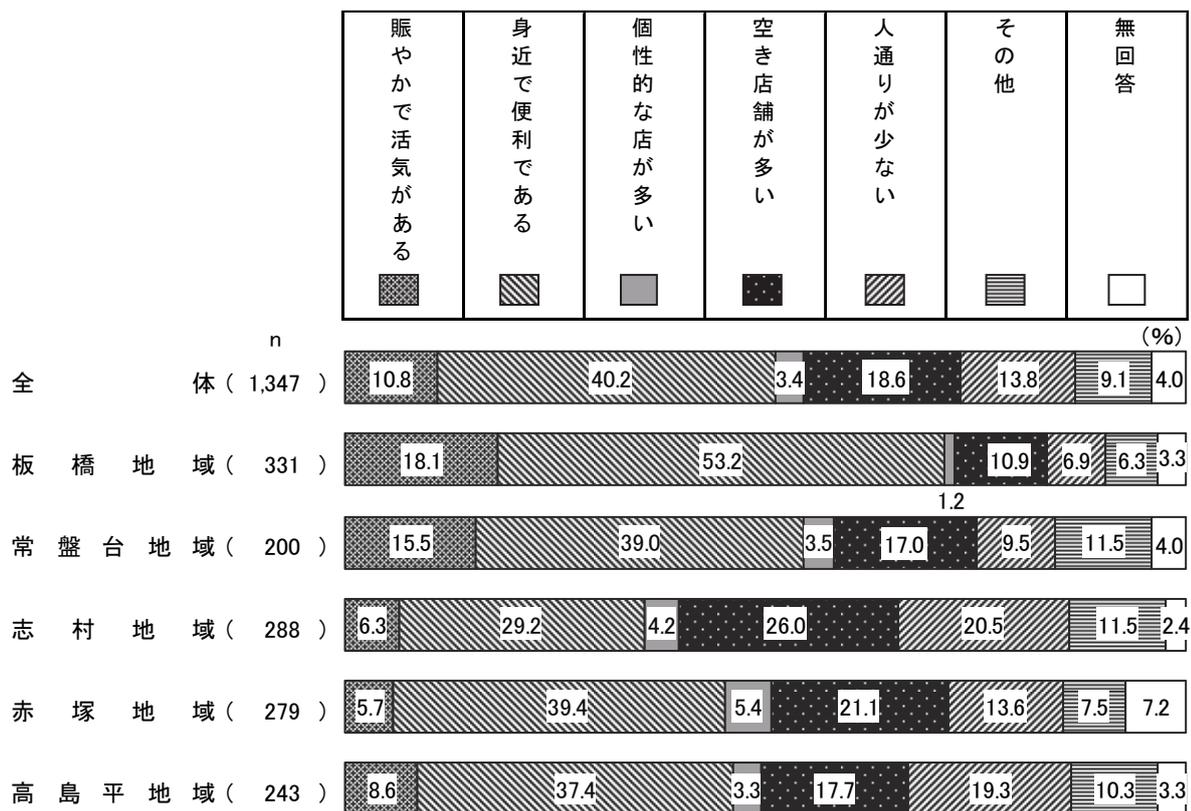
図8-2-2 身近な商店街に対する印象（年代別）



② 地域別

地域別でみると、「身近で便利である」は板橋地域（53.2%）で5割を超えています。志村地域（29.2%）で約3割と他地域と比べて低くなっています。「空き店舗が多い」「人通りが少ない」は、他地域と比べて、それぞれ志村地域（26.0%/20.5%）で高くなっていますが、板橋地域（10.9%/6.9%）では低くなっています。（図8-2-3）

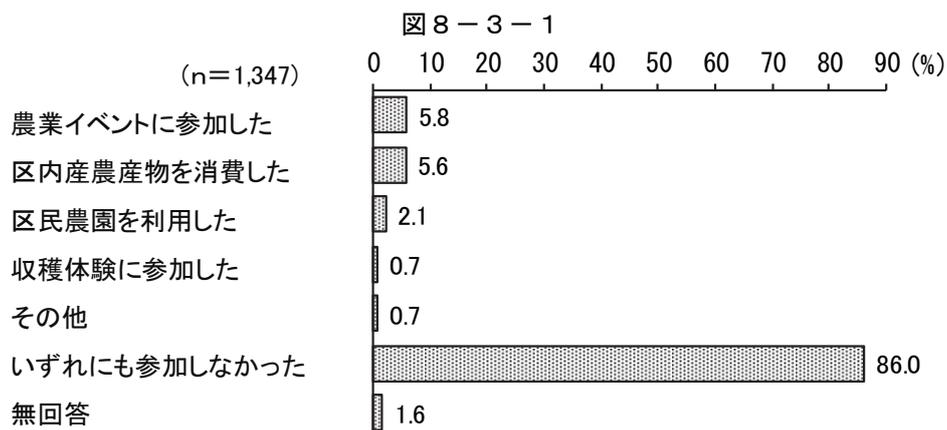
図8-2-3 身近な商店街に対する印象（地域別）



(3) 過去1年間に農業にふれた機会

◇「板橋農業まつり、区内産農産物消費、区民農園活用、収穫体験参加のいずれにも参加しなかった」が8割半ば

問21 過去1年の間に区内の農業にふれる機会（板橋農業まつり参加、区内産農産物消費、区民農園活用、収穫体験参加等）がありましたか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。



過去1年の間に区内の農業にふれる機会（板橋農業まつり参加、区内産農産物消費、区民農園活用、収穫体験参加等）があったかを聞いたところ、「いずれにも参加しなかった」（86.0%）が8割半ばとなっています。一方、何らかの区内の農業にふれる機会があったと答えた方はそれぞれ1割未満となっています。（図8-3-1）

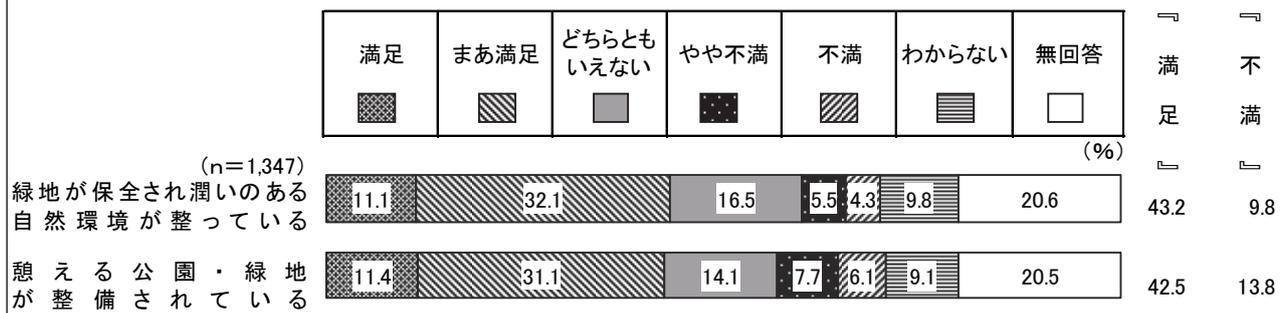
9. 「緑と環境共生」について

(1) 自然環境・公園に対する満足度

◇自然環境・公園ともに、「満足」「まあ満足」を合わせた『満足』が4割を超える

問22 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」こと、「憩える公園・緑地が整備されている」ことについて、あなたの満足度をそれぞれ1つ選び、下の表に番号を記入してください。

図9-1-1



緑地が保全され潤いのある自然環境が整っていることに対する満足度を聞いたところ、「満足」(11.1%)と「まあ満足」(32.1%)を合わせた『満足』(43.2%)が4割を超えています。一方、「やや不満」(5.5%)と「不満」(4.3%)を合わせた『不満』(9.8%)は1割未満となっています。

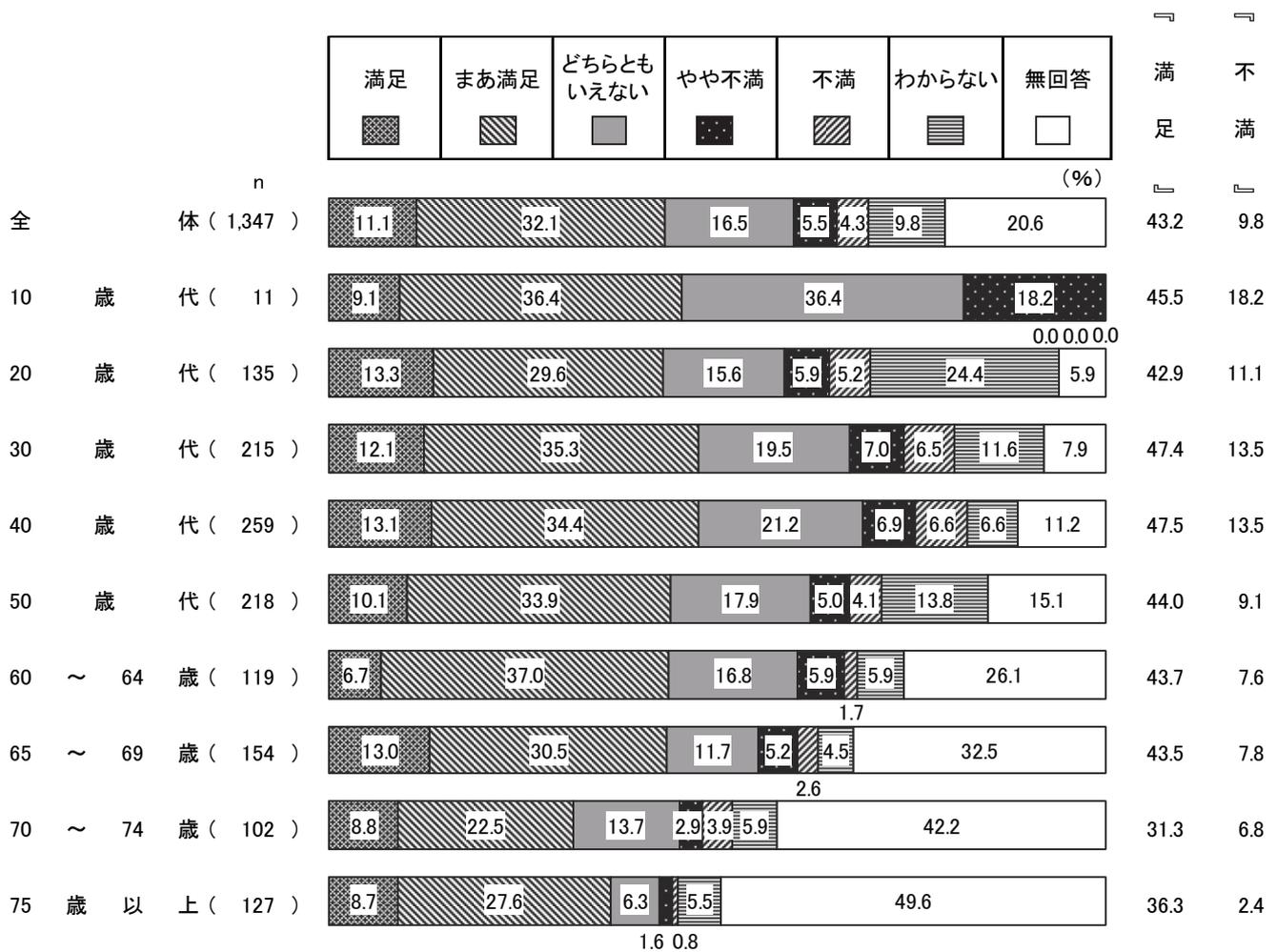
憩える公園・緑地が整備されていることに対する満足度についても、『満足』(42.5%)が4割を超えており、『不満』(13.8%)は1割を超えています。(図9-1-1)

【緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている】

① 年代別

年代別でみると、『満足』は40歳代（47.5%）で5割近くとなっています。一方、『不満』は、10歳代（18.2%）、30歳代（13.5%）、40歳代（13.5%）、20歳代（11.1%）で1割台となっています。（図9-1-2）

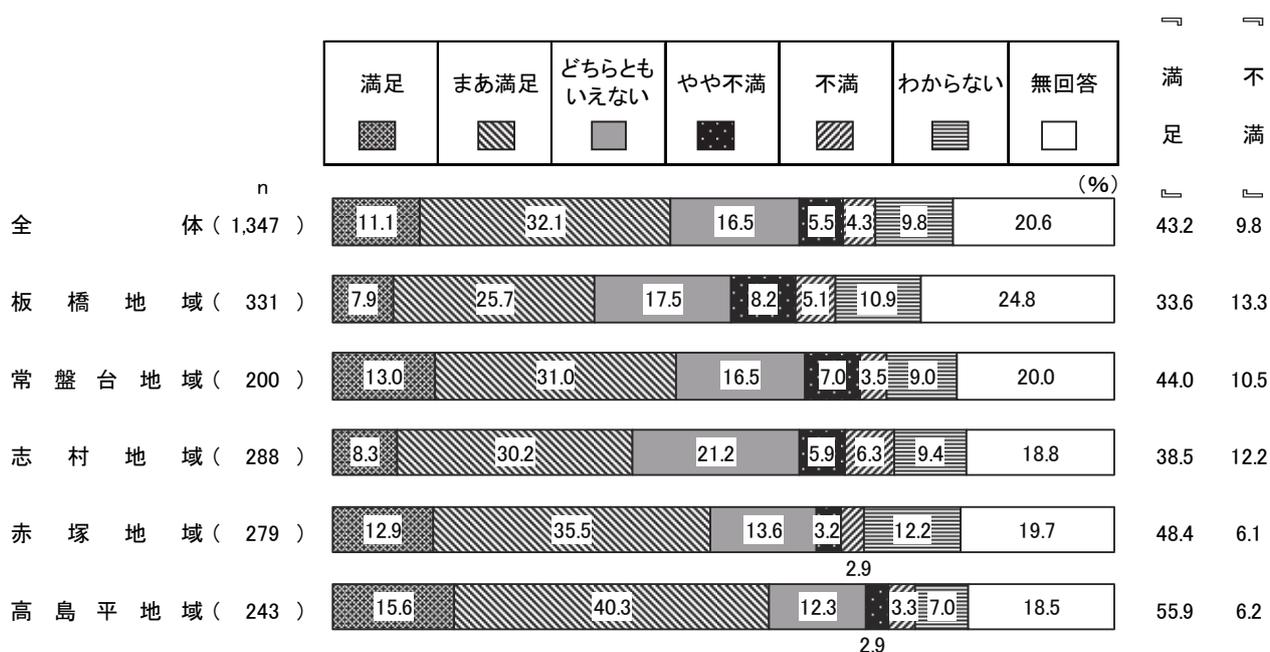
図9-1-2 緑地の保全・自然環境の整備に対する満足度（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域（55.9%）で5割半ば、赤塚地域（48.4%）で5割近くとなっています。『不満』は板橋地域（13.3%）、志村地域（12.2%）、常盤台地域（10.5%）で1割台となっています。また、『どちらともいえない』は志村地域（21.2%）で2割を超えています。（図9-1-3）

図9-1-3 緑地の保全・自然環境の整備に対する満足度（地域別）

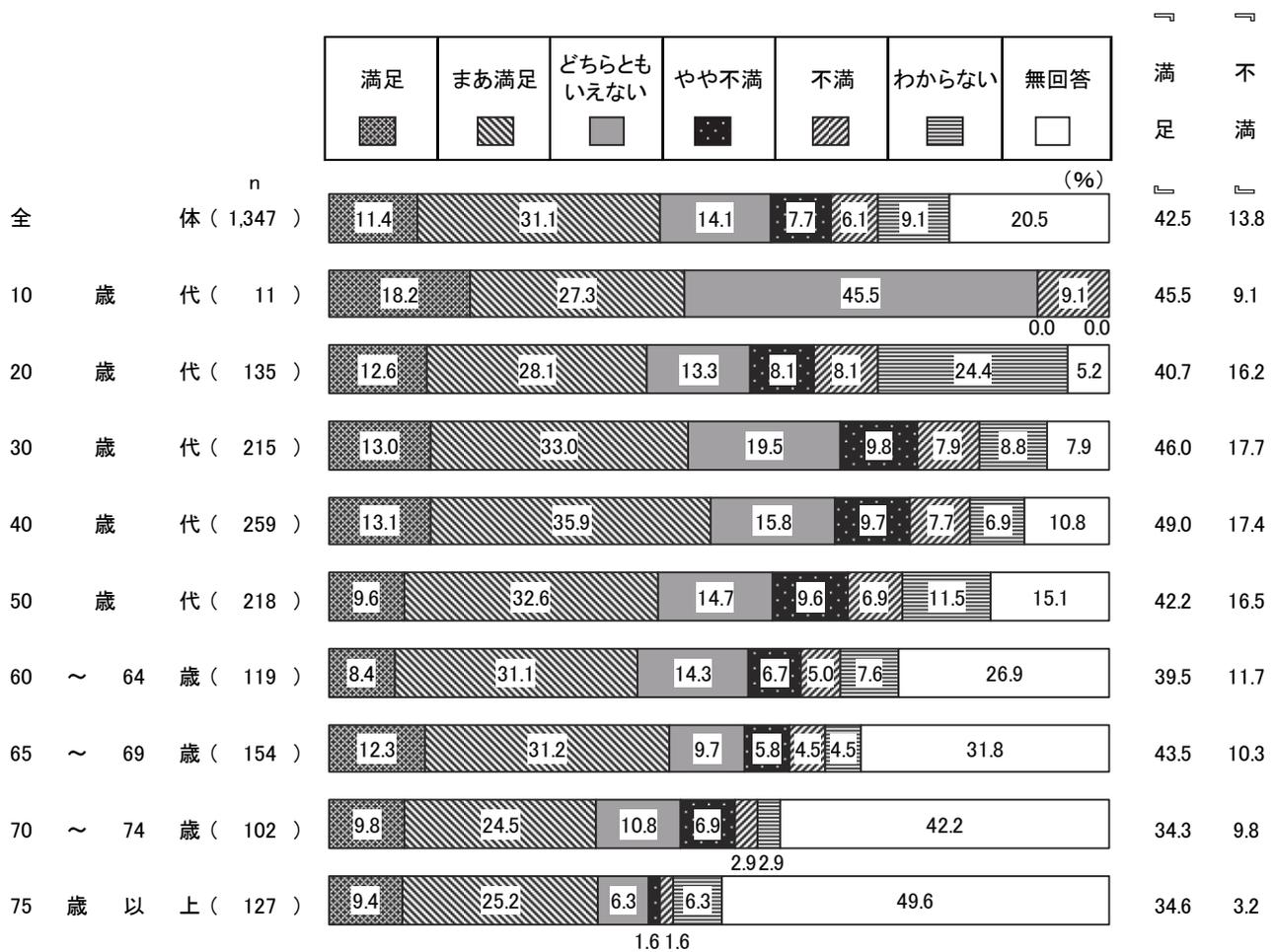


【憩える公園・緑地が整備されている】

① 年代別

年代別でみると、『満足』は40歳代（49.0%）で約5割となっており、30歳代（46.0%）、10歳代（45.5%）で4割半ばとなっています。一方、『不満』は30歳代（17.7%）、40歳代（17.4%）で2割近くとなっています。（図9-1-4）

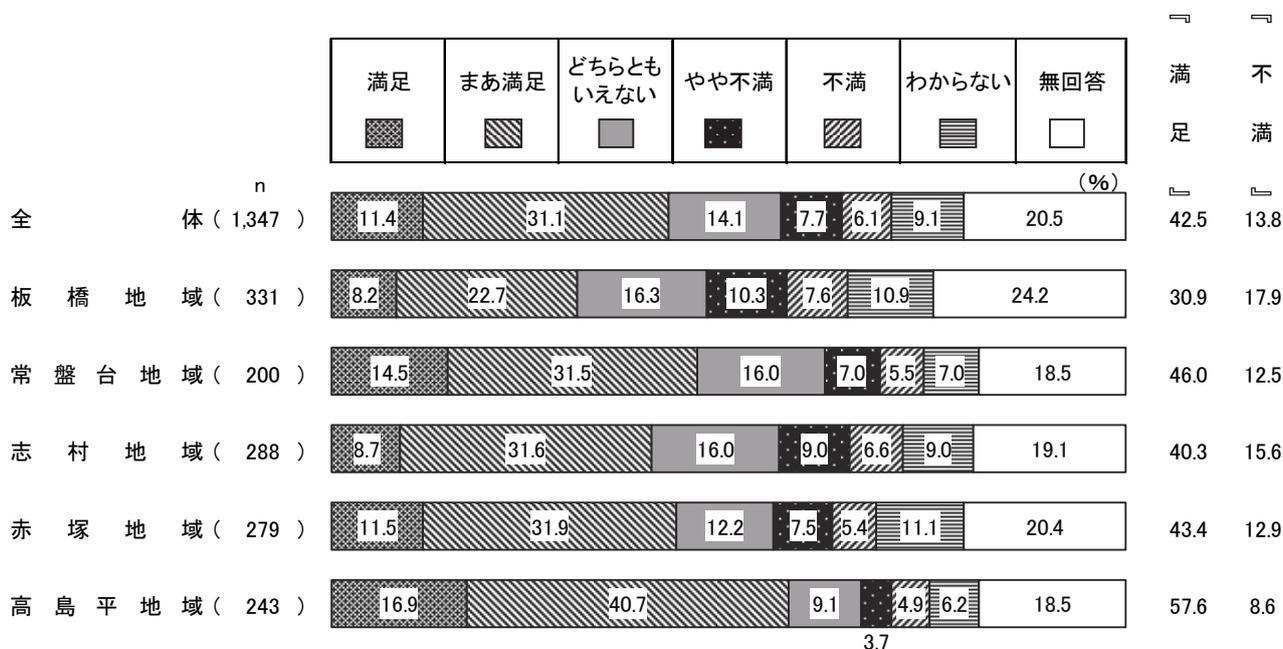
図9-1-4 公園・緑地の整備に対する満足度（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域(57.6%)で6割近くとなっていますが、板橋地域(30.9%)は約3割と他地域と比べて低くなっています。また、『不満』は板橋地域(17.9%)で2割近くとなっていますが、高島平地域(8.6%)は1割未満となっています。(図9-1-5)

図9-1-5 公園・緑地の整備に対する満足度(地域別)

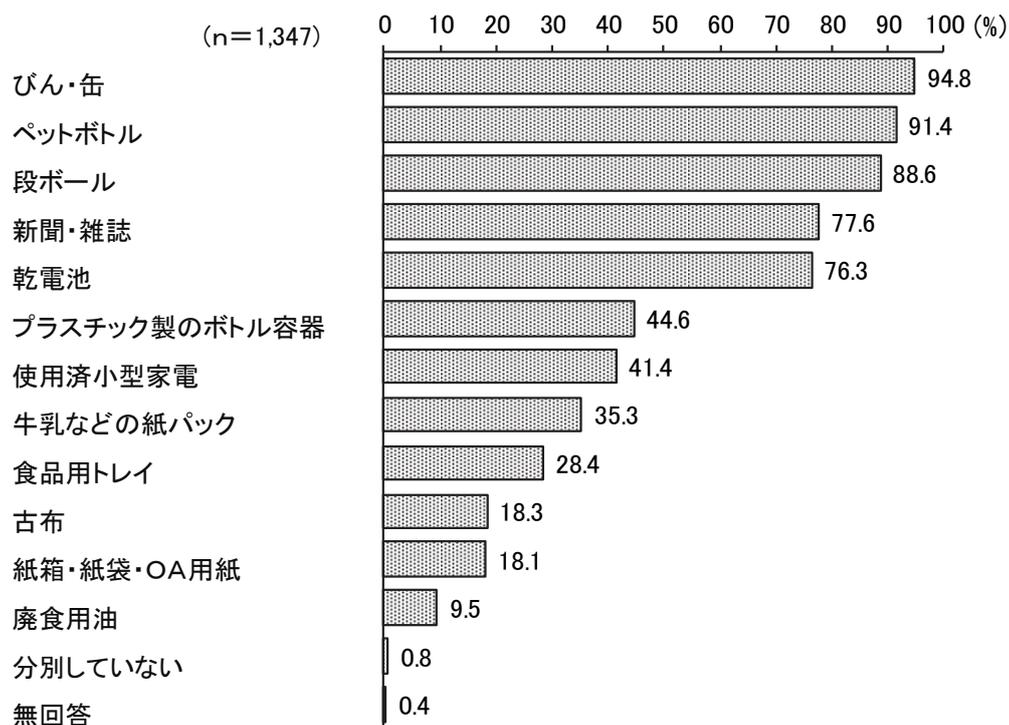


(2) 資源としてごみと分別しているもの

◇「びん・缶」、「ペットボトル」で9割台

問 23 資源として、あなたが日頃からごみと分別して出しているものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 9-2-1



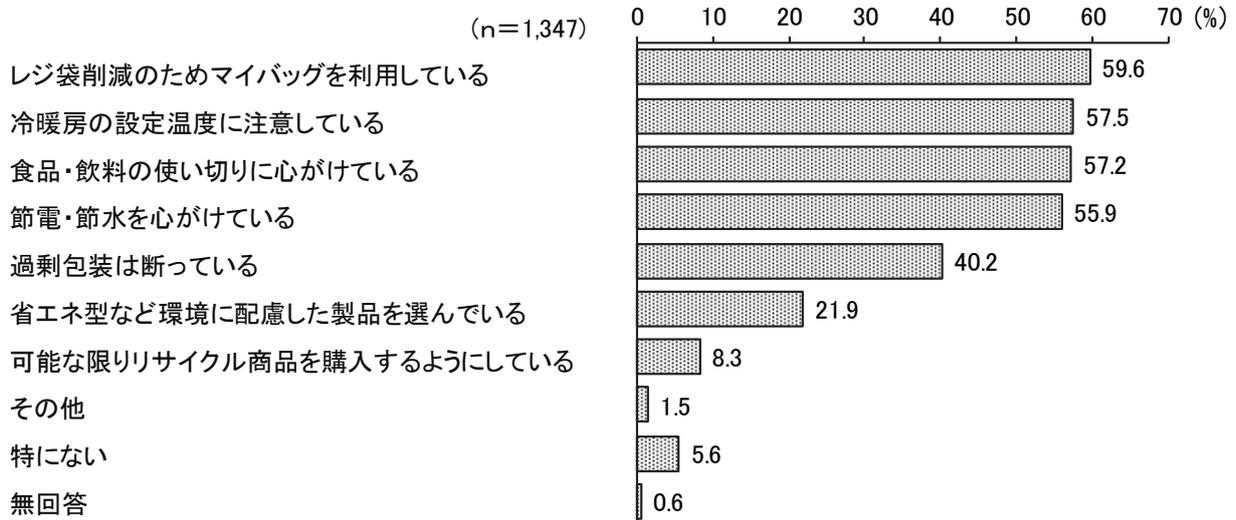
資源としてごみと分別しているものを聞いたところ、「びん・缶」(94.8%)、「ペットボトル」(91.4%)で9割台となっており、次いで「段ボール」(88.6%)、「新聞・雑誌」(77.6%)、「乾電池」(76.3%)などとなっています。(図9-2-1)

(3) 環境のために取り組んでいること

◇「マイバッグの利用」が約6割

問24 あなたが、環境のために取り組んでいることは何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図9-3-1



環境のために取り組んでいることを聞いたところ、「レジ袋削減のためマイバッグを利用している」(59.6%)が約6割となっています。次いで「冷暖房の設定温度に注意している」(57.5%)、「食品・飲料の使い切りに心がけている」(57.2%)、「節電・節水を心がけている」(55.9%)が5割台となっています。一方、「特にない」(5.6%)は1割未満となっています。(図9-3-1)

① 性別

性別でみると、「レジ袋削減のためマイバッグを利用している」は女性(67.7%)で第1位となっていますが、男性(49.0%)では第4位となっています。「節電・節水を心がけている」は男性(55.1%)で第1位となっていますが、女性(56.0%)では第4位となっています。(表9-3-1)

表9-3-1 環境のために取り組んでいること(性別)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 59.6	冷暖房の設定温度に注意している 57.5	食品・飲料の使い切りに心がけている 57.2	節電・節水を心がけている 55.9	過剰包装は断っている 40.2
性別	男性	574	節電・節水を心がけている 55.1	食品・飲料の使い切りに心がけている 54.4	冷暖房の設定温度に注意している 52.8	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 49.0	過剰包装は断っている 33.3
	女性	743	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 67.7	冷暖房の設定温度に注意している 61.1	食品・飲料の使い切りに心がけている 59.4	節電・節水を心がけている 56.0	過剰包装は断っている 46.0

② 年代別

年代別でみると、「レジ袋削減のためマイバッグを利用している」は50歳代（65.6%）、40歳代（63.7%）、60～64歳（62.2%）で第1位となっています。「冷暖房の設定温度に注意している」は75歳以上（74.8%）、65～69歳（72.7%）で第1位となっています。また、「食品・飲料の使い切りに心がけている」は30歳代（53.0%）、20歳代（48.1%）で第1位、10歳代（54.5%）で同率の第1位となっています。（表9-3-2）

表9-3-2 環境のために取り組んでいること（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 59.6	冷暖房の設定温度に注意している 57.5	食品・飲料の使い切りに心がけている 57.2	節電・節水を心がけている 55.9	過剰包装は断っている 40.2
年 代 別	10 歳 代	11	節電・節水を心がけている/食品・飲料の使い切りに心がけている 54.5		レジ袋削減のためマイバッグを利用している/過剰包装は断っている 36.4		
	20 歳 代	135	食品・飲料の使い切りに心がけている 48.1	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 43.7	冷暖房の設定温度に注意している 40.0	節電・節水を心がけている 36.3	過剰包装は断っている 21.5
	30 歳 代	215	食品・飲料の使い切りに心がけている 53.0	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 50.7	冷暖房の設定温度に注意している 49.3	節電・節水を心がけている 44.7	過剰包装は断っている 40.9
	40 歳 代	259	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 63.7	冷暖房の設定温度に注意している 61.4	食品・飲料の使い切りに心がけている 56.4	節電・節水を心がけている 52.5	過剰包装は断っている 44.0
	50 歳 代	218	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 65.6	食品・飲料の使い切りに心がけている 56.4	節電・節水を心がけている 53.7	冷暖房の設定温度に注意している 48.2	過剰包装は断っている 45.9
	60 ～ 64 歳	119	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 62.2	食品・飲料の使い切りに心がけている 60.5	冷暖房の設定温度に注意している 59.7	節電・節水を心がけている 56.3	過剰包装は断っている 49.6
	65 ～ 69 歳	154	冷暖房の設定温度に注意している 72.7	節電・節水を心がけている 67.5	レジ袋削減のためマイバッグを利用している/食品・飲料の使い切りに心がけている 64.9		過剰包装は断っている 41.6
	70 ～ 74 歳	102	節電・節水を心がけている 81.4	冷暖房の設定温度に注意している 66.7	食品・飲料の使い切りに心がけている 61.8	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 56.9	過剰包装は断っている 34.3
	75 歳 以上	127	冷暖房の設定温度に注意している 74.8	節電・節水を心がけている 72.4	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 69.3	食品・飲料の使い切りに心がけている 63.0	過剰包装は断っている 36.2

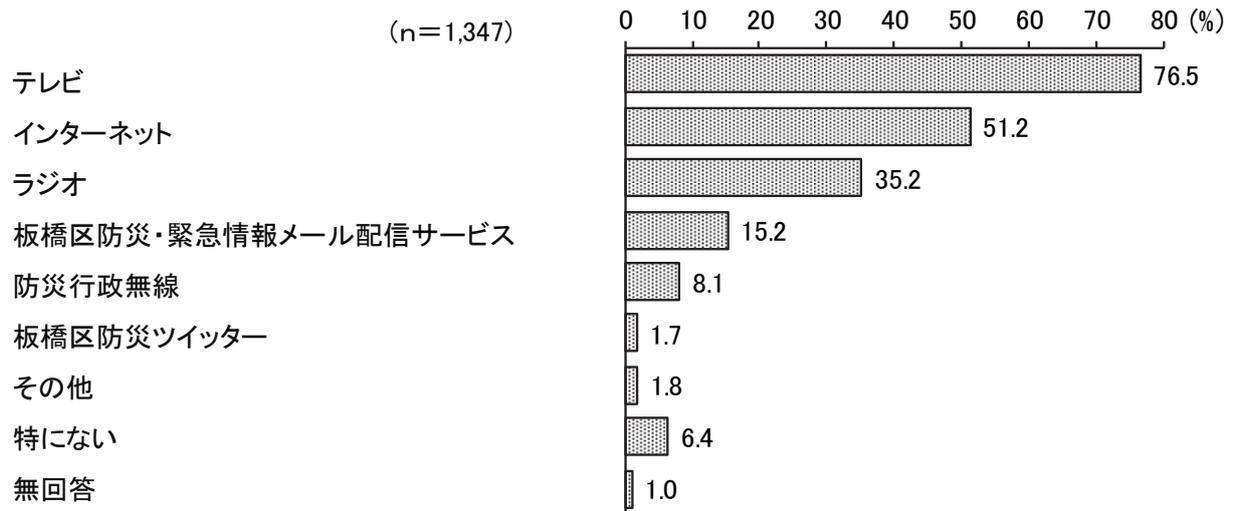
10. 「万全な備えの安心・安全」について

(1) 災害情報を収集するための手段

◇「テレビ」が7割半ば

問25 災害情報を収集するために、あなたが確保している手段について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図10-1-1



災害情報を収集するための手段について聞いたところ、「テレビ」(76.5%)が7割半ばとなり、次いで「インターネット」(51.2%)、「ラジオ」(35.2%)、「板橋区防災・緊急情報メール配信サービス」(15.2%)、「防災行政無線」(8.1%)と続いています。(図10-1-1)

① 年代別

年代別でみると、各年代での第1位（同率含む）は10歳代から30歳代で「インターネット」、40歳代以上で「テレビ」となっています。第2位は20歳代、30歳代で「テレビ」、40歳代、50歳代で「インターネット」、60歳以上で「ラジオ」となっており、第3位（同率含む）は10歳代から50歳代で「ラジオ」、60歳から69歳で「インターネット」、70歳以上で「防災行政無線」となっています。（表10-1-1）

表10-1-1 災害情報を収集するための手段（年代別）

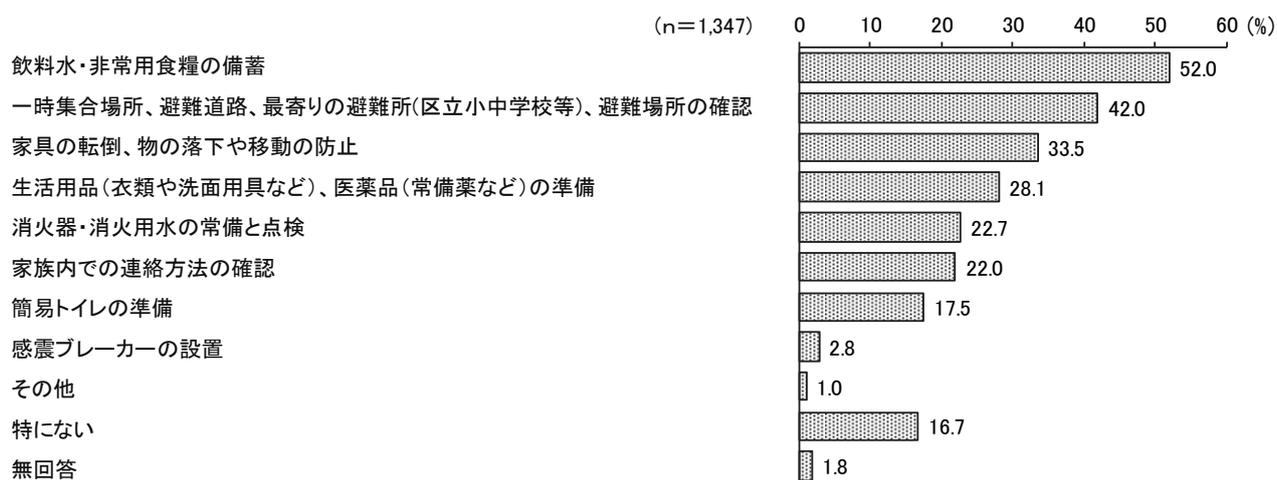
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	テレビ 76.5	インターネット 51.2	ラジオ 35.2	板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 15.2	防災行政無線 8.1
年 代 別	10 歳 代	11	インターネット/テレビ 90.9		ラジオ 45.5	防災行政無線 18.2	板橋区防災・緊急情 報メール配信サービ ス/板橋区防災ツイ ッター 9.1
	20 歳 代	135	インターネット 75.6	テレビ 63.7	ラジオ 15.6	特にない 8.9	板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 5.9
	30 歳 代	215	インターネット 74.0	テレビ 69.3	ラジオ 27.0	板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 15.3	特にない 9.8
	40 歳 代	259	テレビ 71.4	インターネット 68.0	ラジオ 29.3	板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 23.2	特にない 8.1
	50 歳 代	218	テレビ 77.5	インターネット 58.7	ラジオ 39.9	板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 17.9	防災行政無線 9.6
	60 ～ 64 歳	119	テレビ 79.8	ラジオ 41.2	インターネット 38.7	板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 15.1	防災行政無線/特 にない 7.6
	65 ～ 69 歳	154	テレビ 84.4	ラジオ 48.7	インターネット 27.3	板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 16.9	防災行政無線 14.9
	70 ～ 74 歳	102	テレビ 85.3	ラジオ 44.1	防災行政無線/インターネット 10.8		板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 9.8
	75 歳 以上	127	テレビ 90.6	ラジオ 44.1	防災行政無線 13.4	インターネット 12.6	板橋区防災・緊急 情報メール配信 サービス 7.1

(2) 災害に備えた家庭内での対策

◇「飲料水・非常用食料の備蓄」が5割を超える

問 26 あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図10-2-1



災害に備えた家庭内での対策を聞いたところ、「飲料水・非常用食料の備蓄」(52.0%)が5割を超え、次いで「一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認」(42.0%)、「家具の転倒、物の落下や移動の防止」(33.5%)、「生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備」(28.1%)、「消火器・消火用水の常備と点検」(22.7%)と続いています。(図10-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「飲料水・非常用食糧の備蓄」は40歳代以外のすべての年代で第1位となっています。「一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認」は40歳代（51.0%）で第1位となっており、70～74歳（52.9%）、65～69歳（48.1%）、10歳代（45.5%）、50歳代（41.7%）、30歳代（35.8%）で第2位となっています。その他の特徴として、「家庭内での連絡方法の確認」は20歳代（22.2%）で第4位、70～74歳（25.5%）で同率の第4位、50歳代（22.9%）、40歳代（22.8%）、30歳代（19.5%）で第5位となっています。また、「特にない」は20歳代（35.6%）で第2位となっています。（表10-2-1）

表10-2-1 災害に備えた家庭内での対策（年代別）

(%)

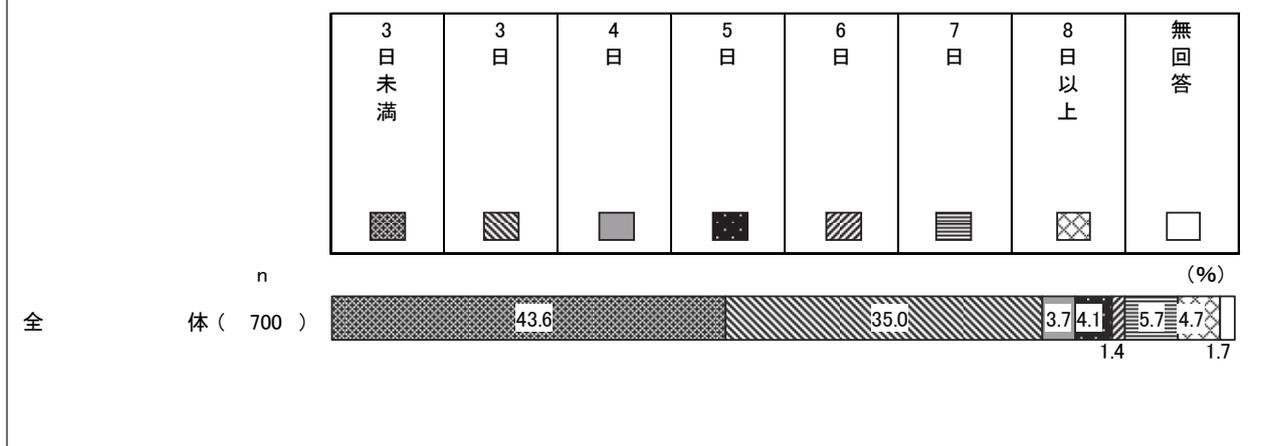
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	飲料水・非常用食糧の備蓄 52.0	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 42.0	家具の転倒、物の落下や移動の防止 33.5	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 28.1	消火器・消火用水の常備と点検 22.7
年 代 別	10 歳 代	11	飲料水・非常用食糧の備蓄 72.7	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 45.5	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 36.4	家具の転倒、物の落下や移動の防止 27.3	簡易トイレの準備 9.1
	20 歳 代	135	飲料水・非常用食糧の備蓄 37.0	特にない 35.6	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 26.7	家族内での連絡方法の確認 22.2	家具の転倒、物の落下や移動の防止 21.5
	30 歳 代	215	飲料水・非常用食糧の備蓄 53.0	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 35.8	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備/家具の転倒、物の落下や移動の防止 29.8	家族内での連絡方法の確認 19.5	
	40 歳 代	259	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 51.0	飲料水・非常用食糧の備蓄 50.2	家具の転倒、物の落下や移動の防止 36.7	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 30.5	家族内での連絡方法の確認 22.8
	50 歳 代	218	飲料水・非常用食糧の備蓄 57.8	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 41.7	家具の転倒、物の落下や移動の防止 29.4	消火器・消火用水の常備と点検 28.4	家族内での連絡方法の確認 22.9
	60～64 歳	119	飲料水・非常用食糧の備蓄 61.3	家具の転倒、物の落下や移動の防止 42.0	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 38.7	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 31.9	消火器・消火用水の常備と点検 28.6
	65～69 歳	154	飲料水・非常用食糧の備蓄 53.2	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 48.1	家具の転倒、物の落下や移動の防止 39.0	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 31.2	消火器・消火用水の常備と点検 29.2
	70～74 歳	102	飲料水・非常用食糧の備蓄 55.9	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 52.9	家具の転倒、物の落下や移動の防止 38.2	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備/消火器・消火用水の常備と点検/家族内での連絡方法の確認 25.5	
	75 歳 以上	127	飲料水・非常用食糧の備蓄 46.5	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 41.7	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 38.6	家具の転倒、物の落下や移動の防止 36.2	消火器・消火用水の常備と点検 33.1

(2-1) 飲料水・非常用食糧の備蓄日数

◇「3日未満が4割を超える」が8割半ば

問26-1 およそ何日分の備蓄をしていますか。

図10-2-2



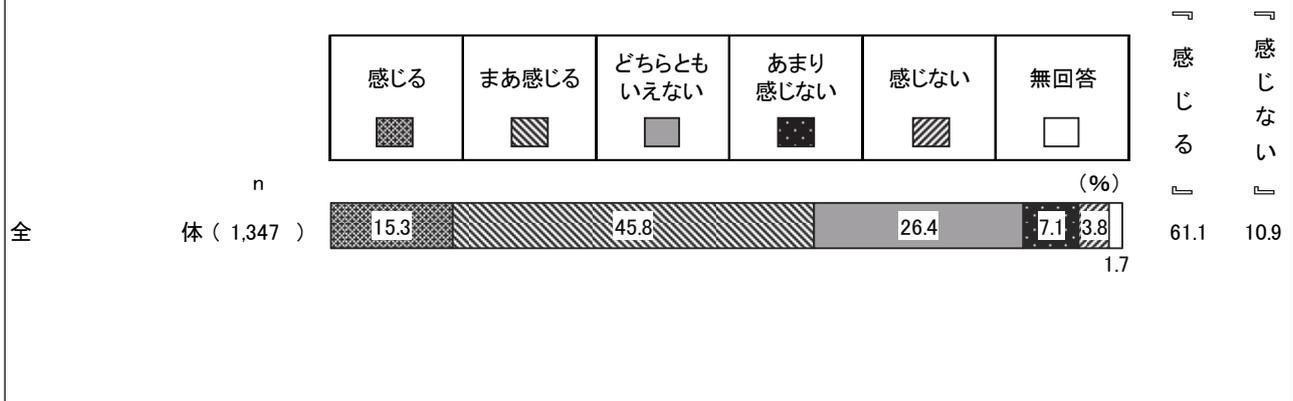
飲料水・非常用食糧を備蓄していると答えた人(700人)に、およそ何日分の備蓄をしているかを聞いたところ、「3日未満」(43.6%)が4割を超えています。次いで、「3日」(35.0%)、「7日」(5.7%)、「8日以上」(4.7%)などとなっています。(図10-2-2)

(3) お住まいの地域の治安

◇「感じる」「まあ感じる」を合わせた『感じる』が6割を超える

問27 あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図10-3-1

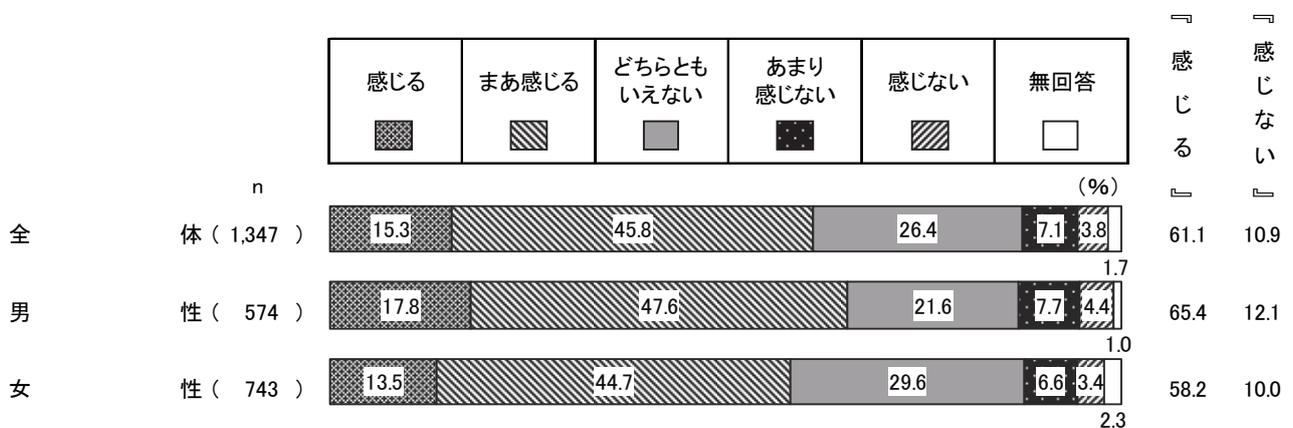


お住まいの地域の治安が保たれていると感じるかを聞いたところ、「感じる」(15.3%)が1割半ばとなり、これと「まあ感じる」(45.8%)を合わせた『感じる』(61.1%)が6割を超えています。一方、「あまり感じない」(7.1%)と「感じない」(3.8%)を合わせた『感じない』(10.9%)は約1割となっています。(図10-3-1)

① 性別

性別でみると、『感じる』は男性(65.4%)が女性(58.2%)より7.2ポイント高くなっています。(図10-3-2)

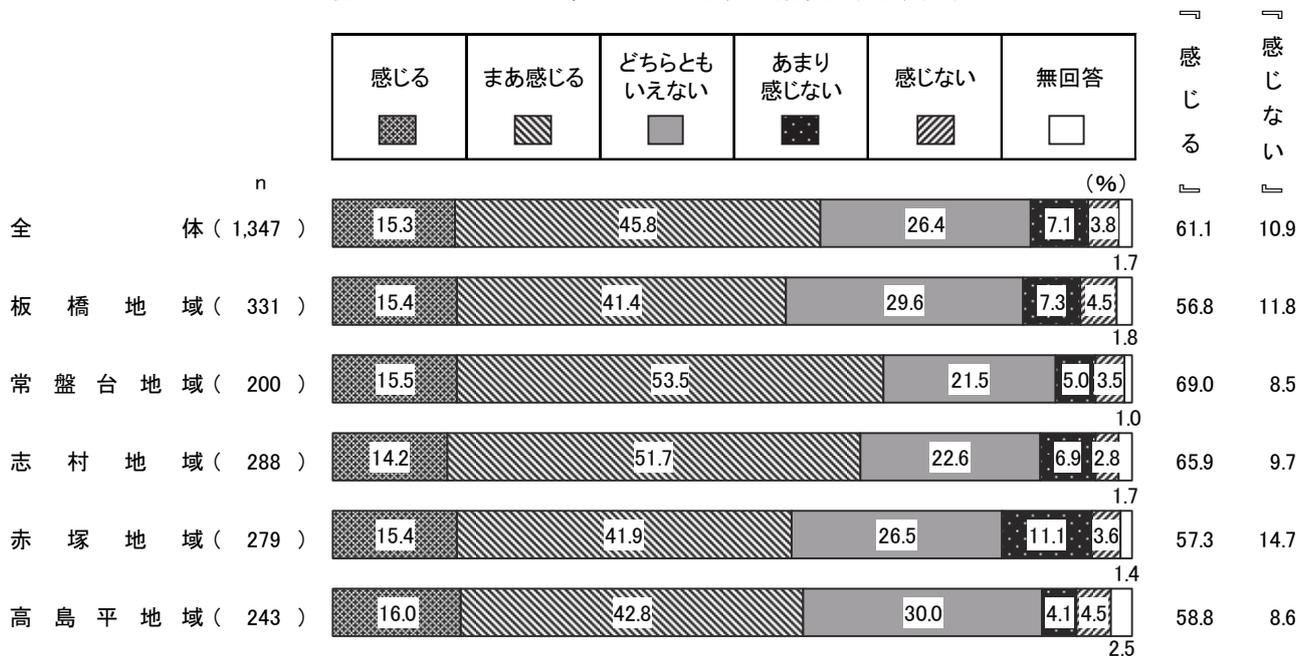
図10-3-2 お住まいの地域の治安(性別)



② 地域別

地域別でみると、『感じる』は常盤台地域（69.0%）で約7割、志村地域（65.9%）で6割半ばとなっています。一方、『感じない』は赤塚地域（14.7%）と板橋地域（11.8%）で1割台となっています。（図10-3-3）

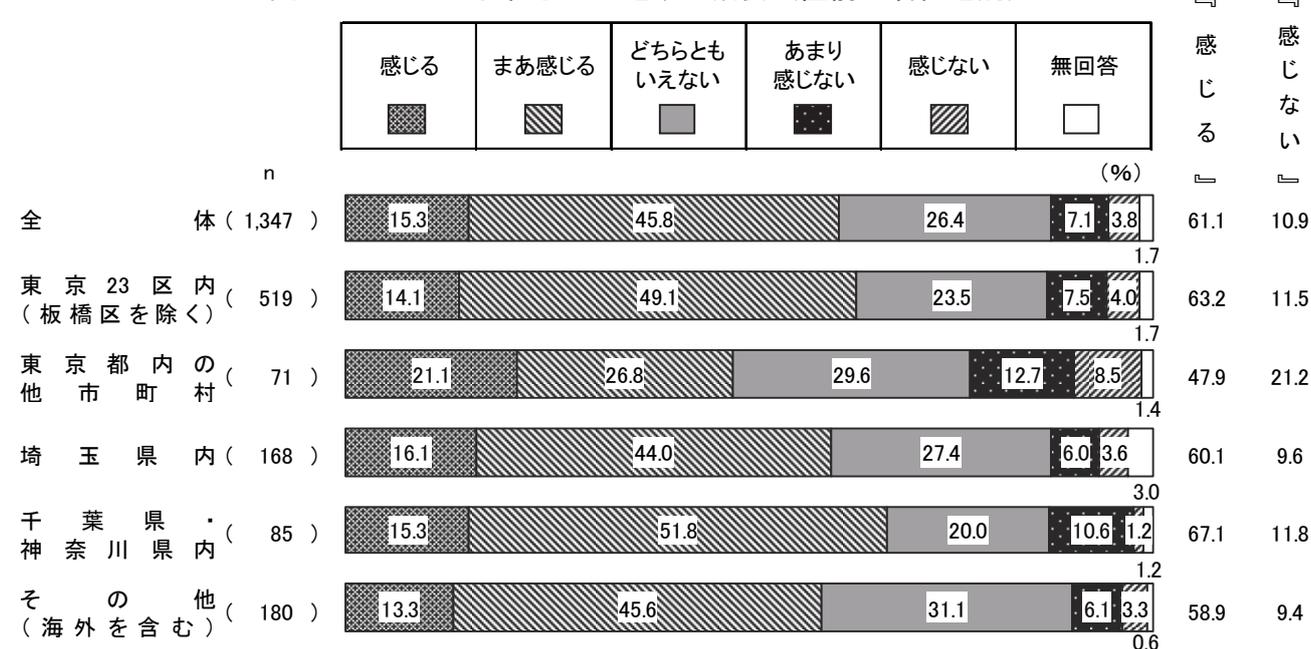
図10-3-3 お住まいの地域の治安（地域別）



③ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、『感じる』は千葉県・神奈川県内（67.1%）、東京23区内（板橋区を除く）（63.2%）、埼玉県内（60.1%）で6割台となっており、東京都内の他市町村（47.9%）では5割近くとなっています。一方、『感じない』は東京都内の他市町村（21.2%）で2割台を超えており、それ以外の居住地では1割前後となっています。（図10-3-4）

図10-3-4 お住まいの地域の治安（直前の居住地別）

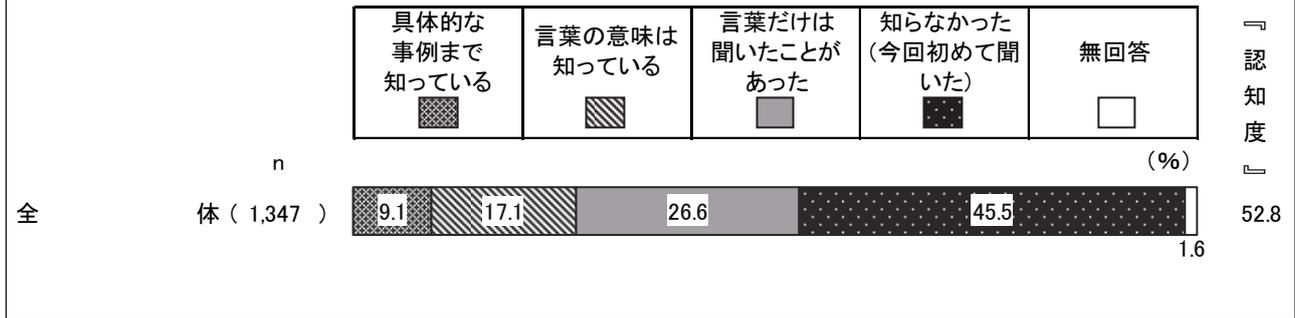


11. 「快適で魅力あるまち」について
 (1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇認知度は5割を超える

問28 あなたは、「ユニバーサルデザイン」についてどの程度知っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図11-1-1

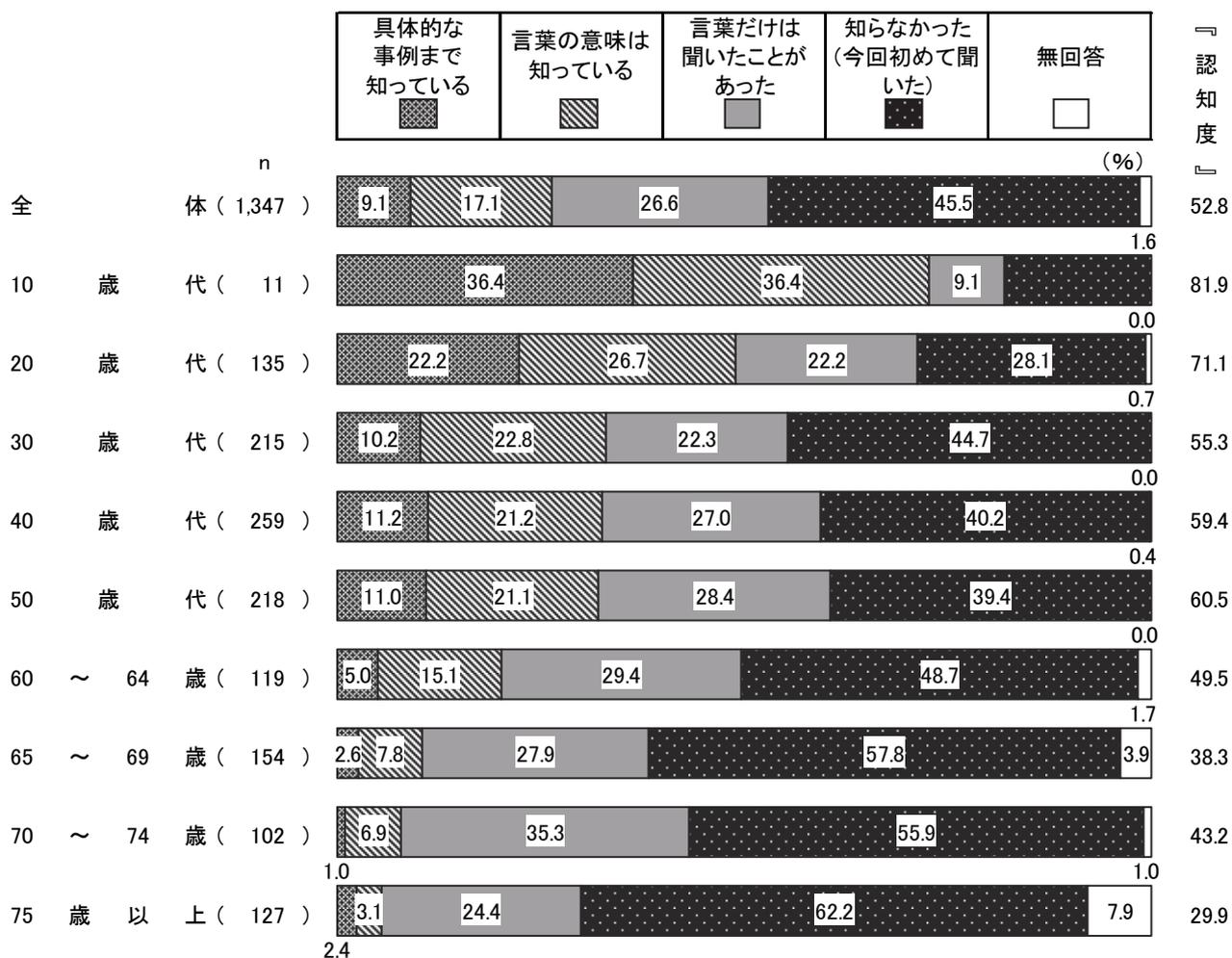


ユニバーサルデザインをどの程度知っているか聞いたところ、「具体的な事例まで知っている」(9.1%)、「言葉の意味は知っている」(17.1%)と「言葉だけは聞いたことがあった」(26.6%)を合わせた『認知度』(52.8%)は5割を超えています。一方、「知らなかった(今回初めて聞いた)」(45.5%)が4割半ばとなっています。(図11-1-1)

① 年代別

年代別でみると、『認知度』は10歳代 (81.9%) で8割、20歳代 (71.1%) で7割を超えています。「具体的な事例まで知っている」は10歳代 (36.4%) で3割半ばを超え、20歳代 (22.2%) で2割を超えています。「言葉の意味は知っている」は10歳代 (36.4%) で3割半ばで、20歳代から50歳代で2割台となっています。一方、「知らなかった (今回初めて聞いた)」は75歳以上 (62.2%)、65～69歳 (57.8%)、70～74歳 (55.9%) で5割以上となっています。(図11-1-2)

図11-1-2 「ユニバーサルデザイン」の認知度 (年代別)

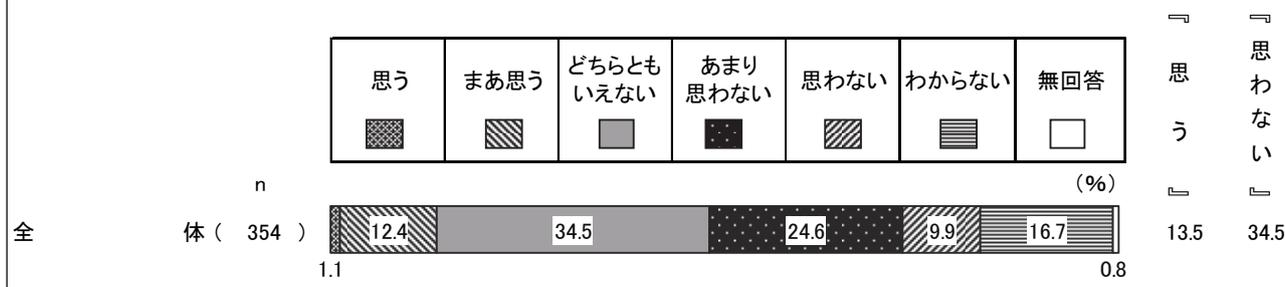


(1-1) 取り組みの進捗状況

(問28で「1 具体的な事例まで知っている」「2 言葉の意味は知っている」と回答した方のみ)

問28-1 板橋区では、ユニバーサルデザインを推進していますが、取り組みが進んでいると思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図11-1-3

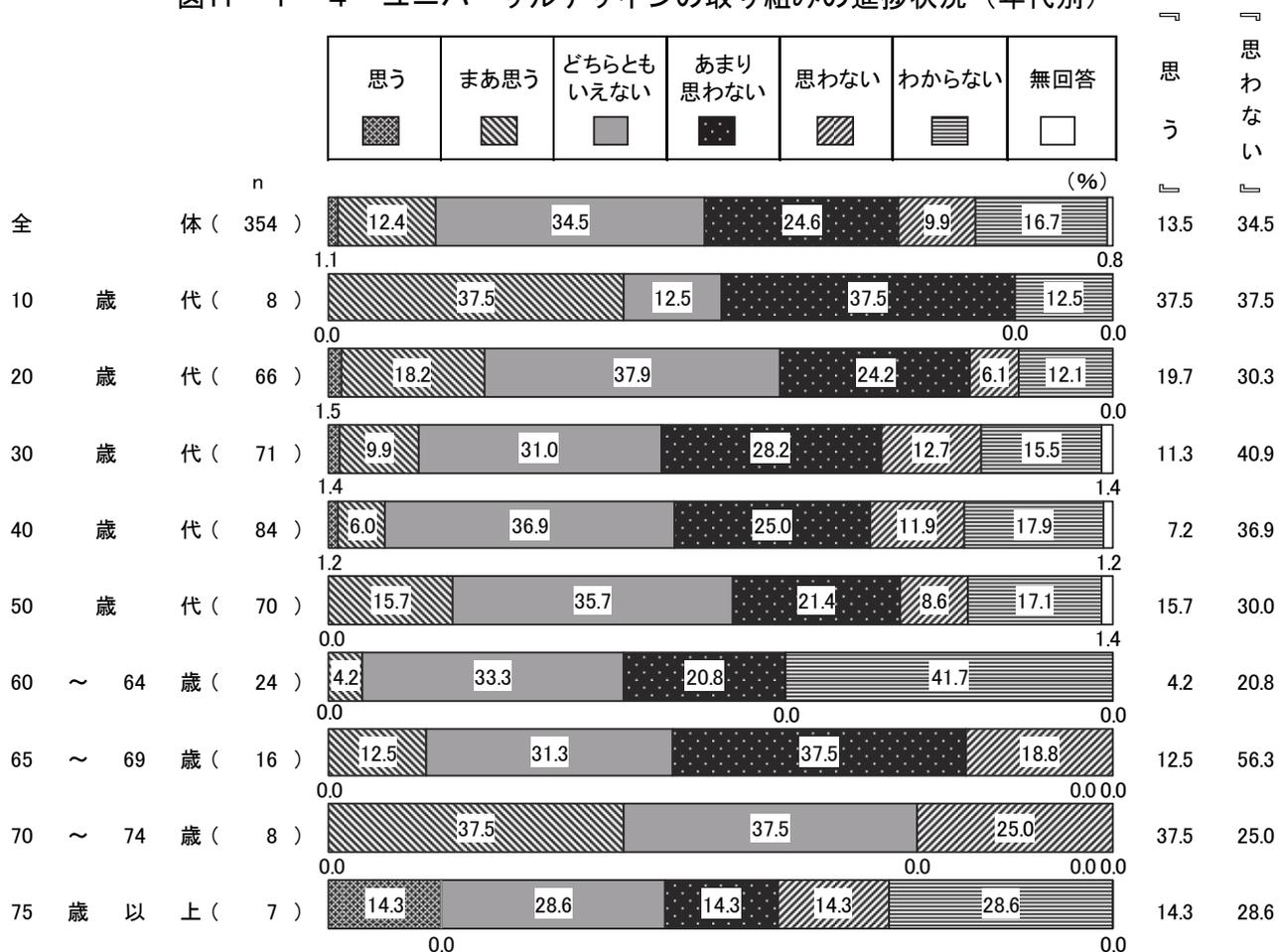


ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思うかを聞いたところ、「思う」(1.1%)と「まあ思う」(12.4%)を合わせた『思う』(13.5%)が1割を超えています。一方、「あまり思わない」(24.6%)と「思わない」(9.9%)を合わせた『思わない』(34.5%)は3割半ばとなっています。また、「どちらともいえない」(34.5%)は3割半ばとなっています。(図11-1-3)

① 年代別

年代別でみると、『思う』は20歳代（19.7%）で約2割となっています。一方、『思わない』は65～69歳（56.3%）で5割半ば、30歳代（40.9%）で約4割となっています。また、「わからない」は60～64歳（41.7%）で4割を超えています。（図11-1-4）

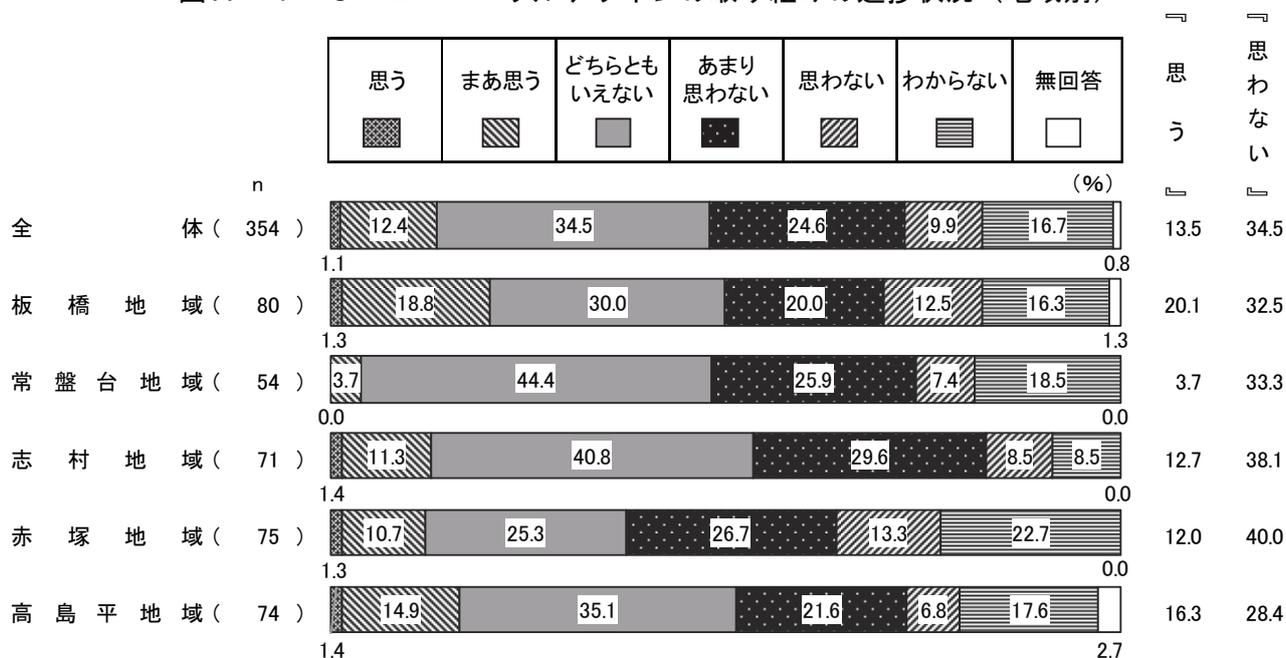
図11-1-4 ユニバーサルデザインの取り組みの進捗状況（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『思う』は板橋地域（20.1%）で2割となっていますが、常盤台地域（3.7%）は他地域と比べて低くなっています。一方、『思わない』は赤塚地域（40.0%）で4割となっていますが、高島平地域（28.4%）は他地域と比べて低くなっています。「どちらともいえない」は、常盤台地域（44.4%）、志村地域（40.8%）で4割台となっています。（図11-1-5）

図11-1-5 ユニバーサルデザインの取り組みの進捗状況（地域別）

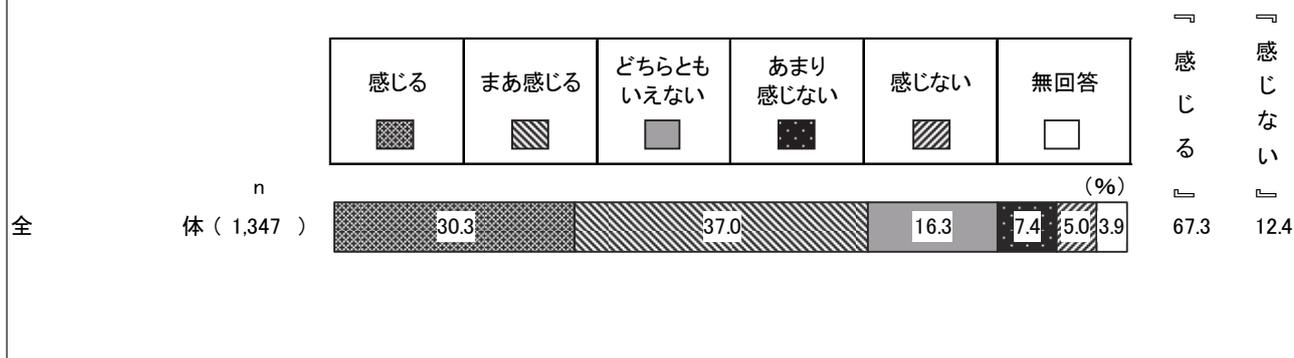


(2) 電車やバスの利用しやすさ

◇『感じる』が7割近く

問29 あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図11-2-1



板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じているかを聞いたところ、「感じる」(30.3%)と「まあ感じる」(37.0%)を合わせた『感じる』(67.3%)が7割近くとなっています。一方、「あまり感じない」(7.4%)と「感じない」(5.0%)を合わせた『感じない』(12.4%)は1割を超えています。また「どちらともいえない」(16.3%)は1割半ばとなっています。

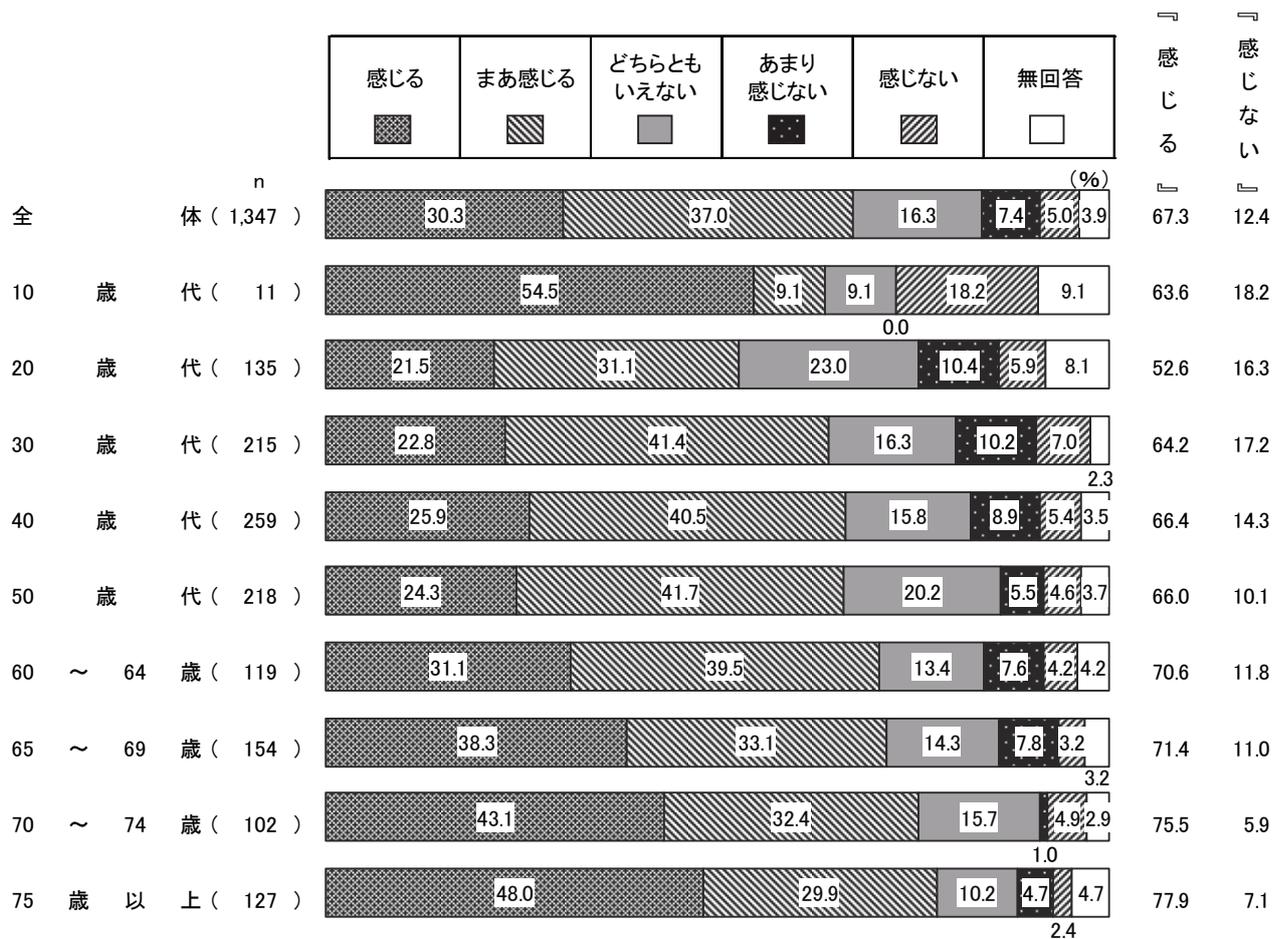
(図11-2-1)

① 年代別

年代別でみると、『感じる』は75歳以上（77.9%）、70～74歳（75.5%）、65～69歳（71.4%）、60～64歳（70.6%）で7割台となっていますが、20歳代（52.6%）はその他の年代と比べて低くなっています。一方、『感じない』は10歳代（18.2%）、30歳代（17.2%）で2割近くなっていますが、75歳以上（7.1%）、70～74歳（5.9%）は他の年代と比べて低くなっています。

（図11-2-2）

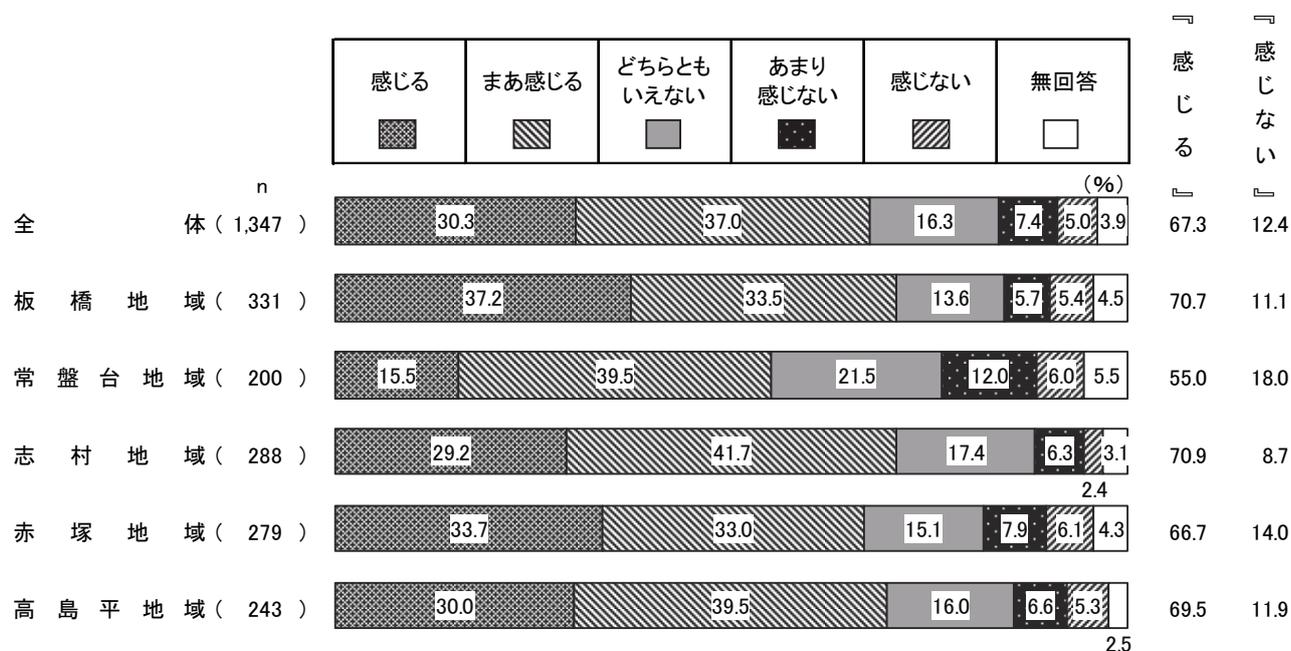
図11-2-2 電車やバスの利用しやすさ（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『感じる』は志村地域（70.9%）、板橋地域（70.7%）で約7割となっていますが、常盤台地域（55.0%）は他地域に比べて低くなっています。一方、『感じない』は志村地域を除くすべての地域で1割台となっています。また、「どちらともいえない」は常盤台地域（21.5%）で2割を超えています。（図11-2-3）

図11-2-3 電車やバスの利用しやすさ（地域別）

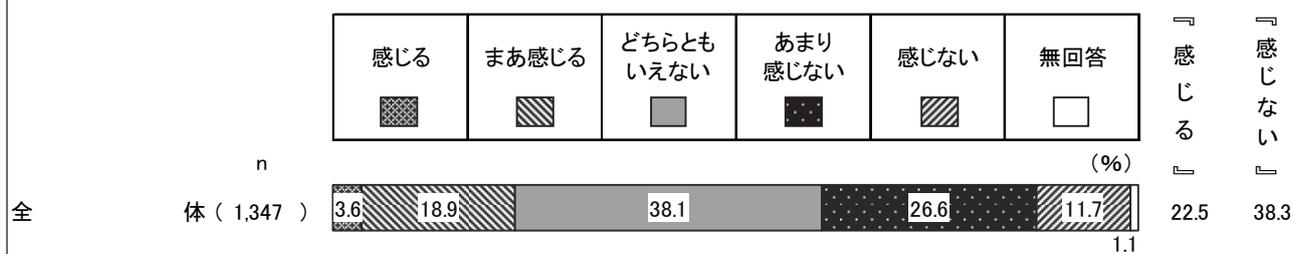


(3) 建築物等とまちなみとの調和

◇『感じる』が2割を超える

問30 板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいます。建築物等（建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など）が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図11-3-1

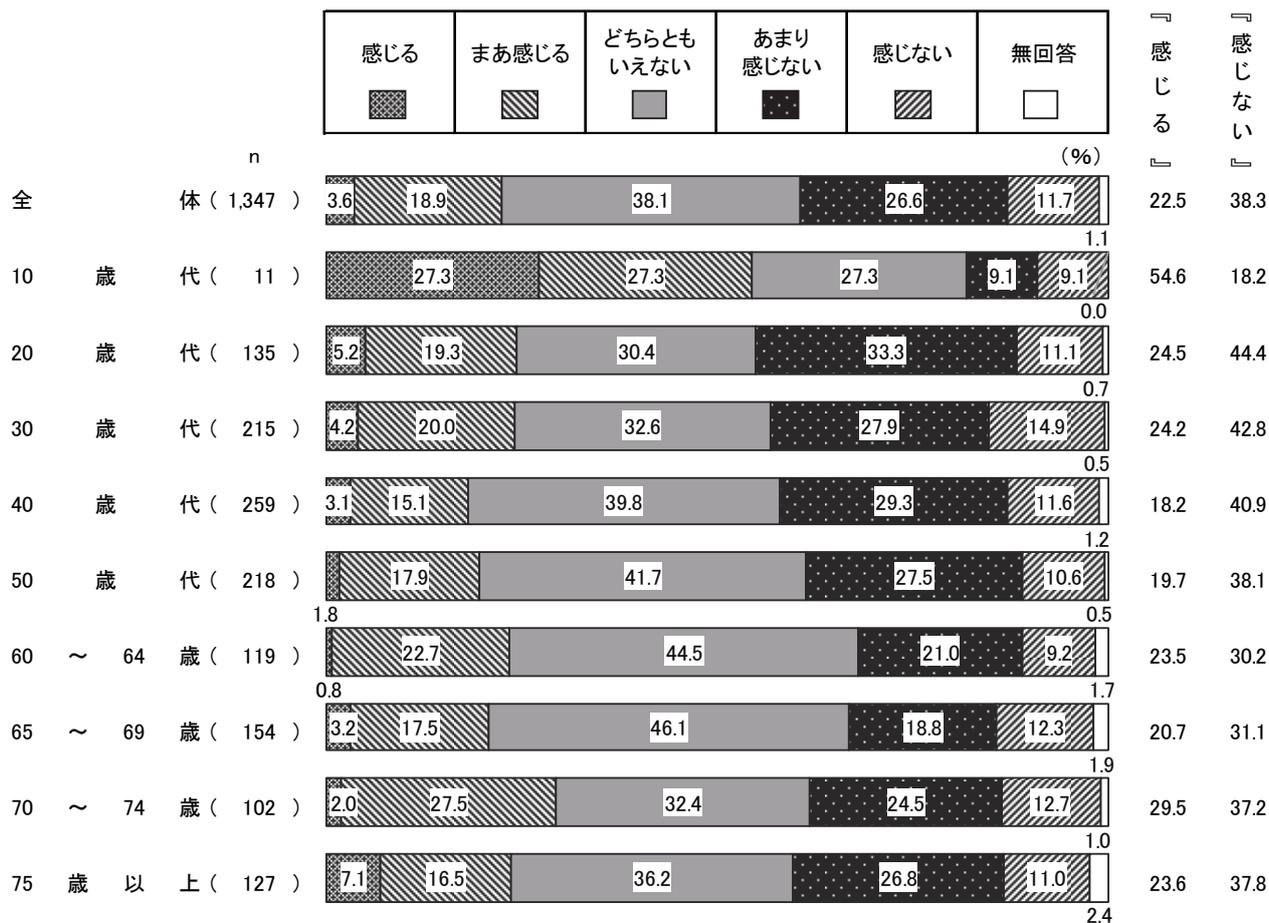


建築物等（建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など）が区のまちなみと調和して美しいと感じるかを聞いたところ、「感じる」（3.6%）と「まあ感じる」（18.9%）を合わせた『感じる』（22.5%）が2割を超えています。一方、「あまり感じない」（26.6%）と「感じない」（11.7%）を合わせた『感じない』（38.3%）は4割近くとなっています。また「どちらともいえない」（38.1%）も4割近くとなっています。（図11-3-1）

① 年代別

年代別でみると、『感じる』は10歳代（54.6%）で5割半ばとなっており、その他の年代では70～74歳（29.5%）で約3割となっています。一方、『感じない』は20歳代（44.4%）、30歳代（42.8%）、40歳代（40.9%）で4割台となっています。「どちらともいえない」は65～69歳（46.1%）、60～64歳（44.5%）、50歳代（41.7%）で4割台となっています。（図11-3-2）

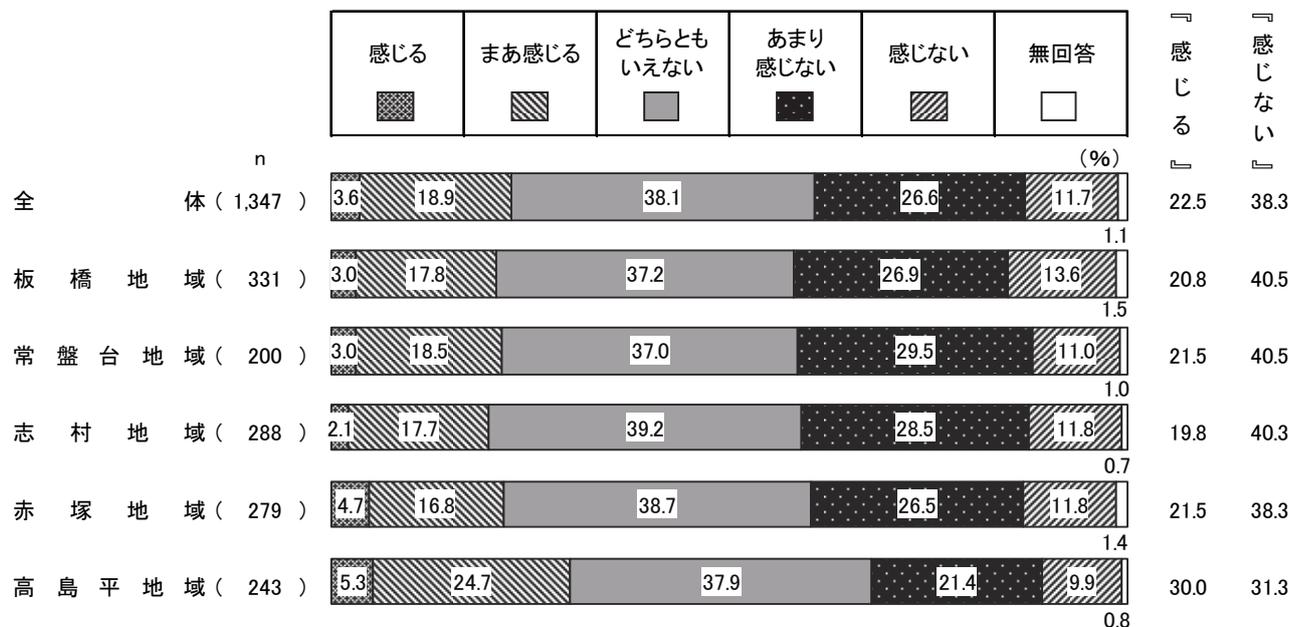
図11-3-2 建築物等とまちなみとの調和（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『感じる』は高島平地域（30.0%）で3割となっており、それ以外の地域はいずれも2割前後となっています。一方、『感じない』は板橋地域（40.5%）、常盤台地域（40.5%）、志村地域（40.3%）で4割台となっています。（図11-3-3）

図11-3-3 建築物等とまちなみとの調和（地域別）



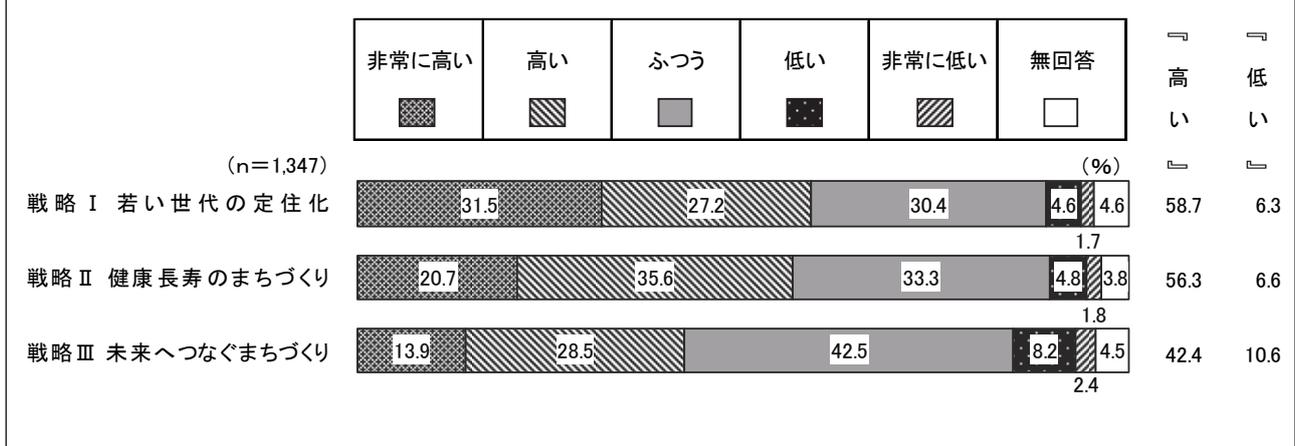
12. 「未来創造戦略」について

(1) 未来創造戦略の重要度

◇「重要度が高い」は、「若い世代の定住化」と「健康長寿のまちづくり」が5割台、「未来へつなぐまちづくり」は4割を超える

問31 未来創造戦略について、次の3つの戦略の「重要度」について、該当するものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

図12-1-1



板橋区の掲げる未来創造戦略の重要度を聞いたところ、(戦略Ⅰ)若い世代の定住化では、「非常に高い」(31.5%)と「高い」(27.2%)を合わせた『高い』(58.7%)が6割近くと3つの戦略の中で最も高くなっており、次いで(戦略Ⅱ)健康長寿のまちづくりの『高い』(56.3%)が5割半ば、(戦略Ⅲ)未来へつなぐまちづくりの『高い』(42.4%)が4割を超えています。一方、「低い」と「非常に低い」を合わせた『低い』は(戦略Ⅲ)未来へつなぐまちづくり(10.6%)で約1割となっています。(図12-1-1)

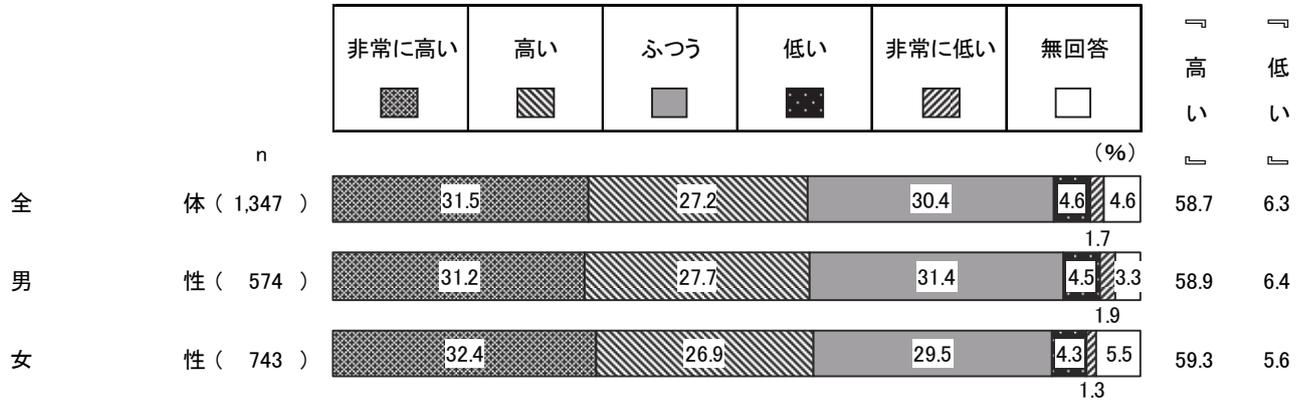
【戦略Ⅰ 若い世代の定住化戦略】

① 性別

(戦略Ⅰ) 若い世代の定住化の重要度について性別でみると、大きな傾向の違いはみられません。

(図12-1-2)

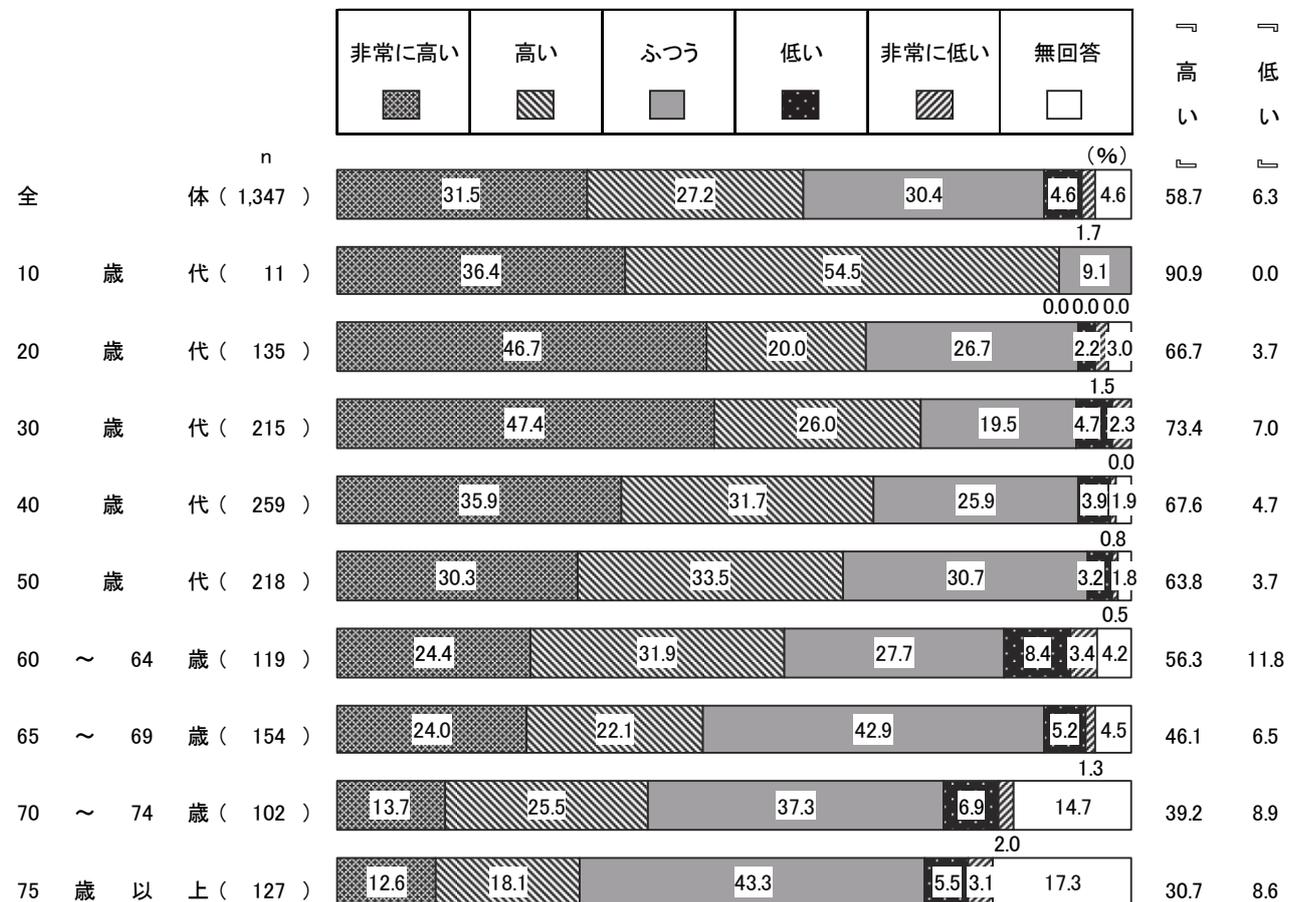
図12-1-2 戦略Ⅰ 若い世代の定住化戦略 (性別)



② 年代別

(戦略Ⅰ) 若い世代の定住化の重要度について年代別でみると、『高い』は10歳代 (90.9%) で約9割、30歳代 (73.4%) で7割を超えています。一方、『低い』は60~64歳 (11.8%) を除くすべての年代で1割未満となっています。(図12-1-3)

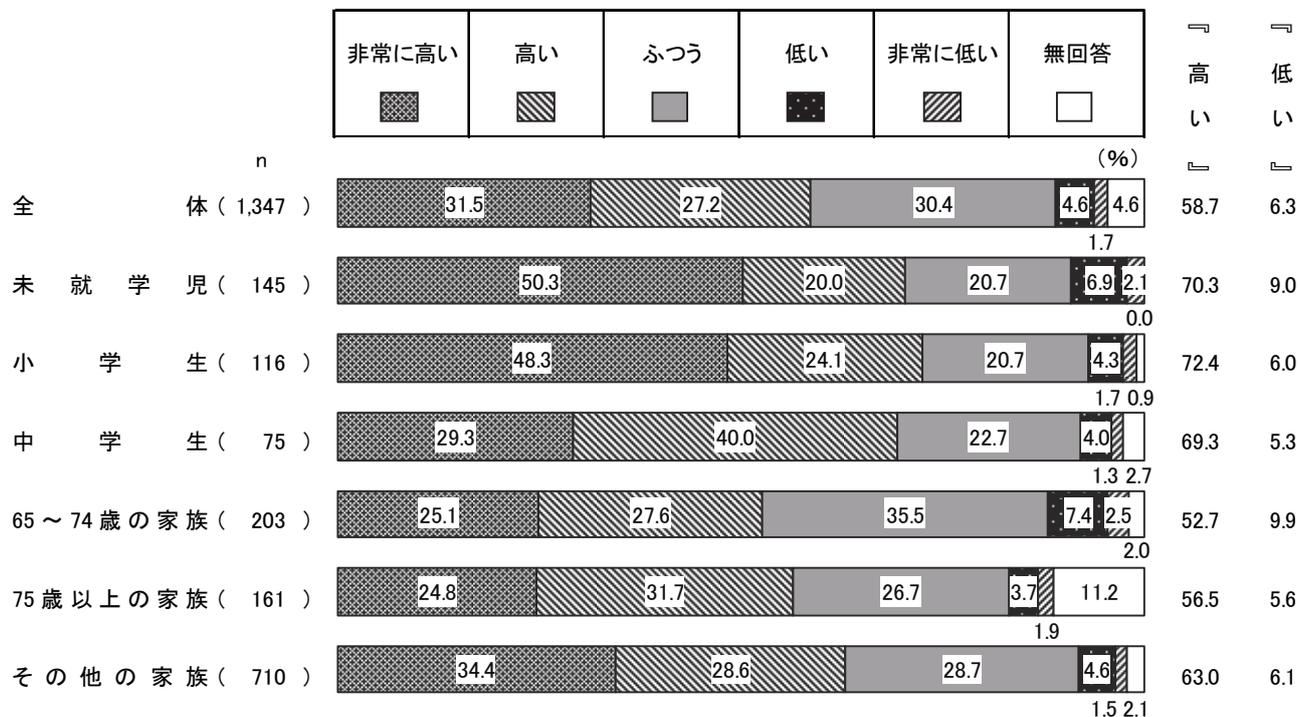
図12-1-3 戦略Ⅰ 若い世代の定住化戦略 (年代別)



③ 同居家族別

(戦略Ⅰ) 若い世代の定住化の重要度について同居家族別で見ると、『高い』は小学生と同居している方(72.4%)、未就学児と同居している方(70.3%)、中学生と同居している方(69.3%)で7割前後となっていますが、65歳以上の家族と同居している方は5割台となっています。また、『低い』はすべての同居家族で1割未満となっています。(図12-1-4)

図12-1-4 戦略Ⅰ 若い世代の定住化戦略(同居家族別)

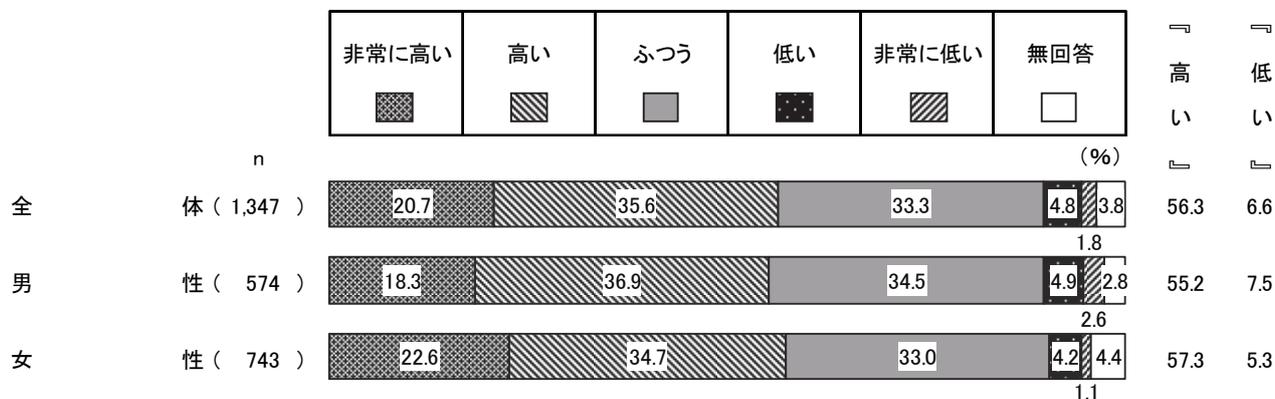


【戦略Ⅱ 健康長寿のまちづくり戦略】

① 性別

(戦略Ⅱ) 健康長寿のまちづくり戦略の重要度について性別で見ると、大きな傾向の違いはみられません。(図12-1-5)

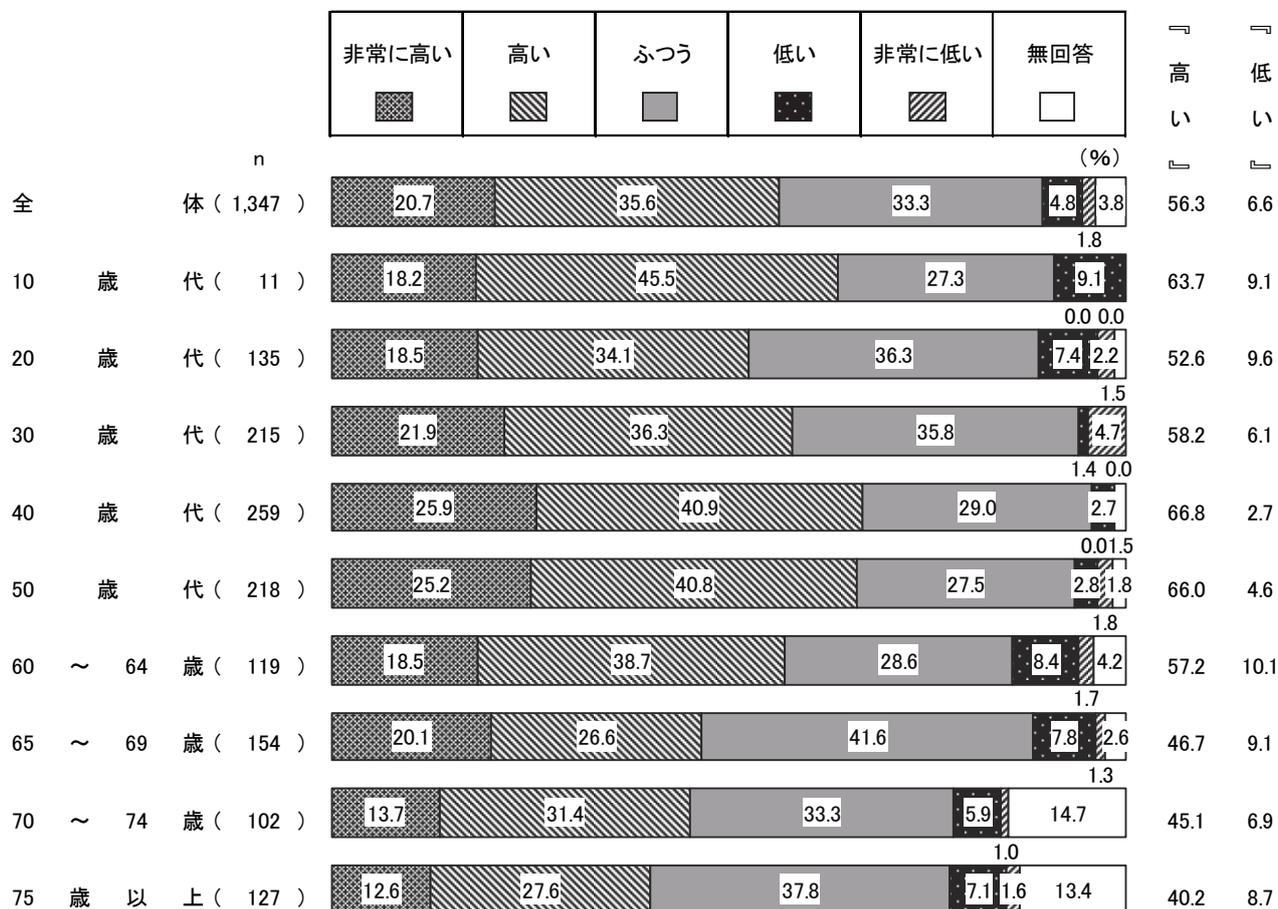
図12-1-5 戦略Ⅱ 健康長寿のまちづくり戦略 (性別)



② 年代別

(戦略Ⅱ) 健康長寿のまちづくり戦略の重要度について年代別で見ると、『高い』は40歳代 (66.8%)、50歳代 (66.0%) で6割半ばとなっています。一方、『低い』は60~64歳 (10.1%) を除くすべての年代で1割未満となっています。(図12-1-6)

図12-1-6 戦略Ⅱ 健康長寿のまちづくり戦略 (年代別)

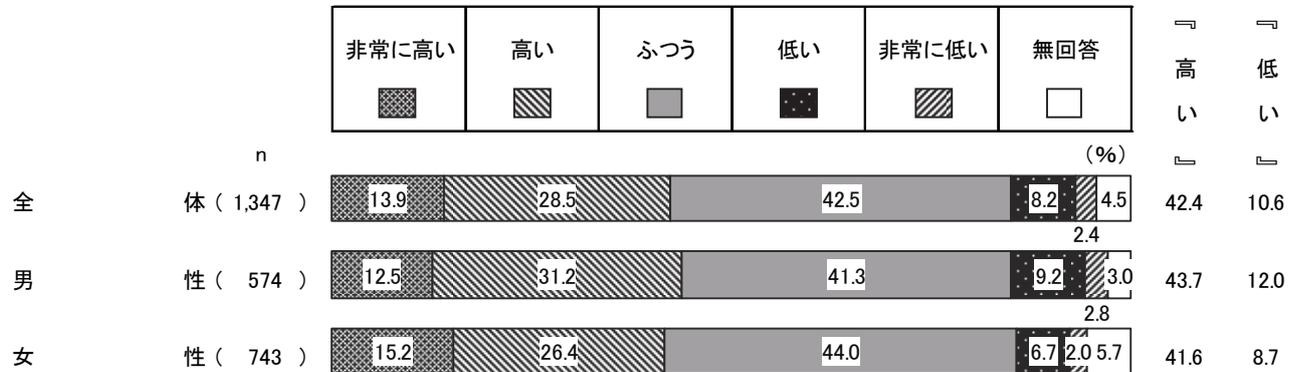


【戦略Ⅲ 未来へつなぐまちづくり戦略】

① 性別

(戦略Ⅲ) 未来へつなぐまちづくり戦略の重要度について性別で見ると、『低い』は男性(12.0%)が女性(8.7%)より3.3ポイント高くなっています。(図12-1-7)

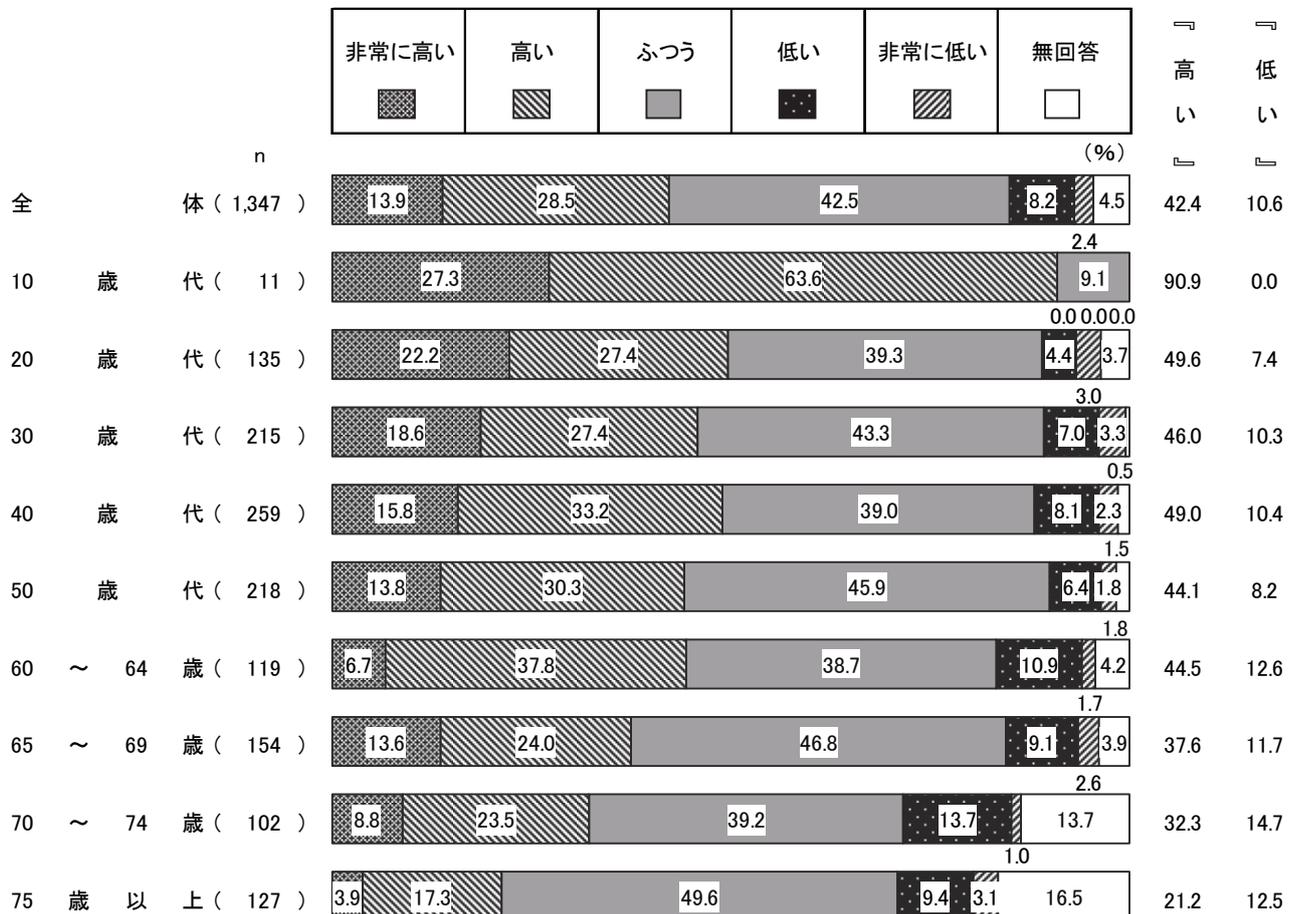
図12-1-7 戦略Ⅲ 未来へつなぐまちづくり戦略 (性別)



② 年代別

(戦略Ⅲ) 未来へつなぐまちづくり戦略の重要度について年代別で見ると、『高い』は10歳代(90.9%)で約9割、20歳代(49.6%)、40歳代(49.0%)で約5割となっています。一方、『低い』は70~74歳(14.7%)で1割半ばとなっています。(図12-1-8)

図12-1-8 戦略Ⅲ 未来へつなぐまちづくり戦略 (年代別)



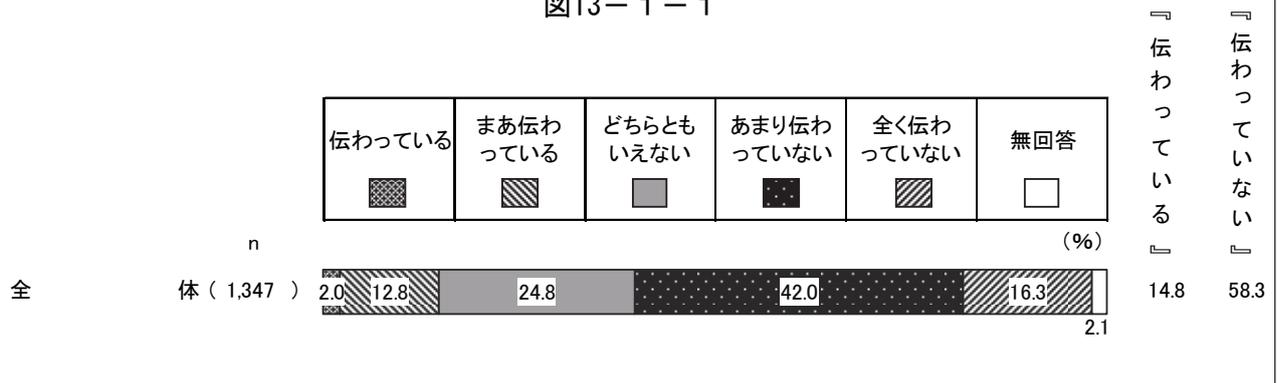
13. 「シティプロモーション（区の魅力情報の発信）」について

（1）区が発信する情報の伝達度

◇『伝わっている』が1割半ば

問32 板橋区では、区の魅力ある情報をわかりやすく伝える取り組みを「シティプロモーション」として展開しています。あなたは区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図13-1-1

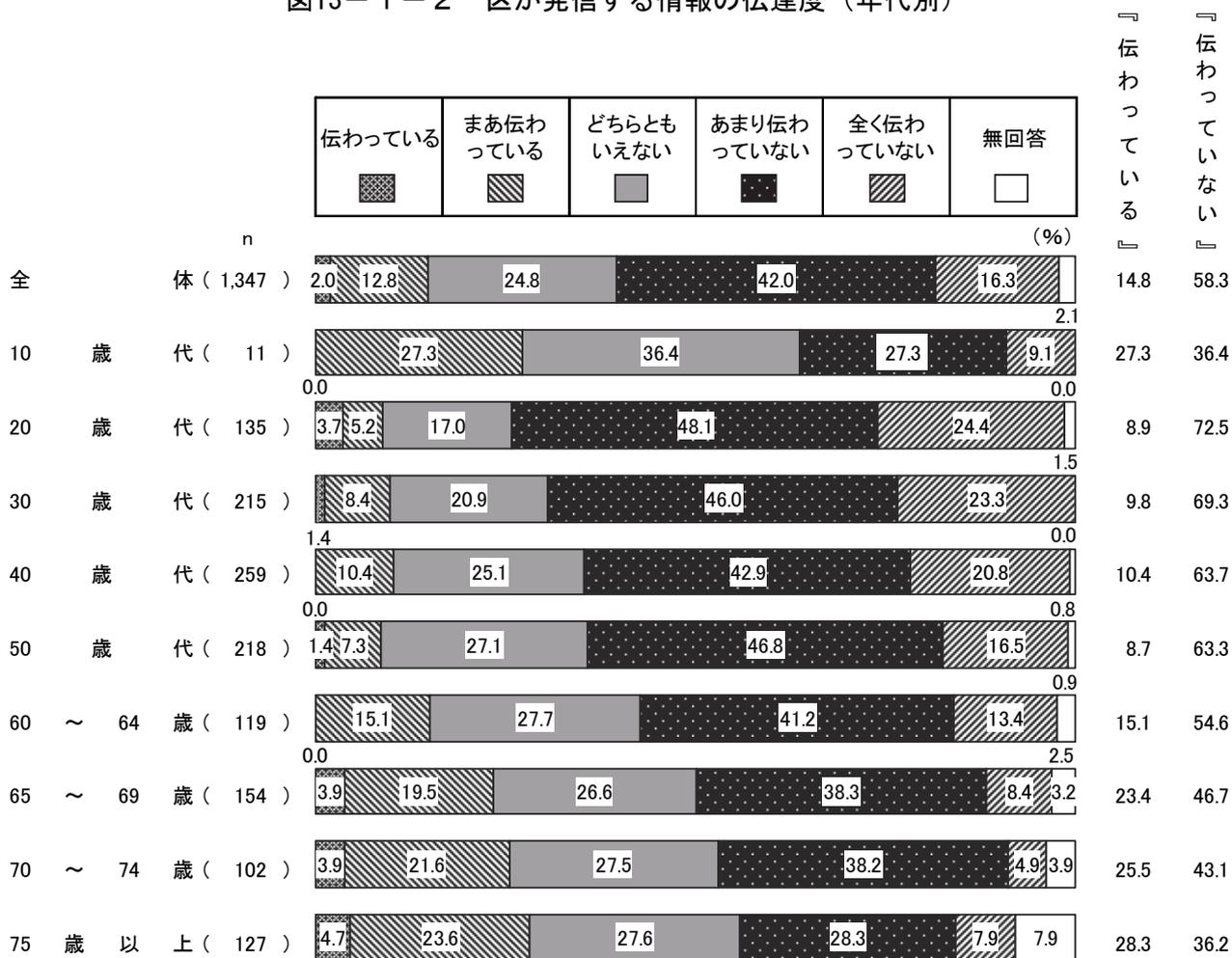


区からの情報が十分に伝わっていると思うかを聞いたところ、「伝わっている」（2.0%）と「まあ伝わっている」（12.8%）を合わせた『伝わっている』（14.8%）は1割半ばとなっています。一方、「あまり伝わっていない」（42.0%）と「全く伝わっていない」（16.3%）を合わせた『伝わっていない』（58.3%）が6割近くとなっています。また「どちらともいえない」（24.8%）は2割半ばとなっています。（図13-1-1）

① 年代別

年代別でみると、『伝わっている』は75歳以上（28.3%）、10歳代（27.3%）で3割近く、70～74歳（25.5%）、65～69歳（23.4%）で2割台となっています。一方、『伝わっていない』は20歳代（72.5%）で7割を超えています。10歳代（36.4%）、75歳以上（36.2%）で3割半ばとなっています。（図13-1-2）

図13-1-2 区が発信する情報の伝達度（年代別）

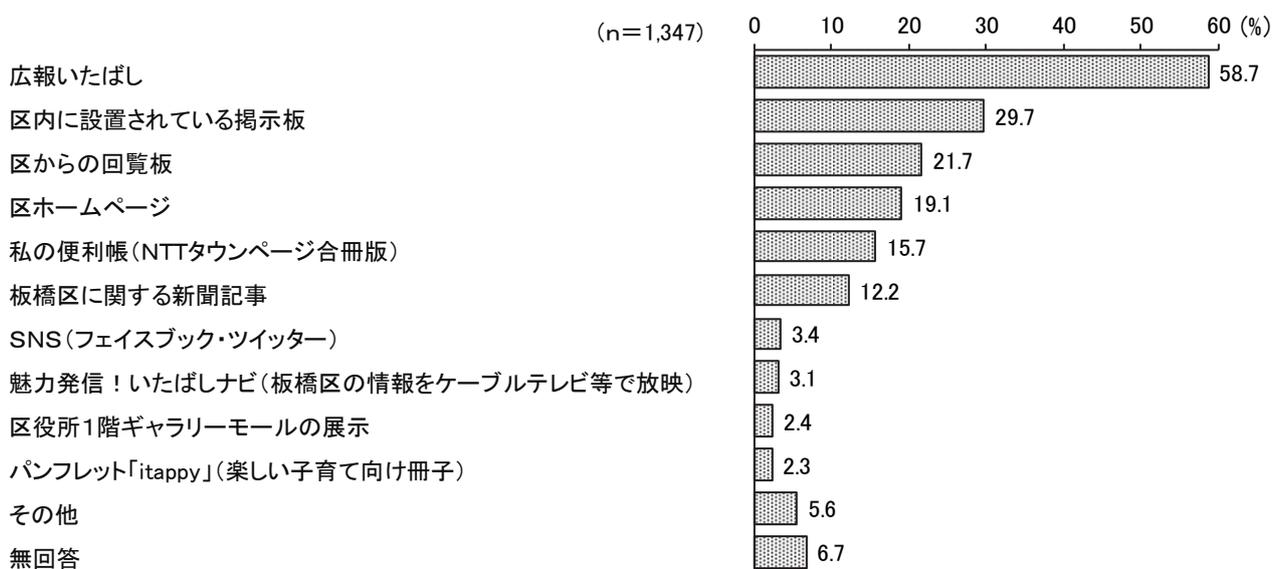


(2) 区に関する情報の入手方法

◇「広報いたばし」が6割近く

問 33 あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図13-2-1



板橋区に関する情報の取得先を聞いたところ、「広報いたばし」(58.7%)が6割近くとなっています。次いで「区内に設置されている掲示板」(29.7%)、「区からの回覧板」(21.7%)、「区ホームページ」(19.1%)、「私の便利帳(NTTタウンページ合冊版)」(15.7%)などとなっています。(図13-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「広報いたばし」は20歳代以外のすべての年代で第1位となっており、「区ホームページ」は20歳代（28.1%）で第1位となっています。「区内に設置されている掲示板」は20歳代から30歳代、50歳代から65～69歳までの年代で第2位、10歳代（27.3%）で同率の第2位となっています。その他の特徴として、「SNS（フェイスブック・ツイッター）」は10歳代（27.3%）で同率の第2位、20歳代（11.9%）で第5位となっています。（表13-2-1）

表13-2-1 区に関する情報の入手方法（年代別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	広報いたばし 58.7	区内に設置されている掲示板 29.7	区からの回覧板 21.7	区ホームページ 19.1	私の便利帳（NTTタウンページ合冊版） 15.7
年 代 別	10 歳 代	11	広報いたばし 45.5	SNS（フェイスブック・ツイッター）/区内に設置されている掲示板 27.3	区からの回覧板	18.2	板橋区に関する新聞記事/その他 9.1
	20 歳 代	135	区ホームページ 28.1	区内に設置されている掲示板 24.4	広報いたばし 23.7	区からの回覧板 14.8	SNS（フェイスブック・ツイッター） 11.9
	30 歳 代	215	広報いたばし 42.3	区内に設置されている掲示板 37.2	区ホームページ 25.6	区からの回覧板 11.6	その他 10.2
	40 歳 代	259	広報いたばし 54.4	区ホームページ 29.7	区内に設置されている掲示板 26.6	区からの回覧板 10.8	私の便利帳（NTTタウンページ合冊版） 9.7
	50 歳 代	218	広報いたばし 68.3	区内に設置されている掲示板 22.5	区ホームページ 20.6	区からの回覧板 18.3	私の便利帳（NTTタウンページ合冊版） 17.9
	60 ～ 64 歳	119	広報いたばし 74.8	区内に設置されている掲示板 36.1	区からの回覧板 32.8	私の便利帳（NTTタウンページ合冊版） 26.9	板橋区に関する新聞記事 15.1
	65 ～ 69 歳	154	広報いたばし 72.7	区内に設置されている掲示板 34.4	私の便利帳（NTTタウンページ合冊版）/区からの回覧板 26.6		板橋区に関する新聞記事 20.1
	70 ～ 74 歳	102	広報いたばし 80.4	区からの回覧板 41.2	区内に設置されている掲示板 31.4	私の便利帳（NTTタウンページ合冊版） 29.4	板橋区に関する新聞記事 19.6
	75 歳 以上	127	広報いたばし 69.3	区からの回覧板 41.7	区内に設置されている掲示板 28.3	私の便利帳（NTTタウンページ合冊版） 26.0	板橋区に関する新聞記事 16.5

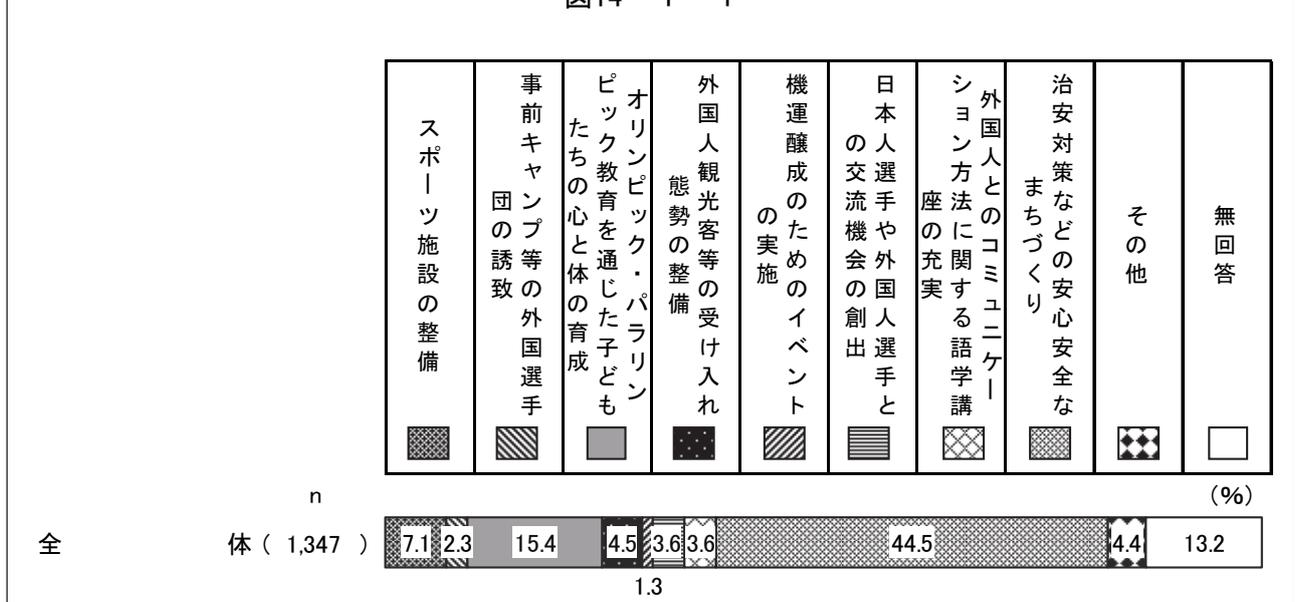
14. 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」について

(1) 区に期待すること

◇「治安対策などの安心安全なまちづくり」が4割半ば

問34 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020大会」）に向けて板橋区に最も期待することは何ですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図14-1-1

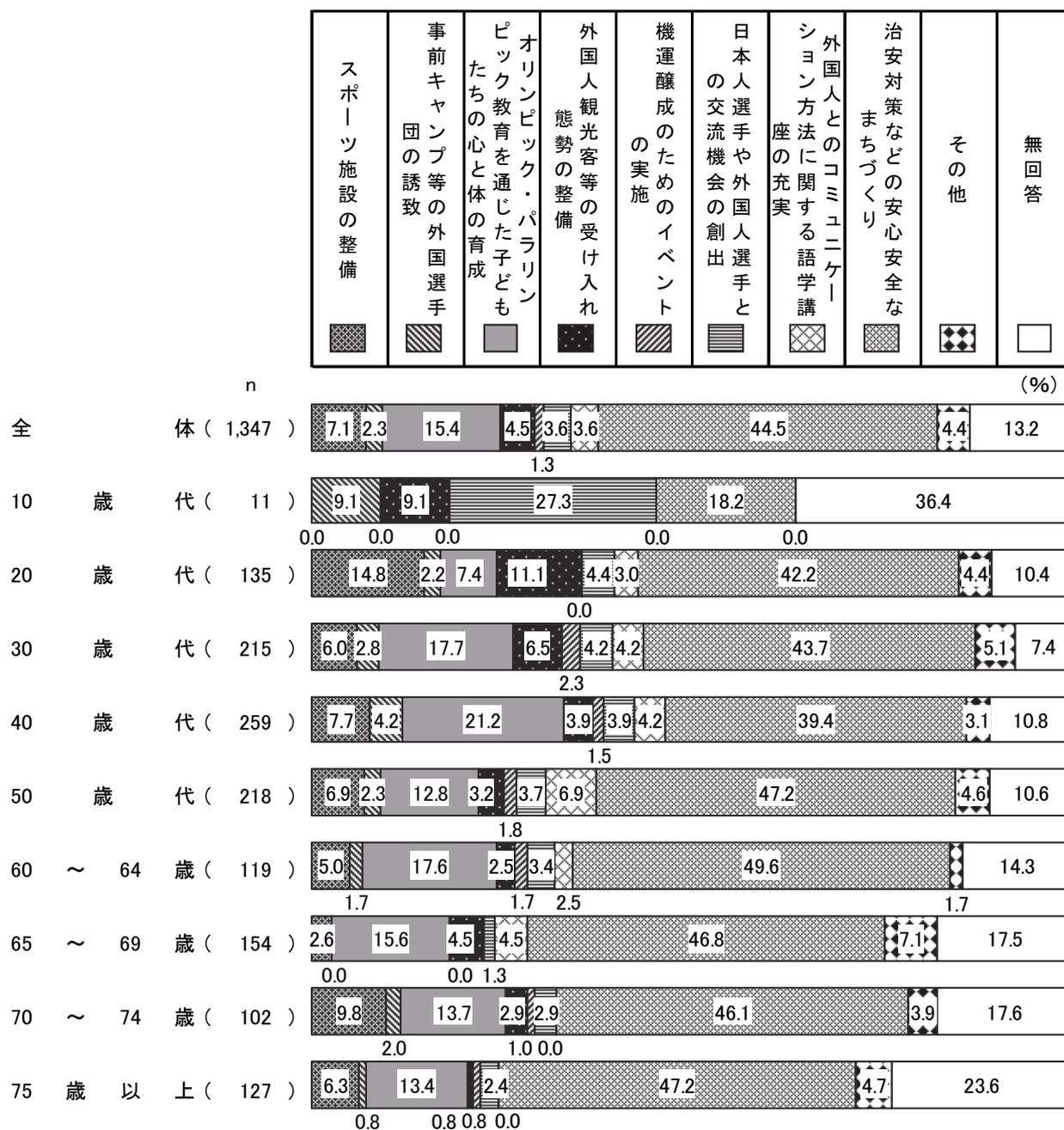


東京2020大会に向けて板橋区に最も期待することを聞いたところ、「治安対策などの安心安全なまちづくり」（44.5%）が4割半ばとなっています。次いで「オリンピック・パラリンピック教育を通じた子どもたちの心と体の育成」（15.4%）、「スポーツ施設の整備」（7.1%）、「外国人観光客等の受け入れ態勢の整備」（4.5%）などとなっています。（図14-1-1）

① 年代別

年代別でみると、「治安対策などの安心安全なまちづくり」は60～64歳（49.6%）で約5割、50歳代（47.2%）、75歳以上（47.2%）で5割近くとなっています。「オリンピック・パラリンピック教育を通じた子どもたちの心と体の育成」は40歳代（21.2%）で2割を超えています。また、「スポーツ施設の整備」は20歳代（14.8%）で1割半ばとなっています。（図14-1-2）

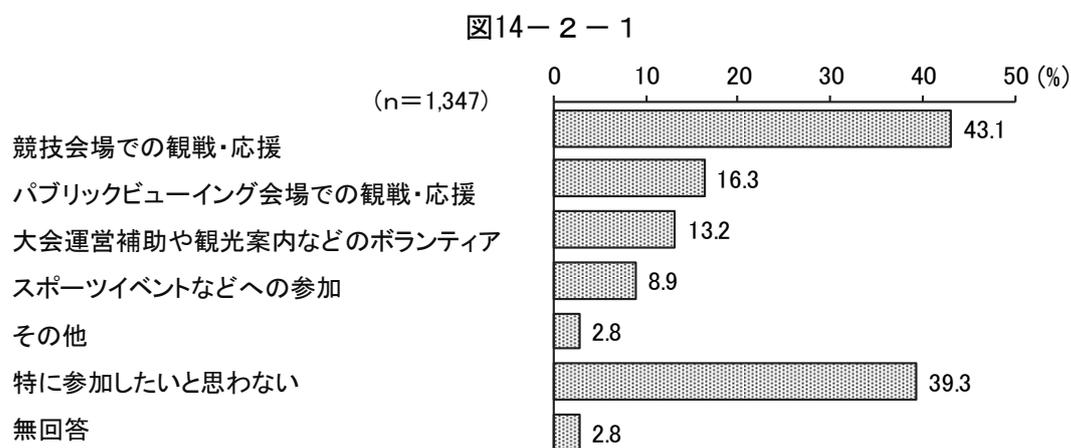
図14-1-2 「東京2020大会」について区に期待すること（年代別）



(2) 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の参加方法（関わり方）

◇「競技会場での観戦・応援」が4割を超える

問 35 東京 2020 大会にどのような形で参加したい（関わりたい）ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。



東京2020大会にどのような形で参加したい（関わりたい）か聞いたところ、「競技会場での観戦・応援」（43.1%）が4割を超え、次いで「パブリックビューイング会場での観戦・応援」（16.3%）、「大会運営補助や観光案内などのボランティア」（13.2%）、「スポーツイベントなどへの参加」（8.9%）となっています。一方、「特に参加したいと思わない」（39.3%）が約4割となっています。（図14-2-1）

① 年代別

年代別でみると、「競技会場での観戦・応援」は40歳代（54.1%）、30歳代（48.8%）、20歳代（47.4%）、50歳代（45.9%）で第1位となっています。「特に参加したいと思わない」は75歳以上（56.7%）、70～74歳（46.1%）、65～69歳（44.8%）、60～64歳（42.9%）で第1位となっています。また、「大会運営補助や観光案内などのボランティア」は10歳代（54.5%）で第1位となっています。（表14-2-1）

表14-2-1 「東京2020大会」の参加方法、関わり方（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	競技会場での観戦・応援 43.1	特に参加したいと思わない 39.3	パブリックビューイング会場での観戦・応援 16.3	大会運営補助や観光案内などのボランティア 13.2	スポーツイベントなどへの参加 8.9
年 代 別	10 歳 代	11	大会運営補助や観光案内などのボランティア 54.5	競技会場での観戦・応援 45.5	特に参加したいと思わない 36.4	スポーツイベントなどへの参加 27.3	パブリックビューイング会場での観戦・応援/その他 0.0
	20 歳 代	135	競技会場での観戦・応援 47.4	特に参加したいと思わない 34.1	パブリックビューイング会場での観戦・応援 23.0	スポーツイベントなどへの参加 13.3	大会運営補助や観光案内などのボランティア 11.9
	30 歳 代	215	競技会場での観戦・応援 48.8	特に参加したいと思わない 35.3	パブリックビューイング会場での観戦・応援 20.0	大会運営補助や観光案内などのボランティア 16.7	スポーツイベントなどへの参加 11.2
	40 歳 代	259	競技会場での観戦・応援 54.1	特に参加したいと思わない 28.2	パブリックビューイング会場での観戦・応援 21.6	大会運営補助や観光案内などのボランティア 17.8	スポーツイベントなどへの参加 13.9
	50 歳 代	218	競技会場での観戦・応援 45.9	特に参加したいと思わない 39.9	パブリックビューイング会場での観戦・応援 21.1	大会運営補助や観光案内などのボランティア 15.6	スポーツイベントなどへの参加 7.8
	60～64 歳	119	特に参加したいと思わない 42.9	競技会場での観戦・応援 38.7	大会運営補助や観光案内などのボランティア 16.0	パブリックビューイング会場での観戦・応援 11.8	スポーツイベントなどへの参加 6.7
	65～69 歳	154	特に参加したいと思わない 44.8	競技会場での観戦・応援 35.7	パブリックビューイング会場での観戦・応援 9.1	大会運営補助や観光案内などのボランティア 7.8	その他 7.1
	70～74 歳	102	特に参加したいと思わない 46.1	競技会場での観戦・応援 38.2	パブリックビューイング会場での観戦・応援/大会運営補助や観光案内などのボランティア/その他 3.9		
	75 歳 以上	127	特に参加したいと思わない 56.7	競技会場での観戦・応援 19.7	パブリックビューイング会場での観戦・応援 7.9	その他 4.7	大会運営補助や観光案内などのボランティア 3.9

(3) レガシー（遺産）として期待すること

◇「子どもたちの夢や希望を育てている」が2割近く

問36 東京2020大会終了後、区内のレガシー（遺産）として最も期待するものは何ですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図14-3-1

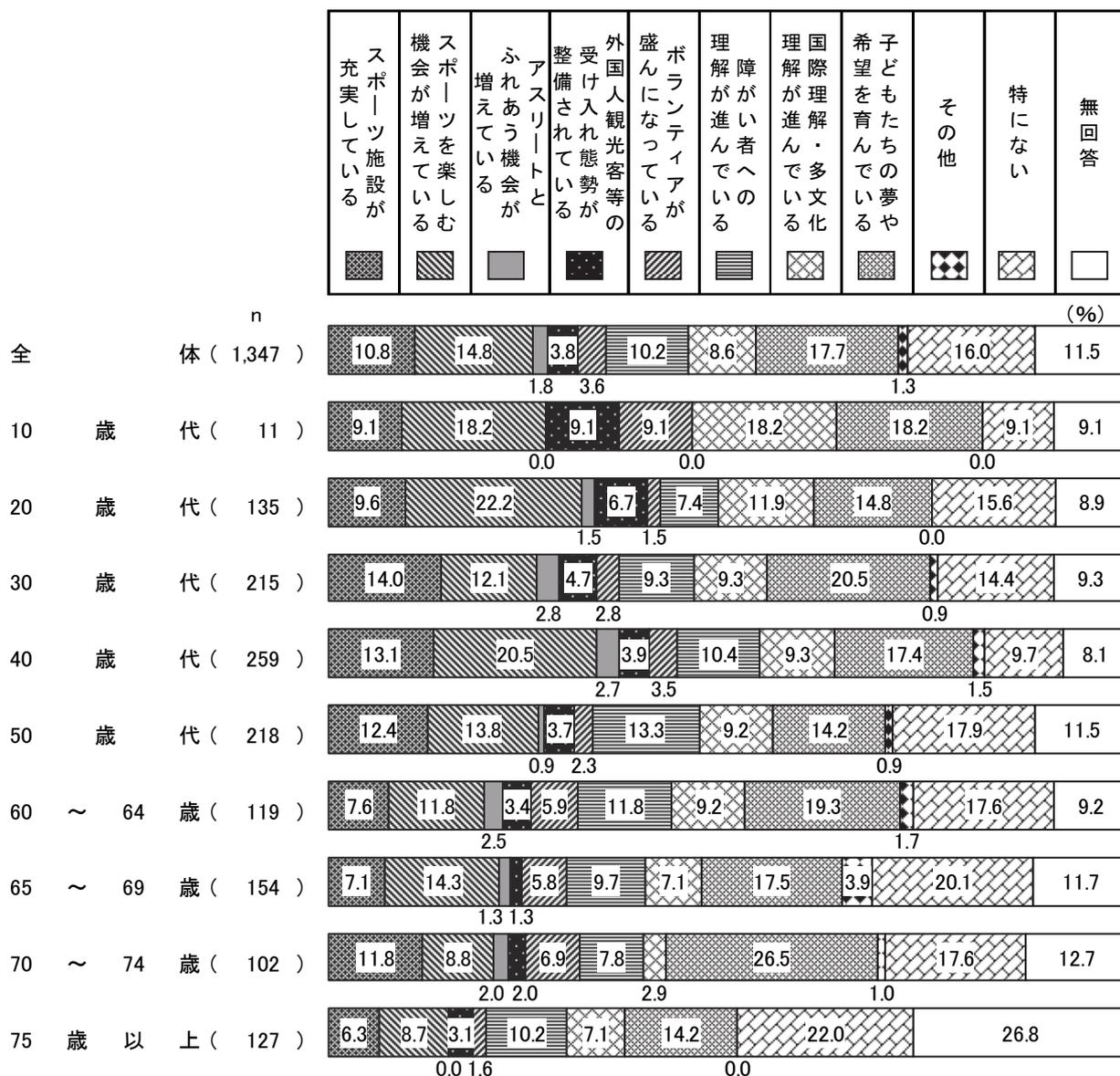


東京2020大会終了後、区内のレガシー（遺産）として最も期待するものを聞いたところ、「子どもたちの夢や希望を育てている」（17.7%）が2割近くとなっています。次いで、「スポーツを楽しむ機会が増えている」（14.8%）、「スポーツ施設が充実している」（10.8%）、「障がい者への理解が進んでいる」（10.2%）、「国際理解・多文化理解が進んでいる」（8.6%）などとなっています。一方、「特にない」（16.0%）は1割半ばとなっています。（図14-3-1）

① 年代別

年代別でみると、「子どもたちの夢や希望を育んでいる」は70～74歳（26.5%）で2割半ばとなっています。「スポーツを楽しむ機会が増えている」は20歳代（22.2%）と40歳代（20.5%）で2割台となっています。また、「スポーツ施設が充実している」は30歳代（14.0%）で1割半ばとなっています。一方、「特にない」は75歳以上（22.0%）、65～69歳（20.1%）で2割台となっています。（図14-3-2）

図14-3-2 区内のレガシー（遺産）について期待すること（年代別）



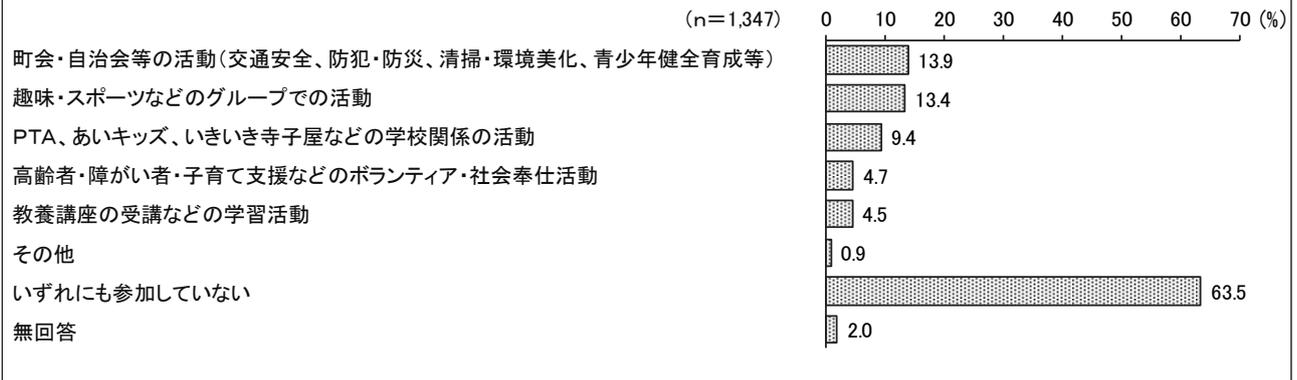
15. 社会活動・地域活動等

(1) 社会活動・地域活動等への参加状況

◇「町会・自治会等の活動」が1割を超える

問37 あなたは、過去1年間に以下のような社会活動・地域活動等に参加しましたか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図15-1-1



「町会・自治会等の活動」(13.9%)と「趣味・スポーツなどのグループでの活動」(13.4%)が1割を超えています。一方、過去1年間に参加した社会活動・地域活動等について聞いたところ、「いずれにも参加していない」(63.5%)が6割を超えています。(図15-1-1)

① 性別

性別で見ると、「いずれにも参加していない」は男性(68.3%)、女性(60.3%)でともに第1位となっています。「町会・自治会等の活動(交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等)」は男性(14.6%)で第2位、女性(12.9%)で第3位となっています。一方、「趣味・スポーツなどのグループでの活動」は女性(14.4%)で第2位、男性(11.8%)で第3位となっています。その他の特徴として、「教育講座の受講などの学習活動」は女性(5.9%)で第5位となっています。(表15-1-1)

表15-1-1 過去1年間に参加した社会活動・地域活動等(性別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	いずれにも参加していない 63.5	町会・自治会等の活動(交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等) 13.9	趣味・スポーツなどのグループでの活動 13.4	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 9.4	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.7
性 別	男 性	574	いずれにも参加していない 68.3	町会・自治会等の活動(交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等) 14.6	趣味・スポーツなどのグループでの活動 11.8	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 7.8	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 3.8
	女 性	743	いずれにも参加していない 60.3	趣味・スポーツなどのグループでの活動 14.4	町会・自治会等の活動(交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等) 12.9	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 10.8	教養講座の受講などの学習活動 5.9

② 年代別

年代別でみると、「いずれにも参加していない」はすべての年代で第1位となっています。「町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）」は75歳以上（24.4%）、60～64歳（23.5%）、65～69歳（19.5%）、50歳代（13.8%）で第2位となっています。また、「趣味・スポーツなどのグループでの活動」は70～74歳（21.6%）、10歳代（18.2%）、20歳代（15.6%）で第2位となっています。その他の特徴として、「教養講座の受講などの学習活動」は70～74歳（8.8%）で第4位、75歳以上（5.5%）で同率の第4位、65～69歳（7.1%）、50歳代（5.0%）、40歳代（4.6%）、20歳代（2.2%）で第5位、60～64歳（2.5%）で同率の第5位となっています。（表15-1-2）

表15-1-2 過去1年間に参加した社会活動・地域活動等（年代別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	いずれにも参加していない 63.5	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 13.9	趣味・スポーツなどのグループでの活動 13.4	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 9.4	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.7
年 代 別	10 歳 代	11	いずれにも参加していない 81.8	趣味・スポーツなどのグループでの活動 18.2	/		
	20 歳 代	135	いずれにも参加していない 77.0	趣味・スポーツなどのグループでの活動 15.6	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 5.2	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 3.7	教養講座の受講などの学習活動 2.2
	30 歳 代	215	いずれにも参加していない 74.0	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 14.4	趣味・スポーツなどのグループでの活動 7.4	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 5.6	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 3.3
	40 歳 代	259	いずれにも参加していない 59.1	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 24.7	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）/趣味・スポーツなどのグループでの活動 10.0		教養講座の受講などの学習活動 4.6
	50 歳 代	218	いずれにも参加していない 68.3	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 13.8	趣味・スポーツなどのグループでの活動 10.6	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 5.5	教養講座の受講などの学習活動 5.0
	60 ～ 64 歳	119	いずれにも参加していない 61.3	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 23.5	趣味・スポーツなどのグループでの活動 17.6	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.2	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 他※ 2.5
	65 ～ 69 歳	154	いずれにも参加していない 57.8	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 19.5	趣味・スポーツなどのグループでの活動 16.9	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 7.8	教養講座の受講などの学習活動 7.1
	70 ～ 74 歳	102	いずれにも参加していない 52.9	趣味・スポーツなどのグループでの活動 21.6	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 20.6	教養講座の受講などの学習活動 8.8	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 7.8
75 歳 以上	127	いずれにも参加していない 48.0	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 24.4	趣味・スポーツなどのグループでの活動 17.3	教養講座の受講などの学習活動/高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 5.5		

※他の理由：教養講座の受講などの学習活動

③ 地域別

地域別でみると、「いずれにも参加していない」はすべての地域で第1位となっています。「町会・自治会等の活動（交通完全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）」は赤塚地域（16.5%）で第2位、志村地域（12.8%）で同率の第2位となっています。また、「趣味・スポーツなどのグループでの活動」は常盤台地域（18.0%）、高島平地域（14.8%）、板橋地域（13.6%）で第2位、志村地域（12.8%）で同率の第2位となっています。その他の特徴として、「教養講座の受講などの学習活動」は志村地域（8.0%）、常盤台地域（4.0%）で第5位となっています。

（表15-1-3）

表15-1-3 過去1年間に参加した社会活動・地域活動等（地域別）

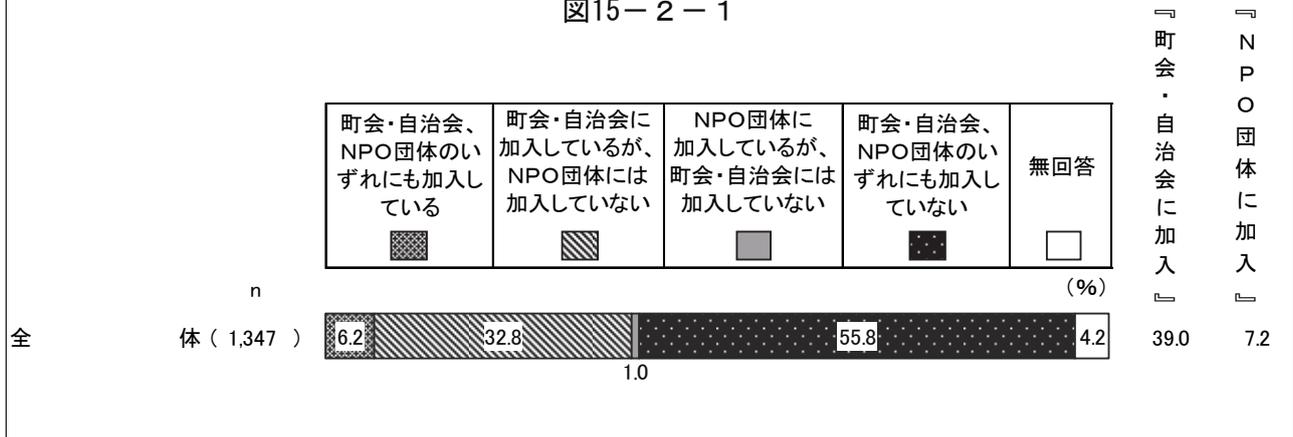
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	いずれにも参加していない 63.5	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 13.9	趣味・スポーツなどのグループでの活動 13.4	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 9.4	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.7
地 域 別	板橋地域	331	いずれにも参加していない 66.5	趣味・スポーツなどのグループでの活動 13.6	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 13.0	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 5.7	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 5.1
	常盤台地域	200	いずれにも参加していない 62.0	趣味・スポーツなどのグループでの活動 18.0	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 14.0	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 10.5	教養講座の受講などの学習活動 4.0
	志村地域	288	いずれにも参加していない 63.9	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）/趣味・スポーツなどのグループでの活動 12.8	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 9.4	教養講座の受講などの学習活動 8.0	
	赤塚地域	279	いずれにも参加していない 62.4	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 16.5	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 11.8	趣味・スポーツなどのグループでの活動 9.0	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.7
	高島平地域	243	いずれにも参加していない 61.7	趣味・スポーツなどのグループでの活動 14.8	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 13.2	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 11.1	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.1

(2) 町会・自治会、NPO団体への加入状況

◇『町会・自治会に加入』が約4割

問38 あなたは、現在、町会・自治会やNPO団体に加入していますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図15-2-1

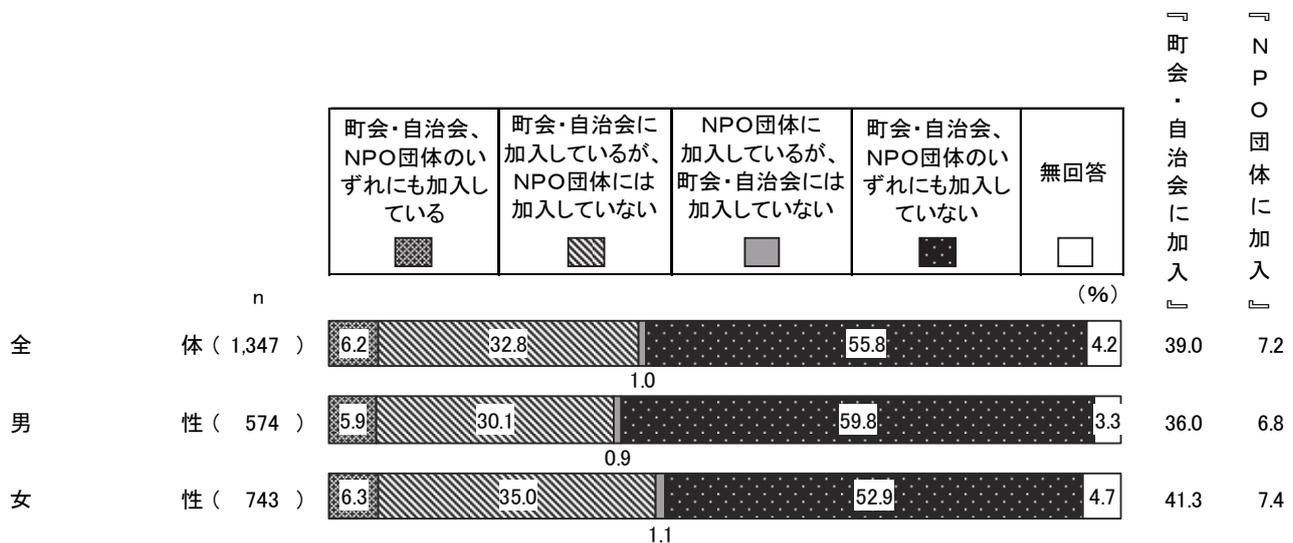


現在、町会・自治会やNPO団体に加入しているかを聞いたところ、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している」(6.2%)と、「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」(32.8%)を合わせた『町会・自治会に加入』(39.0%)は約4割、「NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない」(1.0%)を合わせた『NPO団体に加入』(7.2%)は1割未満となっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」(55.8%)は5割半ばとなっています。(図15-2-1)

① 性別

性別でみると、『町会・自治会に加入』は女性(41.3%)、男性(36.0%)となっており、女性の方が5.3ポイント高くなっています。また、『NPO団体に加入』は女性(7.4%)、男性(6.8%)でともに1割未満となっています。(図15-2-2)

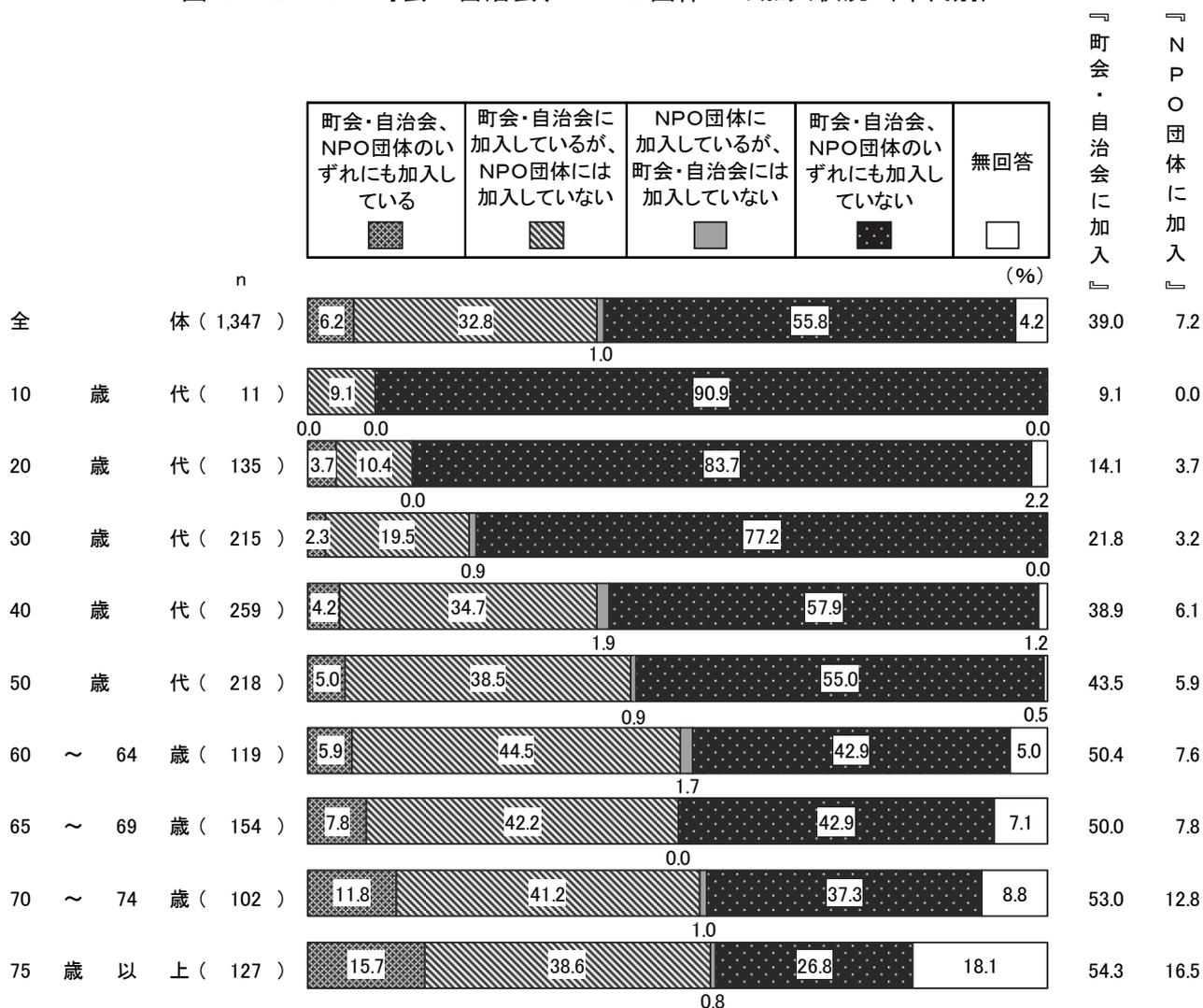
図15-2-2 町会・自治会、NPO団体への加入状況(性別)



② 年代別

年代別でみると、『町会・自治会に加入』は75歳以上（54.3%）、70～74歳（53.0%）、60～64歳（50.4%）、65～69歳（50.0%）で5割台となっています。また、『NPO団体に加入』は75歳以上（16.5%）、70～74歳（12.8%）で1割台となっているほかはすべての年代で1割未満となっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は、若い世代ほど高くなっています。（図15-2-3）

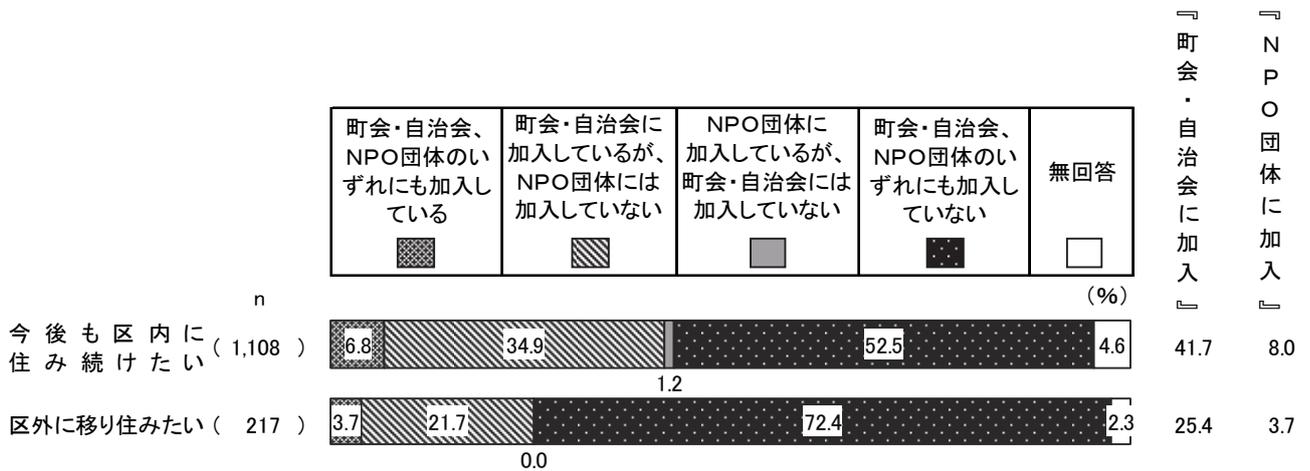
図15-2-3 町会・自治会、NPO団体への加入状況（年代別）



(2-1) 町会・自治会、NPO団体への加入状況（問38）と定住意向（問3）

町会・自治会、NPO団体への加入状況と定住意向との関係を見ると、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している」と「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」をあわせた『町会・自治会に加入』は、今後も区内に住み続けたいと答えた方（41.7%）で4割を超えています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は、区外に移り住みたいと答えた方（72.4%）で8割を超えています。（図15-2-5）

図15-2-5



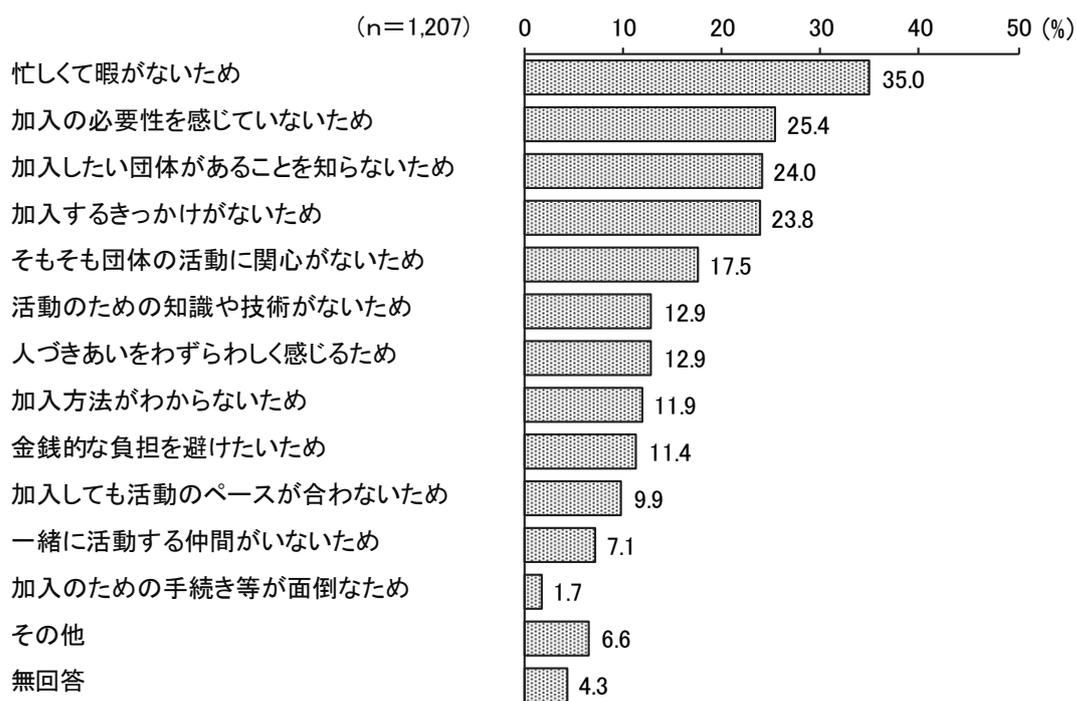
(2-2) 町内会・自治会、NPO団体に加入していない理由

◇「忙しくて暇がないため」が3割半ば

(問38で「2」～「4」と回答した方のみ)

問38-1 加入していない主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図15-2-6



問38で、「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」、「NPO団体には加入しているが、町会・自治会には加入していない」又は「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」と答えた人(1,207人)に、その理由を聞いたところ、「忙しくて暇がないため」(35.0%)が3割半ばで、次いで「加入の必要性を感じていないため」(25.4%)、「加入したい団体があることを知らないため」(24.0%)、「加入するきっかけがないため」(23.8%)、「そもそも団体の活動に関心がないため」(17.5%)などとなっています。(図15-2-6)

① 年代別

年代別でみると、「忙しくて暇がないため」は10歳代から60～64歳までの年代で第1位となっています。「加入の必要性を感じていないため」は65～69歳（25.2%）、75歳以上（23.8%）で第1位となっており10歳代（36.4%）、50歳代（29.1%）、20歳代（27.6%）で第2位となっています。その他の特徴として、「活動のための知識や技術がないため」は70～74歳（22.2%）で第1位となっています。（表15-2-1）

表15-2-1 町内会・自治会、NPO団体に加入していない理由（年代別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,207	忙しくて暇がないため 35.0	加入の必要性を感じていないため 25.4	加入したい団体があることを知らないため 24.0	加入するきっかけがないため 23.8	そもそも団体の活動に関心がないため 17.5
年 代 別	10 歳 代	11	忙しくて暇がないため 45.5	加入の必要性を感じていないため 36.4	活動のための知識や技術がないため/その他 18.2		加入したい団体があることを知らないため他※ 9.1
	20 歳 代	127	忙しくて暇がないため 45.7	加入の必要性を感じていないため 27.6	加入するきっかけがないため/そもそも団体の活動に関心がないため 23.6		加入したい団体があることを知らないため 20.5
	30 歳 代	210	忙しくて暇がないため 44.3	加入するきっかけがないため 31.9	加入したい団体があることを知らないため 27.1	加入の必要性を感じていないため 23.3	そもそも団体の活動に関心がないため 20.5
	40 歳 代	245	忙しくて暇がないため 41.6	加入したい団体があることを知らないため 29.4	加入の必要性を感じていないため 25.7	加入するきっかけがないため 21.6	そもそも団体の活動に関心がないため 18.0
	50 歳 代	206	忙しくて暇がないため 38.8	加入の必要性を感じていないため 29.1	加入したい団体があることを知らないため 28.2	加入するきっかけがないため 21.4	そもそも団体の活動に関心がないため 16.0
	60～64 歳	106	忙しくて暇がないため 29.2	加入するきっかけがないため/加入の必要性を感じていないため 24.5		加入したい団体があることを知らないため 21.7	活動のための知識や技術がないため 17.0
	65～69 歳	131	加入の必要性を感じていないため 25.2	加入するきっかけがないため 24.4	忙しくて暇がないため 20.6	加入したい団体があることを知らないため 19.1	活動のための知識や技術がないため/人づきあいをわずらわしく感じるため 17.6
	70～74 歳	81	活動のための知識や技術がないため 22.2	忙しくて暇がないため 21.0	加入したい団体があることを知らないため 19.8	加入するきっかけがないため/加入の必要性を感じていないため 18.5	
	75 歳 以上	84	加入の必要性を感じていないため 23.8	加入するきっかけがないため/その他 21.4		活動のための知識や技術がないため 20.2	加入したい団体があることを知らないため 14.3

※他の理由:加入するきっかけがないため/加入しても活動のペースが合わないため/一緒に活動する仲間がないため/そもそも団体の活動に関心がないため

(2-3) 町会・自治会、NPO団体への加入状況(問38)と加入していない理由

(問38-1)

町会・自治会、NPO団体への加入状況と加入していない理由との関係を見ると、「加入するきっかけがないため」は、NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していないと答えた方(46.2%)で、「忙しくて暇がないため」は町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していないと答えた方(40.4%)で、「加入したい団体があることを知らないため」は町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していないと答えた方(31.4%)でそれぞれ第1位となっています。(表15-2-2)

表15-2-2

(%)

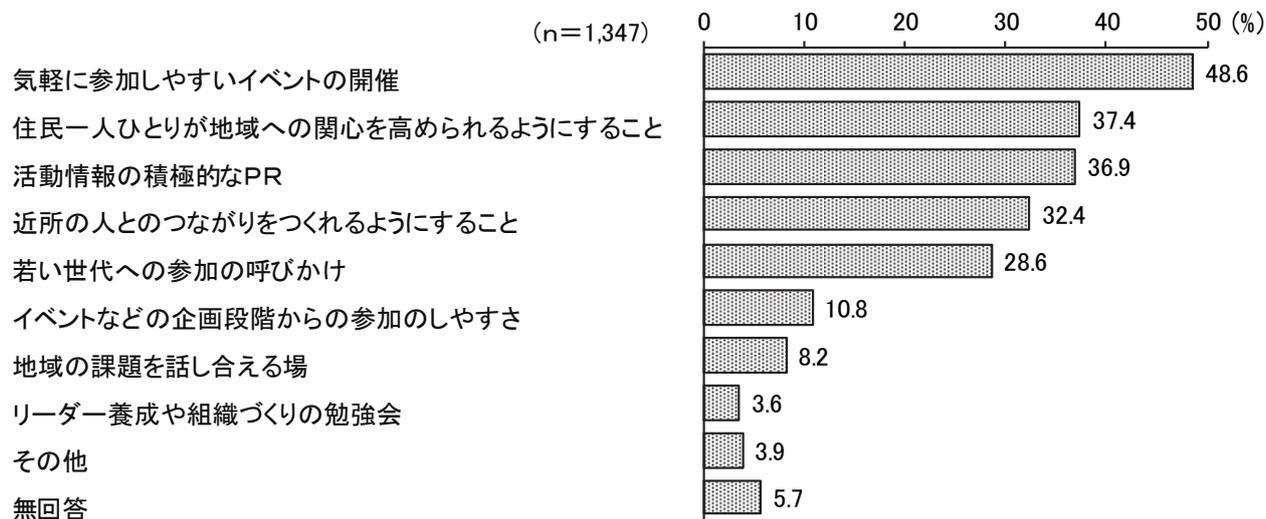
	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,155	忙しくて暇がないため 36.6	加入の必要性を感じていないため 26.5	加入したい団体があることを知らないため 25.1	加入するきっかけがないため 24.8	そもそも団体の活動に関心がないため 18.3
町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない	421	加入したい団体があることを知らないため 31.4	忙しくて暇がないため 30.9	加入の必要性を感じていないため 30.6	加入するきっかけがないため 25.9	活動のための知識や技術がないため 18.5
NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない	13	加入するきっかけがないため 46.2	加入方法がわからないため 30.8	加入しても活動のペースが合わないため 23.1	加入したい団体があることを知らないため/ 忙しくて暇がないため/一緒に活動する仲間がいないため/加入の必要性を感じていないため 15.4	
町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない	721	忙しくて暇がないため 40.4	加入の必要性を感じていないため 24.3	加入するきっかけがないため 23.9	加入したい団体があることを知らないため 21.6	そもそも団体の活動に関心がないため 19.8

(3) 地域の活動を活発にするために必要なこと

◇「気軽に参加しやすいイベントの開催」が5割近く

問39 あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が必要だと思いますか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図15-3-1



地域の活動を活発にするために必要なことを聞いたところ、「気軽に参加しやすいイベントの開催」(48.6%)が5割近くとなっており、次いで「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」(37.4%)、「活動情報の積極的なPR」(36.9%)、「近所の人とのつながりをつくれるようにすること」(32.4%)、「若い世代への参加の呼びかけ」(28.6%)などとなっています。(図15-3-1)

① 年代別

年代別でみると、「気軽に参加しやすいイベントの開催」は10歳代(63.6%)、30歳代(60.5%)、40歳代(56.0%)、50歳代(54.1%)、60～64歳(47.1%)で第1位となっています。「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」は70～74歳(44.1%)、65～69歳(39.6%)、75歳以上(39.4%)で第1位となっています。また、「若い世代への参加の呼びかけ」は20歳代(47.4%)で第1位となっています。(表15-3-1)

表15-3-1 地域の活動を活発にするために必要なこと(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	気軽に参加しやすいイベントの開催 48.6	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 37.4	活動情報の積極的なPR 36.9	近所の人とのつながりをつくるようにすること 32.4	若い世代への参加の呼びかけ 28.6
年 代 別	10 歳 代	11	気軽に参加しやすいイベントの開催 63.6	活動情報の積極的なPR/若い世代への参加の呼びかけ 45.5		住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 36.4	イベントなどの企画段階からの参加のしやすさ 18.2
	20 歳 代	135	若い世代への参加の呼びかけ 47.4	気軽に参加しやすいイベントの開催 44.4	活動情報の積極的なPR 34.1	近所の人とのつながりをつくるようにすること 31.9	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 29.6
	30 歳 代	215	気軽に参加しやすいイベントの開催 60.5	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 38.6	活動情報の積極的なPR 36.7	若い世代への参加の呼びかけ 31.6	近所の人とのつながりをつくるようにすること 29.8
	40 歳 代	259	気軽に参加しやすいイベントの開催 56.0	活動情報の積極的なPR 40.2	近所の人とのつながりをつくるようにすること 33.6	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 30.9	若い世代への参加の呼びかけ 27.4
	50 歳 代	218	気軽に参加しやすいイベントの開催 54.1	活動情報の積極的なPR 40.8	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 39.9	近所の人とのつながりをつくるようにすること 31.2	若い世代への参加の呼びかけ 24.3
	60～64 歳	119	気軽に参加しやすいイベントの開催 47.1	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 41.2	活動情報の積極的なPR 37.0	若い世代への参加の呼びかけ 31.1	近所の人とのつながりをつくるようにすること 30.3
	65～69 歳	154	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 39.6	気軽に参加しやすいイベントの開催 38.3	活動情報の積極的なPR 37.0	近所の人とのつながりをつくるようにすること 31.2	若い世代への参加の呼びかけ 22.1
	70～74 歳	102	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 44.1	気軽に参加しやすいイベントの開催 38.2	活動情報の積極的なPR/近所の人とのつながりをつくるようにすること 37.3		若い世代への参加の呼びかけ 27.5
	75 歳 以上	127	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 39.4	近所の人とのつながりをつくるようにすること 37.8	気軽に参加しやすいイベントの開催 31.5	活動情報の積極的なPR 26.8	若い世代への参加の呼びかけ 18.9

(4) 過去3年間における地域センターの利用状況

◇「利用した」が3割を超える

問40 あなたは、過去3年の間に、地域活動の拠点である地域センター（区内18か所）を利用しましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください

図15-4-1

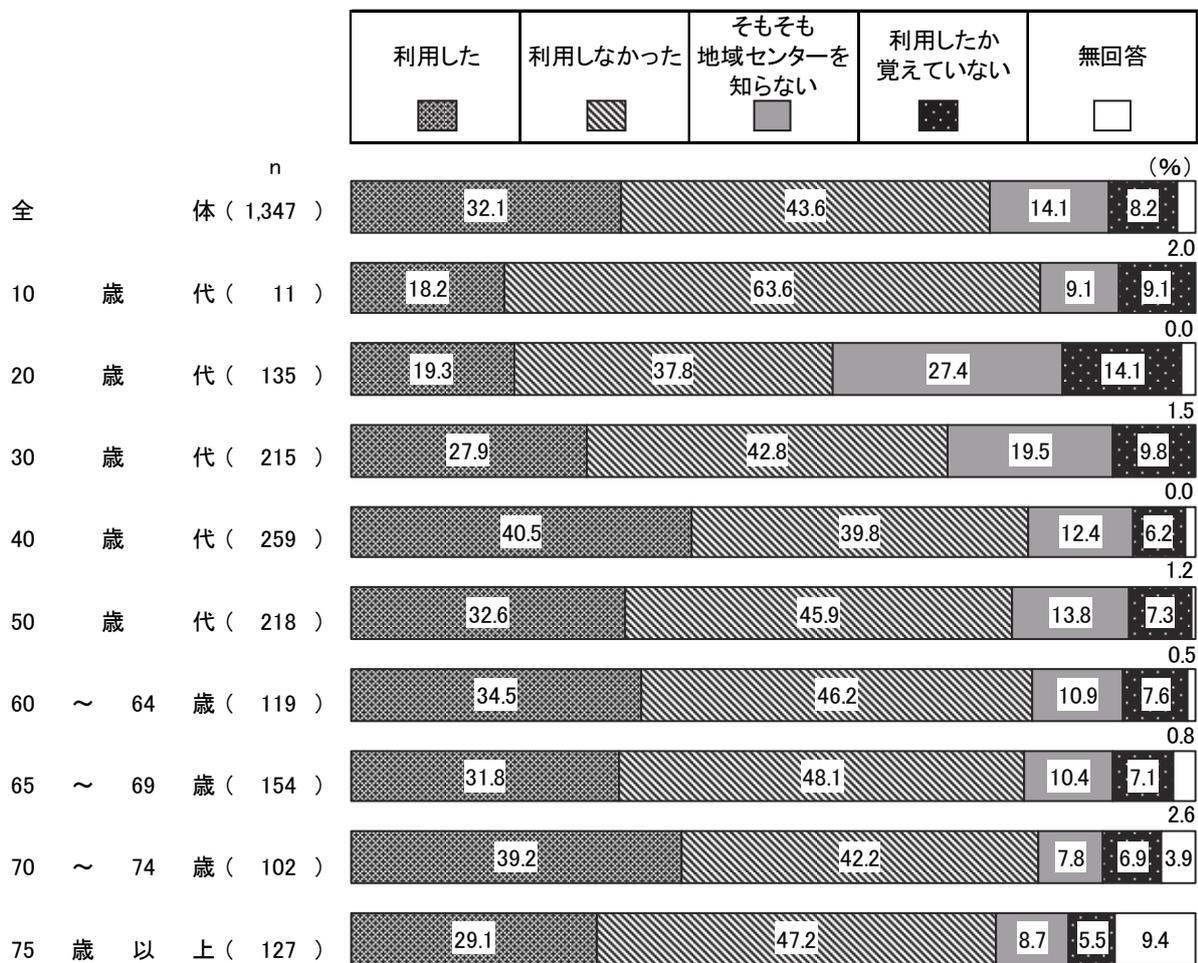


過去3年間における地域センターの利用状況を聞いたところ、「利用した」（32.1%）が3割を超えています。一方、「利用しなかった」（43.6%）は4割を超え、「そもそも地域センターを知らない」（14.1%）は1割半ばとなっています。（図15-4-1）

① 年代別

年代別でみると、「利用した」は40歳代（40.5%）、70～74歳代（39.2%）で4割前後となっています。一方、「利用しなかった」は65～69歳（48.1%）で5割近くとなっており、「そもそも地域センターを知らない」は20歳代（27.4%）で3割近くとなっています。（図15-4-2）

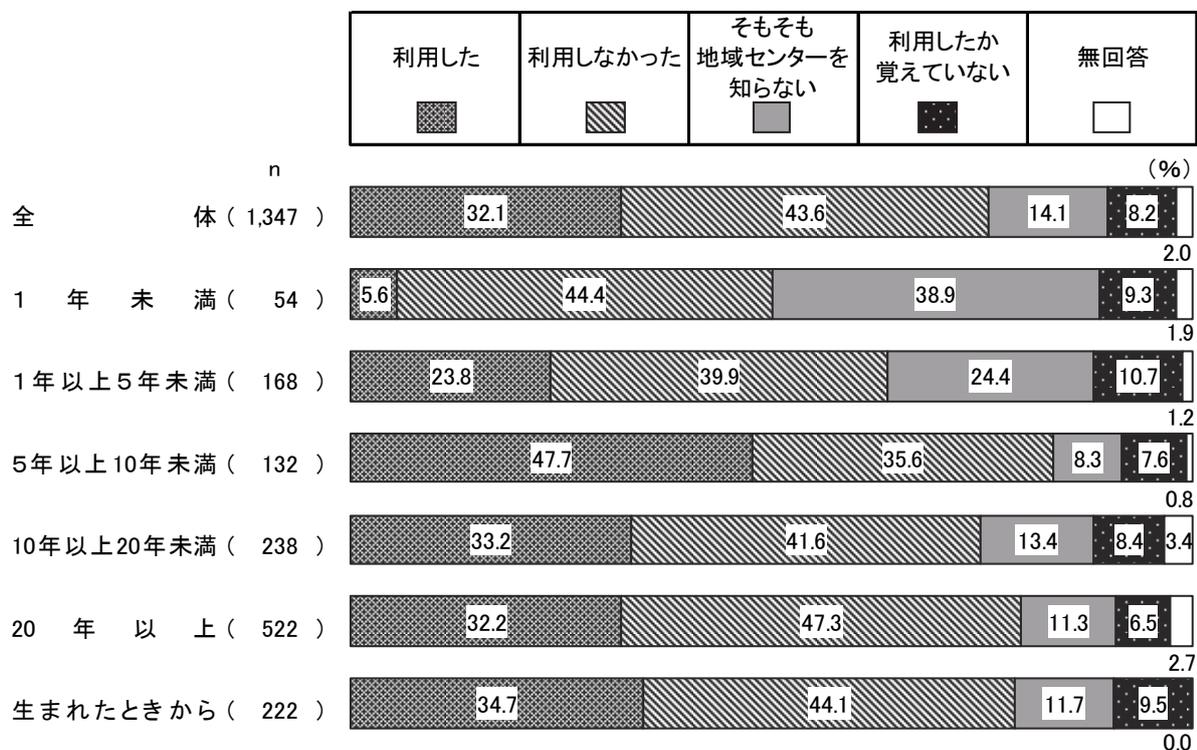
図15-4-2 過去3年間における地域センターの利用状況（年代別）



② 居住年数別

居住年数別でみると、「利用した」は5年以上10年未満（47.7%）で5割近くとなっています。また、「そもそも地域センターを知らない」は1年未満（38.9%）で4割近く、1年以上5年未満（24.4%）で2割半ばとなっています。（図15-4-3）

図15-4-3 過去3年間における地域センターの利用状況（居住年数別）



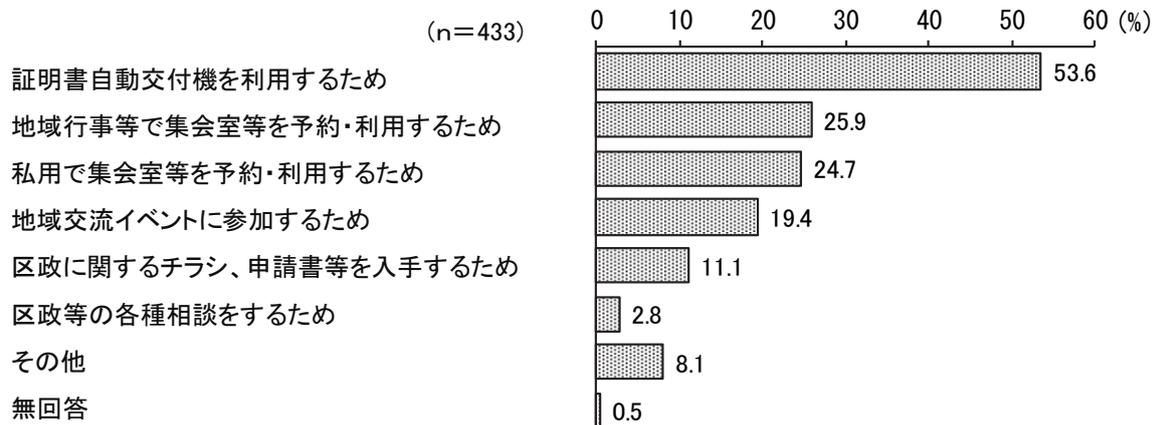
(4-1) 地域センターの利用目的

◇「証明書自動交付機を利用するため」が5割を超える

(問40で「1 利用した」と回答した方のみ。)

問40-1 利用した目的として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図15-4-5



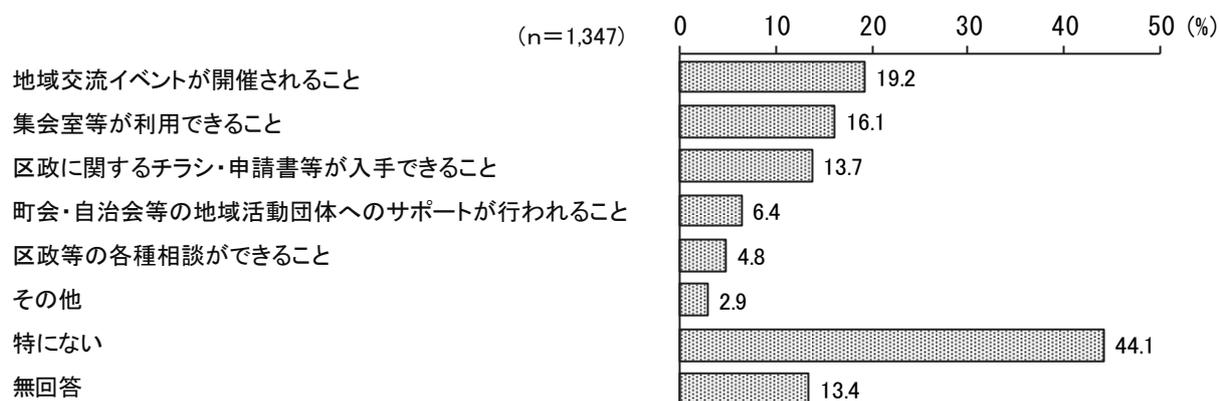
過去3年間に地域センターを利用したと答えた人(433人)に、地域センターを利用した目的を聞いたところ、「証明書自動交付機を利用するため」(53.6%)が5割を超え、次いで「地域行事等で集会室等を予約・利用するため」(25.9%)、「私用で集会室等を予約・利用するため」(24.7%)、「地域交流イベントに参加するため」(19.4%)、「区政に関するチラシ、申請書等を入手するため」(11.1%)などとなっています。(図15-4-5)

(5) 地域センターに求めるサービス

◇「地域交流イベントが開催されること」が約2割

問41 地域センターにどのような区民サービスがあれば、あなたは地域センターを利用しますか。該当するものをすべて選び、番号に○印を付けてください

図15-5-1



地域センターに求めるサービスを聞いたところ、「地域交流イベントが開催されること」(19.2%)は約2割となっており、次いで「集会室等が利用できること」(16.1%)、「区政に関するチラシ・申請書等が入手できること」(13.7%)、「町会・自治会等の地域活動団体へのサポートが行われること」(6.4%)、「区政等の各種相談ができること」(4.8%)などとなっています。一方、「特にない」(44.1%)が4割半ばとなっています。(図15-5-1)

16. 今後の行政サービスと負担のあり方

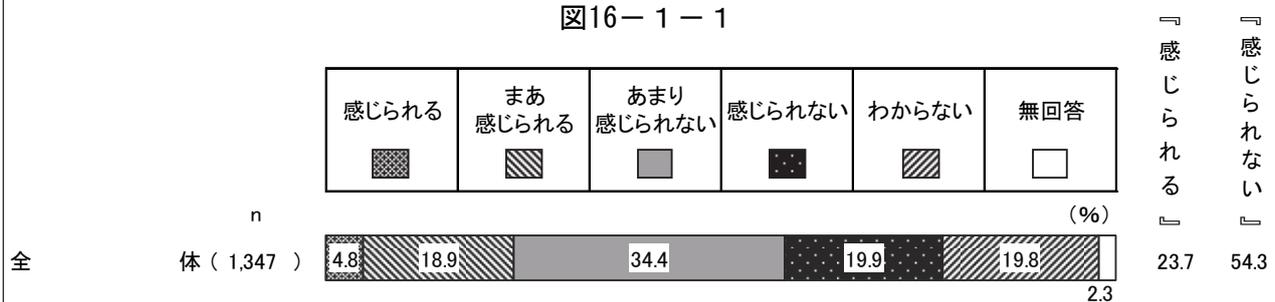
(1) 税金に見合った行政サービスの提供

◇税金に見合ったサービスが受けられていると『感じられる』が2割を超える

人口減少・超高齢化社会の更なる進展に伴い、税や社会保険料を負担する人が減少する一方で、社会保障や公共施設の改築・改修にかかる経費増が予想されており、将来を見据えた区政運営が求められています。今後の板橋区における行政サービスと負担のあり方に関して、以下の質問にご回答ください。

問42 あなたは、日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図16-1-1

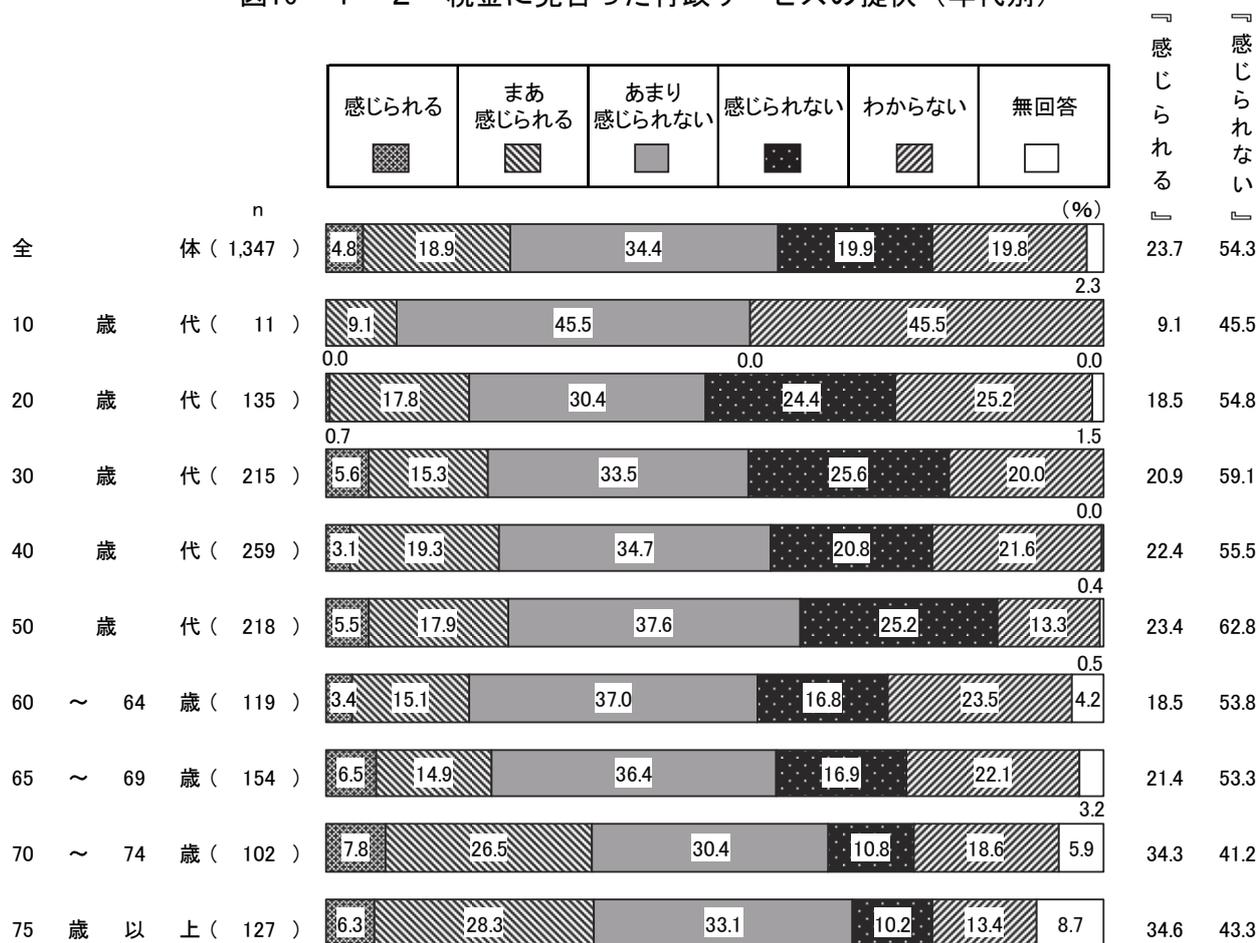


日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられるかを聞いたところ、「感じられる」（4.8%）と「まあ感じられる」（18.9%）を合わせた『感じられる』（23.7%）が2割を超えています。一方、「あまり感じられない」（34.4%）と「感じられない」（19.9%）を合わせた『感じられない』（54.3%）が5割半ばとなっています。（図16-1-1）

① 年代別

年代別でみると、『感じられる』は75歳以上（34.6%）、70～74歳（34.3%）で3割半ばとなっていますが、20歳代（18.5%）、60～64歳（18.5%）は1割台となっています。一方、『感じられない』は50歳代（62.8%）で6割を超えています。10歳代（45.5%）、75歳以上（43.3%）、70～74歳（41.2%）で4割台となっています。（図16-1-2）

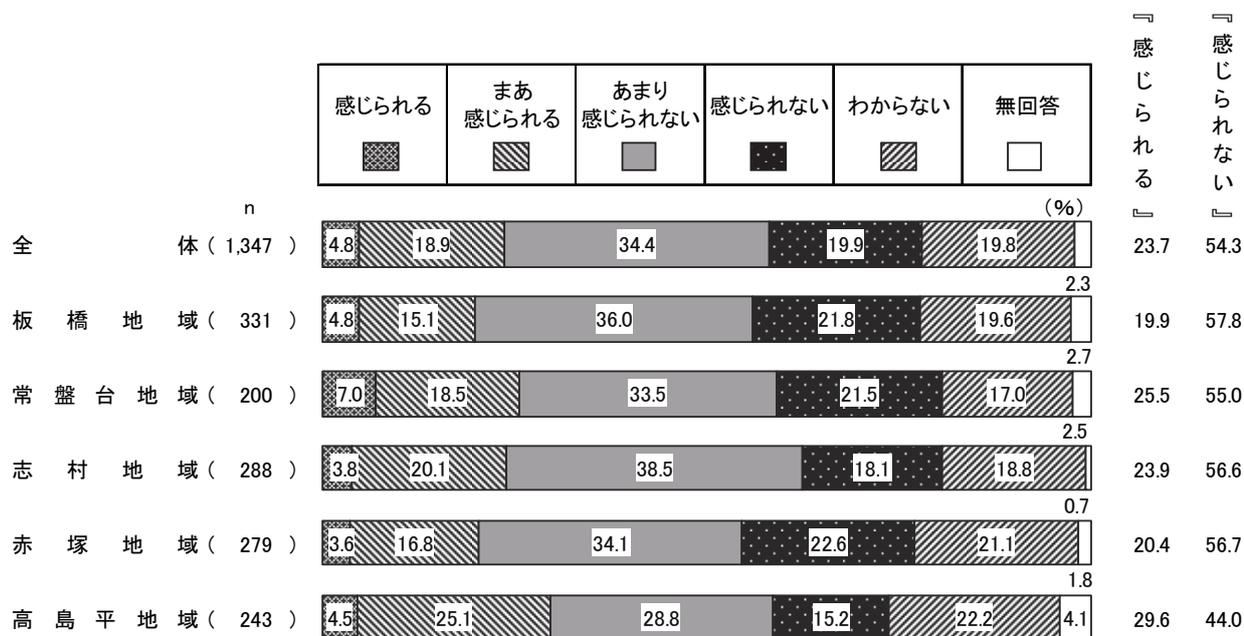
図16-1-2 税金に見合った行政サービスの提供（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『感じられる』は高島平地域（29.6%）で約3割となっていますが、板橋地域（19.9%）で約2割となっています。一方、『感じられない』は板橋地域（57.8%）で6割近くとなっていますが、高島平地域（44.0%）で4割半ばとなっています。（図16-1-3）

図16-1-3 税金に見合った行政サービスの提供（地域別）

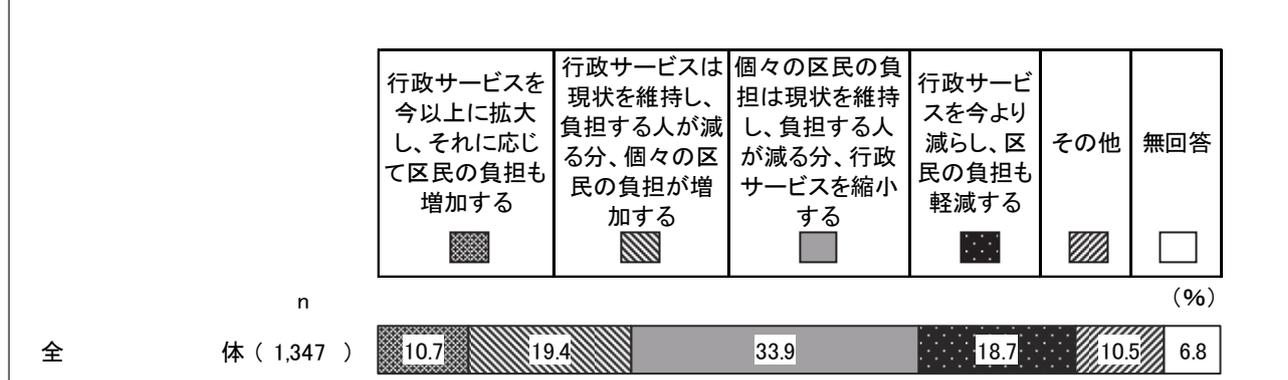


(2) 将来的な行政サービスと住民負担のバランス

◇「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」が3割を超える

問43 あなたは、区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図16-2-1

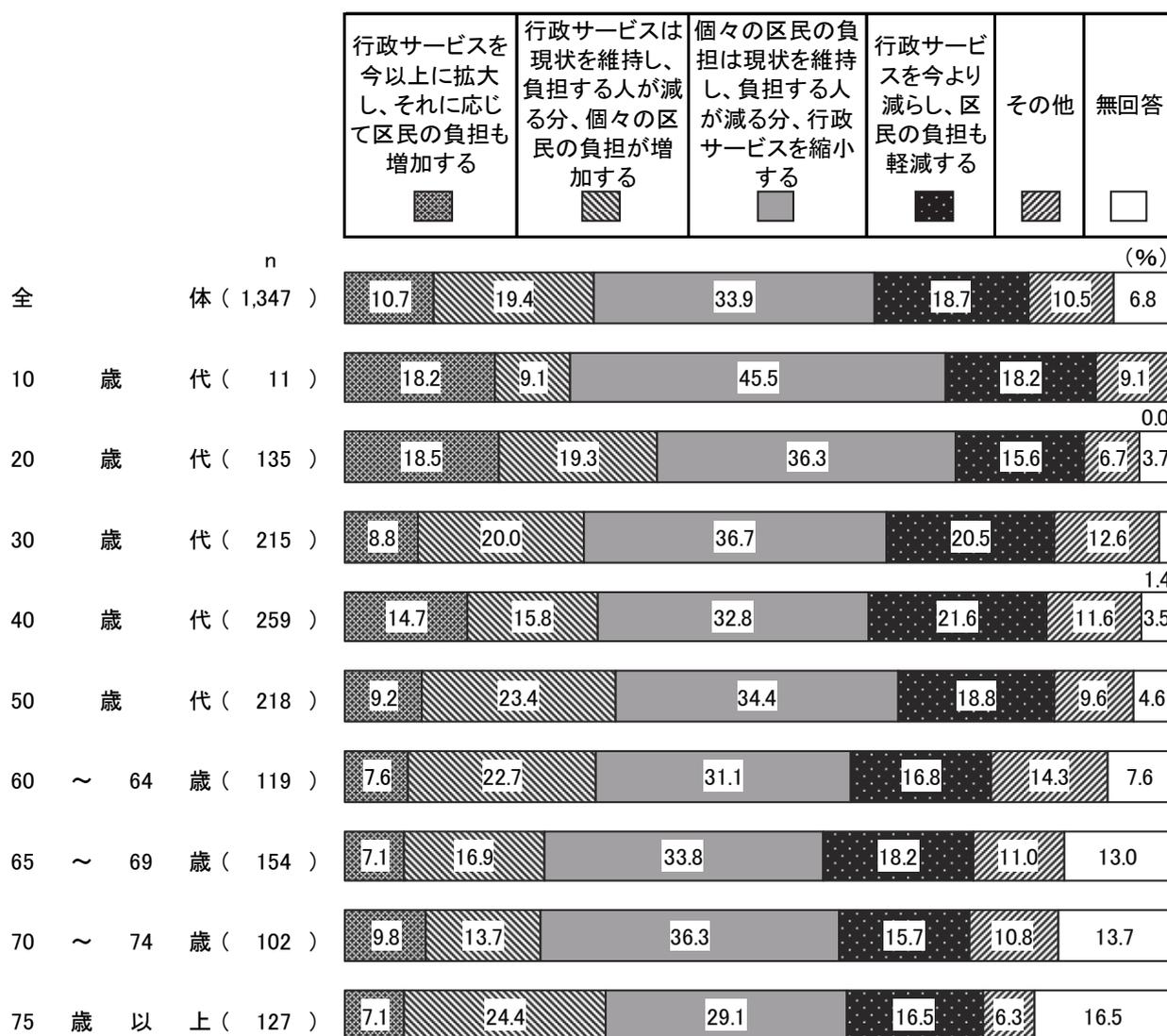


区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えるかを聞いたところ、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」(33.9%)が3割を超えています。次いで「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」(19.4%)、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」(18.7%)、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」(10.7%)となっています。(図16-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」は75歳以上を除くすべての年代で3割以上となっています。「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」は75歳以上(24.4%)、50歳代(23.4%)、60～64歳(22.7%)、30歳代(20.0%)で2割台となっています。また、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」は40歳代(21.6%)、30歳代(20.5%)で2割台となっています。(図16-2-2)

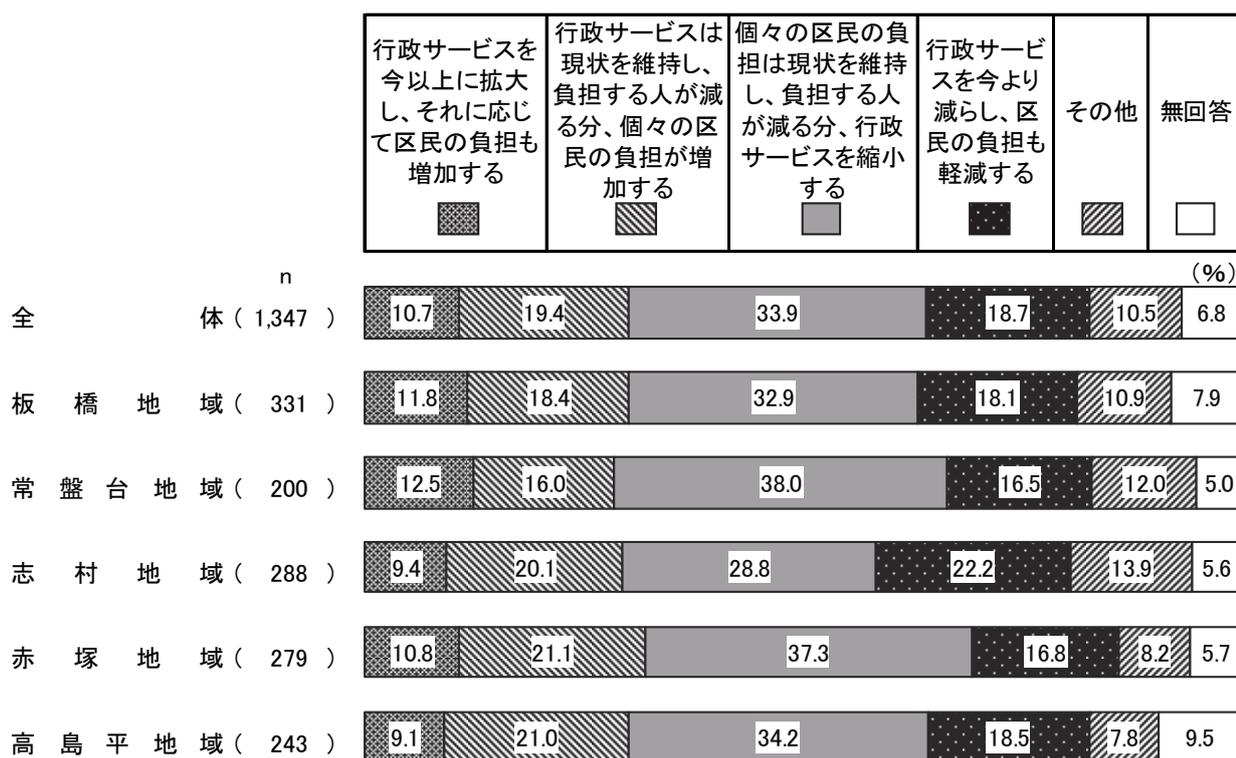
図16-2-2 将来的な行政サービスと住民負担のバランス(年代別)



② 地域別

地域別でみると、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」は志村地域を除くすべての地域で3割台となっています。「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」は赤塚地域(21.1%)、高島平地域(21.0%)、志村地域(20.1%)で2割台となっています。また、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」は志村地域(22.2%)で2割を超えています。(図16-2-3)

図16-2-3 将来的な行政サービスと住民負担のバランス(地域別)



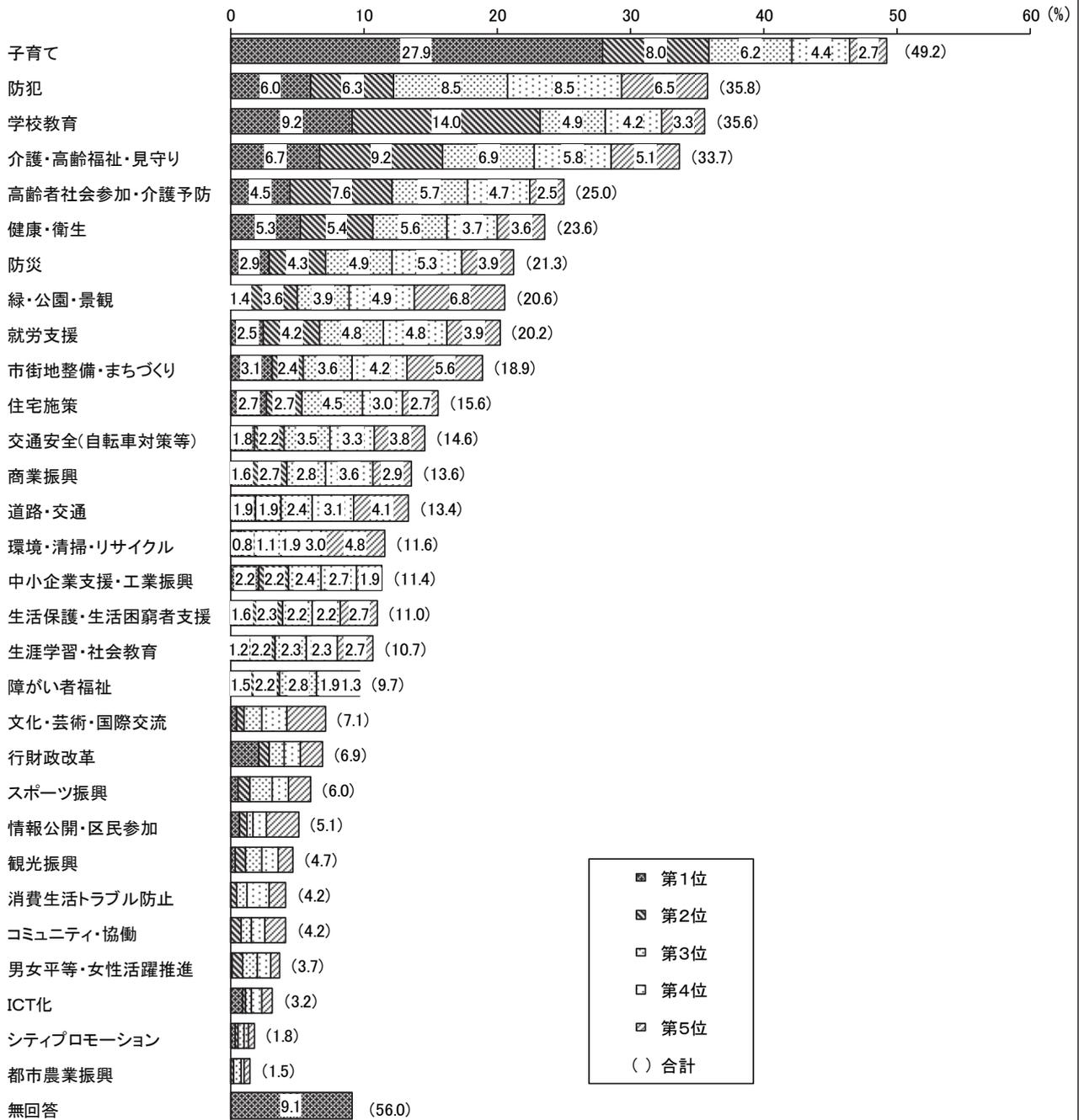
(3) 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野

◇第1位から第5位までの合計では、「子育て」が約5割

問44 板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

図16-3-1

(n=1,347)



今後、区が重点的に力を入れるべきだと思ふ分野を、重要だと思ふ順に5つまで聞いたところ、第1位から第5位までの合計の割合では、「子育て」（49.2%）が約5割で最も高く、次いで「防犯」（35.8%）、「学校教育」（35.6%）、「介護・高齢福祉・見守り」（33.7%）などとなっています。

また、第1位の割合では、「子育て」（27.9%）が3割近くで最も高く、次いで「学校教育」（9.2%）、「介護・高齢福祉・見守り」（6.7%）、「防犯」（6.0%）などとなっています。（図16-3-1）

① 性別

性別でみると、「子育て」は男女ともに第1位となっており、男性（52.2%）が女性（47.8%）より4.4ポイント高くなっています。「介護・高齢福祉・見守り」は女性（36.8%）で第2位、男性（30.0%）で第4位となっています。また、「防犯」は男性（34.6%）で第3位に、女性（36.7%）で同率の第3位となっています。その他の特徴として、「健康・衛生」は男性（24.6%）で第5位となっています。（表16-3-1）

表16-3-1 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野（性別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	子育て 49.2	防犯 35.8	学校教育 35.6	介護・高齢福祉・ 見守り 33.7	高齢者社会参加・ 介護予防 25.0
性 別	男 性	574	子育て 52.2	学校教育 34.7	防犯 34.6	介護・高齢福祉・ 見守り 30.0	健康・衛生 24.6
	女 性	743	子育て 47.8	介護・高齢福祉・ 見守り 36.8	学校教育/防犯 36.7	高齢者社会参加・ 介護予防 26.9	

② 年代別

年代別でみると、「子育て」は30歳代（71.3%）、20歳代（60.8%）、40歳代（60.2%）で第1位となっており、子育て世代で6割以上となっています。それ以外の年代では、50歳代（44.0%）、65～69歳代（37.6%）で第1位、10歳代（45.5%）で同率の第1位となっています。「介護・高齢福祉・見守り」は60～64歳代（38.6%）、70～74歳（36.3%）で第1位となっています。「高齢者社会参加・介護予防」は75歳以上（30.7%）で第1位となっています。「学校教育」は40歳代（45.9%）、30歳代（45.5%）、20歳代（42.2%）で第2位となっています。その他の特徴として、「就労支援」は20歳代（32.6%）で第3位、70～74歳（19.7%）で第5位となっています。また、「健康・衛生」は65～69歳（30.4%）で第4位、20歳代（29.6%）で第5位となっています。（表16-3-2）

表16-3-2 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野（年代別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,347	子育て 49.2	防犯 35.8	学校教育 35.6	介護・高齢福祉・見守り 33.7	高齢者社会参加・介護予防 25.0
年 代 別	10 歳 代	11	子育て/学校教育 45.5		市街地整備・まちづくり/緑・公園・景観 36.4		スポーツ振興/就労支援/商業振興/観光振興/防犯/道路・交通 27.3
	20 歳 代	135	子育て 60.8	学校教育 42.2	就労支援 32.6	防犯 30.4	健康・衛生 29.6
	30 歳 代	215	子育て 71.3	学校教育 45.5	防犯 39.1	防災 26.6	介護・高齢福祉・見守り 26.5
	40 歳 代	259	子育て 60.2	学校教育 45.9	防犯 38.9	介護・高齢福祉・見守り 35.8	緑・公園・景観 26.3
	50 歳 代	218	子育て 44.0	介護・高齢福祉・見守り 43.6	防犯 42.7	高齢者社会参加・介護予防 30.3	学校教育 27.9
	60～64 歳	119	介護・高齢福祉・見守り 38.6	子育て 35.1	高齢者社会参加・介護予防 33.6	防犯 32.0	学校教育/緑・公園・景観 25.2
	65～69 歳	154	子育て 37.6	防犯 36.9	介護・高齢福祉・見守り 35.6	健康・衛生 30.4	学校教育 27.9
	70～74 歳	102	介護・高齢福祉・見守り 36.3	子育て 32.4	防犯 32.3	学校教育 30.3	就労支援 19.7
	75 歳 以上	127	高齢者社会参加・介護予防 30.7	介護・高齢福祉・見守り 30.0	学校教育 26.8	子育て 26.7	防犯 22.0

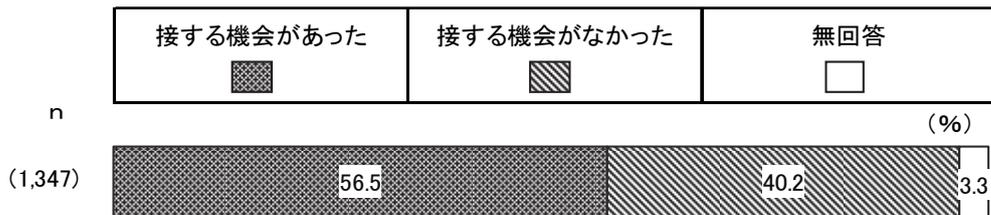
17. 板橋区職員に期待する能力・資質

(1) 最近1年間の職員と接する機会の有無

◇「接する機会があった」が5割半ば

問45 あなたは過去1年間で、区役所の窓口(電話含む)を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接する機会がありましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図17-1-1



過去1年間で職員と接する機会があったかを聞いたところ、「接する機会があった」(56.5%)と答えた人は5割半ばで、「接する機会がなかった」(40.2%)は4割となっています。

(図17-1-1)

(1-1) 職員の対応に対する満足度

◇『満足』が6割半ば

(問45で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

問45-1 その際に接した職員の対応に関する満足度について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図17-1-2



問45で、過去1年間で区役所の窓口(電話含む)を利用した、又は地域活動やイベント等で職員と「接する機会があった」と答えた人(761人)に、その際に接した職員の対応に関する満足度を聞いたところ、「満足」(23.5%)と「まあ満足」(41.3%)を合わせた『満足』(64.8%)が6割半ばとなっています。「やや不満」(6.0%)と「不満」(5.4%)を合わせた『不満』(11.4%)は1割を超えています。(図17-1-2)

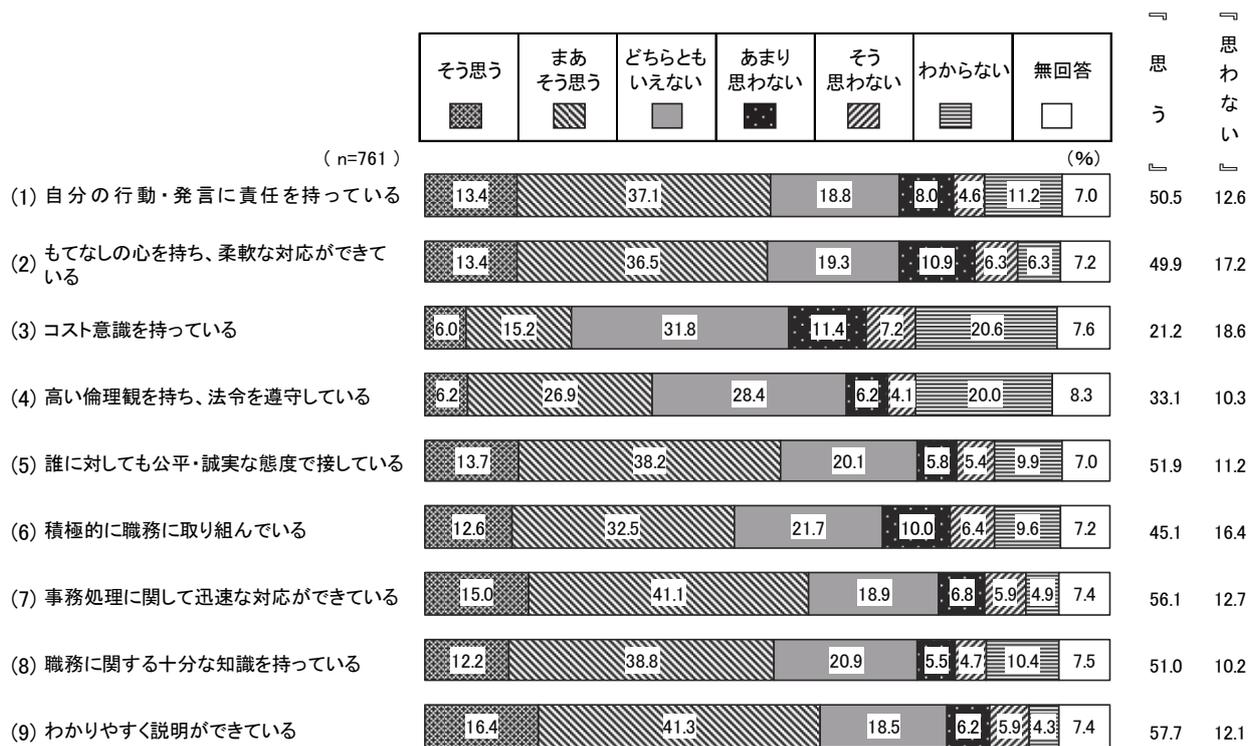
(1-2) 職員の能力・資質の現状評価

◇「わかりやすく説明ができています」で6割近く

(問45で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

問45-2 板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。それぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

図17-1-3



問45で、最近1年間で区役所の窓口（電話含む）を利用した、又は地域活動やイベント等で職員と「接する機会があった」と答えた人（761人）に、板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思うか、9項目に分けて聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』の割合は、（9）わかりやすく説明ができています（57.7%）が6割近くで、この他にも4項目で5割台となっています。一方、（4）高い倫理観を持ち、法令を遵守している（33.1%）は3割台、（3）コスト意識を持っている（21.2%）は2割台にとどまっています。ただし、この2項目はいずれも「わからない」が2割台となっています。

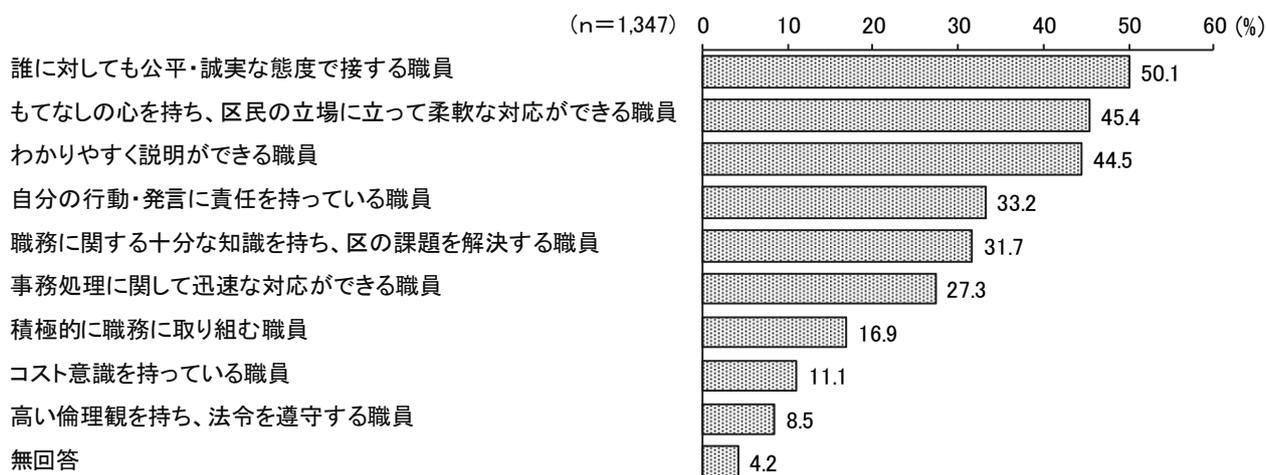
また、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『思わない』は9項目すべてで1割台となっています。（図17-1-3）

(2) 職員に求める姿

◇「誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員」が5割

問46 あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図17-2-1



特に求める板橋区職員の姿を聞いたところ、「誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員」(50.1%)が5割で、次いで「もてなしの心を持ち、区民の立場に立って柔軟な対応ができる職員」(45.4%)、「わかりやすく説明ができる職員」(44.5%)、「自分の行動・発言に責任を持っている職員」(33.2%)、「職務に関する十分な知識を持ち、区の課題を解決する職員」(31.7%)などとなっています。(図17-2-1)

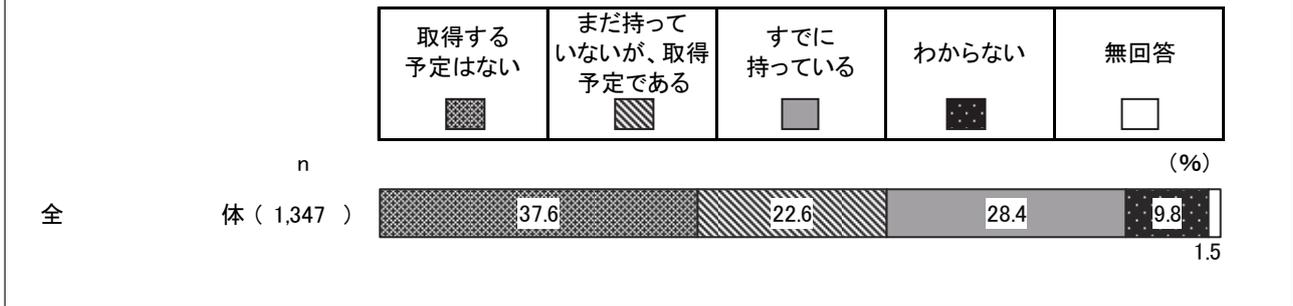
18. その他

(1) 「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況

◇「取得する予定はない」が4割近く

問47 「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図18-1-1

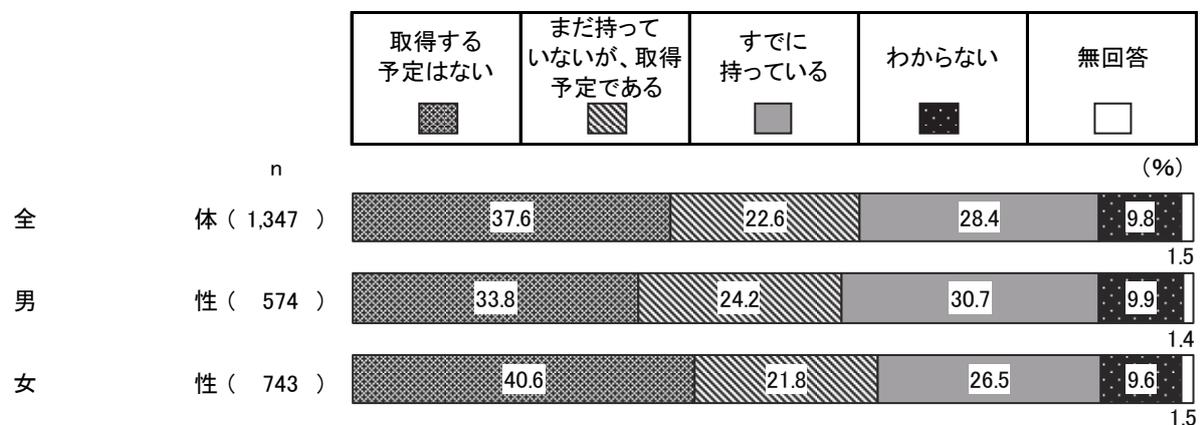


「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況について聞いたところ「取得する予定はない」（37.6%）が4割近くとなっています。一方、「まだ持っていないが、取得予定である」（22.6%）と「すでに持っている」（28.4%）を合わせると将来的には5割を超える方が取得することになります。（図18-1-1）

① 性別

性別でみると、「取得する予定はない」は女性（40.6%）が男性（33.8%）より6.8ポイント高くなっています。一方、「まだ持っていないが、取得予定である」と「すでに持っている」を合わせると男性（54.9%）が女性（48.3%）より6.6ポイント高くなっています。（図18-1-2）

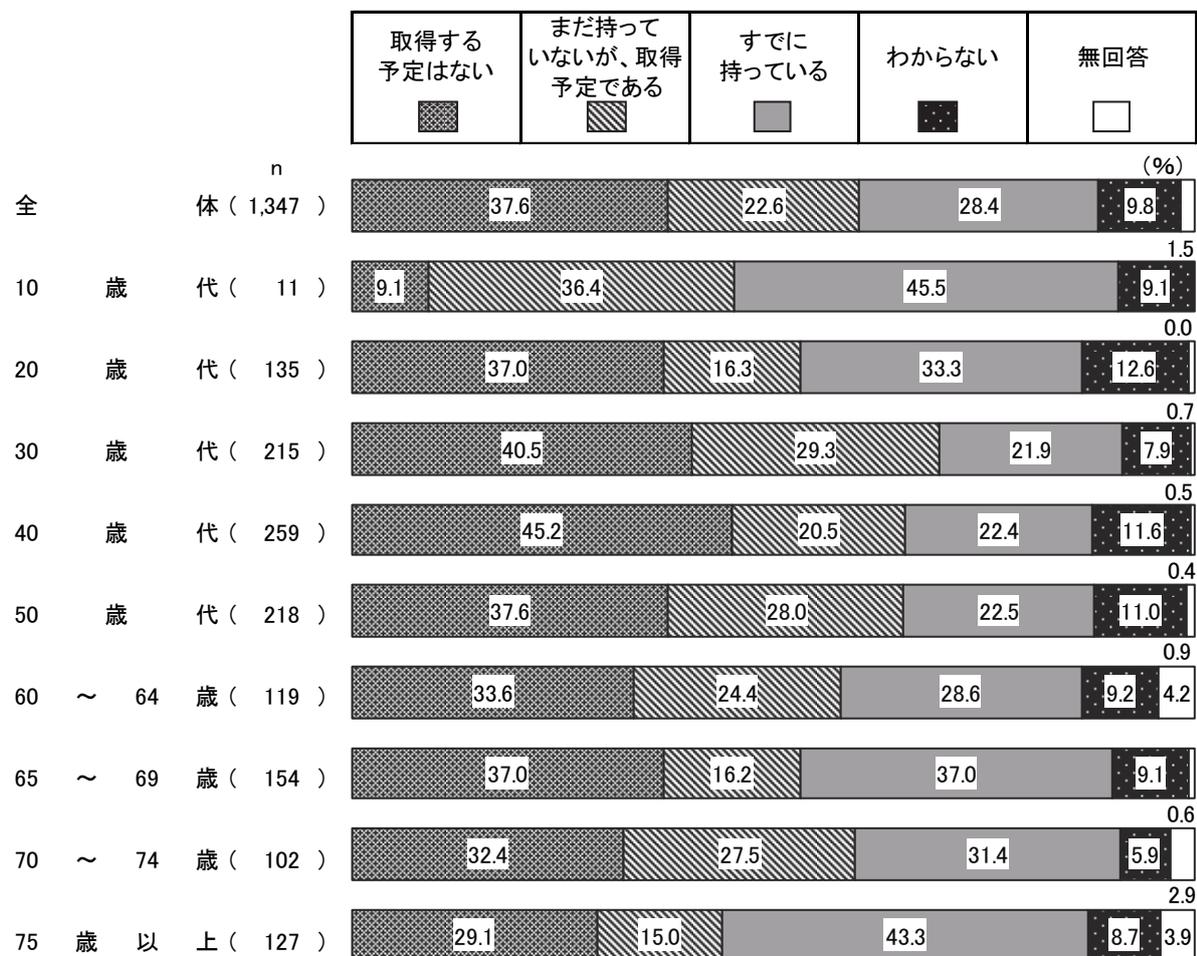
図18-1-2 「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況（性別）



② 年代別

年代別でみると、「取得する予定はない」は40歳代（45.2%）で4割半ば、30歳代（40.5%）で約4割となっています。一方、「すでに持っている」は10歳代（45.5%）、75歳以上（43.3%）で4割台となっていますが、50歳代（22.5%）、40歳代（22.4%）、30歳代（21.9%）では、いずれも2割台と他の年代よりも低くなっています。（図18-1-3）

図18-1-3 「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況（年代別）

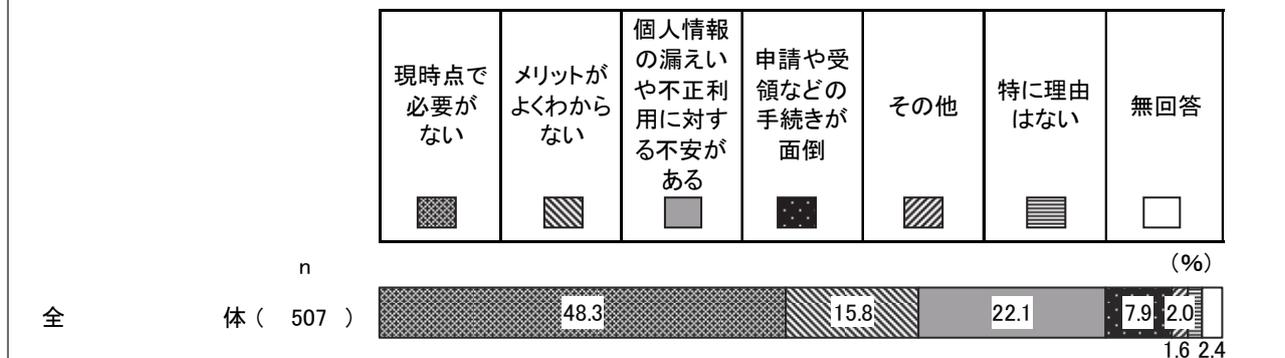


(1-1) 取得していない理由

(問47で「1 取得する予定はない」と回答した方のみ)

問47-1 その理由として該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図18-2-1



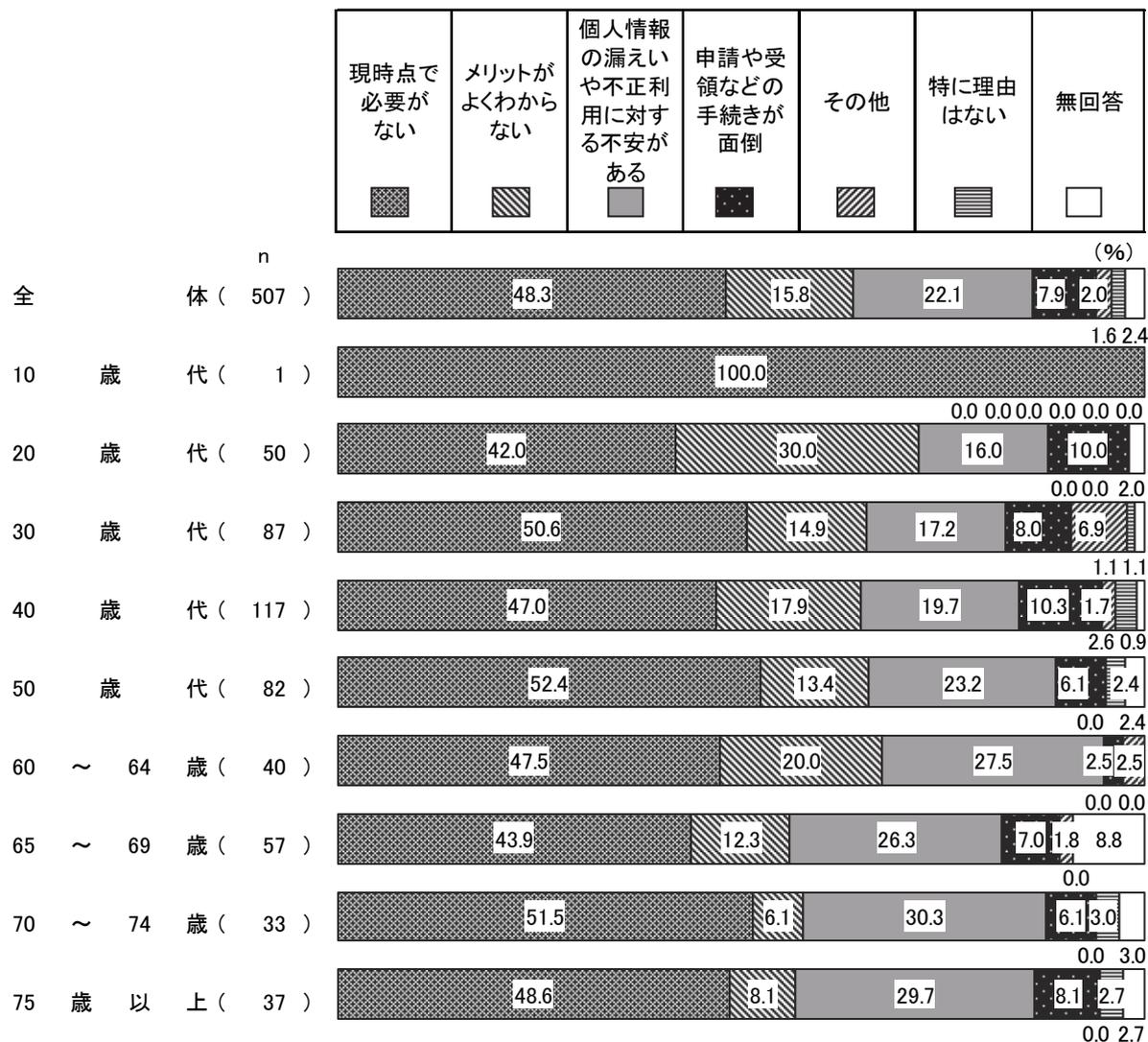
「マイナンバー（個人番号）カード」を取得する予定はない理由を聞いたところ、「現時点で必要がない」（48.3%）が5割近くとなっています。次いで、「個人情報の漏えいや不正利用に対する不安がある」（22.1%）、「メリットがよくわからない」（15.8%）となっています。

(図18-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「現時点で必要がない」は50歳代（52.4%）、70～74歳代（51.5%）で5割を超えています。また、「個人情報の漏えいや不正利用に対する不安がある」は70～74歳（30.3%）、75歳以上（29.7%）で3割前後となっています。（図18-2-2）

図18-2-2 「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況（年代別）



第 3 章



分析

1. 前回調査との比較

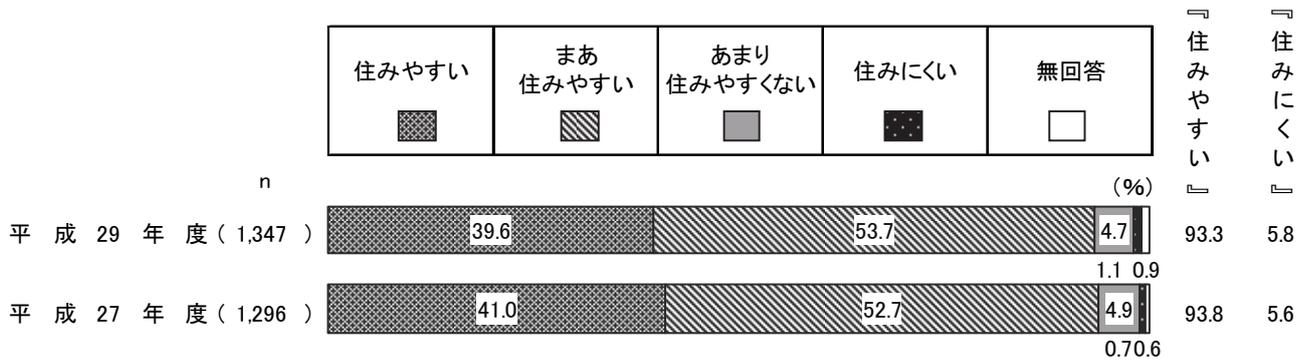
(1) 区での住み心地

① 住みやすさ

板橋区の住みやすさについて、平成27年度と比較して大きな変化はありませんが、「住みやすい」は、平成27年度から1.4ポイント減少し、「まあ住みやすい」が1.0ポイント増加しています。

(図1-1-1)

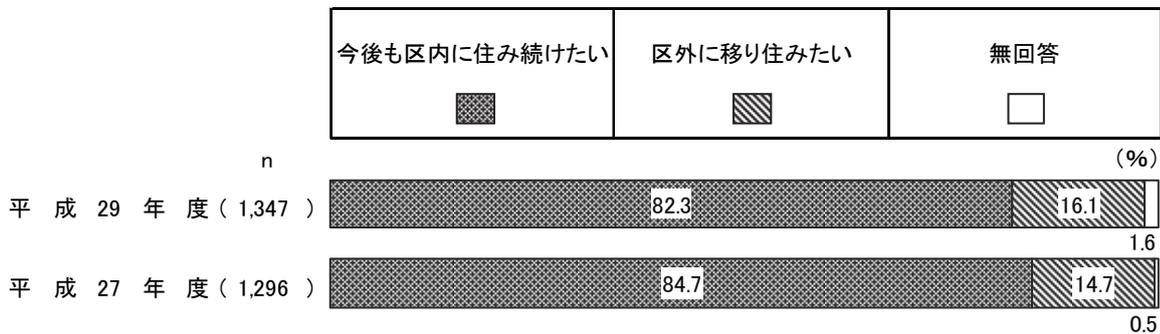
図1-1-1 住みやすさ (経年変化)



② 定住意向

板橋区の定住意向について、平成27年度と比較すると、「今後も区内に住み続けたい」は2.4ポイント減少し、「区外に移り住みたい」が1.4ポイント増加しています。(図1-2-1)

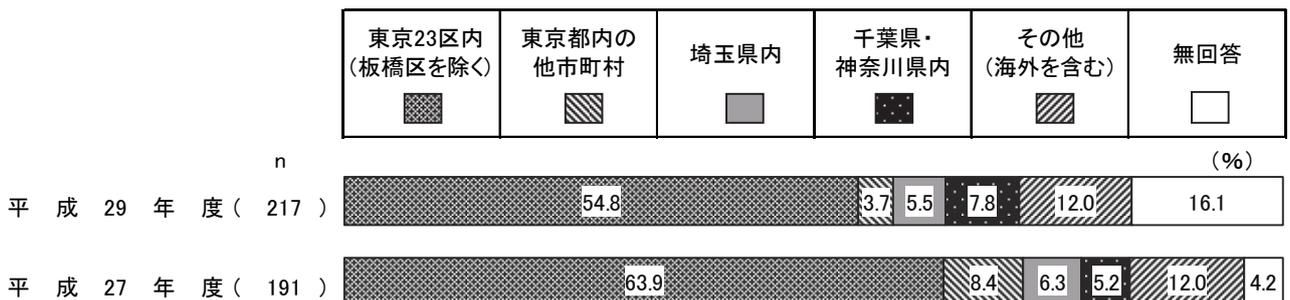
図1-2-1 定住意向 (経年変化)



③ 区外に移り住むとしたら住みたい地域

区外に移り住むとしたら住みたい地域について平成27年度と比較すると、「東京23区内(板橋区を除く)」で9.1ポイント、「東京都内の他市町村」で4.7ポイント減少しています。一方、「千葉県・神奈川県内」は2.6ポイント増加しています。(図1-3-1)

図1-3-1 区外に移り住むとしたら住みたい地域 (経年変化)

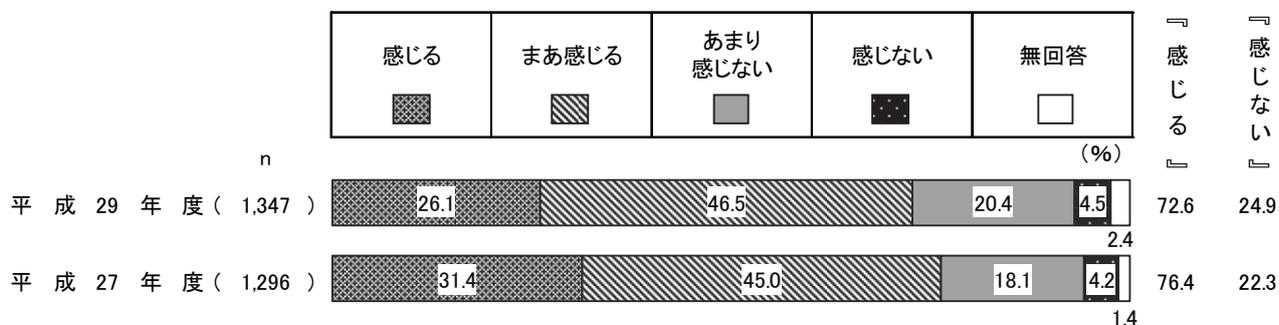


④ 板橋区に対する「愛着」と「誇り」

【愛着】

板橋区に対して愛着を感じるかについて、平成27年度と比較したところ、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた『感じる』が3.8ポイント減少し、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』が2.6ポイント増加しています。（図1-4-1）

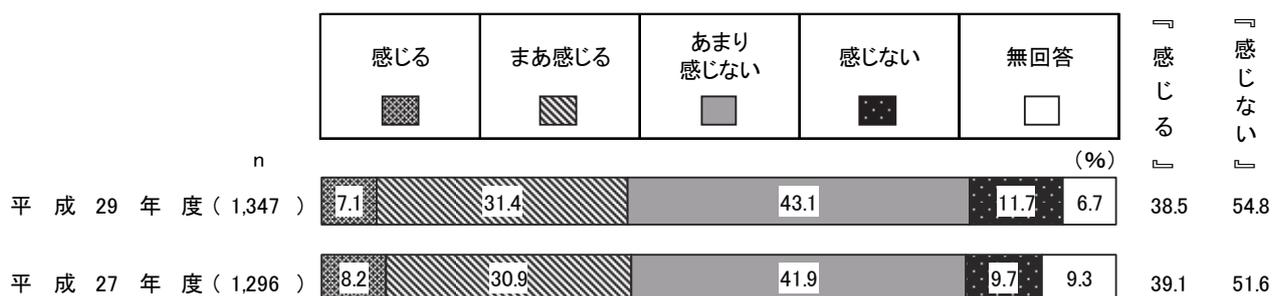
図1-4-1 板橋区に対する愛着（経年変化）



【誇り】

板橋区に対して誇りを感じるかについて、平成27年度と比較したところ、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた『感じる』が0.6ポイント減少し、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』が3.2ポイント増加しています。（図1-4-2）

図1-4-2 板橋区に対する誇り（経年変化）



(2) 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野

今後、区が重点的に力を入れるべきだと思う分野について、重要だと思う順に5つまで聞いたところ、第1位から第5位までの合計の割合では、平成27年度と比較すると「子育て」、「防犯」は1つ順位を上げ1位と2位に、「学校教育」は2つ順位を上げ3位となっています。一方、「介護・高齢福祉・見守り」は、3つ順位を下げ第4位となっています。（表2-1-1）

表2-1-1 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野（経年変化）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成29年度	子育て 49.2	防犯 35.8	学校教育 35.6	介護・高齢福祉・見守り 33.7	高齢者社会参加・介護予防 25.0
平成27年度	介護・高齢福祉・見守り 46.6	子育て 45.4	防犯 36.4	高齢者社会参加・介護予防 32.2	学校教育 29.6

2. 属性別にみた課題抽出

これまでの「住み心地」から「その他」までの調査項目について、属性ごとの主な特徴を挙げると以下のとおりです。

●区での住み心地

問2 住みやすさ (93.3%)

- 住みやすいと感じる人の割合が全体を下回っている属性
 - アルバイト・パート (90.3%)
 - 単身世帯 (88.8%)
 - 未就学児と同居している方 (87.6%)
 - 居住年数5年以上10年未満 (87.9%)

問3 定住意向 (82.3%)

- 住み続けたいと思う人の割合が全体を下回っている属性
 - 20歳代 (66.7%)、30歳代 (74.9%)
 - 高島平地域 (77.4%)
 - 学生 (72.7%)
 - 単身世帯 (75.7%)
 - 未就学児と同居している方 (77.9%)
 - 社宅・寮・間借り・住込み (65.6%)
 - 居住年数1年未満 (63.0%)
 - 直前の居住地域が千葉県・神奈川県内 (71.8%)
- 住み続けたいと思う理由として、30歳代、二世帯同居（子と同居）、小学生と同居している方、居住年数5年以上10年未満が「子育てしやすい環境であるため」、一戸建（賃貸）が「職場・学校が近い」、居住年数1年未満が「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」を上位に挙げています。
- 転出したい地域は、30歳代、赤塚地域、マンション・アパート（賃貸）、居住年数5年以上10年未満、直前の居住地域が埼玉県内が「埼玉県内」、70～74歳、自営業・自由業、75歳以上の家族と同居している方、都市再生機構・公社・都営・区営住宅、直前の居住地域が東京都内の他市町村が「東京都内の他市町村」を上位に挙げています。
- 75歳以上、無職、三世帯同居、75歳以上の家族と同居している方における転出理由として、区外の方が「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」を上位に挙げています。

問4 愛着 (72.6%) と誇り (38.5%)

- 板橋区に愛着と誇りを感じる人の割合が全体を下回っている属性
 - 20歳代（愛着 63.7%、誇り 31.8%）、30歳代（愛着 66.1%、誇り 27.0%）
 - 未就学児と同居している方（愛着 66.2%、誇り 35.2%）
 - 社宅・寮・間借り・住込み（誇り 18.7%）
 - 居住年数1年未満（愛着 44.4%、誇り 18.5%）
- 愛着を感じる理由は10歳代が「伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため」、小学生と同居している方が「子育てしやすい環境であるため」、都市再生機構・公社・都営・区営住宅が「図書館など生涯学習のための環境が充実しているため」、居住年数1年未満が「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」を上位に挙げています。
- 誇りを感じる理由は、10歳代が「区のイメージが良い」、70～74歳、会社役員が「災害（震災や水害）対策が充実しているため」、その他の職業、居住年数1年未満が「環境を守り資源を大切にしているため」を上位に挙げています。

●「子育て安心」について

問5 地域における子育て支援策について

- 重要だと思うものは、10歳代、中学生と同居している方、一戸建（賃貸）、居住年数1年未満が「住宅や生活環境」、70～74歳、都市再生機構・公社・都営・区営住宅が「身近に悩みを相談する場があること」、三世帯同居が「妊娠期からのサポート体制」を上位に挙げています。

問6 子育てを支える担い手について

- 参加してみたいと思うものは、10歳代、学生が「子どもに勉強を教える活動」、70～74歳、会社役員が「子育て関連情報を提供する活動」、未就学児と同居している方、社宅・寮・間借り・住込み、居住年数1年未満が「子育てイベントの企画・運営」を上位に挙げています。

問7 子どもの貧困対策について

- 重要だと思うものは、20歳代、学生、三世帯同居が「若者の就労支援」、65～69歳、会社役員、65～74歳の家族と同居している方、居住年数20年以上が「相談窓口の充実」、中学生と同居している方、直前の居住地域が千葉県・神奈川県が「家庭教育支援の充実」を上位に挙げています。

●「魅力ある学び支援」について

問8 子どもたちのたくましく生きる力 (29.1%)

- 学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じる人の割合が全体を下回っている属性
 - 20歳代 (24.4%)
 - 75歳以上の家族と同居している方 (27.4%)

問9 学校教育を通じて身に付けてほしい力

- 10歳代、学生が「外国語によるコミュニケーション能力」、その他の職業が「もてなしの心」、三世帯同居が「規範意識」を上位に挙げています。

問10 生涯学習活動に取り組む環境づくり

- 重要だと思うものは、20歳代、自営業・自由業、その他の世帯構成が「一緒に楽しむ仲間が作りやすい」、会社員・公務員、社宅・寮・間借り・住込みが「講座や教室等の時間帯が選びやすい」、会社役員、一戸建（賃貸）が「講座や教室等の情報が手に入りやすい」を上位に挙げています。

●「安心の福祉・介護」について

問11 介護状態となることに対する不安 (77.1%)

- 自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じる人の割合が全体を下回っている属性
 - 男性 (72.6%)
 - 20歳代 (68.9%)
- 不安を感じる理由として、10歳代、高島平地域、学生、一戸建（賃貸）、直前の居住地域がその他（海外を含む）が「介護サービスの内容がよくわからない」、単身世帯が「介護してくれる人がいない」、三世帯同居、生まれたときからが「住み慣れた家やまちに住み続けることが難しくなる」を上位に挙げています。

問12 住み慣れた地域で住み続けるための支援策

- 重要だと思うものは、10歳代が「認知症患者を地域で支える取り組み」、60～64歳が「地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり」、学生、三世帯同居が「元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援」、その他の職業、都市再生機構・公社・都営・区営住宅が「高齢者向け住宅の整備」を上位に挙げています。

●「豊かな健康長寿社会」について

問13 いたばし健康づくりプロジェクトについて (66.3%)

- いたばし健康づくりプロジェクトについて、聞いたことがない人の割合が全体を上回っている属性
 - 10歳代 (100.0%)、20歳代 (88.1%)、30歳代 (82.3%)
- いたばし健康づくりプロジェクトを知った方法として、20歳代、学生、一戸建（賃貸）が、「区内に設置されている掲示板」、会社役員、中学生と同居している方、都市再生機構・公社・都営・区営住宅、居住年数1年未満、直前の居住地域が東京都内の他市町村、その他（海外を含む）が「区ホームページ」、居住年数1年以上5年未満、直前の居住地域が埼玉県内、が「SNS（フェイスブック・ツイッター）」を上位に挙げています。

問 14 健康のために普段から行っていること

- 健康のために普段から行っていることとして、20 歳代が、「自分なりのリフレッシュ方法を実践している」、65～69 歳、学生、その他世帯、一戸建（賃貸）が「適度な運動をしている」、70～74 歳、主婦・主夫、中学生と同居している方、居住年数 20 年以上、直前の居住地域が東京都内の他市町村が「規則正しく食事をとるようにしている」を上位に挙げています。

●「心躍るスポーツ・文化」について

問 15 過去 1 年間に鑑賞・体験活動した文化芸術

- 過去 1 年間に鑑賞・体験活動した文化芸術として、40 歳代、二世帯同居（親と同居）、中学生と同居している方が「有形・無形文化財」、75 歳以上が、「落語・漫談・歌唱などの芸能」、社宅・寮・間借り・住込みが「茶道・華道・書道などの生活文化」を上位に挙げています。

問 16 過去 1 年間での外国人とのコミュニケーション

- 過去 1 年間での外国人とのコミュニケーションについて、10 歳代、学生が「世間話をした」、70～74 歳、会社役員、居住年数 1 年以上 5 年未満が「事業・イベント等で外国人と交流した」を上位に挙げています。

問 17 運動・スポーツの頻度

- 運動・スポーツの頻度について、20 歳代、マンション・アパート（賃貸）、居住年数 1 年未満が「月に 1 回～2 回程度」を上位に挙げています。

問 18 戦争体験の語り継ぎ（88.2%）

- 戦争体験を語り継ぐことについて大切だと思う人の割合が全体を下回っている属性
 - 75 歳以上（83.5%）

●「光輝く板橋ブランド・産業活力」について

問 19 いたばし花火大会（54.8%）・板橋区民まつり（25.1%）・板橋農業まつり（13.7%）に対する満足度

- いたばし花火大会の満足度が全体を下回っている属性
 - 70～74 歳（38.2%）、75 歳以上（40.2%）
 - 常盤台地域（36.0%）
 - 居住年数 1 年未満（40.8%）
- 板橋区民まつりの満足度が全体を下回っている属性
 - 20 歳代（19.3%）、30 歳代（16.3%）
 - 高島平地域（17.7%）
 - 居住年数 1 年未満（7.4%）、1 年以上 5 年未満（11.3%）
- 板橋農業まつりの満足度が全体を下回っている属性
 - 板橋地域（8.1%）、常盤台地域（8.0%）
 - 居住年数 1 年未満（1.9%）

問 20 身近な商店街に対する印象

- 身近な商店街に対する印象について、10 歳代、板橋地域、学生、社宅・寮・間借り・住込み、居住年数 1 年未満が「賑やかで活気がある」を上位に挙げています。

問 21 過去 1 年間に農業にふれた機会（86.0%）

- 参加しなかった人の割合が全体を上回っている属性
 - 10 歳代（100.0%）、20 歳代（95.6%）、30 歳代（90.7%）
 - 常盤台地域（96.0%）
 - 学生（97.0%）
 - 居住年数 1 年未満（96.3%）

●「緑と環境共生」について

問 22 自然環境（43.2%）・公園（42.5%）に対する満足度

- 自然環境の満足度が全体を下回っている属性
 - 70～74 歳（35.8%）
 - 板橋地域（39.0%）

○公園の満足度が全体を下回っている属性

- 70～74 歳 (37.1%)
- 板橋地域 (35.3%)

問 23 資源としてごみと分別しているもの

○資源としてごみと分別しているものについて、三世代同居が「新聞・雑誌」を上位に挙げています。

問 24 環境のために取り組んでいること

○環境のために取り組んでいることについて、男性、70～74 歳、会社役員、65～74 歳の家族と同居している方が「節電・節水を心がけている」を上位に挙げています。

●「万全な備えの安心・安全」について

問 25 災害情報を収集するための手段

○災害情報を収集するための手段として、75 歳以上が「防災行政無線」、小学生と同居している方が「板橋区防災・緊急情報メール配信サービス」を上位に挙げています。

問 26 災害に備えた家庭内での対策

○災害に備えた家庭内での対策として、75 歳以上、その他世帯が「生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備」、主婦・主夫、未就学児と同居している方、直前の居住地域が埼玉県内が「簡易トイレの準備」、学生、社宅・寮・間借り・住込みが「家族内での連絡方法の確認」を上位に挙げています。

○備蓄日数については、70～74 歳、高島平地域、主婦・主夫、三世代同居が「4 日分」、一戸建（賃貸）、居住年数 1 年未満が「6 日分」を上位に挙げています。

問 27 住まいの地域の治安 (61.1%)

○住まいの地域の治安が保たれていると感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 女性 (58.2%)
- 板橋地域 (56.8%)
- 東京都内の他市町村 (47.9%)

●「快適で魅力あるまち」について

問 28 ユニバーサルデザインの認知度 (52.8%)

○認知度の割合が全体を下回っている属性

- 65～69 歳 (38.3%)、70～74 歳 (43.2%)、75 歳以上 (29.9%)

○取り組みが進んでいると思う人の割合が全体 (13.5%) を下回っている属性

- 60～64 歳 (4.2%)
- 常盤台地域 (3.7%)

問 29 電車やバスの利用しやすさ (67.3%)

○利用しやすいと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 20 歳代 (52.6%)
- 常盤台地域 (55.0%)

問 30 建築物等とまちなみとの調和 (22.5%)

○建築物等とまちなみとが調和して美しいと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 40 歳代 (18.2%)、50 歳代 (19.7%)
- 志村地域 (19.8%)

●「未来創造戦略」について

問 31 未来創造戦略 I (58.7%)、II (56.3%)、III (42.4%) の重要度

○戦略 I 若い世代の定住化の重要度を高いと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 70～74 歳 (39.2%)、75 歳以上 (30.7%)

- 65～74 歳の家族と同居している方 (52.7%)、75 歳以上の家族と同居している方 (56.5%)

○戦略 II 健康長寿のまちづくりの重要度を高いと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 70～74 歳 (45.1%)、75 歳以上 (40.2%)

- 戦略Ⅲ 未来へつなぐまちづくりの重要度を高いと感じる人の割合が全体を下回っている属性
 - 70～74 歳 (32.3%)、75 歳以上 (21.2%)

●「シティプロモーション（区の魅力情報の発信）」について

問 32 区が発信する情報の伝達度 (14.8%)

- 区からの情報が十分に伝わっていると感じる人の割合が全体を下回っている属性
 - 20 歳代 (8.9%)、30 歳代 (9.8%)、40 歳代 (10.4%)、50 歳代 (8.7%)

問 33 区に関する情報の入手方法

- 区に関する情報の取得先に関して、10 歳代、学生が「SNS (フェイスブック・ツイッター)」、未就学児と同居している方が「パンフレット「itappy」(楽しい子育て向け冊子)」を上位に挙げています。

●「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」について

問 34 区に期待すること

- 区に期待することとして、10 歳代、会社役員、一戸建 (賃貸) が「日本人選手や外国人選手との交流機会の創出」、その他世帯、社宅・寮・間借り・住込みが「事前キャンプ等の外国選手団の誘致」、直前の居住地域が東京都内の他市町村が「外国人とのコミュニケーション方法に関する語学講座の充実」を上位に挙げています。

問 35 参加方法 (関わり方)

- 参加方法 (関わり方) に関して、女性、10 歳代、学生、その他世帯、中学生と同居している方、一戸建 (賃貸)、居住年数 1 年未満、直前の居住地域が埼玉県内が「大会運営補助や観光案内などのボランティア」、三世帯同居、小学生と同居している方が「スポーツイベントなどへの参加」を上位に挙げています。

問 36 レガシー (遺産) として期待すること

- レガシー (遺産) として期待することは 10 歳代、会社役員、居住年数 1 年未満が「国際理解・多文化理解が進んでいる」、その他世帯が「ボランティアが盛んになっている」を上位に挙げています。

●社会活動・地域活動等

問 37 社会活動・地域活動等への参加状況

- 過去 1 年間に参加した社会活動・地域活動等は会社役員、学生が「高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動」、小学生と同居している方が「PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動」を上位に挙げています。

問 38 町会・自治会、NPO 団体への加入状況 (39.0%)

- 現在、町会・自治会や NPO 団体に加入している人の割合が全体を下回っている属性
 - 10 歳代 (9.1%)、20 歳代 (14.1%)
 - マンション・アパート (賃貸) (9.2%)
- 加入していない理由として、70～74 歳が「活動のための知識や技術がないため」、会社役員が「加入しても活動のペースが合わないため」、その他世帯が「一緒に活動する仲間がないため」、一戸建 (賃貸) が「加入方法がわからないため」を上位に挙げています。

問 39 地域の活動を活発にするために必要なこと

- 地域の活動を活発にするために必要なことは、20 歳代、学生が「若い世代への参加の呼びかけ」、75 歳以上、その他の職業、一戸建 (持ち家)、居住年数 20 年以上、直前の居住地域が埼玉県内が「近所の人とのつながりをつくれるようにすること」を上位に挙げています。

問 40 地域センターの利用状況 (32.1%)

- 過去 3 年間に地域センターを利用した人の割合が全体を下回っている属性
 - 10 歳代 (18.2%)、20 歳代 (19.3%)
 - 居住年数 1 年以上 5 年未満 (5.6%)
- 地域センターの利用目的は、75 歳以上、高島平地域、その他世帯、一戸建 (賃貸)、居住年数 1 年未満、直前の居住地域がその他 (海外を含む) が「地域交流イベントに参加するため」、

マンション・アパート（賃貸）が「区政に関するチラシ、申請書等を入手するため」、居住年数1年以上5年未満が「区政等の各種相談をするため」を上位に挙げています。

問 41 地域センターに求めるサービス

- 地域センターに求めるサービスとして、50歳代、その他世帯が「区政に関するチラシ・申請書等が入手できること」、70～74歳が「町会・自治会等の地域活動団体へのサポートが行われること」、三世帯同居、直前の居住地域が千葉県・神奈川県内が「区政等の各種相談ができること」を上位に挙げています。

●今後の行政サービスと負担のあり方

問 42 税金に見合った行政サービスの提供（23.7%）

- 税金に見合ったサービスが受けられていると感じる人の割合が全体を下回っている属性
 - 10歳代（9.1%）、20歳代（18.5%）、60～64歳（18.5%）
 - 板橋地域（19.9%）、赤塚地域（20.4%）

問 43 将来的な行政サービスと住民負担のバランス

- 「サービス拡大・負担増」が「サービス縮小・負担減」よりも高い属性
 - 20歳代
- 「サービス維持・負担増」が「サービス縮小・負担維持」よりも高い属性
 - 学生、小学生と同居
- 「サービス拡大・負担増」が「サービス維持・負担増」よりも高い属性
 - 中学生と同居、居住年数1年未満

問 44 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野

- 重点的に力を入れるべき分野は、10歳代が「市街地整備・まちづくり」、学生が「就労支援」、未就学児と同居している方、直前の居住地域が東京都内の他市町村が「緑・公園・景観」、マンション・アパート（賃貸）が「住宅施策」、居住年数1年未満が「商業振興」を上位5位までに挙げています。

●板橋区職員に期待する能力・資質

問 45 最近1年間での職員と接する機会の有無（40.2%）

- 最近1年間での職員と接する機会がなかった人の割合が全体を上回っている属性
 - 10歳代（81.8%）
 - 学生（54.5%）
- 接した職員に対する満足度が高い人の割合が全体を下回っている属性
 - 10歳代（50.0%）、30歳代（58.6%）、60～64歳（60.3%）
 - 常盤台地域（52.7%）

問 46 職員に求める姿

- 職員に求める姿は会社役員、居住年数1年未満が「事務処理に関して迅速な対応ができる職員」、その他世帯が「積極的に職務に取り組む職員」を上位に挙げています。

●その他

問 47 「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況（28.4%）

- すでに持っている人の割合が全体を下回っている属性
 - 女性（26.5%）
 - 40歳代（22.4%）
- 取得する予定のない理由は未就学児と同居している方が「申請や受領などの手続きが面倒」、社宅・寮・間借り・住込みが「メリットがよくわからない」を上位に挙げています。

属性ごとの主な特徴一覧

属性	調査項目				
	問2 住みやすさ	問3 定住意向	問3-1 定住理由	問3-2 転出先	問3-3 転出理由
属性	全体93.3%	全体82.3%	①長期定住 ②通勤・通学 ③消費生活・利便 ④治安 ⑤家族・親戚	①23区内 ②その他(海外を含む) ③千葉・神奈川	①通勤・通学 ②消費生活・利便 ③緑・公園・景観 ④イメージ ⑤家族・親戚
性別					
年代別		■20歳代 66.7% ■30歳代 74.9%	■30歳代 「子育て」が上位	■30歳代 「埼玉県内」が上位 ■70～74歳 「東京都内の他市町村」が上位	■75歳以上 「医療・福祉・介護」 が上位
地域別		■高島平地域 77.4%		■赤塚地域 「埼玉県内」が上位	
職業別	■アルバイト・パート 90.3%	■学生 72.7%		■自営業・自由業 「東京都内の他市町村」が上位	■無職 「医療・福祉・介護」 が上位
世帯構成別	■単身世帯 88.8%	■単身世帯 75.7%	■二世帯同居 (子と同居) 「子育て」が上位		■三世帯同居 「医療・福祉・介護」 が上位
同居家族	■未就学児 87.6%	■未就学児 77.9%	■小学生 「子育て」が上位	■75歳以上の家族 「東京都内の他市町村」が上位	■75歳以上の家族 「医療・福祉・介護」 が上位
住居形態		■社宅等 65.6%	■一戸建(賃貸) 「通勤・通学」が上位	■マンション・アパート(賃貸) 「埼玉県内」が上位 ■都市再生機構等 「東京都内の他市町村」が上位	
居住年数別	■5～10年 87.9%	■1年未満 63.0%	■1年未満 「不動産」が上位 ■5～10年 「子育て」が上位	■5～10年 「埼玉県内」が上位	
直前の 居住地別		■千葉県・神奈川県内 71.8%		■東京都内の他市町村 「東京都内の他市町村」が上位 ■埼玉県内 「埼玉県内」が上位	

※P209～P214に記載した属性ごとの主な特徴をまとめたものです。

属性	調査項目				
	問4 愛着 感じる72.6%	問4 誇り 感じる38.5%	問4-1 愛着理由 ①長期定住 ②通勤・通学 ③消費生活・利便 ④治安 ⑤緑・公園・景観	問4-1 誇り理由 ①治安 ②緑・公園・景観 ③通勤・通学 ④医療・福祉・介護 ⑤長期定住	問5 子育て支援策 ①保育サービス ②安心して遊べる場 ③経済負担軽減 ④両立支援
性別					
年代別	■20歳代 63.7% ■30歳代 66.1%	■20歳代 31.8% ■30歳代 27.0%	■10歳代 「伝統芸能等」が上位	■10歳代 「区のイメージ」が上位 ■70～74歳 「災害対策」が上位	■10歳代 「住宅や生活環境」が上位 ■70～74歳 「相談の場」が上位
地域別					
職業別				■会社役員 「災害対策」が上位 ■その他 「環境・資源」が上位	
世帯構成別					■三世帯同居 「妊娠期」が上位
同居家族	■未就学児 66.2%	■未就学児 35.2%	■小学生 「子育て」が上位		■中学生 「住宅や生活環境」が上位
住居形態		■社宅等 18.7%	■都市再生機構等 「生涯学習」が上位		■一戸建(賃貸) 「住宅や生活環境」が上位 ■都市再生機構等 「相談の場」が上位
居住年数別	■1年未満 44.4%	■1年未満 18.5%	■1年未満 「不動産」が上位	■1年未満 「環境・資源」が上位	■1年未満 「住宅や生活環境」が上位
直前の 居住地別					

属性	調査項目				
	問6 地域における子育て ①特にな ②見守り運動 ③サポート活動 ④直接的支援 ⑤相談	問7 子供の貧困対策 ①経済的支援 ②居場所づくり ③学力の定着・向上・機会均等 ④親の就労支援 ⑤子育て環境	問8 学び支援 感じる 29.1%	問9 学校教育 ①基礎学力 ②仲間を思いやる心 ③責任感 ④主体的・能動的 ⑤好奇心・探求心	問10 生涯学習 ①身近な活動する場 ②費用がかからない ③始めるきっかけが豊富
性別					
年代別	■10歳代 「勉強」が上位 ■70～74歳 「関連情報提供」が上位	■20歳代 「若者の就労支援」が上位 ■65～69歳 「相談窓口の充実」が上位	■20歳代 24.4%	■10歳代 「外国語」が上位	■20歳代 「仲間作り」が上位
地域別					
職業別	■会社役員 「関連情報提供」が上位 ■学生 「勉強」が上位	■会社役員 「相談窓口の充実」が上位 ■学生 「若者の就労支援」が上位		■学生 「外国語」が上位 ■その他 「もてなしの心」が上位	■会社員・公務員 「時間帯が選びやすい」が上位 ■自営業・自由業 「仲間作り」が上位 ■会社役員 「情報の入手しやすさ」が上位
世帯構成別		■三世同居 「若者の就労支援」が上位		■三世同居 「規範意識」が上位	■その他 「仲間作り」が上位
同居家族	■未就学児 「子育てイベント」が上位	■中学生 「家庭教育支援の充実」が上位 ■65～74歳の家族 「相談窓口の充実」が上位	■75歳以上の家族 27.4%		
住居形態	■社宅等 「子育てイベント」が上位				■一戸建(賃貸) 「情報の入手しやすさ」が上位 ■社宅等 「時間帯が選びやすい」が上位
居住年数別	■1年未満 「子育てイベント」が上位	■20年以上 「相談窓口の充実」が上位			
直前の居住地別		■千葉県・神奈川県 「家庭教育支援の充実」が上位			

属性	調査項目			
	問11 介護に対する不安を感じる 77.1%	問11-1 介護に対する不安理由 ①家族に迷惑 ②金銭的余裕 ③施設に入れない	問12 住み慣れた土地で住み続けるために ①見守り体制 ②介護サービス提供者との結びつき ③在宅医療と介護サービスの連携	問13 いたばし健康づくりプロジェクト聞いたことがない 66.3%
性別	■男性 72.6%			
年代別	■20歳代 68.9%	■10歳代 「介護サービス内容の不明」が上位	■10歳代 「認知症患者」が上位 ■60～64歳 「地域密着型介護サービス」が上位	■10歳代 100.0% ■20歳代 88.1% ■30歳代 82.3%
地域別		■高島平地域 「介護サービス内容の不明」が上位		
職業別		■学生 「介護サービス内容の不明」が上位	■学生 「高齢者の社会参加活動」が上位 ■その他 「高齢者向け住宅」が上位	
世帯構成別		■単身世帯 「介護者不在」が上位 ■三世帯同居 「定住困難」が上位	■三世帯同居 「高齢者の社会参加活動」が上位	
同居家族				
住居形態		■一戸建(賃貸) 「介護サービス内容の不明」が上位	■都市再生機構等 「高齢者向け住宅」が上位	
居住年数別		■生まれたときから 「定住困難」が上位		
直前の居住地別		■その他(海外を含む) 「介護サービス内容の不明」が上位		

属性	調査項目			
	問13-1 いたばし健康づくりプロジェクトの認知方法 ①広報いたばし ②区の刊行物 ③覚えていない	問14 健康のためにやっていること ①健康診断等の受診 ②栄養バランス ③歩く ④禁煙 ⑤口腔ケア	問15 鑑賞・体験活動した文化芸術 ①メディア芸術 ②音楽 ③美術・写真 ④1年間全くふれていない ⑤演劇・舞踏・舞踊	問16 外国人とのコミュニケーション ①全くなかった ②あいさつ ③道案内
性別				
年代別	■20歳代 「区内掲示板」が上位	■20歳代 「リフレッシュ方法」が上位 ■65～69歳 「適度な運動」が上位 ■70～74歳 「規則正しい食事」が上位	■40歳代 「有形・無形文化財」が上位 ■75歳以上 「落語・漫談・歌唱」が上位	■10歳代 「世間話」が上位 ■70～74歳 「事業・イベント」が上位
地域別				
職業別	■会社役員 「区ホームページ」が上位 ■学生 「区内掲示板」が上位	■主婦・主夫 「規則正しい食事」が上位 ■学生 「適度な運動」が上位		■会社役員 「事業・イベント」が上位 ■学生 「世間話」が上位
世帯構成別		■その他 「適度な運動」が上位	■二世帯同居(親と同居) 「有形・無形文化財」が上位	
同居家族	■中学生 「区ホームページ」が上位	■中学生 「規則正しい食事」が上位	■中学生 「有形・無形文化財」が上位	
住居形態	■一戸建(賃貸) 「区内掲示板」が上位 ■都市再生機構等 「区ホームページ」が上位	■一戸建(賃貸) 「適度な運動」が上位	■社宅等 「茶道・華道・書道」が上位	
居住年数別	■1年未満 「区ホームページ」が上位 ■1～5年 「SNS」が上位	■20年以上 「規則正しい食事」が上位		■1～5年 「事業・イベント」が上位
直前の居住地別	■東京都内の他市町村 ■その他(海外を含む) 「区ホームページ」が上位 ■埼玉県内 「SNS」が上位	■東京都内の他市町村 「規則正しい食事」が上位		

属性	調査項目				
	問17 運動・スポーツ	問18 戦争体験の語り継ぎ	問19 区のイベントに対する満足度		
	①行っていない ②週1回～2回 ③週3回以上	大切に思う 88.2%	いたばし花火大会 満足 54.8%	板橋区民まつり 満足 25.1%	板橋農業まつり 満足 13.7%
性別					
年代別	■20歳代 「月1回～2回」が上位	■75歳以上 83.5%	■70～74歳 38.2% ■75歳以上 40.2%	■20歳代 19.3% ■30歳代 16.3%	
地域別			■常盤台地域 36.0%	■高島平地域 17.7%	■板橋地域 8.1% ■常盤台地域 8.0%
職業別					
世帯構成別					
同居家族					
住居形態	■マンション・アパート(賃貸) 「月1回～2回」が上位				
居住年数別	■1年未満 「月1回～2回」が上位		■1年未満 40.8%	■1年未満 7.4% ■1年以上5年未満 11.3%	■1年未満 1.9%
直前の 居住地別					

属性	調査項目			
	問20 身近な商店街に対する印象	問21 農業にふれた機会	問22 自然環境・公園に対する満足度	
	①身近で便利 ②空き店舗が多い ③人通りが少ない	いずれにも参加しなかった 86.0%	緑地保全 満足 43.2%	公園整備 満足 42.5%
性別				
年代別	■10歳代 「賑やかで活気がある」が上位	■10歳代 100% ■20歳代 95.6% ■30歳代 90.7%	■70～74歳 35.8%	■70～74歳 37.1%
地域別	■板橋地域 「賑やかで活気がある」が上位	■常盤台地域 96.0%	■板橋地域 39.0%	■板橋地域 35.3%
職業別	■学生 「賑やかで活気がある」が上位	■学生 97.0%		
世帯構成別				
同居家族				
住居形態	■社宅等 「賑やかで活気がある」が上位			
居住年数別	■1年未満 「賑やかで活気がある」が上位	■1年未満 96.3%		
直前の 居住地別				

属性	調査項目			
	問23 ごみ分別	問24 環境のための取り組み	問25 災害情報収集手段	問26 災害時の対策
	①びん・缶 ②ペットボトル ③段ボール	①マイバッグ ②冷暖房の設定温度 ③使い切り	①テレビ ②インターネット ③ラジオ	①飲料水・非常用食料 ②避難場所・経路の確認 ③家具の転倒、物の落下の防止
性別		■男性 「節電・節水」が上位		
年代別		■70～74歳 「節電・節水」が上位	■75歳以上 「防災行政無線」が上位	■75歳以上 「生活用品、医薬品準備」が上位
地域別				
職業別		■会社役員 「節電・節水」が上位		■主婦・主夫 「簡易トイレの準備」が上位 ■学生 「家族内での連絡方法の確認」が上位
世帯構成別	■三世同居 「新聞・雑誌」が上位			■その他 「生活用品、医薬品準備」が上位
同居家族		■65～74歳の家族 「節電・節水」が上位	■小学生 「防災・緊急情報メール」が上位	■未就学児 「簡易トイレの準備」が上位
住居形態				■社宅等 「家族内での連絡方法の確認」が上位
居住年数別				
直前の居住地別				■埼玉県内 「簡易トイレの準備」が上位

属性	調査項目			
	問26-1 備蓄日数 ①3日未満 ②3日分 ③7日分 ④8日以上 ⑤5日分	問27 地域の治安 感じる 61.1%	問28 ユニバーサルデザイン 認知度 52.8%	問28-1 ユニバーサルデザインの 取り組みの進み具合 思う 13.5%
性別		■女性 58.2%		
年代別	■70～74歳 「4日分」が上位		■65～69歳 38.3% ■70～74歳 43.2% ■75歳以上 29.9%	■60～64歳 4.2%
地域別	■高島平地域 「4日分」が上位	■板橋地域 56.8%		■常盤台地域 3.7%
職業別	■主婦・主夫 「4日分」が上位			
世帯構成別	■三世代同居 「4日分」が上位			
同居家族				
住居形態	■一戸建(賃貸) 「6日分」が上位			
居住年数別	■1年未満 「6日分」が上位			
直前の 居住地別		■東京都内の他市町村 47.9%		

属性	調査項目				
	問29 電車、バスの利便性 感じる 67.3%	問30 建築物との調和 感じる 22.5%	問31 未来創造戦略 戦略Ⅰ 高い 58.7%	問31 未来創造戦略 戦略Ⅱ 高い 56.3%	問31 未来創造戦略 戦略Ⅲ 高い 42.4%
性別					
年代別	■20歳代 52.6%	■40歳代 18.2% ■50歳代 19.7%	■70～74歳 39.2% ■75歳以上 30.7%	■70～74歳 45.1% ■75歳以上 40.2%	■70～74歳 32.3% ■75歳以上 21.2%
地域別	■常盤台地域 55.0%	■志村地域 19.8%			
職業別					
世帯構成別					
同居家族			■65～74歳 の家族 52.7% ■75歳以上 の家族 56.5%		
住居形態					
居住年数別					
直前の 居住地別					

属性	調査項目			
	問32 シティプロモーション 伝わっている 14.8%	問33 区の情報の入手方法	問34 オリンピック・パラリンピック 区への期待	問35 オリンピック・パラリンピック への関わり
性別				■女性 「ボランティア」が上位
年代別	■20歳代 8.9% ■30歳代 9.8% ■40歳代 10.4% ■50歳代 8.7%	■10歳代 「SNS」が上位	■10歳代 「選手との交流機会の創出」が上位	■10歳代 「ボランティア」が上位
地域別				
職業別		■学生 「SNS」が上位	■会社役員 「選手との交流機会の創出」が上位	■学生 「ボランティア」が上位
世帯構成別			■その他 「外国選手団の誘致」が上位	■三世帯同居 「スポーツイベント参加」が上位 ■その他 「ボランティア」が上位
同居家族		■未就学児 「パンフレット「itappy」」が上位		■小学生 「スポーツイベント参加」が上位 ■中学生 「ボランティア」が上位
住居形態			■一戸建(賃貸) 「選手との交流機会の創出」が上位 ■社宅等 「外国選手団の誘致」が上位	■一戸建(賃貸) 「ボランティア」が上位
居住年数別				■1年未満 「ボランティア」が上位
直前の 居住地別			■東京都内の他市町村 「語学講座の充実」が上位	■埼玉県内 「ボランティア」が上位

属性	調査項目			
	問36 レガシー	問37 社会活動・地域活動等への参加状況	問38 町会・自治会、NPO団体への加入状況 町会・自治会 39.0%	問38-1 未加入理由
属性	①子どもたちの夢や希望 ②特にな ③スポーツを楽しむ機会 ④スポーツ施設の充実 ⑤障がい者への理解促進	①いづれにも参加していない ②町会・自治会等の活動 ③趣味・スポーツ		①暇がない ②必要性を感じていない ③加入したい団体を知らない ④きっかけがない ⑤無関心
性別				
年代別	■10歳代 「国際理解・多文化理解」が上位		■10歳代 9.1% ■20歳代 14.1%	■70～74歳 「知識や技術がない」が上位
地域別				
職業別	■会社役員 「国際理解・多文化理解」が上位	■会社役員、学生 「ボランティア・社会奉仕」が上位		■会社役員 「活動のベースが合わない」が上位
世帯構成別	■その他 「ボランティア」が上位			■その他 「一緒に活動する仲間がいない」が上位
同居家族		■小学生 「学校関係」が上位		
住居形態			■マンション・アパート(賃貸) 9.2%	■一戸建(賃貸) 「加入方法がわからない」が上位
居住年数別	■1年未満 「国際理解・多文化理解」が上位			
直前の居住地別				

属性	調査項目			
	問39 地域活動の活発化	問40 地域センターの利用	問40-1地域センターの利用目的	問41 地域センターに求めるサービス
属性	①イベント ②地域への関心 ③活動情報のPR	利用した 32.1%	①証明書自動交付機 ②地域行事での集会室等の予約・利用 ③私用での集会室等の予約・利用	①特にな ②地域交流イベント ③集会室等の利用
性別				
年代別	■20歳代 「若い世代への参加の呼びかけ」が上位 ■75歳以上 「近所とのつながり」が上位	■10歳代 18.2% ■20歳代 19.3%	■75歳以上 「地域交流イベント」が上位	■50歳代 「申請書等入手」が上位 ■70～74歳 「地域活動団体へのサポート」が上位
地域別			■高島平地域 「地域交流イベント」が上位	
職業別	■学生 「若い世代への参加の呼びかけ」が上位 ■その他 「近所とのつながり」が上位			
世帯構成別			■その他 「地域交流イベント」が上位	■三世同居 「区政等の各種相談」が上位 ■その他 「申請書等入手」が上位
同居家族				
住居形態	■一戸建(持ち家) 「近所とのつながり」が上位		■一戸建(賃貸) 「地域交流イベント」が上位 ■マンション・アパート(賃貸) 「申請書等入手」が上位	
居住年数別	■20年以上 「近所とのつながり」が上位	■1年未満 5.6%	■1年未満 「地域交流イベント」が上位 ■1～5年 「各種相談をするため」が上位	
直前の居住地別	■埼玉県内 「近所とのつながり」が上位		■その他(海外を含む) 「地域交流イベント」が上位	■千葉県・神奈川県内 「区政等の各種相談」が上位

属性	調査項目			
	問42 税金に見合った行政サービス 感じられる 23.7%	問43 行政サービスと 住民負担のバランス ①サービス縮小・負担維持 33.9% ②サービス維持・負担増 19.4% ③サービス縮小・負担減 18.7% ④サービス拡大・負担増 10.7%	問44 重点的に力を入れるべき分野 ①子育て ②防犯 ③学校教育 ④介護・高齢福祉・見守り ⑤高齢者社会参加・介護予防	問45 区の職員と接する機会の有無 接する機会がなかった 40.2%
性別				
年代別	■10歳代 9.1% ■20歳代 18.5% ■60～64歳 18.5%	■20歳代では、「サービス拡大・負担増」の割合が「サービス縮小・負担減」の割合よりも高い	■10歳代 「市街地整備・まちづくり」が上位	■10歳代 81.8%
地域別	■板橋地域 19.9% ■赤塚地域 20.4%			
職業別		■学生では、「サービス維持・負担増」の割合が「サービス縮小・負担維持」の割合よりも高い	■学生 「就労支援」が上位	■学生 54.5%
世帯構成別				
同居家族		■小学生と同居している世帯では、「サービス維持・負担増」の割合が「サービス縮小・負担維持」の割合よりも高い ■中学生と同居している世帯では、「サービス拡大・負担増」の割合が「サービス維持・負担増」の割合よりも高い	■未就学児 「緑・公園・景観」が上位	
住居形態			■マンション・アパート(賃貸) 「住宅施策」が上位	
居住年数別		■1年未満の世帯では、「サービス拡大・負担増」の割合が「サービス維持・負担増」の割合よりも高い	■1年未満 「商業振興」が上位	
直前の居住地別			■東京都内の他市町村 「緑・公園・景観」が上位	

属性	調査項目			
	問45-1 職員の対応に対する満足度	問46 職員に求める姿	問47 マイナンバーカード取得状況	問47-1 取得しない理由
	満足 64.8%	①誰に対しても公平・誠実 ②柔軟な対応 ③わかりやすい説明 ④責任を持っている ⑤十分な知識を持ち、区の課題を解決	すでに持っている 28.4%	①現時点で必要がない ②個人情報の漏えいや不正利用に対する不安 ③メリットがよくわからない ④手続きが面倒
性別			■女性 26.5%	
年代別	■10歳代 50.0% ■30歳代 58.6% ■60～64歳 60.3%		■40歳代 22.4%	
地域別	■常盤台地域 52.7%			
職業別		■会社役員 「迅速な対応ができる職員」が上位		
世帯構成別		■その他 「積極的に職務に取り組む職員」が上位		
同居家族				■未就学児 「手続きが面倒」が上位
住居形態				■社宅等 「メリットがよくわからない」が上位
居住年数別		■1年未満 「迅速な対応ができる職員」が上位		
直前の居住地別				

第4章



集計表

1. 単純集計表

(1) 属性

回答方法

上段：件数
下段：%

全 体	W e b	郵 送
1,347 100.0	208 15.4	1,139 84.6

問1 次の各質問について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

ア あなたの性別は、

全 体	男 性	女 性	回 答 し な い	無 回 答
1,347 100.0	574 42.6	743 55.2	2 0.1	28 2.1

イ あなたの年齢は、

全 体	1 0 歳 代	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代 ～ 6 4 歳	6 5 歳 代 ～ 6 9 歳	7 0 歳 代 ～ 7 4 歳	7 5 歳 以 上	無 回 答
1,347 100.0	11 0.8	135 10.0	215 16.0	259 19.2	218 16.2	119 8.8	154 11.4	102 7.6	127 9.4	7 0.5

ウ あなたがお住まいの地域は、

全 体	仲板 宿橋・地 域(板 橋・富 士・熊 野・)	盤常 台盤・台 桜地域 (大谷 口・常)	上志 村地域 (清水 ・志 村坂)	増赤 塚地域 (下赤 塚・成)	渡高 島高平 地域(蓮 根・舟)	無 回 答
1,347 100.0	331 24.6	200 14.8	288 21.4	279 20.7	243 18.0	6 0.4

エ あなたの国籍は、

全 体	日本	日本以外	無回答
1,347 100.0	1,191 88.4	24 1.8	132 9.8

オ あなたの職業は、

全 体	会社員・公務員	自営業・自由業	会社役員	主婦・主夫	学生	アルバイト・パート	無職	その他	無回答
1,347 100.0	500 37.1	85 6.3	33 2.4	221 16.4	33 2.4	186 13.8	217 16.1	50 3.7	22 1.6

カ あなたのお宅の世帯の構成は、

全 体	単身世帯	夫婦のみ	二世帯同居（子と同居）	二世帯同居（親と同居）	三世帯同居	その他	無回答
1,347 100.0	296 22.0	287 21.3	493 36.6	190 14.1	33 2.4	41 3.0	7 0.5

キ あなた自身を除き、あなたのお宅に同居する家族は、（複数回答可）

全 体	未就学児	小学生	中学生	65～74歳の家族	75歳以上の家族	15～50以外の家族と同居	無回答
1,347 100.0	145 10.8	116 8.6	75 5.6	203 15.1	161 12.0	710 52.7	341 25.3

ク あなたのお住まいの家の住居形態は

全 体	一戸建 (持ち家)	一戸建 (賃貸)	マンション (持ち家)	マンション・アパート (賃貸)	住宅 ・ 都営住宅 ・ 区営住宅	都市再生機構 ・ 公社 住宅	社宅 ・ 寮 ・ 間借り ・ 住込み	その他 (ケア付住宅な ど)	無 回 答
1,347 100.0	447 33.2	25 1.9	389 28.9	340 25.2	101 7.5	32 2.4	6 0.4	7 0.5	

ケ あなたは板橋区にお住まいになって通算で何年になりますか。

全 体	1年未 満	1年以 上5年未 満	5年以 上10年未 満	10年以 上20年未 満	「20年以 上(次の 6」を除く)	生 ま れ た と き か ら	無 回 答
1,347 100.0	54 4.0	168 12.5	132 9.8	238 17.7	522 38.8	222 16.5	11 0.8

(ケで「生まれたときから」以外に回答した方のみ)

コ あなたは、板橋区に来られる直前にどちらにお住まいでしたか。

全 体	東京23 区内 (板橋区 を除く)	東京都 内の他 市町村	埼玉 県内	千葉 県・ 神奈 川 県内	そ の 他 (海 外 を 含 む)	無 回 答
1,114 100.0	519 46.6	71 6.4	168 15.1	85 7.6	180 16.2	91 8.2

(2) 区での住み心地

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	住 み や す い	ま あ 住 み や す い	あ ま り 住 み や す く な い	住 み に く い	無 回 答	『住 み や す い』	『住 み に く い』
1,347 100.0	534 39.6	723 53.7	63 4.7	15 1.1	12 0.9	1,257 93.3	78 5.8

問3 あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	今後も区内に住み続けたい	区外に移り住みたい	無回答
1,347 100.0	1,108 82.3	217 16.1	22 1.6

(問3で「今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ)

問3-1 そう思った主な理由は何ですか。
該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全 体	子育てしやすい環境であるため	子どものための教育環境が充実しているため	子どもが安全・健康的に育つ環境が充実しているため	健康づくり・スポーツに取組みやすい環境であるため	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	不動産価格や家賃が手頃な物件があるため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	地域コミュニティが親しみやすいため	地域活動・ボランティアグループがあるため	にぎわいのある商店街があるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	治安が良く安心して暮らせるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることが出来るため	災害(震災や水害)対策が充実しているため	恵まれた自然環境に恵まれていて、美しいため
1,108 100.0	96 8.7	13 1.2	53 4.8	71 6.4	100 9.0	203 18.3	41 3.7	11 1.0	103 9.3	3 0.3	227 20.5	10 0.9	13 1.2	197 17.8	
全 体	環境を守りため資源を大切に	利便性・通勤・通学や通網があるため	職場・学校が近い	楽しい祭り・イベントがあるため	消費生活が便利(安い物が多い)	区のイメージが良い	家族や親戚が近くに	長年住んでいるため	その他	無回答					
6 0.5	410 37.0	147 13.3	17 1.5	350 31.6	13 1.2	222 20.0	412 37.2	40 3.6	67 6.0						

(問3で「区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

問3-2 板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	東京23区内(板橋区を除く)	東京都内の他市町村	埼玉県内	千葉県・神奈川県内	その他(海外を含む)	無回答
217 100.0	119 54.8	8 3.7	12 5.5	17 7.8	26 12.0	35 16.1

(問3で「区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

問3-3 そう思った主な理由は何ですか。

該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

板橋区よりも区外の方が、

全 体	子育てしやすい環境であるため	子どもがいるため教育環境が充実している	健康づくり・スポーツに取組みやすい環境であるため	図書館など生涯学習の場が充実しているため	図書館など生涯学習の場が充実しているため	不動産価格や家賃が手頃なため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	地域コミュニティが親しみやすいため	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	にぎわいのある商店街があるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	治安が良く安心して暮らせるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることがで	災害(震災や水害)対策が充実しているため	恵まれた自然環境に恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため	緑や公園など自然環境に恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため	
217 100.0	15 6.9	18 8.3	9 4.1	9 4.1	27 12.4	14 6.5	3 1.4	2 0.9	18 8.3	8 3.7	22 10.1	8 3.7	5 2.3	42 19.4			
し 環 境 を 守 り た め 資 源 を 大 切 に	利 便 な 道 路 や 交 通 網 が あ る 便	通 勤 ・ 通 学 や 交 通 網 が あ る 便	職 場 ・ 学 校 が 近 い た め	あ る 祭 り ・ イ ベ ン ト が	楽 し い 祭 り ・ イ ベ ン ト が	イ メ ー ジ が 良 い た め	家 族 や 親 戚 の 住 居 に 近 い	そ の 他	無 回 答								
1 0.5	63 29.0	29 13.4	5 2.3	44 20.3	34 15.7	30 13.8	28 12.9	35 16.1									

問4 あなたは板橋区に「愛着」と「誇り」を感じますか。

該当するものをそれぞれ1つ選び、番号に○印をつけてください。

	全 体	感 じ る	ま あ 感 じ る	あ ま り 感 じ な い	感 じ な い	無 回 答	『 感 じ る 』	『 感 じ な い 』
愛着	1,347 100.0	352 26.1	626 46.5	275 20.4	61 4.5	33 2.4	978 72.6	336 24.9
誇り	1,347 100.0	96 7.1	423 31.4	580 43.1	158 11.7	90 6.7	519 38.5	738 54.8

(問4で板橋区に「愛着」を「感じる」または「まあ感じる」と回答した方のみ)

問4-1 「愛着を感じる」「誇りを感じる」理由をそれぞれ5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

全 体	子育てしやすい環境であるため	子どものための教育環境が充実しているため	健康づくり・スポーツに取組みやすい環境であるため	図書館など生涯学習の環境が充実しているため	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	地域コミュニティが親しみやすいため	地域活動・ボランティア環境であるため	にぎわいのある商店街があるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	治安が良く安心して暮らせるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	災害(震災や水害)対策が充実しているため	恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため	緑や公園など自然環境に恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため
978 100.0	131 13.4	30 3.1	79 8.1	121 12.4	91 9.3	197 20.1	82 8.4	21 2.1	216 22.1	18 1.8	249 25.5	35 3.6	21 2.1	243 24.8	
し 環 境 を 守 り た め 資 源 を 大 切 に	た 利 な 道 路 ・ 交 通 網 が あ る 便	通 勤 ・ 学 校 が 近 い た め	職 場 ・ 学 校 が 近 い た め	あ る た め 祭 り ・ イ ベ ン ト が	楽 し い 祭 り ・ イ ベ ン ト が	い の 便 が 良 い ・ 物 価 が 安 い 物	消 費 生 活 が 便 利 ・ 物 価 が 安 い 物	区 の イ メ ー ジ が 良 い た め	で 家 族 や 親 戚 が 近 く に 住 ん で い る た め	長 年 住 ん で い る た め	そ の 他	無 回 答			
26 2.7	361 36.9	140 14.3	72 7.4	359 36.7	26 2.7	200 20.4	516 52.8	20 2.0	106 10.8						

(問4で板橋区に「誇り」を「感じる」または「まあ感じる」と回答した方のみ)

問4-1 「誇りを感じる」理由をそれぞれ5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

全 体	子育てしやすい環境であるため	子どものための教育環境が充実しているため	健康づくり・スポーツに取組みやすい環境であるため	図書館など生涯学習の環境が充実しているため	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	地域コミュニティが親しみやすいため	地域活動・ボランティア環境であるため	にぎわいのある商店街があるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	治安が良く安心して暮らせるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	災害(震災や水害)対策が充実しているため	恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため	緑や公園など自然環境に恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため
519 100.0	69 13.3	42 8.1	60 11.6	88 17.0	39 7.5	125 24.1	36 6.9	22 4.2	80 15.4	25 4.8	161 31.0	80 15.4	44 8.5	150 28.9	
し 環 境 を 守 り た め 資 源 を 大 切 に	た 利 な 道 路 ・ 交 通 網 が あ る 便	通 勤 ・ 学 校 が 近 い た め	職 場 ・ 学 校 が 近 い た め	あ る た め 祭 り ・ イ ベ ン ト が	楽 し い 祭 り ・ イ ベ ン ト が	い の 便 が 良 い ・ 物 価 が 安 い 物	消 費 生 活 が 便 利 ・ 物 価 が 安 い 物	区 の イ メ ー ジ が 良 い た め	で 家 族 や 親 戚 が 近 く に 住 ん で い る た め	長 年 住 ん で い る た め	そ の 他	無 回 答			
55 10.6	130 25.0	35 6.7	57 11.0	98 18.9	45 8.7	37 7.1	107 20.6	10 1.9	77 14.8						

(3) 「子育て安心」 (基本政策 I-1)

問5 子育て世帯の方々が、地域において安心して子育てできるために、あなたが重要だと思うものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	身近に悩みを相談する場があること	在宅で子育てできる支援体制	住宅や生活環境	保育サービスの充実	子育てに伴う経済的負担の軽減	子どもが安心して遊べる場があること	妊娠期からのサポート体制	子育てと仕事の両立支援	その他	特にない	無回答
1,347 100.0	390 29.0	119 8.8	307 22.8	615 45.7	555 41.2	613 45.5	145 10.8	494 36.7	25 1.9	57 4.2	121 9.0

問6 地域における子育てを支える担い手として、あなたが参加してみたいと思うものはありますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	子育てに関する悩みについて相談する活動	子育て関連情報を提供する活動	登下校時等の声かけや見守り活動	子どもに勉強を教える活動	子育てイベントの企画・運営	学校行事や校外学習等をサポートする活動	子どもへの直接的な支援をしない活動	その他	特にない	無回答
1,347 100.0	97 7.2	52 3.9	173 12.8	91 6.8	59 4.4	104 7.7	101 7.5	18 1.3	513 38.1	139 10.3

問7 子どもの貧困対策として、重要だと思うものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等	健康増進と生活習慣の形成支援	若者の就労支援	親の就労支援	子育てしやすい環境づくり	経済的支援の充実	家庭教育支援の充実	地域人材の育成支援・活用	子どもの居場所づくり	相談窓口の充実	支援制度の周知	その他	特にない	無回答
1,347 100.0	446 33.1	222 16.5	183 13.6	441 32.7	328 24.4	467 34.7	183 13.6	104 7.7	467 34.7	218 16.2	221 16.4	25 1.9	62 4.6	83 6.2

(4) 「魅力ある学び支援」 (基本政策 I-2)

問8 子どもたちのたくましく生きる力(学力・心・体)が学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	無回答	『感じる』	『感じない』
1,347 100.0	127 9.4	265 19.7	324 24.1	147 10.9	64 4.8	339 25.2	81 6.0	392 29.1	211 15.7

問9 あなたが学校教育を通じて、子どもたちに身に付けてほしいと思う力は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。
 ※もてなしの心：相手の立場、目線に立って心温まる対応をすること。
 (相手に対し誠意を持って敬い、気遣う心のこと) です。

全 体	基礎学力	主体的・能動的に行動する力	好奇心や探究心	規範意識	責任感	仲間を思いやる心	もてなしの心※	体力	外国語によるコミュニケーション能力	パソコンなどの知識	多様性を認める心	その他	無回答
1,347 100.0	770 57.2	350 26.0	345 25.6	211 15.7	384 28.5	697 51.7	195 14.5	226 16.8	133 9.9	34 2.5	277 20.6	37 2.7	82 6.1

問10 生涯学習活動に取り組むための環境づくりとして、あなたが重要だと思うことを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	講座や教室等の情報が手に入りやすい	講座や教室等の時間帯が選びやすい	講座や教室等の費用がかからない	身近に活動する場所がある	一緒に楽しむ仲間が作りやすい	始めるきっかけが豊富にある	その他	無回答
1,347 100.0	180 13.4	161 12.0	248 18.4	254 18.9	163 12.1	196 14.6	25 1.9	120 8.9

(5) 「安心の福祉・介護」 (基本政策 I-3)

問11 あなたは、自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
1,347 100.0	674 50.0	365 27.1	161 12.0	89 6.6	43 3.2	15 1.1	1,039 77.1	132 9.8

(問11で「感じる」「まあ感じる」と回答した方のみ)

問11-1 その理由として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	家族に迷惑をかける	金銭的に余裕がない	介護施設に入りたいくても入れない	介護してくれる人がいない	介護サービスの内容がよくわからない	住み慣れた家やまちに住み続けることが難しくなる	その他	無回答
1,039 100.0	725 69.8	661 63.6	385 37.1	323 31.1	302 29.1	203 19.5	27 2.6	3 0.3

問12 介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で住み続けるために、あなたが重要だと思う取り組みを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全 体	介護サービスの円滑な結びつけ利用者との円滑な結びつけ	在宅医療と介護サービスの連携	認知症患者を地域で支える取り組み	ひとり暮らし高齢者などを実地で見守る体制の充	介護予防サービスの充実	高齢者向け住宅の整備	地域密着型の介護サービス提供	元気の社会参加活動への支援	その他	無回答
1,347 100.0	551 40.9	469 34.8	201 14.9	563 41.8	246 18.3	363 26.9	377 28.0	324 24.1	32 2.4	173 12.8

(6) 「豊かな健康長寿社会(基本政策Ⅱ-1)」

問13 板橋区が実施している「いたばし健康づくりプロジェクト」について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	参加したことがある	参加したことは知っているが、内容を知らない	聞いたことはあるが、内容はわからない	聞いたことがない	無回答
1,347 100.0	36 2.7	84 6.2	308 22.9	893 66.3	26 1.9

(問13で「1」～「3」と回答した方のみ)

問13-1 「いたばし健康づくりプロジェクト」を主にどのような方法で知りましたか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	区 ホ ム ペ ー ジ	広 報 い た ば し	S N S (フ ェ イ ス ブ ッ ク ・ ツ イ ッ タ ー)	区 の 刊 行 物	掲 示 板	区 内 に 設 置 さ れ て い る	友 人 ・ 知 人 か ら 聞 いた	そ の 他	覚 え て い な い	無 回 答
428 100.0	11 2.6	264 61.7	1 0.2	41 9.6	30 7.0	22 5.1	11 2.6	32 7.5	16 3.7	

問14 あなたが健康のために普段から行っていることは何ですか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	健 康 診 断 し て い る	健 康 診 断 や 人 間 ド ク ク を 受 診 し て い る	徒 歩 圏 内 で あ ら ば 、 な る べ く 歩 く よ う に し て い る	適 度 な 運 動 を し て い る	栄 養 バ ラ ン ス に 気 を つ け て 食 事 を し て い る	規 則 正 し く 食 事 を と る よ う に し て い る	た ば こ を 吸 わ な い よ う に し て い る	歯 や 口 腔 の ケ ア に 気 を つ け て い る	お 酒 の 飲 み す ぎ に 注 意 し て い る	睡 眠 を 十 分 と る よ う に し て い る	自 分 な り の リ フ レ ッ シ ユ 方 法 を 実 践 し て い る	そ の 他	特 に 行 っ て い な い	無 回 答
1,347 100.0	709 52.6	582 43.2	516 38.3	600 44.5	518 38.5	569 42.2	560 41.6	349 25.9	554 41.1	428 31.8	34 2.5	89 6.6	13 1.0	

(7) 「心躍るスポーツ・文化」 (基本政策Ⅱ-2)

問15 あなたが過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	音 楽	演 劇 ・ 舞 踏 ・ 舞 踊	美 術 ・ 写 真	映 画 ・ メ デ イ ア ・ ア ニ メ ー シ ョ ン の 芸 術	歌 舞 伎 ・ 雅 楽 な ど の 伝 統 芸 能	落 語 ・ 漫 談 ・ 歌 唱 な ど の 芸 能	茶 道 ・ 華 道 ・ 書 道 な ど の 生 活 文 化	囲 碁 ・ 将 棋 な ど の 国 民 娯 楽	有 形 ・ 無 形 文 化 財	そ の 他	1 年 間 全 く ふ れ て い な い	無 回 答
1,347 100.0	570 42.3	232 17.2	386 28.7	666 49.4	77 5.7	161 12.0	99 7.3	70 5.2	144 10.7	38 2.8	261 19.4	23 1.7

問16 過去1年間における、外国人とのコミュニケーション（あいさつや世間話、道案内等）について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	あいさつをした	世間話をした	道案内をした	事業・イベント等と外国人と交流した	親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった	その他	コミュニケーションは全くなかった	無回答
1,347 100.0	362 26.9	119 8.8	229 17.0	90 6.7	154 11.4	71 5.3	627 46.5	64 4.8

問17 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか（ハイキング・軽い体操・ウォーキングなども含む）。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	週に3回以上	週に1回〜2回程度	月に1回〜2回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	行っていない	無回答
1,347 100.0	296 22.0	365 27.1	196 14.6	48 3.6	47 3.5	367 27.2	28 2.1

問18 戦後70年以上経過していますが、戦争体験を語り継ぐことについて、あなたはどのように思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	大切だと思う	まあ大切だと思う	どちらともいえない	それほど大切だと思わない	大切だと思わない	無回答	『大切だと思う』	『大切だと思わない』
1,347 100.0	980 72.8	207 15.4	101 7.5	34 2.5	15 1.1	10 0.7	1,187 88.2	49 3.6

(8) 「光輝く板橋ブランド・産業活力」(基本政策Ⅱ-3)

問19 いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ1つ選び、下の表に番号を記入してください。

いたばし花火大会

全 体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	参加したことがない	無回答	『満足』	『不満』
1,347 100.0	416 30.9	322 23.9	99 7.3	25 1.9	10 0.7	247 18.3	228 16.9	738 54.8	35 2.6

板橋区民まつり

全 体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	参加したことがない	無回答	『満足』	『不満』
1,347 100.0	111 8.2	228 16.9	160 11.9	17 1.3	8 0.6	590 43.8	233 17.3	339 25.1	25 1.9

板橋農業まつり

全 体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	参加したことがない	無回答	『満足』	『不満』
1,347 100.0	60 4.5	124 9.2	116 8.6	23 1.7	8 0.6	762 56.6	254 18.9	184 13.7	31 2.3

問20 あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	賑やかで活気がある	身近で便利である	個性的な店が多い	空き店舗が多い	人通りが少ない	その他	無回答
1,347 100.0	146 10.8	542 40.2	46 3.4	250 18.6	186 13.8	123 9.1	54 4.0

問21 過去1年の間に区内の農業にふれる機会（板橋農業まつり参加、区内産農産物消費、区民農園活用、収穫体験参加等）がありましたか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。
 ※農業イベント：「板橋農業まつり」「さつきフェスティバル」「七草がゆの集い」「植木市」のことです。

全体	した農業イベント※に参加	区内産農産物を消費した	区民農園を利用した	収穫体験に参加した	その他	かいつたれにも参加しな	無回答
1,347 100.0	78 5.8	76 5.6	28 2.1	9 0.7	9 0.7	1,159 86.0	22 1.6

(9) 「緑と環境共生」(基本政策Ⅲ-1)

問22 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」こと、「憩える公園・緑地が整備されている」ことについて、あなたの満足度をそれぞれ1つ選び、下の表に番号を記入してください。

緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている

全体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	無回答	『満足』	『不満』
1,347 100.0	150 11.1	433 32.1	222 16.5	74 5.5	58 4.3	132 9.8	278 20.6	583 43.2	132 9.8

憩える公園・緑地が整備されている

全体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	無回答	『満足』	『不満』
1,347 100.0	154 11.4	419 31.1	190 14.1	104 7.7	82 6.1	122 9.1	276 20.5	573 42.5	186 13.8

問23 資源として、あなたが日頃からごみと分別して出しているものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	段ボール	新聞・雑誌	びん・缶	牛乳などの紙パック	紙箱・紙袋・OA用紙	乾電池	ペットボトル	食品用トレイ	古布	廃食用油	プラスチック製のボト	使用済小型家電	分別していない	無回答
1,347 100.0	1,194 88.6	1,045 77.6	1,277 94.8	476 35.3	244 18.1	1,028 76.3	1,231 91.4	382 28.4	246 18.3	128 9.5	601 44.6	558 41.4	11 0.8	6 0.4

問24 あなたが、環境のために取り組んでいることは何ですか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	レジ袋削減のためにマイバッグを利用している	過剰包装は断っている	省エネ型など環境に配慮した製品を選んでいる	節電・節水を心がけている	可能な限りリサイクル商品を購入するようにしている	食料・飲料の使い切りに心がけている	冷暖房の設定温度に注意している	その他	特にない	無回答
1,347 100.0	803 59.6	542 40.2	295 21.9	753 55.9	112 8.3	770 57.2	774 57.5	20 1.5	75 5.6	8 0.6

(10) 「万全な備えの安心・安全」 (基本政策Ⅲ-2)

問25 災害情報を収集するために、あなたが確保している手段について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	防災行政無線	板橋区防災メール配信サービス	インターネット	板橋区防災ツイッター	テレビ	ラジオ	その他	特にない	無回答
1,347 100.0	109 8.1	205 15.2	690 51.2	23 1.7	1,031 76.5	474 35.2	24 1.8	86 6.4	13 1.0

問26 あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	飲料水・非常用食糧の備蓄	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備	消火器・消火水の常備と点検	一時集合場所、避難所(学校等)、避難場所の立所確認	家具の転倒、物の落下や移動の防止	簡易トイレの準備	家族内での連絡方法の確認	感震ブレイカーの設置	その他	特にない	無回答
1,347 100.0	700 52.0	378 28.1	306 22.7	566 42.0	451 33.5	236 17.5	296 22.0	38 2.8	13 1.0	225 16.7	24 1.8

(問26で「飲料水・非常用食糧の備蓄」を選んだ方のみ)

問26-1 およそ何日分の備蓄をしていますか。記載例を参考に()内に数値を記入してください。(飲料水は一人1日3ℓが目安)

全 体	3 日 未 満	3 日 分	4 日 分	5 日 分	6 日 分	7 日 分	8 日 以 上	無 回 答
700 100.0	305 43.6	245 35.0	26 3.7	29 4.1	10 1.4	40 5.7	33 4.7	12 1.7

問27 あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	感 じ る	ま あ 感 じ る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 感 じ な い	感 じ な い	無 回 答	『 感 じ る 』	『 感 じ な い 』
1,347 100.0	206 15.3	617 45.8	355 26.4	95 7.1	51 3.8	23 1.7	823 61.1	146 10.9

(11) 「快適で魅力あるまち」(基本政策Ⅲ-3)

問28 あなたは、「ユニバーサルデザイン※」についてどの程度知っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※ユニバーサルデザイン：年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、一人ひとりの多様性が尊重され、あらゆる場面で社会参加できる環境を整えることです。

全 体	て 具 体 的 な 事 例 ま で 知 っ て い る	言 葉 の 意 味 は 知 っ て い る	言 葉 だ け は 聞 い た こ と が あ っ た	知 ら な か つ た (今 回 初 め で 聞 い た)	無 回 答	『 認 知 度 』
1,347 100.0	123 9.1	231 17.1	358 26.6	613 45.5	22 1.6	712 52.8

(問28で「具体的な事例まで知っている」「言葉の意味は知っている」と回答した方のみ)
 問28-1 板橋区では、ユニバーサルデザインを推進していますが、取り組みが進んでいると思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	思う	まあ思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
354 100.0	4 1.1	44 12.4	122 34.5	87 24.6	35 9.9	59 16.7	3 0.8	48 13.5	122 34.5

問29 あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
1,347 100.0	408 30.3	499 37.0	220 16.3	100 7.4	67 5.0	53 3.9	907 67.3	167 12.4

問30 板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいます。建築物等（建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など）が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
1,347 100.0	48 3.6	255 18.9	513 38.1	358 26.6	158 11.7	15 1.1	303 22.5	516 38.3

(12) 未来創造戦略

問31 未来創造戦略について、次の3つの戦略の「重要度」について、該当するものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

戦略Ⅰ 若い世代の定住化戦略

「若い世代が住み続けたいとなる・住みたいとなるまちづくりを戦略的に展開します。」

○保育園の待機児童解消や認定こども園の推進

○子どもの貧困や、児童虐待、いじめなどの課題解決に向けて、

様々な分野で連携した取り組みの強化など

全体	非常に高い	高い	ふつう	低い	非常に低い	無回答	『高い』	『低い』
1,347	424	366	410	62	23	62	790	85
100.0	31.5	27.2	30.4	4.6	1.7	4.6	58.7	6.3

戦略Ⅱ 健康長寿のまちづくり戦略

「元気な高齢者を増やし、地域の支えあいによる超高齢社会に適応したまちづくりを戦略的に展開します。」

○地域貢献・ボランティア活動に、高齢者が生きがいを持って活動するまちづくりの推進

○医療・介護の連携や地域全体で支える見守り・認知症支援などの取り組みなど

全体	非常に高い	高い	ふつう	低い	非常に低い	無回答	『高い』	『低い』
1,347	279	479	449	65	24	51	758	89
100.0	20.7	35.6	33.3	4.8	1.8	3.8	56.3	6.6

戦略Ⅲ 未来へつなぐまちづくり戦略

「快適で魅力あるまちづくりによって交流とにぎわいを創出し、都市としての魅力を高めます。」

- プロスポーツやトップアスリート・大学などと連携し、スポーツを「する・観る・支える」環境づくりによる、感動とにぎわいの創出
- 木造住宅密集地域の解消、建物の耐震化・不燃化、増加する空き家等老朽建築物対策による安心・安全なまちづくりなど

全 体	非常に 高い	高い	ふつ う	低い	非常 に低い	無回 答	『高 い』	『低 い』
1,347 100.0	187 13.9	384 28.5	573 42.5	110 8.2	32 2.4	61 4.5	571 42.4	142 10.6

(13) シティプロモーション (区の魅力情報の発信)

問32 板橋区では、区の魅力ある情報をわかりやすく伝える取り組みを「シティプロモーション」として展開しています。あなたは区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	伝 わ つ て い る	ま あ 伝 わ つ て い る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 伝 わ つ て い な い	全 く 伝 わ つ て い な い	無回 答	『伝 わ つ て い る』	『伝 わ つ て い な い』
1,347 100.0	27 2.0	172 12.8	334 24.8	566 42.0	220 16.3	28 2.1	199 14.8	786 58.3

問33 あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	区 ホ ー ム ペ ー ジ	広 報 い た ば し	S N S (フ ェ イ ス ブ ッ ク ・ ツ イ ッ タ ー)	ル テ レ ビ ジ ョ ン 等 で 放 映	魅力 発 信 の 情 報 を ケ ー ナ ビ ル (板 橋 区 の 情 報 を ケ ー ナ ビ ル)	私 の 便 利 帳 (N T T タ ウ ン ペ ー ジ 合 冊 版)	区 役 所 の 展 示 モ ー ル の 展 示	「 i t a p p y 」 (楽 し い 子 育 て 向 け 冊 子)	パ ン フ レ ット 展 示 板	区 内 に 設 置 さ れ て い る 掲 示 板	区 か ら の 回 覧 板	板 橋 区 に 関 する 新 聞 記 事	そ の 他	無回 答
1,347 100.0	257 19.1	791 58.7	46 3.4	42 3.1	212 15.7	32 2.4	31 2.3	400 29.7	292 21.7	292 21.7	164 12.2	75 5.6	90 6.7	

(14) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

問34 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020大会」）に向けて板橋区に最も期待することは何ですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※事前キャンプ：各国競技団体等が時差や気候への順応のために大会前に行うトレーニングキャンプで、開催国内や近隣国等で実施されます。キャンプ受け入れ自治体にとっては、地域振興や国際交流の促進が期待できます。

全体	スポーツ施設の整備	選手団の誘致※等の外国	事前キャンプの心と体の育成	もたちの教育を通じた子ども	オリンピックピック・パラリンピックの観客等の受け入れ	外国人観光客等の受け入れ	外国人観客等の受け入れ	機運醸成のためのイベントの実施	日本人選手や外国人選手との交流機会の創出	外国人とのコミュニケーションに関する語学講座の実施	外国人とのコミュニケーション	治安対策などの安心安全	その他	無回答
1,347 100.0	96 7.1	31 2.3	207 15.4	61 4.5	17 1.3	49 3.6	49 3.6	600 44.5	59 4.4	178 13.2				

問35 東京2020大会にどのような形で参加したい（関わりたい）ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

※パブリックビューイング：試合の行われていないスタジアム、特設会場などに大型スクリーンを設置し、大勢でスポーツなどを観戦することです。

全体	スポーツイベントなどへの参加	競技会場での観戦・応援	※パブリックビューイング	大会運営補助や観光案内などのボランティア	その他	特に参加したいと思わない	無回答
1,347 100.0	120 8.9	581 43.1	219 16.3	178 13.2	38 2.8	530 39.3	38 2.8

問36 東京2020大会終了後、区内のレガシー（遺産）として最も期待するものは何ですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	スポーツ施設が充実している	スポーツを楽しむ機会が増えている	機会が増えている	外国人観光客等の受け入れ態勢が整備されている	外国人観光客等の受け入れ態勢が盛んになっている	障がい者への理解が進んでいる	国際理解・多文化理解が進んでいる	子どもたちの夢や希望	その他	特にない	無回答
1,347 100.0	145 10.8	199 14.8	24 1.8	51 3.8	48 3.6	137 10.2	116 8.6	238 17.7	18 1.3	216 16.0	155 11.5

(15) 社会活動・地域活動等

問37 あなたは、過去1年間に以下のような社会活動・地域活動等に参加しましたか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。
 ※町会・自治会：古くから地縁による組織として、防犯、防火・防災、青少年健全育成、環境美化及び地域住民の親睦など、地域コミュニティの活性化や福祉の向上に区と協働して取り組んでいる団体のことです。

全 体	化、全町会、青少年防犯・自治会健全育成等)	子屋PTA、などの学校関係の活動	教養講座の受講などの学習活動	どの高齢者・障がい者・子育て支援活動	の趣味・スポーツなどのグループで	その他	いずれにも参加していない	無回答
1,347 100.0	187 13.9	127 9.4	60 4.5	63 4.7	181 13.4	12 0.9	856 63.5	27 2.0

問38 あなたは、現在、町会・自治会やNPO※団体に加入していますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。
 ※NPO：Non-Profit Organizationの略。継続的に社会貢献活動を行う非営利団体（ボランティア団体市民活動団体、NPO法人）のことです。

全 体	い町の会、自治会、NPO	加入する町会、自治会、NPO	加入する町会、自治会、NPO	加入する町会、自治会、NPO	加入する町会、自治会、NPO	無回答
1,347 100.0	84 6.2	442 32.8	13 1.0	752 55.8	56 4.2	

(問38で「2」～「4」と回答した方のみ)

問38-1 加入していない主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全 体	加入したい団体がある	加入方法がわからない	加入のための手続き等	加入するきっかけがない	加入しても活動のペース	忙しくて暇がないため	金銭的な負担を避けた	活動のための知識や技術がないため	一緒に活動する仲間がいないため	加入の必要性を感じていないため	関心がないため	そもそも団体の活動に	人づきあいをわずらわしく感じるため	その他	無回答
1,207 100.0	290 24.0	144 11.9	20 1.7	287 23.8	119 9.9	423 35.0	138 11.4	156 12.9	86 7.1	306 25.4	211 17.5	156 12.9	80 6.6	52 4.3	

問39 あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が重要だと思いますか。
該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全 体	活動情報の積極的なPR	若い世代への参加の呼びかけ	気軽に参加しやすいイベントの開催	イベントなどの企画段階からの参加のしやすさ	地域の課題を話し合える場	住民一人ひとりが地域への関心を高められるよう	近所の人とつながる機会	リーダー養成や組織づくりの勉強会	その他	無回答
1,347 100.0	497 36.9	385 28.6	655 48.6	145 10.8	110 8.2	504 37.4	436 32.4	49 3.6	52 3.9	77 5.7

問40 あなたは、過去3年の間に、地域活動の拠点である地域センター※（区内18か所）を利用しましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。
※地域センター：地域の方々が交流し、活動する場として集会室や音楽練習室（センターによる）などを備えている施設です。各種証明書の発行や住民異動の届け出窓口である、区民事務所（区内6か所）とは異なります。

全 体	利用した	利用しなかった	そもそも地域センターを知らない	利用したか覚えていない	無回答
1,347 100.0	433 32.1	587 43.6	190 14.1	110 8.2	27 2.0

（問40で「利用した」と回答した方のみ）

問40-1 利用した目的として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	証明書自動交付機を利用するため	地域行事等で集会室等を利用するため	私・利用で集会室等を利用するため	地域交流イベントに参加するため	申請書等に関するチャシ、区政にたいして各種相談をするため	その他	無回答	
433 100.0	232 53.6	112 25.9	107 24.7	84 19.4	48 11.1	12 2.8	35 8.1	2 0.5

問41 地域センターにどのような区民サービスがあれば、あなたは地域センターを利用しますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全 体	と集 会室 等が 利用 でき るこ と	さ地 域交 流イ ベン トが 開催 され ること	請区 書政 等関 が入 手す るチ ラシ ・申 こと	る区 政等 の各 種相 談が でき ること	わ動 れ団 る体 こと への サポ ート が地 域活 行	町会 ・自 治会 等の 地域 活	そ の 他	特 に な い	無 回 答
1,347 100.0	217 16.1	258 19.2	184 13.7	65 4.8	86 6.4	39 2.9	594 44.1	181 13.4	

(16) 今後の行政サービスと負担のあり方

問42 あなたは、日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください

全 体	感 じ ら れ る	ま あ 感 じ ら れ る	あ ま り 感 じ ら れ な い	感 じ ら れ な い	わ か ら な い	無 回 答	『 感 じ ら れ る 』	『 感 じ ら れ な い 』
1,347 100.0	64 4.8	254 18.9	463 34.4	268 19.9	267 19.8	31 2.3	318 23.7	731 54.3

問43 あなたは、区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	も し、 増 加 す れ に ビ ス に 応 じ て 今 以 上 の 負 担 大	個 々 の 区 民 の 負 担 が 増 加 す る	行 政 サ ー ビ ス の 人 員 が 減 少 す る 維 持	行 政 サ ー ビ ス の 人 員 を 縮 小 す る 維 持	個 々 の 区 民 の 負 担 が 減 少 す る 維 持	し、 行 政 サ ー ビ ス の 人 員 を 減 ら す	そ の 他	無 回 答
1,347 100.0	144 10.7	261 19.4	457 33.9	252 18.7	142 10.5	91 6.8		

問44 板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つまで選んで下の表に番号を記入してください。
 ※ICT：Information and Communication Technology（情報通信関連技術）の略。情報・通信に関連する技術一般の総称で、一般的に使われている「IT（Information Technology）」とほぼ同様の意味ですが、Communication（通信）という言葉が指すように、「IT」に比べ、通信を利用した情報・知識の共有という点が強調されています。

	全 体	子 育 て	学 校 教 育	健 康 ・ 衛 生	育 生 涯 学 習 ・ 社 会 教	ス ポ ー ツ 振 興	住 宅 施 策	介 高 齢 者 社 会 参 加 ・ 防	見 介 守 護 り ・ 高 齢 福 祉 ・	障 が い 者 福 祉	窮 生 活 支 援 ・ 保 護 ・ 生 活 困	躍 男 女 平 等 ・ 女 性 活 進	就 労 支 援	防 消 止 費 生 活 ト ラ ブ ル
1位	1347 100.0	376 27.9	124 9.2	71 5.3	16 1.2	8 0.6	36 2.7	61 4.5	90 6.7	20 1.5	21 1.6	3 0.2	34 2.5	1 0.1
2位	1347 100.0	108 8.0	189 14.0	73 5.4	29 2.2	12 0.9	36 2.7	102 7.6	124 9.2	30 2.2	31 2.3	10 0.7	56 4.2	6 0.4
3位	1347 100.0	83 6.2	66 4.9	75 5.6	31 2.3	22 1.6	60 4.5	77 5.7	93 6.9	38 2.8	30 2.2	15 1.1	65 4.8	11 0.8
4位	1347 100.0	59 4.4	57 4.2	50 3.7	31 2.3	17 1.3	40 3.0	63 4.7	78 5.8	26 1.9	30 2.2	13 1.0	64 4.8	21 1.6
5位	1347 100.0	36 2.7	44 3.3	49 3.6	36 2.7	22 1.6	37 2.7	34 2.5	69 5.1	18 1.3	36 2.7	10 0.7	52 3.9	18 1.3
累計	1347 100.0	662 49.2	480 35.6	318 23.6	143 10.7	81 6.0	209 15.6	337 25.0	454 33.7	132 9.7	148 11.0	51 3.7	271 20.2	57 4.2
	働 コ ミ ュ ニ テ ィ ・ 協	商 業 振 興	業 中 振 小 興 企 業 支 援 ・ 工	都 市 農 業 振 興	観 光 振 興	交 流 化 ・ 芸 術 ・ 国 際	防 災	防 犯	対 交 通 策 等 ） （ 自 転 車 安 全	づ 市 街 地 整 備 ・ ま ち り	緑 ・ 公 園 ・ 景 観	イ 環 境 ・ 清 掃 ・ リ サ クル	道 路 ・ 交 通	加 情 報 公 開 ・ 区 民 参
1位	2 0.1	21 1.6	29 2.2	2 0.1	6 0.4	7 0.5	39 2.9	81 6.0	24 1.8	42 3.1	19 1.4	11 0.8	25 1.9	10 0.7
2位	10 0.7	37 2.7	29 2.2	3 0.2	11 0.8	7 0.5	58 4.3	85 6.3	29 2.2	32 2.4	48 3.6	15 1.1	26 1.9	8 0.6
3位	11 0.8	38 2.8	33 2.4	7 0.5	16 1.2	19 1.4	66 4.9	114 8.5	47 3.5	49 3.6	52 3.9	25 1.9	32 2.4	6 0.4
4位	13 1.0	48 3.6	36 2.7	3 0.2	16 1.2	25 1.9	72 5.3	114 8.5	45 3.3	56 4.2	66 4.9	41 3.0	42 3.1	14 1.0
5位	21 1.6	39 2.9	26 1.9	7 0.5	15 1.1	38 2.8	53 3.9	87 6.5	51 3.8	75 5.6	92 6.8	65 4.8	55 4.1	32 2.4
累計	57 4.2	183 13.6	153 11.4	22 1.5	64 4.7	96 7.1	288 21.3	481 35.8	196 14.6	254 18.9	277 20.6	157 11.6	180 13.4	70 5.1
	シ シ ョ ン テ ィ プ ロ モ ー	I C T 化	行 財 政 改 革	無 回 答										
1位	5 0.4	12 0.9	29 2.2	122 9.1										
2位	3 0.2	4 0.3	9 0.7	127 9.4										
3位	5 0.4	6 0.4	15 1.1	140 10.4										
4位	5 0.4	11 0.8	18 1.3	173 12.8										
5位	5 0.4	11 0.8	22 1.6	192 14.3										
累計	23 1.8	44 3.2	93 6.9	754 56.0										

(17) 板橋区職員に期待する能力・資質

問45 あなたは過去1年間で、区役所の窓口(電話含む)を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接する機会がありましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	接する機会があった	接する機会がなかった	無回答
1,347 100.0	761 56.5	541 40.2	45 3.3

(問45で「接する機会があった」と回答した方のみ)

問45-1 その際に接した職員の対応に関する満足度について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全 体	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	『満足』	『不満』
761 100.0	179 23.5	314 41.3	141 18.5	46 6.0	41 5.4	40 5.3	493 64.8	87 11.4

(問45で「接する機会があった」と回答した方のみ)

問45-2 板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。
それぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	全 体	そ う 思 う	ま あ そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』
(1) 自分の行動・発言に責任を持っている	761 100.0	102 13.4	282 37.1	143 18.8	61 8.0	35 4.6	85 11.2	53 7.0	384 50.5	96 12.6
(2) もてなしの心を持ち、柔軟な対応ができています	761 100.0	102 13.4	278 36.5	147 19.3	83 10.9	48 6.3	48 6.3	55 7.2	380 49.9	131 17.2
(3) コスト意識を持っている	761 100.0	46 6.0	116 15.2	242 31.8	87 11.4	55 7.2	157 20.6	58 7.6	162 21.2	142 18.6
(4) 高い倫理観を持ち、法令を遵守している	761 100.0	47 6.2	205 26.9	216 28.4	47 6.2	31 4.1	152 20.0	63 8.3	252 33.1	78 10.3
(5) 誰に対しても公平・誠実な態度で接している	761 100.0	104 13.7	291 38.2	153 20.1	44 5.8	41 5.4	75 9.9	53 7.0	395 51.9	85 11.2
(6) 積極的に職務に取り組んでいる	761 100.0	96 12.6	247 32.5	165 21.7	76 10.0	49 6.4	73 9.6	55 7.2	343 45.1	125 16.4
(7) 事務処理に関して迅速な対応ができています	761 100.0	114 15.0	313 41.1	144 18.9	52 6.8	45 5.9	37 4.9	56 7.4	427 56.1	97 12.7
(8) 職務に関する十分な知識を持っている	761 100.0	93 12.2	295 38.8	159 20.9	42 5.5	36 4.7	79 10.4	57 7.5	388 51.0	78 10.2
(9) わかりやすく説明ができています	761 100.0	125 16.4	314 41.3	141 18.5	47 6.2	45 5.9	33 4.3	56 7.4	439 57.7	92 12.1

問46 あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。
該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	自分の行動・発言に責任	市民の立場に立つて柔軟な対応ができる職員	もてなしの心を持ち、区職員としての意識を持っている	コスト意識を持っている	高い倫理観を持ち、法令を遵守する職員	誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員	積極的に職務に取り組む	事務処理に関して迅速な対応ができる職員	職務に関する十分な知識	わかりやすく説明ができる職員	無回答
1,347 100.0	447 33.2	612 45.4	150 11.1	115 8.5	675 50.1	228 16.9	368 27.3	427 31.7	599 44.5	56 4.2	

(18) その他

問47 「マイナンバー（個人番号）カード※」の取得状況について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※マイナンバー（個人番号）カード：顔写真付ICカードで、本人確認のための身分証明書として利用できるほか、コンビニエンスストアでの各種証明書発行、e-Tax等の電子証明書を利用した電子申請など、様々なサービスを利用できます。

全体	取得する予定はない	まだ持つていないが、取得予定である	すでに持っている	わからない	無回答
1,347 100.0	507 37.6	305 22.6	383 28.4	132 9.8	20 1.5

(問47で「取得する予定はない」と回答した方のみ)

問47-1 その理由として該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	現時点で必要がない	メリットがよくわからない	個人情報に対する不安がある	個人情報への漏えいや不正利用	申請や受領などの手続きが面倒	その他	特に理由はない	無回答
507 100.0	245 48.3	80 15.8	112 22.1	40 7.9	10 2.0	8 1.6	12 2.4	

第5章



調査票

平成 29 年度 板橋区 区民意識意向調査

ご記入に際してのお願い（郵送での回答の場合）

※インターネットを利用した回答方法については「平成 29 年度 板橋区
区民意識意向調査へのご協力のお願い」裏面を参照してください。

1 アンケート調査票の記入方法

- ◆封筒の**あて名に表示のあるご本人様**がご記入ください。ただし、事情により、ご本人様のご記入が難しい場合には、ご家族の方が代わりにご記入いただいても構いません。
- ◆ご回答は、質問ごとの説明にしたがい、このアンケート調査票に**直接ご記入**ください。選択肢の中からあなた様ご自身のお考えに最も近い番号を選び、質問文に示された数の範囲内で**番号に○印**をつけ、又は、**所定の欄に番号、数値を記入**してください。

2 アンケート調査票の返送方法

- ◆誠に勝手なお願いですが、ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**9月27日（水）まで**に、郵便ポストに投函してください。なお、**インターネットを利用して回答された方は、この調査票を返送していただく必要はありません。**
- ◆返信用封筒に切手は不要です。また、**お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。**
- ◆このアンケート調査の集計作業につきましては、**株式会社 都市計画 21**に委託しておりますので、返信用封筒のあて先が**株式会社 都市計画 21**となっている旨をご了承願います。

3 本調査に関するお問い合わせ先

板橋区 政策経営部 政策企画課 政策第二グループ
所在地：〒173-8501 東京都板橋区板橋 2-66-1（板橋区役所 北館 4階）
電 話：03-3579-2013（直通） FAX：03-3579-4211
E-mail：sk-sseisaku2@city.itabashi.tokyo.jp

● あなたご自身のことをお伺いします ●

問 1 次の各質問について、該当するものを**1つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

ア あなたの性別は、	1 男性	2 女性	3 回答しない
イ あなたの年齢は、	1 10歳代	4 40歳代	7 65～69歳
	2 20歳代	5 50歳代	8 70～74歳
	3 30歳代	6 60～64歳	9 75歳以上
ウ あなたがお住まいの地域は、	1 板橋地域(板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見)		
	2 常盤台地域(大谷口・常盤台・桜川)		
	3 志村地域(清水・志村坂上・中台・前野)		
※お住まいの地域がわからない場合は、別紙1「お住まいの地域について」をご覧ください	4 赤塚地域(下赤塚・成増・徳丸)		
	5 高島平地域(蓮根・舟渡・高島平)		
	※（ ）内は地域センター名です		

エ あなたの国籍は、	1 日本	2 日本以外	
オ あなたの職業は、	1 会社員・公務員	4 主婦・主夫	7 無職
	2 自営業・自由業	5 学生	8 その他
	3 会社役員	6 アルバイト・パート	()
カ あなたのお宅の世帯の構成は、	1 単身世帯	4 二世帯同居(親と同居)	
	2 夫婦のみ	5 三世帯同居	
	3 二世帯同居(子と同居)	6 その他()	
キ あなた自身を除き、あなたのお宅に同居する家族は、(複数回答可)	1 未就学児	4 65～74歳の家族	
	2 小学生	5 75歳以上の家族	
	3 中学生	6 1～5以外の家族と同居している	
ク あなたのお住まいの家の住居形態は、 ※長屋建(テラスハウス含む)は一戸建に含みます	1 一戸建(持ち家)	5 都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅	
	2 一戸建(賃貸)	6 社宅・寮・間借り・住込み	
	3 マンション(持ち家)	7 その他(ケア付住宅など)	
	4 マンション・アパート(賃貸)		
ケ あなたは板橋区にお住まいになって通算で何年になりますか。	1 1年未満	5 20年以上(次の「6 生まれたときから」を除く)	
	2 1年以上5年未満	6 生まれたときから ⇒問2へ	
	3 5年以上10年未満		
	4 10年以上20年未満		
(ケで「6」以外に回答した方のみ)			
コ あなたは、板橋区に来られる直前にどちらにお住まいでしたか。	1 東京23区内(板橋区を除く)	3 埼玉県内	
	2 東京都内の他市町村	4 千葉県・神奈川県	
		5 その他(海外を含む)	

● 区での住み心地 に関してお答えください ●

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 住みやすい	3 あまり住みやしくない
2 まあ住みやすい	4 住みにくい

問3 あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 今後も区内に住み続けたい	2 区外に移り住みたい
----------------	-------------

問3-1へ

問3-2、3-3へ

(問3で「1 今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ)

▶ 問3-1 そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。回答後、問4へお進みください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1 子育てしやすい環境であるため | 12 伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため |
| 2 子どもの教育環境が充実しているため | 13 災害(震災や水害)対策が充実しているため |
| 3 健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため | 14 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため |
| 4 図書館など生涯学習*のための環境が充実しているため | 15 環境を守り資源を大切にしているため |
| 5 不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため | 16 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため |
| 6 医療・福祉・介護サービスが充実しているため | 17 職場・学校が近いため |
| 7 地域コミュニティが親しみやすいため | 18 楽しい祭り・イベントがあるため |
| 8 地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため | 19 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため |
| 9 にぎわいのある商店街があるため | 20 区のイメージが良いため |
| 10 文化活動に親しみやすい環境であるため | 21 家族や親戚が近くに住んでいるため |
| 11 治安が良く安心して暮らせるため | 22 長年住んでいるため |
| | 23 その他() |

※生涯学習:年齢に関係なく生涯にわたり、一人ひとりが必要に応じて、自分にあった場や機会、方法などを選んで行う学び。図書館の利用や講座の受講、仲間とのサークル活動などはその例です。

(問3で「2 区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

▶ 問3-2 板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。回答後、問3-3へお進みください。

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1 東京23区内(板橋区を除く) | 3 埼玉県内 | 5 その他(海外を含む) |
| 2 東京都内の他市町村 | 4 千葉県・神奈川県内 | |

(問3で「2 区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

▶ 問3-3 そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。回答後、問4へお進みください。

板橋区よりも区外の方が、

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1 子育てしやすい環境であるため | 12 伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため |
| 2 子どもの教育環境が充実しているため | 13 災害(震災や水害)対策が充実しているため |
| 3 健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため | 14 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため |
| 4 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため | 15 環境を守り資源を大切にしているため |
| 5 不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため | 16 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため |
| 6 医療・福祉・介護サービスが充実しているため | 17 職場・学校が近いため |
| 7 地域コミュニティが親しみやすいため | 18 楽しい祭り・イベントがあるため |
| 8 地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため | 19 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため |
| 9 にぎわいのある商店街があるため | 20 イメージが良いため |
| 10 文化活動に親しみやすい環境であるため | 21 家族や親戚の住居に近い |
| 11 治安が良く安心して暮らせるため | 22 その他() |

問4 あなたは板橋区に「愛着」と「誇り」を感じますか。該当するものをそれぞれ1つ選び、番号に○印をつけてください。

	感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない
愛着	1	2	3	4
誇り	1	2	3	4

(問4で「1 感じる」「2 まあ感じる」と回答した方のみ)

▶ 問4-1 「愛着を感じる」「誇りを感じる」理由をそれぞれ5つまで選んで下の表に番号を記入してください(順不同)。回答後、問5へお進みください。

愛着を感じる理由 ⇒				
誇りを感じる理由 ⇒				

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1 子育てしやすい環境であるため | 12 伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため |
| 2 子どもの教育環境が充実しているため | 13 災害(震災や水害)対策が充実しているため |
| 3 健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため | 14 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため |
| 4 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため | 15 環境を守り資源を大切にしているため |
| 5 不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため | 16 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため |
| 6 医療・福祉・介護サービスが充実しているため | 17 職場・学校が近いため |
| 7 地域コミュニティが親しみやすいため | 18 楽しい祭り・イベントがあるため |
| 8 地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため | 19 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため |
| 9 にぎわいのある商店街があるため | 20 区のイメージが良いため |
| 10 文化活動に親しみやすい環境であるため | 21 家族や親戚が近くに住んでいるため |
| 11 治安が良く安心して暮らせるため | 22 長年住んでいるため |
| | 23 その他() |

● 「子育て安心」(基本政策I-1*) に関してお答えください ●

※問5～問30までは「板橋区基本計画2025」の施策体系に即した質問となっています。詳細は別紙2、P.1～3をご参照ください。

問5 子育て世帯の方々が、地域において安心して子育てできるために、あなたが重要だと思うものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 身近に悩みを相談する場があること | 6 子どもが安心して遊べる場があること |
| 2 在宅で子育てできる支援体制 | 7 妊娠期からのサポート体制 |
| 3 住宅や生活環境 | 8 子育てと仕事の両立支援 |
| 4 保育サービスの充実 | 9 その他() |
| 5 子育てに伴う経済的負担の軽減 | 10 特にない |

問6 地域における子育てを支える担い手として、あなたが参加してみたいと思うものはありますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1 子育てに関する悩みについて相談にのる活動 | 6 学校行事や校外学習等をサポートする活動 |
| 2 子育て関連情報を提供する活動 | 7 子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動 |
| 3 登下校時等の声かけや見守り活動 | 8 その他() |
| 4 子どもに勉強を教える活動 | 9 特にない |
| 5 子育てイベントの企画・運営 | |

問7 子どもの貧困対策として、重要だと思うものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 | 8 地域人材の育成支援・活用 |
| 2 健康増進と生活習慣の形成支援 | 9 子どもの居場所づくり |
| 3 若者の就労支援 | 10 相談窓口の充実 |
| 4 親の就労支援 | 11 支援制度の周知 |
| 5 子育てしやすい環境づくり | 12 その他() |
| 6 経済的支援の充実 | 13 特にない |
| 7 家庭教育支援の充実 | |

● 「魅力ある学び支援」(基本政策I-2) に関してお答えください ●

問8 子どもたちのたくましく生きる力(学力・心・体)が学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 1 感じる | 3 どちらともいえない | 5 感じない |
| 2 まあ感じる | 4 あまり感じない | 6 わからない |

問9 あなたが学校教育を通じて、子どもたちに身に付けてほしいと思う力は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 基礎学力 | 7 もてなしの心* |
| 2 主体的・能動的に行動する力 | 8 体力 |
| 3 好奇心や探究心 | 9 外国語によるコミュニケーション能力 |
| 4 規範意識 | 10 パソコンなどの知識 |
| 5 責任感 | 11 多様性を認める心 |
| 6 仲間を思いやる心 | 12 その他() |

※もてなしの心：相手の立場、目線に立って心温まる対応をすること(相手に対し誠意を持って敬い、気遣う心のこと)です。

問 10 生涯学習活動に取り組むための環境づくりとして、あなたが重要だと思うことを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 講座や教室等の情報が手に入りやすい | 5 一緒に楽しむ仲間が作りやすい |
| 2 講座や教室等の時間帯が選びやすい | 6 始めるきっかけが豊富にある |
| 3 講座や教室等の費用がかからない | 7 その他() |
| 4 身近に活動する場所がある | |

● 「安心の福祉・介護」(基本政策Ⅰ-3) に関してお答えください ●

問 11 あなたは、自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|--------|
| 1 感じる | 3 どちらともいえない | 5 感じない |
| 2 まあ感じる | 4 あまり感じない | |

問 12 へ

(問11で「1 感じる」「2 まあ感じる」と回答した方のみ)

▶問11-1 その理由として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。回答後、問12へお進みください。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 家族に迷惑をかける | 5 介護サービスの内容がよくわからない |
| 2 金銭的に余裕がない | 6 住み慣れた家やまちに住み続けることが難しくなる |
| 3 介護施設に入りたくても入れない | 7 その他() |
| 4 介護してくれる人がいない | |

▶問 12 介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で住み続けるために、あなたが重要だと思う取り組みを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1 介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ | 5 介護予防サービスの充実 |
| 2 在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 | 6 高齢者向け住宅の整備 |
| 3 認知症患者を地域で支える取り組み | 7 地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり |
| 4 ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 | 8 元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援 |
| | 9 その他() |

● 「豊かな健康長寿社会(基本政策Ⅱ-1)」に関してお答えください ●

問 13 板橋区が実施している「いたばし健康づくりプロジェクト」について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 参加したことがある | 3 聞いたことはあるが、内容はわからない |
| 2 参加したことはないが、内容を知っている | 4 聞いたことがない ⇒問14へ |

問 13-1 へ

(問13で「1」～「3」と回答した方のみ)

▶問13-1 「いたばし健康づくりプロジェクト」を主にどのような方法で知りましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。回答後、問14へお進みください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 区ホームページ | 5 区内に設置されている掲示板 |
| 2 広報いたばし | 6 友人・知人から聞いた |
| 3 SNS (フェイスブック・ツイッター) | 7 その他() |
| 4 区の刊行物 | 8 覚えていない |

問14 あなたが健康のために普段から行っていることは何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 健康診断や人間ドックを受診している | 7 歯や口腔のケアに気をつけている |
| 2 徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている | 8 お酒の飲みすぎに注意している |
| 3 適度な運動をしている | 9 睡眠を十分とるようにしている |
| 4 栄養バランスに気をつけて食事をしている | 10 自分なりのリフレッシュ方法を実践している |
| 5 規則正しく食事をとるようにしている | 11 その他() |
| 6 たばこを吸わないようにしている | 12 特に行っていない |

● 「心躍るスポーツ・文化」(基本政策Ⅱ-2) に関してお答えください ●

問15 あなたが過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 音楽 | 7 茶道・華道・書道などの生活文化 |
| 2 演劇・舞踏・舞踊 | 8 囲碁・将棋などの国民娯楽 |
| 3 美術・写真 | 9 有形・無形文化財 |
| 4 映画・アニメーションなどのメディア芸術 | 10 その他() |
| 5 歌舞伎・雅楽などの伝統芸能 | 11 1年間全くふれていない |
| 6 落語・漫談・歌唱などの芸能 | |

問16 過去1年間における、外国人とのコミュニケーション(あいさつや世間話、道案内等)について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1 あいさつをした | 5 親族又は友人の外国人とコミュニケーションがあった |
| 2 世間話をした | 6 その他() |
| 3 道案内をした | 7 コミュニケーションは全くなかった |
| 4 事業・イベント等で外国人と交流した | |

問17 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか(ハイキング・軽い体操・ウォーキングなども含む)。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 週に3回以上	3 月に1回～2回程度	5 半年に1回程度
2 週に1回～2回程度	4 3か月に1回程度	6 行っていない

問 18 戦後 70 年以上経過していますが、戦争体験を語り継ぐことについて、あなたはどのように思いますか。該当するものを 1つ 選び、**番号に○印**をつけてください。

1 大切だと思う	4 それほど大切だと思わない
2 まあ大切だと思う	5 大切だと思わない
3 どちらともいえない	

● 「光輝く板橋ブランド・産業活力」(基本政策Ⅱ-3) に関してお答えください ●

問 19 いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ 1つ 選び、下の表に**番号を記入**してください。

1 満足	3 どちらともいえない	5 不満
2 まあ満足	4 やや不満	6 参加したことがない
いたばし花火大会	板橋区民まつり	板橋農業まつり

問 20 あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。該当するものを 1つ 選び、**番号に○印**をつけてください。

1 賑やかで活気がある	3 個性的な店が多い	5 人通りが少ない
2 身近で便利である	4 空き店舗が多い	6 その他()

問 21 過去 1 年の間に区内の農業にふれる機会(板橋農業まつり参加、区内産農産物消費、区民農園活用、収穫体験参加等)がありましたか。該当するものを すべて 選び、**番号に○印**をつけてください。

1 農業イベント*に参加した	4 収穫体験に参加した
2 区内産農産物を消費した	5 その他()
3 区民農園を利用した	6 いずれにも参加しなかった

※農業イベント:「板橋農業まつり」「さつきフェスティバル」「七草がゆの集い」「植木市」のことです。

● 「緑と環境共生」(基本政策Ⅲ-1) に関してお答えください ●

問 22 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」こと、「憩える公園・緑地が整備されている」ことについて、あなたの満足度をそれぞれ 1つ 選び、下の表に**番号を記入**してください。

1 満足	3 どちらともいえない	5 不満
2 まあ満足	4 やや不満	6 わからない
緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている		憩える公園・緑地が整備されている

問 23 資源として、あなたが日頃からごみと分別して出しているものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1 段ボール	6 乾電池	11 プラスチック製のボトル容器
2 新聞・雑誌	7 ペットボトル	12 使用済小型家電
3 びん・缶	8 食品用トレイ	13 分別していない
4 牛乳などの紙パック	9 古布	
5 紙箱・紙袋・OA用紙	10 廃食用油	

問 24 あなたが、環境のために取り組んでいることは何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1 レジ袋削減のためマイバッグを利用している	5 可能な限りリサイクル商品を購入するようにしている
2 過剰包装は断っている	6 食品・飲料の使い切りに心がけている
3 省エネ型など環境に配慮した製品を選んでいる	7 冷暖房の設定温度に注意している
4 節電・節水を心がけている	8 その他()
	9 特にない

● 「万全な備えの安心・安全」(基本政策Ⅲ-2) に関してお答えください ●

問 25 災害情報を収集するために、あなたが確保している手段について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1 防災行政無線	5 テレビ
2 板橋区防災・緊急情報メール配信サービス	6 ラジオ
3 インターネット	7 その他()
4 板橋区防災ツイッター	8 特にない

問 26 あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。【1以外を選択された方は問 27 へ】

1 飲料水・非常用食糧の備蓄	5 家具の転倒、物の落下や移動の防止
2 生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備	6 簡易トイレの準備
3 消火器・消火用水の常備と点検	7 家族内での連絡方法の確認
4 一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認	8 感震ブレーカーの設置
	9 その他()
	10 特にない

問 26-1 へ

(問 26 で「1 飲料水・非常用食糧の備蓄」を選んだ方のみ)

▶問 26-1 およそ何日分の備蓄をしていますか。記載例を参考に()内に数値を記入してください(飲料水は一人1日3ℓが目安)。回答後、問 27へお進みください。

()日分 【記載例】(3)日分

問 27 あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|--------|
| 1 感じる | 3 どちらともいえない | 5 感じない |
| 2 まあ感じる | 4 あまり感じない | |

● 「快適で魅力あるまち」(基本政策Ⅲ-3) についてお答えください ●

問 28 あなたは、「ユニバーサルデザイン※」についてどの程度知っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 具体的な事例まで知っている | 3 言葉だけは聞いたことがあった |
| 2 言葉の意味は知っている | 4 知らなかった(今回初めて聞いた) |

※ユニバーサルデザイン：年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、一人ひとりの多様性が尊重され、あらゆる場面で社会参加できる環境を整えることです。

問 29 へ

(問 28 で「1 具体的な事例まで知っている」「2 言葉の意味は知っている」と回答した方のみ)

▶問 28-1 板橋区では、ユニバーサルデザインを推進していますが、取り組みが進んでいると思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。回答後、問 29へお進みください。

- | | | |
|--------|-------------|---------|
| 1 思う | 3 どちらともいえない | 5 思わない |
| 2 まあ思う | 4 あまり思わない | 6 わからない |

▶問 29 あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|--------|
| 1 感じる | 3 どちらともいえない | 5 感じない |
| 2 まあ感じる | 4 あまり感じない | |

問 30 板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいますが、建築物等(建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など)が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|--------|
| 1 感じる | 3 どちらともいえない | 5 感じない |
| 2 まあ感じる | 4 あまり感じない | |

● **未来創造戦略** に関してお答えください ●

板橋区では、「板橋区基本計画2025」において持続可能な区政の発展のため「魅力創造発信都市」と「安心安全環境都市」を将来の都市像として「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちをめざし、限られた経営資源を集中的に投入する「未来創造戦略」を定めています。

問 31 未来創造戦略について、次の3つの戦略の「重要度」について、該当するものをそれぞれ **1つずつ** 選び、**番号に○印**をつけてください。なお、詳細については別紙2、P. 4をご参照ください。

限られた経営資源を集中的に投入する「未来創造戦略」	重要度				
	非常に高い	高い	ふつう	低い	非常に低い
戦略Ⅰ 若い世代の定住化戦略 「若い世代が住み続けたい・住みたいまちづくりを戦略的に展開します。」 ○保育園の待機児童解消や認定こども園の推進 ○子どもの貧困や、児童虐待、いじめなどの課題解決に向けて、様々な分野で連携した取り組みの強化 など	1	2	3	4	5
戦略Ⅱ 健康長寿のまちづくり戦略 「元気な高齢者を増やし、地域の支えあいによる超高齢社会に適応したまちづくりを戦略的に展開します。」 ○地域貢献・ボランティア活動に、高齢者が生きがいを持って活動するまちづくりの推進 ○医療・介護の連携や地域全体で支える見守り・認知症支援などの取り組み など	1	2	3	4	5
戦略Ⅲ 未来へつなぐまちづくり戦略 「快適で魅力あるまちづくりによって交流とにぎわいを創出し、都市としての魅力を高めます。」 ○プロスポーツやトップアスリート・大学などと連携し、スポーツを「する・観る・支える」環境づくりによる、感動とにぎわいの創出 ○木造住宅密集地域の解消、建物の耐震化・不燃化、増加する空き家等老朽建築物対策による安心・安全なまちづくり など	1	2	3	4	5

● **シティプロモーション（区の魅力情報の発信）** に関してお答えください ●

問 32 板橋区では、区の魅力ある情報をわかりやすく伝える取り組みを「シティプロモーション」として展開しています。あなたは区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。該当するものを **1つ** 選び、**番号に○印**をつけてください。

1 伝わっている	3 どちらともいえない	5 全く伝わっていない
2 まあ伝わっている	4 あまり伝わっていない	

問 33 あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。該当するものを **すべて** 選び、**番号に○印**をつけてください。

1 区ホームページ	7 パンフレット「itappy」(楽しい子育て向け冊子)
2 広報いたばし	8 区内に設置されている掲示板
3 SNS (フェイスブック・ツイッター)	9 区からの回覧板
4 魅力発信!いたばしナビ(板橋区の情報をケーブルテレビ等で放映)	10 板橋区に関する新聞記事
5 私の便利帳(NTTタウンページ合冊版)	11 その他()
6 区役所1階ギャラリーモールの展示	

● **東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会** に関してお答えください ●

問 34 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「東京 2020 大会」)に向けて板橋区に最も期待することは何ですか。該当するものを 1つ 選び、番号に○印 をつけてください。

1 スポーツ施設の整備	6 日本人選手や外国人選手との交流機会の創出
2 事前キャンプ*等の外国選手団の誘致	7 外国人とのコミュニケーション方法に関する語学講座の充実
3 オリンピック・パラリンピック教育を通じた子どもたちの心と体の育成	8 治安対策などの安心安全なまちづくり
4 外国人観光客等の受け入れ態勢の整備	9 その他()
5 機運醸成のためのイベントの実施	

※事前キャンプ:各国競技団体等が時差や気候への順応のために大会前に行うトレーニングキャンプで、開催国内や近隣国等で実施されます。キャンプ受け入れ自治体にとっては、地域振興や国際交流の促進が期待できます。

問 35 東京 2020 大会にどのような形で参加したい(関わりたい)ですか。該当するものを すべて 選び、番号に○印 をつけてください。

1 スポーツイベントなどへの参加	4 大会運営補助や観光案内などのボランティア
2 競技会場での観戦・応援	5 その他()
3 パブリックビューイング*会場での観戦・応援	6 特に参加したいと思わない

※パブリックビューイング:試合の行われていないスタジアム、特設会場などに大型スクリーンを設置し、大勢でスポーツなどを観戦することです。

問 36 東京 2020 大会終了後、区内のレガシー(遺産)として最も期待するものは何ですか。該当するものを 1つ 選び、番号に○印 をつけてください。

1 スポーツ施設が充実している	6 障がい者への理解が進んでいる
2 スポーツを楽しむ機会が増えている	7 国際理解・多文化理解が進んでいる
3 アスリートとふれあう機会が増えている	8 子どもたちの夢や希望を育んでいる
4 外国人観光客等の受け入れ態勢が整備されている	9 その他()
5 ボランティアが盛んになっている	10 特にない

● **社会活動・地域活動等**に関してお答えください ●

問 37 あなたは、過去 1 年間に以下のような社会活動・地域活動等に参加しましたか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|--|----------------------------------|
| 1 町会・自治会*等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） | 4 高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 |
| 2 P T A、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 | 5 趣味・スポーツなどのグループでの活動 |
| 3 教養講座の受講などの学習活動 | 6 その他（ ） |
| | 7 いずれにも参加していない |

※町会・自治会：古くから地縁による組織として、防犯、防火・防災、青少年健全育成、環境美化及び地域住民の親睦など、地域コミュニティの活性化や福祉の向上に区と協働して取り組んでいる団体のことです。

問 38 あなたは、現在、町会・自治会やNPO※団体に加入していますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1 町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している ⇒問39へ | 3 NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない |
| 2 町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない | 4 町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない |

※NPO：Non-Profit Organization の略。継続的に社会貢献活動を行う非営利団体（ボランティア団体、市民活動団体、NPO 法人）のことです。

(問38で「2」～「4」と回答した方のみ)

▶ 問38-1 加入していない主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。回答後、問39へお進みください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 加入したい団体があることを知らないため | 8 活動のための知識や技術がないため |
| 2 加入方法がわからないため | 9 一緒に活動する仲間がないため |
| 3 加入のための手続き等が面倒なため | 10 加入の必要性を感じていないため |
| 4 加入するきっかけがないため | 11 そもそも団体の活動に関心がないため |
| 5 加入しても活動のペースが合わないため | 12 人づきあいをわずらわしく感じるため |
| 6 忙しくて暇がないため | 13 その他 |
| 7 金銭的な負担を避けたいため | (具体的に) |

問 39 あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が必要だと思いますか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1 活動情報の積極的なPR | 6 住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること |
| 2 若い世代への参加の呼びかけ | 7 近所の人とのつながりをつくれるようにすること |
| 3 気軽に参加しやすいイベントの開催 | 8 リーダー養成や組織づくりの勉強会 |
| 4 イベントなどの企画段階からの参加のしやすさ | 9 その他（ ） |
| 5 地域の課題を話し合える場 | |

問 40 あなたは、過去3年の間に、地域活動の拠点である地域センター※（区内18か所）を利用しましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 利用した

3 そもそも地域センターを知らない

2 利用しなかった

4 利用したか覚えていない

※地域センター：地域の方々が交流し、活動する場として集会室や音楽練習室（センターによる）などを備えている施設です。各種証明書の発行や住民異動の届け出窓口である、区民事務所（区内6か所）とは異なります。

問 41 へ

（問40で「1 利用した」と回答した方のみ）

▶ 問40-1 利用した目的として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。回答後、問41へお進みください。

1 証明書自動交付機を利用するため

5 区政に関するチラシ、申請書等を入手するため

2 地域行事等で集会室等を予約・利用するため

6 区政等の各種相談をするため

3 私用で集会室等を予約・利用するため

7 その他

4 地域交流イベントに参加するため

（具体的に)

▶ 問 41 地域センターにどのような区民サービスがあれば、あなたは地域センターを利用しますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1 集会室等が利用できること

5 町会・自治会等の地域活動団体へのサポートが行われること

2 地域交流イベントが開催されること

3 区政に関するチラシ・申請書等が入手できること

6 その他

4 区政等の各種相談ができること

7 特にない

（具体的に)

● 今後の行政サービスと負担のあり方についてお答えください ●

人口減少・超高齢社会の更なる進展に伴い、税や社会保険料を負担する人が減少する一方で、社会保障や公共施設の改築・改修にかかる経費増が予想されており、将来を見据えた区政運営が求められています。今後の板橋区における行政サービスと負担のあり方に関して、以下の質問にご回答ください。

問 42 あなたは、日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 感じられる

3 あまり感じられない

5 わからない

2 まあ感じられる

4 感じられない

問 43 あなたは、区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する

2 行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する

3 個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する

4 行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する

5 その他（具体的に)

問 44 板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

1	子育て	11	男女平等・女性活躍推進	21	防犯
2	学校教育	12	就労支援	22	交通安全(自転車対策等)
3	健康・衛生	13	消費生活トラブル防止	23	市街地整備・まちづくり
4	生涯学習・社会教育	14	コミュニティ・協働	24	緑・公園・景観
5	スポーツ振興	15	商業振興	25	環境・清掃・リサイクル
6	住宅施策	16	中小企業支援・工業振興	26	道路・交通
7	高齢者社会参加・介護予防	17	都市農業振興	27	情報公開・区民参加
8	介護・高齢福祉・見守り	18	観光振興	28	シティプロモーション
9	障がい者福祉	19	文化・芸術・国際交流	29	I C T [*] 化
10	生活保護・生活困窮者支援	20	防災	30	行財政改革

順位	1位	2位	3位	4位	5位
----	----	----	----	----	----

※ I C T : Information and Communication Technology (情報通信関連技術) の略。情報・通信に関連する技術一般の総称で、一般的に使われている「I T (Information Technology)」とほぼ同様の意味ですが、Communication (通信) という言葉が指すように、「I T」に比べ、通信を利用した情報・知識の共有という点が強調されています。

● **板橋区職員に期待する能力・資質** に関してお答えください ●

問 45 あなたは過去 1 年間で、区役所の窓口(電話含む)を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接する機会がありましたか。該当するものを 1つ 選び、番号に○印 をつけてください。

1 接する機会があった	2 接する機会がなかった ⇒問46へ
-------------	--------------------

(問45で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

▶ 問 45-1 その際に接した職員の対応に関する満足度について、該当するものを 1つ 選び、番号に○印 をつけてください。回答後、問 45-2 へお進みください。

1 満足	3 どちらでもない	5 不満
2 まあ満足	4 やや不満	

(問45で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

▶ 問 45-2 板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。それぞれ 1つずつ 選び、番号に○印 をつけてください。回答後、問 46 へお進みください。

	そう思う	まあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
(1) 自分の行動・発言に責任を持っている	1	2	3	4	5	9
(2) もてなしの心を持ち、柔軟な対応ができています	1	2	3	4	5	9
(3) コスト意識を持っている	1	2	3	4	5	9
(4) 高い倫理観を持ち、法令を遵守している	1	2	3	4	5	9
(5) 誰に対しても公平・誠実な態度で接している	1	2	3	4	5	9
(6) 積極的に職務に取り組んでいる	1	2	3	4	5	9

	そう思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない
(7) 事務処理に関して迅速な対応ができている	1	2	3	4	5	9
(8) 職務に関する十分な知識を持っている	1	2	3	4	5	9
(9) わかりやすく説明ができている	1	2	3	4	5	9

問 46 あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| 1 自分の行動・発言に責任を持っている職員 | 6 積極的に職務に取り組む職員 |
| 2 もてなしの心を持ち、区民の立場に立って柔軟な対応ができる職員 | 7 事務処理に関して迅速な対応ができる職員 |
| 3 コスト意識を持っている職員 | 8 職務に関する十分な知識を持ち、区の課題を解決する職員 |
| 4 高い倫理観を持ち、法令を遵守する職員 | 9 わかりやすく説明ができる職員 |
| 5 誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員 | |

● その他に関してお答えください ●

問 47 「マイナンバー（個人番号）カード※」の取得状況について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1 取得する予定はない | 3 すでに持っている |
| 2 まだ持っていないが、取得予定である | 4 わからない |

※マイナンバー（個人番号）カード：顔写真付ICカードで、本人確認のための身分証明書として利用できるほか、コンビニエンスストアでの各種証明書発行、e-Tax等の電子証明書を利用した電子申請など、様々なサービスを利用できます。

問 48 へ

(問47で「1 取得する予定はない」と回答した方のみ)

▶問 47-1 その理由として該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。回答後、問 48 へお進みください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 現時点で必要がない | 4 申請や受領などの手続きが面倒 |
| 2 メリットがよくわからない | 5 その他() |
| 3 個人情報の漏えいや不正利用に対する不安がある | 6 特に理由はない |

▶問 48 区政全般に関してご意見がございましたら自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力、ありがとうございました。ご記入いただいたアンケート調査票は、返信用封筒(切手不要)に入れ、9月27日(水)までに郵便ポストに投函してください。(インターネットを利用して回答する場合、調査票の返送は不要です)

【問 1 ウの参考資料】

お住まいの地域について

索引	町丁名	番地	地域
あ	相生町		高島平
	赤塚一～八丁目		赤塚
	赤塚新町一～三丁目		赤塚
	小豆沢一～四丁目		志村
い	泉町		志村
	板橋一～四丁目		板橋
	稲荷台		板橋
お	大原町		志村
	大谷口一・二丁目		常盤台
	大谷口上町		常盤台
	大谷口北町		常盤台
	大山金井町		板橋
	大山町		板橋
	大山西町		板橋
	大山東町		板橋
か	加賀一・二丁目		板橋
	上板橋一～三丁目		常盤台
く	熊野町		板橋
こ	小茂根一～五丁目		常盤台
さ	幸町		板橋
	栄町		板橋
	坂下一丁目	1～26番・28番	志村
		27番・29～41番	高島平
	坂下二・三丁目		高島平
	桜川一～三丁目		常盤台
し	清水町		志村
	志村一～三丁目		志村
	新河岸一～三丁目		高島平
た	大門		赤塚
	高島平一～九丁目		高島平
と	東新町一・二丁目		常盤台
	常盤台一～四丁目		常盤台
	徳丸一～八丁目		赤塚

索引	町丁名	番地	地域
な	中板橋		板橋
	仲宿		板橋
	中台一～三丁目		志村
	仲町		板橋
	中丸町		板橋
	成増一～五丁目		赤塚
に	西台一丁目		志村
	西台二丁目	1～29番・30番(1～4号・17～22号)・41・42番	志村
		30番5～16号・31～40番	赤塚
	西台三丁目	1～46番・48～54番	志村
		47番・55～57番	赤塚
西台四丁目		志村	
は	蓮沼町		志村
	蓮根一～三丁目		高島平
ひ	東坂下一丁目		志村
	東坂下二丁目		高島平
	東山町		常盤台
	氷川町		板橋
ふ	富士見町		板橋
	双葉町		板橋
	舟渡一～四丁目		高島平
ほ	本町		板橋
ま	前野町一～六丁目		志村
み	三園一丁目		赤塚
	三園二丁目		高島平
	南町		板橋
	南常盤台一・二丁目		常盤台
	宮本町		志村
む	向原一～三丁目		常盤台
や	大和町		板橋
	弥生町		板橋
よ	四葉一・二丁目		赤塚
わ	若木一～三丁目		志村

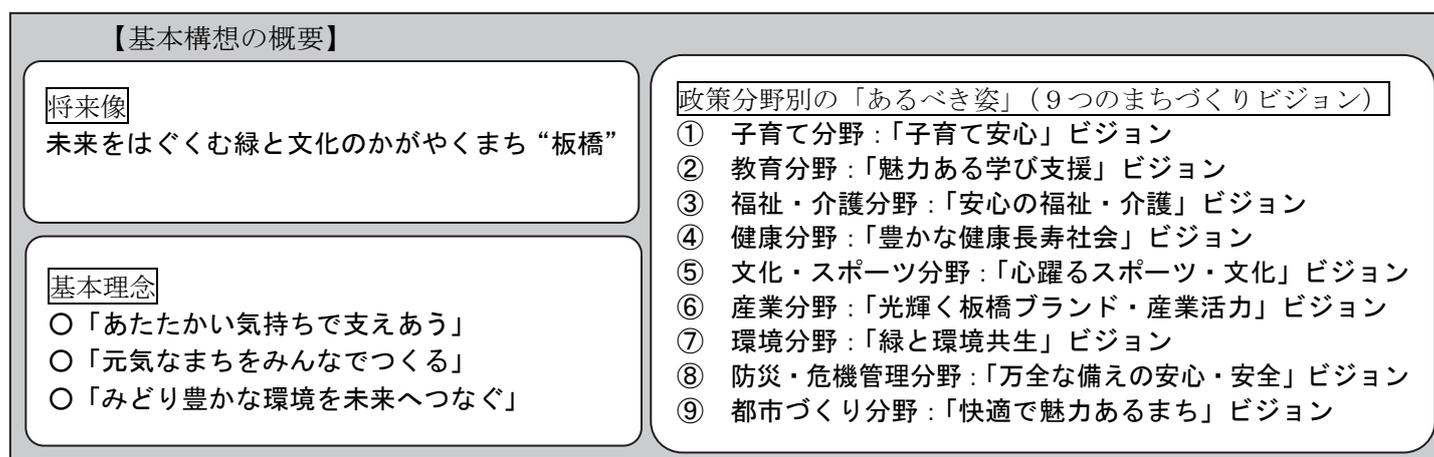
【問 5 ～ 問 31 の参考資料】板橋区基本構想・板橋区基本計画 2025 について

1 板橋区基本構想（以下、「基本構想」）

板橋区では、平成 27 年 10 月に区議会の議決を経て基本構想を改定しました。

基本構想とは、将来の板橋区の望ましいまちの姿を示すものであり、区政の長期的指針として、区はもとより区民一人ひとりや地域の様々な団体、関係機関など区内のあらゆる主体が共有するものです。

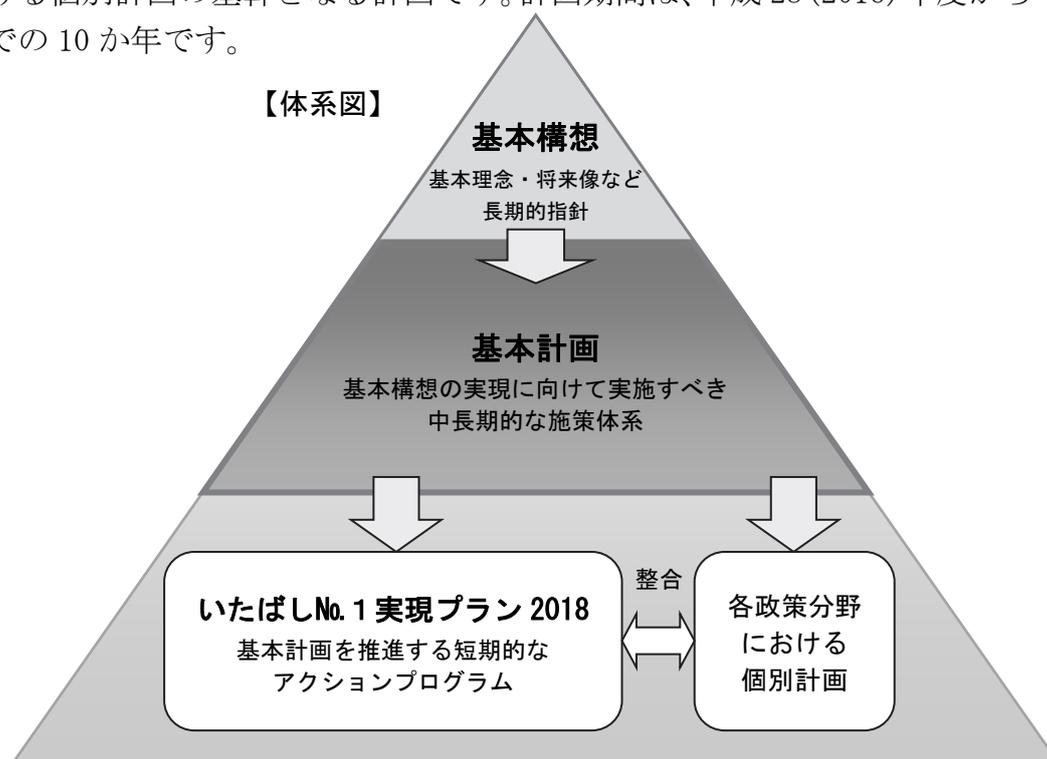
新たな基本構想は、平成 28 年度から概ね 10 年後を想定して、板橋区全体の将来像（「あるべき姿」）を「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と定め、さらに将来像を政策分野別に具現化した「9つのまちづくりビジョン」を掲げています。



2 板橋区基本計画 2025（以下、「基本計画」）

(1) 基本計画とは

基本計画は、基本構想を実現するための区政全般の総合的な計画であり、本計画を推進する短期的なアクションプログラムとして策定された「いたばしNo.1 実現プラン 2018」や各政策分野における個別計画の基幹となる計画です。計画期間は、平成 28 (2016) 年度から平成 37 (2025) 年度までの 10 か年です。

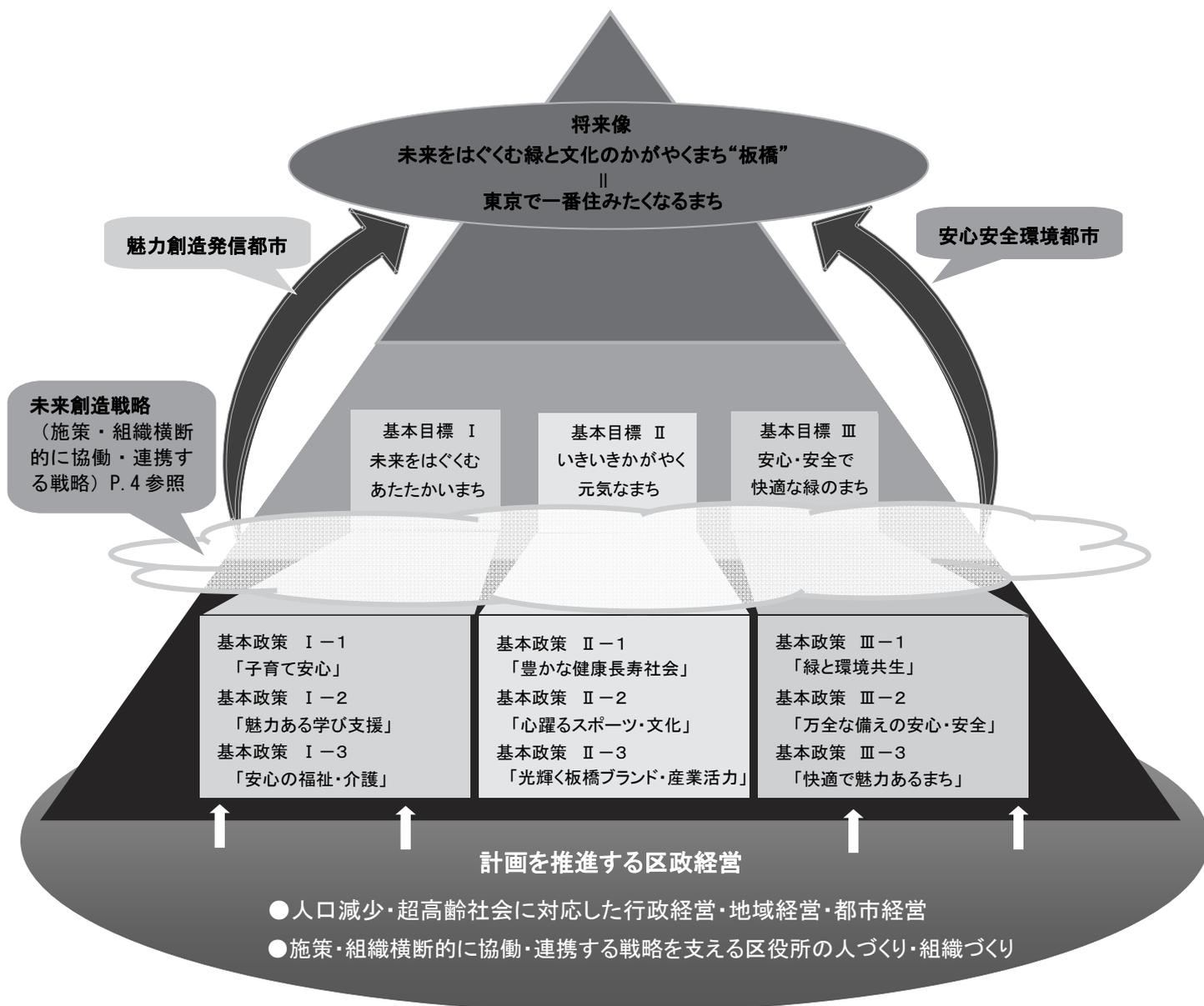


(2) 基本計画の施策体系

基本構想で定める3つの基本理念(「あたたかい気持ちで支えあう」「元気なまちをみんなで作る」「みどり豊かな環境を未来へつなぐ」)に基づき、区の将来像「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と政策分野別の「あるべき姿」である「9つのまちづくりビジョン」を実現するため、「3つの基本目標」と「9つの基本政策」を柱とした施策を体系化しています。

さらに、区政の持続的な発展を可能とするため、施策・組織横断的に協働・連携し、限られた資源を集中的に投入する**未来創造戦略**を立て、選ばれるまちとしての魅力を創造・発信するまち「魅力創造発信都市」と、安心・安全な環境が整い住み続けたいくなるまち「安心安全環境都市」といった2つの都市像を指向しながら、基本構想に掲げる区の将来像である「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」を実現し、「東京で一番住みたいくなるまち」として評価されるまちをめざしています。

【基本計画の施策体系構成】



基本計画（平成28年度～37年度）の施策体系

基本目標Ⅰ 未来をはぐくむあたたかいまち

《基本政策と施策》

I-1 子育て安心

- ↳子育て施策の総合的な推進
- ↳子どもの成長と子育ての支援
- ↳育児と仕事の両立支援
- ↳地域ぐるみの子育て支援の推進
- ↳子育てセーフティネットの充実
- ↳子どもと母親の健康づくり

I-2 魅力ある学び支援

- ↳教育施策の総合的な推進
- ↳確かな学力の向上・定着と質の高い教育の推進
- ↳幼・小・中学校の運営・支援
- ↳特別支援教育の充実
- ↳いじめ問題・不登校対策等の推進

- ↳家庭教育の支援と青少年の健全育成
- ↳世代を超えた学習・学び合う活動の推進
- ↳読書活動の支援
- ↳児童・生徒の健康増進
- ↳地域とともに歩む学校づくり
- ↳魅力ある学校づくり

I-3 安心の福祉・介護

- ↳高齢者施策の総合的な推進と計画的な施設整備
- ↳介護サービスの充実と介護予防の推進
- ↳高齢者の地域包括ケアの推進
- ↳地域福祉の充実
- ↳障がい者施策の総合的な推進と計画的な施設整備
- ↳障がい者の自立支援と社会参加の促進
- ↳生活基盤の安定と自立の促進

基本目標Ⅱ いきいきかがやく元気なまち

《基本政策と施策》

II-1 豊かな健康長寿社会

- ↳健康づくりの総合的な推進と環境整備
- ↳病気にならない体づくり
- ↳疾病の早期発見・早期治療の推進
- ↳女性の健康推進
- ↳公害健康被害の補償と保健福祉の向上
- ↳国民健康保険の適正な運営等
- ↳後期高齢者医療制度の適正な運営
- ↳こころの健康づくりの推進
- ↳高齢者の社会参加の促進と生きがいづくり

II-2 心躍るスポーツ・文化

- ↳スポーツに親しむまちづくりの推進

- ↳地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進
- ↳個性ある文化芸術の創造と活動の支援
- ↳国際性豊かな地域社会づくり
- ↳平和都市の推進

II-3 光輝く板橋ブランド・産業活力

- ↳ネットワーク・ブランド戦略による産業活力の強化
- ↳産業集積の維持・発展の促進
- ↳創業・経営支援と人材育成・就労支援
- ↳地域特性を活かした魅力ある商業振興
- ↳都市農業の支援と農の活用
- ↳「もてなしの心」による魅力ある観光振興と都市交流の推進
- ↳消費生活の安定と向上

基本目標Ⅲ 安心・安全で快適な緑のまち

《基本政策と施策》

III-1 緑と環境共生

- ↳スマートシティ“エコポリス板橋”の推進
- ↳低炭素社会の実現に向けた取り組みの推進
- ↳環境教育・協働の推進
- ↳快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進
- ↳循環型社会の実現に向けた取り組みの推進
- ↳自然環境と生物多様性の保全
- ↳緑化の推進と自然にふれあう機会の創出

III-2 万全な備えの安心・安全

- ↳地域防災の支援
- ↳減災・防災対策の推進
- ↳防犯力の高いひと・まちづくりの推進

- ↳老朽建築物等対策の推進
- ↳倒れない・燃え広がらないまちづくりの推進
- ↳感染症等予防対策の推進
- ↳食品・環境の衛生力向上

III-3 快適で魅力あるまち

- ↳地域特性を活かした総合的なまちづくりの推進
- ↳美しいまちなみ景観の推進
- ↳利便性の高い公共交通網の整備促進
- ↳利便性の高い都市計画道路の整備促進
- ↳区道・橋りょう等の安全で快適な環境の確保
- ↳放置自転車対策等交通安全の推進
- ↳駅周辺や商店街等を中心とした良好な市街地の形成促進
- ↳ユニバーサルデザインの推進
- ↳多様で良質な住まい・住環境の確保

計画を推進する区政経営

《取り組みの方向性》

- ↳総合的な区政の推進と区役所の人づくり・組織づくり
- ↳安心・安全で魅力ある公共施設への再編・整備
- ↳質の高い区民サービスの提供

- ↳情報公開の推進と個人情報保護
- ↳シティプロモーションの推進
- ↳地域コミュニティの活性化と協働の推進
- ↳女性の活躍と男女共同参画の推進

未来創造戦略について

【戦略の基本方針】

- 人口減少社会の到来を前提として、生産年齢人口の定住化を促進する積極的な取り組みや超高齢社会に適応した施策を併せて戦略的に展開し、区政の持続的な発展を可能とします。
- ターゲット（対象）を明確にするとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される 2020 年や団塊の世代がすべて後期高齢者となる 2025 年といった時間軸を意識して目標を定め、限られた資源を集中的に投入する中長期的な戦略を立てて、政策分野や組織を越えて横断的に取り組みます。

将来像

「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」
＝「東京で一番住みたくなるまち」

魅力創造発信都市

都市像

安心安全環境都市

戦略Ⅰ 若い世代の定住化戦略

若い世代が住み続けたい・住みたくなるまちづくりを戦略的に展開します

- 戦略展開① 安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図り、子どもの成長を切れ目なく支援する連携を強化します
- 戦略展開② 地域とともにある学校づくり・人づくり、魅力ある学校づくりに取り組み、21 世紀社会をたくましく生きる子どもを育てる教育を推進します
- 戦略展開③ 女性の活躍と健康を支援するとともに、若者が住みたくなるまちづくりに取り組み、女性・若者がかがやくまちづくりを推進します

戦略Ⅱ 健康長寿のまちづくり戦略

元気な高齢者を増やし、地域の支えあいによる超高齢社会に適応したまちづくりを戦略的に展開します

- 戦略展開④ 高齢者が地域貢献・ボランティア活動、就労などに生きがいを持って活動するまちづくりを推進します
- 戦略展開⑤ 介護が必要になっても、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアのまちづくりを推進します
- 戦略展開⑥ 子どものころからバランスのとれた体づくりに取り組むなど、スポーツや様々な施策が連携して、質の高い健康づくりを推進します

戦略Ⅲ 未来へつなぐまちづくり戦略

快適で魅力あるまちづくりによって交流とにぎわいを創出し、都市としての魅力を高めます

- 戦略展開⑦ 特色ある文化芸術を活かすまちづくりに取り組むとともに、地域に愛着と感動を呼ぶスポーツによるにぎわいを創出します
- 戦略展開⑧ 産業による地域活性化や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした「もてなしの心」による魅力創造・発信によって、交流人口を増やします
- 戦略展開⑨ 災害に強く、環境に配慮した快適で魅力あるまちづくりを推進し、特に、駅周辺や商店街などを中心に都市を再生することによって、にぎわいを創出します

【戦略展開にあたっての基本的な視点】

- シティプロモーションによる魅力発信
- 大学・研究機関等との連携
- 地域ぐるみの支えあい